



大口町制 5 0 周年記念事業の記録

～ 昔も^{いま}現在も未来もずっと 愛があふれる みんなの大口 ～

大口町・大口町制施行 5 0 周年記念事業推進委員会

大口町制施行50周年記念事業の記録

目 次

記念事業等の経緯	1
ロゴマークとキャッチフレーズ	2
『記念式典 & HAPPY バースデー！ おおぐち』	3
『田んぼアート婚活事業』	27
『グラウンド・ゴルフ大会』	49
『企業見学』	63
『子ども議会』	67
『防災訓練と地域防災事業』	79
『桜・河川環境保護事業』	90
『大口町表彰式』	99
『集まれ！我が町の芸術家たち 松崎祐一&空条寅子コンサート』	107
『ヤマザキマザック美術館鑑賞』	120
『ファイナルイベント』	128
『 ^{ははこ} 母子の愛情のまち啓発事業』	154
『健康麦茶「桜野」』	157
『大口町プロモーションビデオ』	160
『大口町制50周年記念事業プロジェクト』	169
『その他の50周年記念事業』	181
『各種団体等主催事業』	190
参考資料（50周年記念事業に係る提案一覧）	202
大口町制施行50周年記念事業推進委員会議事録	213
〃 推進委員会収支決算書、委員名簿、設置要綱	260

記念事業等の経緯

H 2 2 . 1 0	5 0 周年記念事業プロジェクトチーム設置（5 人編成）
H 2 2 . 1 2	5 0 周年記念のロゴマークとキャッチフレーズを公募
H 2 3 . 2	プロジェクトチームによるまちの語り部事業活動開始
H 2 3 . 3	5 0 周年記念事業報告書提出 （大口町町制施行 5 0 周年記念事業推進委員会の設置含む） 5 0 周年記念ロゴマークとキャッチフレーズを決定
H 2 3 . 4	大口町町制施行 5 0 周年記念事業推進委員会設置要綱告示 5 0 周年記念事業事務局設置（総務部 専任職員 2 名）
H 2 3 . 7	広報おおぐち 7 月号に、推進委員の募集記事掲載
H 2 3 . 8	設置要綱を一部改正 応募者 3 名、受諾者 1 5 名、規定者 2 名の計 2 0 名の委員決定
H 2 3 . 9	2 0 名の委員に委嘱状交付（無報酬） 第 2、第 4 火曜日に定例会議開催を決定 記念事業案の提出
H 2 3 . 1 0	記念事業案のとりまとめと絞り込み 冠事業の開催依頼（庁内、各種団体等）
H 2 3 . 1 1	1 1 の推進委員会主催事業決定（※ 1） 主催事業毎に部会を構成することを決定（※ 2）、部会の開始 ふれあい祭りにて町制 5 0 周年を P R 第 2 回 BIG MOUTH コンテスト～大口町の中心で大口をたたく～に出場
H 2 3 . 1 2	冠事業のとりまとめ
H 2 3 . 3	スタッフジャンパー及び 50th ポロシャツ（トロピカルピンク）を 50th 推進委員会ユニフォームと決定 （さくら色の 50th スタッフジャンパーの作成、50th ポロシャツを購入、 ともに委員の自己負担）
H 2 4 . 4	記念式典&HAPPY バースデー！ おおぐちを皮切りに記念事業開始 役場玄関ロビー横に 5 0 周年記念事業パネル展コーナーを常設
H 2 4 . 9	第 3 回 BIG MOUTH コンテスト～大口町の中心で大口をたたく～に出場
H 2 5 . 3	ファイナルイベントを最後に記念事業終了、まとめに取り係る プロジェクトチームの任期延長（6 月末まで）

※ 1

記念事業案は、特に一般公募などをしませんでした。職員始め、町民から思い思いに事業案が寄せられていました。これに推進委員案が加わり、計 3 6 の事業案が集まり、推進委員会にて事業案の内容、実施時期、既存事業との調整、事業の継続性などを考慮・検討し、1 1 事業に集約したものです。

※2

記念事業の企画運営の協議検討を推進委員会で行うのは、時間的にも人的にも不合理であるため、記念事業毎に部会を組織することとしました。記念事業数は、13。委員数は20名。1部会5名前後で組織することとしたため、1委員当たり平均3つの部会に入ることになりました。

なお、委員長は自ら全部会に部会員又はオブザーバーとして参加することを表明。

50周年記念ロゴマークとキャッチフレーズ

ロゴマーク 作：駒井 瞭 さん



作者コメント

五条川の流れ(青)、町の花「さくら」の豊かな自然背景として、50周年の「50」を聖火に、「お」(聖火台・右手・顔・桜)、「お」(聖火台・右手・顔・桜)、「ぐ」(右手)、「ち」(聖火台、右手、顔)の文字を組み合わせ、元気な姿を子どもたちから高齢者の皆さんまで誰にでも一目見てよくわかり、広く愛され親しまれるよう、少し

キャラクター的にデザインし、これはまた、21世紀をリードする「大口町」が町制50周年を機に、さらに力強く飛翔発展する勇姿を象徴したものである。

キャッチフレーズ 作：能田 万史 さん

いま
昔も現在も未来もずっと
愛があふれる みんなの大口

作者コメント

大口村のときから、今までずっと、愛がたくさんあり、100年後も200年後も、愛があふれるほどたくさんある、みんなの大口だ。

『記念式典 & HAPPY バースデイ！ おおぐち』

町制施行50周年記念式典

日時：平成24年4月1日（日） 午前10時 ～ 午前11時33分

場所：大口町民会館

検討組織：式典部会

部会長：三輪純一 副部会長：佐竹金政

部会員：長谷川実、土屋千秋、中村和枝

オブザーバー：大竹伸一

1 目的

町制50周年記念日を、町民を挙げて祝う。

2 事業の経緯と概要

町制施行日である4月1日に、「協働、手作り、みんなで祝う」を旗印に、大口町の50歳を祝うイベントを開催しようと検討しました。会場案としては、新生大口中学校中庭、大口町総合福祉会館集会室、大口町総合運動場などが出ましたが、天候のこと、会場環境のことなど考慮の結果、大口町民会館町民ホールに落ち着きました。町民を挙げての町民主体のイベントにしたいとの意見もありましたが、行政のセレモニーとしての要素をなくしてはいけないとの配慮から、公式行事としての記念式典と町民主体で祝うイベントの2本立ての事業内容となりました。未曾有の被害をもたらした東日本大震災から1年を経過した時に開催することもあり、大口町のみならず被災者の皆さんも希望を持って未来に進んでもらいたいという思いから、ポップオペラ歌手の藤澤ノリマサを招聘し、町民合唱団の結成とともに「希望の歌～交響曲第9番～」を合唱するため所属事務所にアタックもしました。記念式典のメイン会場である町民会館町民ホールに招待された人だけの式典にはしたくない、そんな思いから記念式典の模様を中継するサブ会場を町民会館1階商工会館大会議室に設けました。

記念式典参列者には従来同様、国会議員や近隣市町の首長・議長、町の公職者や町内企業、関係団体の皆さんほか、この10年の大口町のまちづくりの変貌を象徴する多くの町づくり団体の代表者等含め約500名の来賓を迎えることができました。

50th ロゴマークとキャッチフレーズ採用者への記念品、式典来場者への記念品は、町内企業と協働で作製、大口の50歳をコーラスで祝いたいと大口町NPO登録団体であるヴォーカル・パフォーマンスグループ・櫻組との協働で「大口50thをコーラスで祝い隊♪」を結成し、コーラスを披露、現在の我が町の礎を築いた社本鋭郎氏の人物像に迫る対談VTRづくりも大口町NPO登録団体であるスタジオCDMとの協働で制作するなど協働を強く意識し、積極的に取り入れました。

また、大口中学校吹奏楽部、河北木遣り保存会、住民による君が代斉唱の際の独唱はじめ、式典の縮めの言葉を50周年の年及び記念事業の「スタート宣言」にしたこと、オープニングでの合唱曲を町制30周年記念で制作した大口町イメージソングとし合唱曲用にアレンジをしたこと、スタッフの服装も町職員は町制40周年の折に作製した青色のジャンパー、50th委員はさくら色の50thスタッフジャンパーを着用し服装面での堅苦しさをなくすなど、行政の公式行事と言いながら式典部会員を中心に大口町制施行50周年記念事業推進委員会委員が大口町にとことんこだわり、全面的に企画・運営を手掛けた町民手作りの式典にすることができたと思っています。

HAPPY バースデイ！ おおぐち事業を同日に開催したことから駐車場に苦慮しましたが、アビタ大口店様、JA愛知北農協大口支店様、大口中学校の協力のおかげで確保することができました。

なお、町民手作りの記念式典とすることができたのは、町職員の知識と経験に裏打ちされた式典運営へのサポートがあった賜物です。歌手を招聘することはできませんでしたが、その分手作り感満載のまとまりのある、今の大口町らしい記念式典にすることができ、関係者はじめ多くの皆様のご指導・ご協力に感謝しております。

3 事業詳細

【式典次第】

オープニング

吹奏楽演奏 大口中学校吹奏楽部（部員48名、指揮：島崎教諭）

行進曲「よろこびへ歩きだせ」

木遣り 河北木遣り保存会（会員18名、代表：仙田武紀さん）

合唱 大口50thをコーラスで祝い隊♪（隊員65名、指揮：吉川朗さん 伴奏：吉田奈津さん）

大口町イメージソング「ほほえみを花束にして」^{ブーケ}

式典

開会の辞 三輪純一式典部会長

国歌斉唱 小塚愛紀子さん

黙とう（先覚者及び東日本大震災等の犠牲者に対し）

町長式辞 森進町長

町議会議長あいさつ 倉知敏美町議会議長

表彰式

ロゴマーク採用者：駒井 瞭さん

キャッチフレーズ採用者：能田万史さん

来賓祝辞 片桐愛知県副知事、杉本衆議院議員、藤川参議院議員

記念対談「社本鋭郎の人物像に迫る」VTR

対談者：社本宮明福玉精穀倉庫㈱会長、大竹喜久雄名誉町民、森進大口町長

コーディネーター：酒井麻利子さん

スタート宣言 大竹伸一委員長

エンディング

合 唱 大口 50th をコーラスで祝い隊♪（隊員＋大口中学校吹奏楽部員）
「希望の歌～交響曲第9番～」

【案内状発送数】 5 1 1 通

【来場来賓数】 3 3 5 名（随行者13名含）

他市町からの視察 8 名

【登壇来賓】 愛知県知事 大村秀章様代理 愛知県副知事 片桐正博様
参議院議員 藤川政人様
〃 斉藤嘉隆様
〃 安井美沙子様
〃 鈴木政二様代理 秘書 政木りか様
愛知県会議員 鈴木喜博様

※衆議院議員杉本和巳様は、他の公務のため開式前に中座

※参議院議員大塚耕平様秘書黒田太郎様は、案内不十分で一般席に着席

【登壇主催者】 大口町長 森 進
大口町議会議長 倉 知 敏 美
50th推進委員長 大 竹 伸 一
大口町副町長 大 森 滋
大口町教育長 長 屋 孝 成
50th式典部会長 三 輪 純 一

【表彰記念品】 巻物風賞状（賞状兼用、アルミニウム製）

… ロゴマーク賞、キャッチフレーズ賞ともに、オークマ㈱様との協働により作製。町制50周年を町内の企業の皆さんと祝う機会を作ることができないかなどを相談したのがきっかけ。町内企業がこぞって寄り合うことは難しいがオークマ㈱様としてできることなら協力していただけることとなり、当初は町内企業同士のコラボで何かしら記念になるものがないか検討しました。オークマ㈱様の技術を活かした型作り、その型を㈱東海理化様の機械に据え付けて製品化と夢は膨らみましたが、経費面、製品規格面などでリスクが大きく、それらをクリアし企業のイメージアップにもつながる企画として前に進めるまでに至りませんでした。オークマ㈱様の中で完結でき、かつ、得意とする旋盤技術を活かし社外に出しても恥ずかしくない製品として、アルミニウムを削り出した巻物風賞状兼記念品を作製していただけることとなったのです。50th事務局でデザインをしたのですが、機械で加工できるようデータ化するのが大変だったようです。加工機械使用日程を調整し、町内在住のオペレーターにより見事な作品が出来上がりました。

記念品立（木製）

… 酒井建築㈱様との協働により作製。折りたたみができる立派な置き台を作製していただきました。

【来場記念品】 パンフレット（A4判、中綴じ20頁）

フォトスタンド（B8サイズ、ステンレス製）

… ヤマザキマザック㈱様との協働により作製。ヤマザキマザック㈱様は、愛地球博の時の「大口デー」来場者に配った記念品のデザインを50周年のロゴマークに変えたフォトスタンドを作製していただきました。レーザー加工で50周年のロゴマークが見事に細工された製品です。このフォトスタンドを、取扱説明書と共にビニール袋に入れ包装したのは、(社福)おおぐち福祉会ハートフル大口の皆さん、包装紙は㈱松浦紙器製作所との協働により作製。フォトスタンド、包装紙の基本デザインは大口町歴史民俗資料館の職員。

【「社本鋭郎の人物像に迫る」VTR】

社本鋭郎氏は、初代町長。現在の大口町があるのは、彼の多大な功績のおかげです。50周年を機に彼のご子息である社本宮明氏、社本町政を支えた大竹喜久雄氏からお話を伺い、考え方、日常の生活、父として、町長としてどんな人物だったのかなど、我が町の礎を作った社本鋭郎氏の人物像に迫り、町民の皆さんにも伝えたいと企画しました。コーディネーター役は、酒井麻利子さんが快く引き受けてくれ、収録まで短期間ではありましたが事前学習をしっかりとするなど、見事なコーディネーターぶりでした。

当初は、檀上での記念対談をと企画したのですが、時間が確定できないこと、突発事態に対応できないことなどを考慮し、VTRとさせてもらいました。VTRの収録は井藤さん、塚本さん、酒井さん、江口さん、編集は井藤さんのご協力をいただき、町民手作りの記念対談ビデオとなりました。

【出演者等】

大口50thをコーラスで祝い隊♪

大口町NPO登録団体「ボーカル・パフォーマンス・グループ櫻組」との協働事業として、50周年記念式典をコーラスで盛り上げるとともに、コーラスグループの結束と裾野の拡大を目的に結成。広報、広報無線、チラシ、50thブログで参加を呼びかけ集まった有志100名。東日本大震災被災地の復興支援曲としても使われるポップオペラ歌手の藤澤ノリマサの「希望の歌」を彼とともに合唱、そして大口町イメージソング「ほほえみを花束にして」を合唱するため、足かけ3か月間練習を積みました。藤澤の招聘は最後までスケジュール調整がつかず断念することになりましたが、櫻組の指導者である吉川朗氏が代役としてまたイメージソングの合唱曲への編曲者として力を貸していただきました。演奏は、櫻組のもう一人の指導者である吉田奈津氏。エンディングの「希望の歌」では、コーラス隊の名称に「+」をつけました。大口中学校吹奏楽部のメンバーが加わってくれたからです。

なお、小中学校では3学期に「希望の歌」と「ほほえみを花束にして」を昼休憩、掃除の時間などに校内放送で流し、合唱曲の周知に一役買ってもらえました。

大口中学校吹奏楽部

1学期の始まる前の式典であったことから、必然的に出演者は新3年生と新2年生の部員48名となりました。指導者は、島崎教諭と清水教諭。行進曲「よろこびへ歩きだせ」の作曲者である土井康司氏が、この曲の作曲中に東日本大震災が起こったそうです。喜びの溢れる社会に、大口町になるよう心を込めて演奏してもらえました。

河北木遣り保存会

住宅建築時の棟上げ祝い及び無事完工することを祈願して唄われた木遣り。河北地区ではこの木遣りの保存と伝承に力を入れており、地域の結束にも一役買っています。紅白の布を巻いた棟柱を担いで木遣り唄を歌いながら柱を左右に大きく振ることから「棒振り」とも言われています。出場してもらえたのは、この河北木遣り保存会のメンバー18人。

小塚愛紀子さん

余野在住のソプラノ歌手。おおぐち少年少女合唱団の指導者として、歌手として活躍中。手作り式典を盛り上げるため、君が代の独唱に名乗りを上げていただきました。

社本宮明さん

初代町長社本鋭郎氏の二男。福玉精穀倉庫㈱の会長。父鋭郎氏、兄康志氏の遺志を継ぎ、地元の名士として会社経営のみならず地元や本町の行財政運営にも心を砕き、多大な貢献をしてくださっています。

大竹喜久雄さん

名誉町民、3代目町長。20歳代で収入役に就任以来、助役、町長、県議会議員といった要職を40有余年に渡り務められた。町長時代には生活に密着した施設の充実に力を入れられました。

【そ の 他】

- ・大口町50年の歩みとした昔の写真パネルを2階受付ロビー奥に展示
- ・祝電をパネルに掲出し、2階受付ロビー3階昇降口横に展示
- ・表彰記念品、来場記念品を開式まで2階受付ロビーに展示
- ・表彰記念品、来場記念品の製作工程をiPadにて2階受付ロビーで放映
- ・特別来賓控え室は、商工会館青年女性会議室及び商工会館大会議室
- ・大口50thをコーラスで祝い隊♪及び大口中学校吹奏楽部の控室は、町民会館1階会議室、河北木遣り保存会の控室は、町民会館3階ロビー

【スタッフ等人員配置】

町職員	71名	
協力者（記録）	2名	
50th委員	18名	計 91名

4 主な経費（一般会計）

記念品作製経費（材料費等）	268,919円
対談VTR作製費	100,000円
看板作製費（繰越明許費）	155,400円
記念式典パンフレット作製費	323,400円
音響、照明、資機材費（繰越明許費）	315,000円
協働委託事業費（合唱事業：H23 一般会計＋繰越明許費）	425,537円
計	1,588,256円

HAPPY パースデイ！ おおぐち

日時：平成24年4月1日（日） 午前10時 ～ 午後3時05分

場所：大口町役場庁舎前駐車場、町民会館第2駐車場及び役場前道路

検討組織：町民活動まかせてネット＋式典部会

町民活動まかせてネット

木野弓子、前田みどり、渡辺卓夫、和田由美、宇野省

式典部会

三輪純一、佐竹金政、長谷川実、土屋千秋、中村和枝

1 目的

大口町の50歳を一人でも多くの町民とともに祝うとともに、町民、まちづくり団体、企業との絆を作り、桜のまち大口の春の恒例イベントの足掛かりとする。

2 事業の経緯と概要

記念式典と同様「協働、手作り、みんなで祝う」を旗印に、大口町の50歳を町民目線で祝おうと町民活動まかせてネットから事業の企画提案がされ、協働事業として開催しました。

町民活動まかせてネットの準備は、前年のふれあい祭りから。企画案チラシを作成し、ふれあい祭り参加団体に声を掛けながら配布し、参加案内をしてくれました。また、町内企業、各種団体の事務所を訪問し、参加呼び掛けを行いました。イベント名を「HAPPY パースデイ！おおぐち」と定め、式典部会とまかせてネットの合同会議を開催し、記念式典内容との調整を図りつつ、同日に開催するイベントとして一体感のある事業にできるよう検討をしました。

大口町の50歳に因んで、「なんでも50（ヒフティ）」と名付けたパフォーマンスで

は、老人クラブ連合会による50人踊り、ふれあい協力隊による50mの巻き寿司づくり、町民活動まかせてネットによる50周年50音名古屋弁かるた大口バージョンが、披露されました。

パフォーマンスの舞台は、庁舎前の道路です。22のパフォーマンス団体がそれぞれのパフォーマンスを繰り広げ、多くの来場者が見入っていました。

出展ブースは、庁舎前駐車場が会場となり、33ブースもの出店がありました。飲食、アルコールもあり、人気ブースでは、準備数が少なかったこともあってか、午前中には売り切れとなったところもありました。役場玄関ホールでは、恒例となった町内の11大イベントを紹介するパネルコーナーを設置しました。

風が強くちょっと肌寒い一日とはなりましたが、天候に恵まれ、最後には「大口 50th をコーラスで祝い隊♪」と来場者全員で大口町のイメージソングである「ほほえみを花束^{ブーケ}にして」を大合唱して終了となりました。2千有余人の来場者とともに大口町の50歳を祝うことができ、盛り上がったイベントとなりました。

3 実施詳細

平成23年

- 10月11日 第3回50th推進委員会にて、町民活動まかせてネット木野代表から事業提案のプレゼンテーション有
- 10月25日 第4回50th推進委員会にて、上記提案を承認
- 11月5日・6日 ふれあい祭り参加団体すべてに50周年を祝うイベントの告知チラシを配り、参加協力呼びかけをする。
- 11月30日 江南警察署と事前の事前協議
- 12月16日 大口町と町民活動まかせてネット間で協働委託契約締結
- 12月中旬～ 各種団体、企業に参加呼び掛けをして回る。

募集要件

- ①地域に向けて啓発活動・PR活動を行う団体であること
- ②「町制50周年」を一緒に祝い元気にするという認識で運営・協力いただけること
- ③所定のスペースでの展示・活動とすること

参加協力金

- | | | |
|--------------|------|--------|
| ・営利を目的とするもの | 1ブース | 2,000円 |
| ・営利を目的としないもの | 1ブース | 1,000円 |
| ・パフォーマンス | 1チーム | 500円 |

平成24年

- 3月 3日 出展者事前説明会を開催
- 3月 9日 江南警察署と交通規制事前協議（道路使用許可申請書提出）
- 3月17日 パフォーマンス部門説明会を開催

2012 HAPPY BIRTHDAY MAP

楽しく祝ってください

2012年4月1日

防災ランド

はしご車体験

大日町消防団 本部 出動

大日町消防団 本部 出動

大日町消防団 本部 出動

西ひろば

つなぐ未来

大日町消防団 本部 出動

大日町消防団 本部 出動

大日町消防団 本部 出動

50m パフォーマンス

50m 大口かるた

50m 巻き寿司作り

50人 踊り

大日町消防団 本部 出動

大日町消防団 本部 出動

大日町消防団 本部 出動

eguchi street performance

大日町消防団 本部 出動

大日町消防団 本部 出動

大日町消防団 本部 出動

大町町庁舎

町内巡回イベント

町内巡回イベント

町内巡回イベント

大町町庁舎

町内巡回イベント

町内巡回イベント

町内巡回イベント

大町町庁舎

町内巡回イベント

町内巡回イベント

町内巡回イベント

大町町庁舎

町内巡回イベント

町内巡回イベント

町内巡回イベント

大町町庁舎

町内巡回イベント

町内巡回イベント

町内巡回イベント

大町町庁舎

町内巡回イベント

町内巡回イベント

町内巡回イベント

大町町庁舎

町内巡回イベント

町内巡回イベント

町内巡回イベント

大町町庁舎

町内巡回イベント

町内巡回イベント

町内巡回イベント

大町町庁舎

町内巡回イベント

町内巡回イベント

町内巡回イベント

大町町庁舎

町内巡回イベント

町内巡回イベント

町内巡回イベント

大町町庁舎

町内巡回イベント

町内巡回イベント

町内巡回イベント

大町町庁舎

町内巡回イベント

町内巡回イベント

町内巡回イベント

大町町庁舎

町内巡回イベント

町内巡回イベント

町内巡回イベント

大町町庁舎

町内巡回イベント

町内巡回イベント

町内巡回イベント

大町町庁舎

町内巡回イベント

町内巡回イベント

町内巡回イベント

大町町庁舎

町内巡回イベント

町内巡回イベント

町内巡回イベント

大町町庁舎

町内巡回イベント

町内巡回イベント

町内巡回イベント

大町町庁舎

町内巡回イベント

町内巡回イベント

町内巡回イベント

大町町庁舎

町内巡回イベント

町内巡回イベント

町内巡回イベント

大町町庁舎

町内巡回イベント

町内巡回イベント

町内巡回イベント

HAPPY バースデイ！ おおぐち ストリートパフォーマンス&なんでも50プログラム

No	開始時間	分	チーム名	内 容	
1	10	00	4	開会宣言！	会場案内
2		04	10	五条桜	和太鼓演奏
3		14	7	ミニーベリーズ	集団演舞
4		21	7	呑	集団演舞
5		28	7	やっちゃん場	集団演舞
6		35	15	ウイラニ	集団演舞
7		50	10	虹～ばなな～	集団演舞
8	11	00	10	鳴子踊りチーム	総踊り
9		10	10	コバタクさん自己紹介、会場紹介	ZIP-FM
10		20	30	町民活動まかせてネット	50周年50音大口かるた
11		50	15	ふれあい協力隊	50m巻寿司作り
12	12	05	15	大口町老人クラブ連合会	50人踊り
13		20	15	豊淑五会	集団演舞
14		35	15	日本太鼓研究会	和太鼓演奏
15		50	15	フラダンス ノヒリ ラウアエ	集団演舞
16	13	05	6	さわやかシスターズ他	集団演舞
17		11	6	歩～あゆみ～	集団演舞
18		17	14	素舞流	集団演舞
19		31	6	大口民謡会、こざくら会	集団演舞
20		37	6	翔グランマーズ	集団演舞
21		43	14	さくらメイトさくら連	集団演舞
22		57	6	菜花	集団演舞
23	14	03	14	志響	集団演舞
24		17	14	あさぎ	集団演舞
25		31	14	鳴子踊りチーム	総踊り
26		45	15	大口50thをコーラスで祝い隊♪	集団演舞
27	15	00	5	大口町長	挨拶

4 主な経費（一般会計）

支出の部

協働委託事業費（HAPPY パースデイ！ おおぐち） 1,200,000円

部会長所感

大口町制施行50周年記念事業推進委員会や行政当局の協力により成功裏に終えることができ、大変感謝いたしております。

特に式典のオープニング・式典・エンディングの3部構成については分かりやすく大変良かったと思いますし、住民の反応も概ね良かったと思います。

屋外イベント「HAPPYパースデイ！おおぐち」は、天候に恵まれ大いに盛り上がり、住民みんなが楽しむことができました。

しかし、この式典を含め、大きな節目である50周年の事業にしては、小じんまりとまとまりすぎた気がします。緊縮財政の中、経費を切り詰めることは必要ですが、50周年は過去の30周年、40周年とは意味が違います。もっと積極的な記念事業にすべきであったと思います。

町としてもそれ相応の予算を組んで、盛り上げる必要があったのではなかったでしょうか。大口町の住民みんなが、大口町誕生50周年を意識し祝うためには、全戸に記念品を出すことも必要ではなかったかと思います。

先人の偉業を称え、感謝するのは当然ですが、50周年を期に将来に向けてのビジョンを町民と共有し、起点になる催しであれば、尚良かったのではないのでしょうか。

事業記録写真

記念式典（オープニング）



大口中学校 吹奏楽部



河北木遣り保存会



大口 50th を
コーラスで祝い隊♪

記念式典



三輪部会長 開会の辞



小塚亜希子さんの君が代独唱



森町長の式辞



倉知議長のあいさつ



ロゴマーク作者（駒井暁氏）の表彰



受賞感想を述べる駒井暁氏



受賞感想を述べる能田万史君



キャッチフレーズ作者（能田万史君）の表彰



来賓祝辞 片桐愛知県副知事



来賓祝辞 藤川参議院議員



記念対談 左から酒井さん、森町長、社本福玉精穀倉庫㈱会長、大竹名誉町民



50周年スタート宣言



記念式典（エンディング）

大口 50th をコーラスで祝い隊♪



吉川氏の熱唱

記念式典（全般）



ロゴマーク採用者への賞状兼記念品：オークマ㈱様との協働
＊アルミニウム1枚板からの削り出し

←
記念品を立ててある台は
酒井建築㈱様との協働
↓



キャッチフレーズ採用者への賞状兼記念品：オークマ㈱様との協働



式典来場者への記念品（フォトスタンド）
ヤマザキマザック㈱様との協働
デザイン：脇田万理さん



来場記念品の包装紙
㈱松浦紙器製作所様との協働
デザイン：脇田真里さん



主催者と壇上の特別来賓



来賓で満員となった会場



司会進行を務めた土屋千秋委員



杉本和巳衆議院議員は開式前にあいさつ



式典受付準備 2階（一般来賓）



式典受付準備 1階（特別来賓）



来賓控え室、開式後はサブ会場
(商工会館大会議室)



閉式後のお見送り（町3役）

HAPPY パースデイ！ おおぐち



「50mの巻き寿司」ふれあい協力隊 ←何でも50→「50人踊り」老人クラブ連合会



何でも50 「50周年50音大口弁かるた」町民活動まかせてネット



五条桜



ミニベリーズ



吞



やっちゃん場



ウイラニ



虹～ばなな～



豊淑五会



日本太鼓研究会



フラダンス ノヒリ ラウアエ



さわやかシスターズ他



歩～あゆみ～



素舞流



大口民踊会 こざくら会



翔グランマーズ



さくらメイト さくら連



菜 花



志 響



あさぎ

出展ブース



さくらメイト：お手玉あそび



男女共同参画懇話会：アンケート&ポップコーン



大口町商工会・商工会女性部
ぜんざい、純米原酒「おおぐち」、大口町酒浪漫ブッセ、大和屋の守口漬



地恵の輪：米粉クレープ

耕作くらぶ：手作りドーナツ&ラスク



50th 記念献石実行委員会
記念献石PR&協賛（お手拭き）募集

犬山ローレライ麦酒館
桜ハニーラガー&炭火焼ソーセージ



ひつまぶし備長：まぶしおにぎり、味噌串かつ

なでしこ：福祉の店



絆11：復興支援活動報告、東北物産展



災害救援ボランティア：いざ！災害救援



しんによ商店：鉄板焼き、生ビール（もやい分店）



矢戸川をきれいにする会：日本一の焼きそば



憩いの四季：なつかし駄菓子屋さん、ホットコーヒー



青山製作所 カレーうどん





(株)東海理化 バルーンアート



(社)丹羽青年会議所 助けあいキャップアート



大口町朝市会：でんがく、新鮮野菜、お花



あ さ ぎ ← 活動展示&グッズ販売 → 志 響



もやい：串焼き



元気づくりプロジェクト：体脂肪測定、ボールウォーキング体験



ハートフル大口&保護者会：バザー、わた菓子、缶飲料、ミニパターゴルフ



タナベ包装：多肉植物、鮭節



まみーぼけっと：スイーツデコゲーム



サラダボール Co.：世界なんでもクイズ！



おもちゃ病院おおぐち：おもちゃ病院



コミュニティワークセンター：鬼まん、好評いなりずし



ぱんや“なかよしこよし”：手作りパン



防災ランド：車両展示等（大町消防団）、はしご車体験（丹羽消防）、地震体験車等（髙青山製作所&トヨタホーム㈱）



大町町内恒例11大イベント紹介パネル展



総踊り



大口50thをコーラスで祝い隊♪の合唱でHAPPY バースデー！
おおぐちもフィナーレ。森町長のあいさつで幕を閉じた。



ZIP FM愛知パーソナリティ 小林拓一郎さん
なんでも50ほか90分間ストリートパフォーマンスの司会進行を担当



ストリートパフォーマンス総合司会 大森奈央子さん



町民活動まかせてネット 木野代表



50m 巻き寿司の下準備



本部放送席：宇野省委員



本部席



丹羽消防梯子車から
「会場風景」
庁舎2階から



『田んぼアート婚活事業』

検討組織：田んぼアート婚活部会

部会長：前田恵理

部会員：松永盈任、宇野省、土屋千秋、埴田実、堀部令子、齊木徹、水野眞澄、
兼松昌史

オブザーバー：大竹伸一

1 目的

我が町の宝の一つである豊かな田園風景を後世により良い状況で引き継いでいけるよう、農業の魅力を再発見し、その魅力の普及とともに、大口町の魅力アップを図る。

上記目的を達成するため、本事業を次のように3分割しました。

1) 田んぼアート班

班長：佐竹義昇

班員：松永盈任、宇野省、水野眞澄、三輪純一、佐竹金政

オブザーバー：大竹伸一

2) 婚活班

班長：前田恵理

班員：宇野省、土屋千秋、埴田実、堀部令子、齊木徹、水野眞澄、兼松昌史

オブザーバー：大竹伸一

3) 米粉活用レシピ班

班長：埴田実

班員：土屋千秋、堀部令子、齊木徹、前田恵理、水野眞澄

2 事業概要

1) 田んぼアート班

農業振興に寄与するとともに、大口の田園風景の良さを情報発信し、より多くの人に大口を知ってもらうための事業として田んぼアートを実施しました。普通米であるあいちのかおり、古代米の赤米と紫米の3種の稲で描いたのは、50thのロゴマーク。委員に田んぼアート経験者がなく初めてのことであったので、委員自ら安城市にあるデンパークに出掛け、ノウハウを教えてくださいました。田んぼアートでの稲の育成を通し、その過程の田植え、刈入れ、稲架掛け、脱穀といった農作業を協働作業化あるいはイベント化して、作る喜びを分かち合い、農作業の楽しさを知ってもらえるようにしました。皆さんの稲への愛情が実を結んだのか、初めてにしては思いのほか立派に出来ましたので、普通米、赤米、紫米の色が一番きれいに映えた9月8日に田んぼアートの鑑賞会を役場の屋上を開放して実施しました。県内外からわざわざ大口まで見学に来た方もありました。見学者は、この鑑賞会の後も時々あったので、屋上へ案内をしました。

たわわに実った稲は、手刈りをし、稲架掛けにて天日干しし、ふれあい祭りで販売し、完売することができました。

また、田んぼアートに彩りを添えようと、田園風景の広がる我が町でも近年見かけなくなった案山子にスポットを当て、手作り案山子のコンテストをすることとしました。設置等のことを考慮し、事前受付をしたのですが、3件のみで気を揉みました。一方で、案山子の作り方さえ分からない人が多い現在、指導してもらえる方がいる間に子どもたちに教えてもらおうと、夏休みの終わりに北児童センターで案山子づくり教室を開催しました。9月1日に本受付をし、15作品の出品があり、田んぼアートをした田の脇に稲の実りの見張り番として設置し、やろ舞い大祭当日までの6日間の投票期間でコンテストを実施しました。

2) 婚活班

農業の魅力の再発見とその普及並びに大口町の魅力の情報発信を主眼に置いて、婚活イベントをスマイルプロジェクト（SP）と称して、4回開催しました。

第1弾は、大口町を知ってもらおうと、新生大口中学校のランチルームと調理室を会場にして開催しました。

第2弾は、田んぼアートの田植え作業を通して、土の感触を感じてもらいながら農作業の魅力を発見してもらおうと、役場庁舎前の田んぼを会場に開催しました。描いた田んぼアートは、「2012」と幸せを呼ぶ四つ葉のクローバー。

第3弾は、田んぼアートの鑑賞、枝豆狩り、グループごとの買出しとBBQ、そしてアルコールも入りました。白山神社、白山古墳群といったパワースポットにあやかろうと下小口学共を主会場として開催しました。

第4弾ファイナルは、奇跡のさくら酵母と大口町産あいちのかおりで醸造された清酒おおぐちの酒蔵見学と試飲、クリスマスパーティでは、大口町産米粉ロールケーキでグループ対抗デコレーション、プレゼント交換、委員手作りのパーティ料理を通し、大口の魅力の広報と交流の楽しさを図ろうと再び下小口学共を会場として開催しました。

3) 米粉活用レシピ班

大口町産米粉を使ったレシピの開発は、数年前から建設農政課を中心に取り組んできていることですが、50周年を機にその開発に弾みをつけたいと、喫茶店メニューへの定着、簡単おやつレシピづくりなどいろいろな方策を模索してみましたが、成果を上げることはできませんでした。

3 事業詳細

1) 田んぼアート班

3月 9日（金）事前研修（委員3名）

安城産業文化公園デンパークにて田んぼアートのノウハウを教えてくださいました。

田んぼアート実施田んぼを決定。

事業田を庁舎前田んぼとした。約1,500㎡。

- 5月 7日(月) 苗代(たんぼ de 国際交流に協力依頼、委員:播種2名、据付5名)
 20日(日) 田耕し、除草(委員1名)
- 6月 3日(日) //
- 下絵データ作製
- 13日(水) 田すり・下絵準備(委員5名)
 15日(金) アート下絵書き(委員7名)、
 田植え準備、苗運び等(委員5名)
 17日(日) みんなで田植え(河北エコの会5名、ファイターズクラブ4名、森町長、委員13名)
 24日(日) 補植、殺虫・殺菌・除草剤散布(委員7名)
- 7月 2日(月) 案山子事前申込受付開始～20日
 22日(日) 病虫害・除草剤散布(委員5名)
 24日(火) 除草剤散布・除草作業(委員2名)
 25日(水) 追肥(委員1名)
- 8月 5日(日) 除草作業(委員1名)
 8日(水) 病虫害防除作業(委員3名)
 17日(金) 案山子骨組作り(委員1名)
 26日(日) 病虫害防除作業(委員3名)
 27日(月) 案山子作り教室(委員3人、ファイターズクラブ)
 伊藤光子指導員の指導とファイターズクラブの皆さんの補助により、北児童センターで案山子づくり教室を開催。(児童35人参加)
 30日(木) ハサ掛け用・案山子展示用の竹の切り出し(委員5名)
- 9月 1日(土) 案山子コンテスト出品作の受付と展示(委員6名)
 15作品、17体の案山子を設置展示。
 展示期間は、稲刈りまで。
 3日(月) 案山子コンテスト投票開始
 投票場所&投票時間
 3日(月)～7日(金)は、役場玄関ロビー。開庁時間。
 8日(土)は、やろ舞い大祭会場入口。正午から午後4時まで。
 4日(火) 中日新聞朝刊の近郊版にたんぼアートの写真入り記事掲載
 朝日新聞朝刊に案山子の記事掲載
 6日(木) 毎日新聞朝刊に案山子の記事掲載
 8日(土) たんぼアート高所見学会(委員10名)
 役場庁舎屋上を開放し、たんぼアートを4階相当の高さから見学できる機会を提供。午後1時から午後4時。やろ舞い大祭と同日開催した効果か、700有余人の見学者有り。町内のみならず、県内外から、このたんぼアートを目的に来庁された方もいました。
 中日新聞朝刊の社会欄に案山子の記事掲載
 案山子コンテスト結果発表

第11回やろ舞い大祭で案山子コンテスト結果発表。午後6時頃。

優 勝 チームササキ

準優勝 こびと

第3位 らいもん

投票総数：574票(表彰式は、11月のふれあい祭りにて)

10月21日(日) 稲刈り(委員11名、サポーター8名)

ロゴマーク部分は、古代米(赤米、紫米)と普通米に分けて、手刈り、周囲の普通米部分は機械刈り。5時間ほどの作業時間を予定していたが、子どもたち含めたサポーターの皆さんの頑張りのあつて午前中に終了することができました。

おにぎりとトン汁を用意し、参加者全員で収穫を祝いました。

27日(土) 脱穀・粳摺り・袋詰め(委員7名、サポーター5名)

天候が心配されたため、1日前倒しで脱穀等の作業を実施。河北エコの会の会員さん所有の機械を借りることができたことにより、脱穀・粳摺り・袋詰めを1日で終了できました。

収穫量 あいちのかおり 535 kg、紫米 40 kg、赤米 16 kg

11月 3日(土) 案山子コンテスト表彰式(委員12名)

ふれあい祭り初日の正午頃、特設ステージにて案山子コンテストの表彰式を開催。

優 勝 賞 品 稲架掛天日干し普通米 30 kg、赤米

準優勝賞品 " 20 kg、赤米

第3位賞品 " 10 kg、赤米

収穫米の販売

稲架掛天日干しの普通米を田んぼアート写真付きの専用袋(10 kg) 2,800 円で販売。赤米は 100 g 100 円、紫米は 100 g 20 円。10 kg袋は、完売。1合枡山盛り 100 円での量り売りも開催。この量り売りは、おまけ部分が多く、好評でした。

4日(日) 収穫米の販売(委員10名)

前日に続き、田んぼアート収穫米を販売。赤米、紫米も2日目ではほぼ完売することができました。

28日(木) 田起こし(委員1名)

2) 婚活班：スマイルプロジェクト(婚活交流イベント)を実施

対 象 者：20歳以上の独身者で、大口町に興味のある方

募集定員：男女各16名

スマイルプロジェクト第1弾：5月13日(日)

テーマ：エプロンで交流!

会 場：大口中学校ランチルーム&調理室

参加費：1,000円(保険料込)

参加者：男性16名、女性15名の計31名(当日、女性1名欠席)

初回ということもあって定員一杯の男女が申込み。運営側も若干ぎこちない点もありましたが、調理、会食、ゲームを通し、交流を図ることができました。終了後に駐車場で連絡先を交換する姿が見られ、風の便りでは、後日有志でBBQをしたとか。

スマイルプロジェクト第2弾：6月17日（日）

テーマ：田んぼアートで交流！

会場：役場前田んぼ&役場食堂

参加費：300円（保険料込）

参加者：男性10名、女性4名の計14名

田植え体験を重視した結果、女性参加者が少なくなりました。田んぼアートへの田植えということで、成長過程も楽しみになるという付加価値もあって、貴重な体験ができたという感想もありました。

スマイルプロジェクト第3弾：8月19日（日）

テーマ：夏だ！大口パワースポット？で交流

会場：役場屋上、庁舎東田んぼ&下小口学共

参加費：2,000円（保険料込）、アルコールは別途実費

参加者：男性16名、女性7名の計23名

まず、SP第2段で実施した田んぼアートの稲の生育状況を役場庁舎屋上から観賞し、記念撮影。そして、れんげ祭り会場田んぼで育成してある枝豆狩りをした後グループ毎に買出しをし、BBQを楽しみました。田んぼアート観賞時は硬さもありましたが、その後の交流プログラムで次第に和み、楽しそうな雰囲気では進みました。解散後、同日に開催された商工会主催の夏のふれあいフェスティバルを楽しんだ参加者もいたようです。

スマイルプロジェクトFINAL：12月24日（日）

テーマ：今年一番のスマイルを…クリスマスパーティーで交流♪

会場：勲碧酒造（江南市）&下小口学共

参加費：2,000円（飲酒なし）、3,500円（飲酒あり）ともに保険料込、別途1,000円程度の交換用プレゼントを用意

参加者：男性15名、女性8名の計23名（男性1名前日、女性2名当日キャンセル有）

勲碧酒造の酒蔵見学と五条川堤の桜の花から採取した奇跡の酵母を使った清酒「おおぐち」の試飲とお土産（50th記念1コイン清酒「おおぐち」）つきで実施しました。勲碧酒造では、村瀬杜氏の計らいで急きょ日本酒の仕込み作業体験もさせてもらえました。酒蔵見学後、会場を下小口学共に移し会食、大口町産の米粉でできたロールケーキのグループ対抗のデコレーション、プレゼント交換などで楽しい時間が流れました。町内だけではなく県内外からの参加者もありました。

その他 婚活班の会議は、決められた日時に決められた場所に集まっての会議もあり

ましたが、メーリングリストを組み、チャット形式での意見交換、検討が多用されました。委員それぞれが時間、場所にとらわれることなく活発に意見交換がなされ、一定の時間に一定の場所に集うことなく合意形成がされていくことに時代の流れを強く感じました。

(3) 米粉レシピ

大口町産のお米にこだわり、お米を使った新たなメニュー、米粉を使ったスイーツの考案、レシピづくりなどいろいろと検討しましたが、形にすることができませんでした。

4 主な経費（50th 推進委員会会計）

収入の部

収獲米販売	126,780円
スマイルプロジェクト参加費	146,640円
計	273,420円

支出の部

田んぼアート	185,008円
スマイルプロジェクト	166,536円
計	351,544円

部会長所感

農業を中心に据え、大口町について知ってもらいたいという当初のねらいはおおむね達成できたのではないかと思います。メディア等を活用し、事業内容を広く告知できれば、もっと認知度は上がったと思う。

田んぼアートは、推進委員会のみならず、一般公募したサポーターの皆さん始めファイターズクラブや河北地区の方の協力のおかげで大成功を収めることができた。スマイルプロジェクトは、女性参加者を集めることが難しかった。愛婚ナビ、フェイスブック、ミクシィでも告知をした。特に、愛婚ナビの効果が高かった。

大口町や商工会といった公の機関のバックアップがあれば、より充実したものとなったように思う。

事業記録写真

田んぼアート



6月13日 代掻き 田んぼ内の土の偏りも修正



▲それぞれが下絵を持ち、
合図に従って竹串を刺していく。



6月15日に行った下絵書き

稲の種類毎に植える範囲を、
▼ 色つきテープで囲う。



下絵完成

6月17日(日) 田植え



田植え前の作業説明



稲の種類分け・株分け



下絵に沿って苗の種類毎に植えていきます。



町長と言えど大事な人夫、合図でラインを移動



田植え終了



6月24日

田植え手直し



7月22日 除草



8月8日 病害虫防除



8月30日 稲架掛け用兼案山子展示用の竹の切り出し



9月1日

稲架掛け兼

案山子展示用の土台組み

案山子の受付

案山子の展示 ～刈入れまで

案山子コンテスト看板設置





9月3日～9月7日 役場玄関ロビーにて案山子コンテスト投票受付

9月8日（土） 案山子コンテスト投票最終日、結果発表、田んぼアート高所見学会



案山子コンテスト投票受付を
やろ舞い祭り入口に



役場玄関ロビー
田んぼアートの移ろいパネル展



趣向を凝らした案山子は大人気！





カメラマンも急増？

高所見学会も人が途切れることは
ありませんでした。

二次的効果として、
少しは役場が身近に感じられたかも？



案山子コンテストには
多くの方が投票して
いただきました。

委員も投票箱をぶら下げて、投票を呼びかけました。





優勝 チームササキ
「おおぐち
「大ロボット君」



準優勝 こびと
「シボリオオチチ」



第3位 らいもん
「クサマダラオオコビト」



第4位 北児童センターの仲間たち
「優しい叔母さん」



第5位 NPO ファイターズ
「交通安全」



第6位 北児童センターの仲間たち
「敬礼ッ！」



第7位 北児童センターの仲間たち
「車に気をつけてねっ」



第8位 北児童センターの仲間たち
「可愛いお姉さん」



第9位 北児童センターの仲間たち
「夢はイチロー！」



第10位 北児童センターの仲間たち
「アンパンマン？」



第11位 仙田兄弟
「夏休み」



第12位 北児童センターの仲間たち
「はつらつオネエ！」



北児童センターの仲間たち
「お姉さん」



←第13位→ 北児童センターの仲間たち
「なんか変かい？」



第15位 北児童センターの仲間たち
「あたしよ～！あたし！」

10月21日（日）稲刈り



はじめの委員長あいさつ



佐竹義委員からの作業手順説明



※既に稲架掛けしてあるのは、朝一で刈って作業しやすくしたため

基本は、手刈り
赤米、紫米は先に刈り取りをし、
あいちのかおり（普通米）と
区別し、稲架掛けする。



刈入れ作業をし易くするため、
朝一で下刈りを終えた状況の田んぼアート



田んぼアートサポーターの皆さんの協力もあって、
刈入れ作業はスムーズに進行できた。
刈り取った稲は、一輪車等で運び稲架に掛けた。
子どもたちも体いっぱい使って、刈入れ作業を
楽しく体験してくれたと思う。



←刈入れ途中の休憩



刈入れ作業終了後は、役場食堂にて委員手作りの豚汁と白米のおにぎりでお祝いしました。

10月27日（土）脱穀・粃摺り・袋詰め



▲あいちのかおり（普通米）を脱穀

▼赤米と紫米を別々に脱穀





機械は、仙田英二さん、宇野委員から借用し、建設トラックで搬送
齊木委員は、わらを束ねるわらの結び方を指導してもらっていた。

稲摺り、袋詰めは、記録写真がありません。仙田英二さん宅にて場所及び機械を借りて行いました。

11月3日（土） 案山子コンテスト表彰式

11月3日（土） 4日（日） 田んぼアート収穫米の販売



大竹委員長あいさつ

優勝のチームササキの皆さんと優勝作品「大ロボット君」



司会進行の埴田委員



準優勝のこびとチームの皆さん
作品名「シボリオオチチ」



第3位のらいもんチームの皆さん
作品名「クサマダラオオコビト」



上位3作品とその製作者

田んぼアート収穫米の販売



あいちのかおりは、午前中に完売！

1合俵での量り売りもおまげが多く大盛況！↑





田んぼアートの変遷

6月15日



6月18日



7月4日



7月17日



7月30日



8月13日



8月27日



9月3日



9月6日



9月10日



9月18日



9月24日



10月12日



10月16日



10月21日



案山子づくり教室 : 北児童センター 8月27日(月)





田んぼアートの下絵
碁盤のように
升目で仕切り 且つ
斜めから眺めるため
縦長の構図である。



スマイルプロジェクト（婚活）

第1弾：エプロンで交流！



委員長自ら
看板を持って！



とても美味しかった手作り料理

第2弾：田んぼアートで交流

6月17日（日） 役場前田んぼ



受付風景



▲宇野委員による
田植え指導



←
田植え後の交流タイム
役場食堂



↑ たどたどしいですが、
ちゃんと田植えができました。→



第3弾：パワースポットで交流

8月19日（日）下小口学共他



枝豆狩り



下小口学共駐車場でのBBQ

FINAL：今年一番のスマイルを…クリスマスパーティーで交流♪

12月24日（日） 勲碧酒造、下小口学共



まずは、バスで
勲碧酒造(株)へ



↑ 酒造り体験
勲碧酒造(株) 酒蔵見学



委員手作りの
パーティー料理 ↓



トオルサンタ（齊木委員）



ロールケーキのデコレーション風景→



趣向を凝らした大口町産米粉を使ったロールケーキへのデコレーション

『大口町制50周年記念グラウンド・ゴルフ大会』

日時：平成24年7月15日（日） 開会：午前9時 閉会：午後0時25分

場所：大口町総合運動場

検討組織：グラウンド・ゴルフ大会実行委員会

（当初は、グラウンド・ゴルフ大会検討会）

委員長：大竹伸一 50th 委員長

副委員長：藤田金生区長会長、柳沢昭光体育協会会長、
前田尚徳グラウンド・ゴルフ協会会長

委員：畠山弘宣体育協会事務局長、長谷川実50th委員、佐竹金政50th委員、
鈴木義彦50th委員、三輪純一50th委員

検討組織：グラウンド・ゴルフ部会

部会長：長谷川実 副部会長：佐竹金政

部会員：鈴木義彦、三輪純一

オブザーバー：大竹伸一

1 目的

まちづくりは人づくり。でも、住んで楽しくないと人は集いません。50th を更なる発展へのスタートとして位置づけ、町全域を網羅した町民の親睦と融和を図ることができ、健康の維持にも一役買える継続可能な大会として、世代、性別を問わず同じ土俵で気軽に楽しむことができるグラウンド・ゴルフ大会を実施する。

2 事業の経緯と概要

町全域を網羅し、世代、性別を問わず同じ条件で気軽にみんなで楽しめ、町民の親睦と融和を図ることができる事業で、尚且つ継続ができる事業として検討をした結果、グラウンド・ゴルフをやってはどうかという案が出てきました。協会組織もあり、高齢者中心に競技人口を拡大している種目であり、年齢、性別を問わず誰もが無理なく気軽に楽しめること、高齢者が指導する立場になれることに着目し、行政区対抗で実施すること、世代間の交流を図ることができる事業として、事業案を作成しました。

日程としては、陽気の良い時（5月、10月）との意見で日程調整をしようとしたしましたが、既存の事業等で埋まっており、唯一空いているのが7月でした。区長会、体育協会、グラウンド・ゴルフ協会にお願いをし、検討会を組織し、大会概要をまとめたところで、実行委員会組織に切り替え、大会詳細を検討しました。その中では、継続できる大会とするため出場チームから参加費をいただくこと、景品等は出来るだけ質素にすること、第1回は50周年記念ということで参加記念品を出したいので、企業等との協働を活用することなどが検討されました。

その結果、1チームは3世代10人で構成すること、行政区人口により出場チーム数を割振りすること、町内の某企業と丹羽郡内中日新聞販売店会と50th推進委員会（大口町）との協働により参加記念品としてマフラータオルを作ること、チーム戦ではなく行政区対抗とすることなどを決定し、区長会にて行政区ごとに取りまとめていただくよう、お願いしました。テント設営、待機場所、飲食関係の調整、参加費等で、行政区の皆さんにはご迷惑をお掛けしました。メインスタンドの修復が間に合ってホッとしました。

出場届出チームは31チーム、出場登録選手数は、321人。大会当日は、朝から雨模様で天気予報も降ったり止んだりの一日を通して降雨予想で開催が危ぶまれましたが、大会実行委員会は雨は降らないという強い信念の下「決行」の決断をし、この決断が功を奏し大会終了まで雨に降られることもなく、天が50周年に微笑んでくれました。

競技結果は、優勝：河北区、準優勝：余野区、第3位：大屋敷区。中学校の部活動の管内大会と日程が重なってしまいましたが、一部中学生も出てくれ、元気なお年寄りからの指導含め和気あいあいとした雰囲気の中で、楽しく語らいながら、世代間の交流も図ることができ、盛り上がった大会とすることができました。優勝した河北区では、事前にお年寄りから指導を受け、練習を積んだそうです。その甲斐あっての見事な優勝でした。

大会終了後も実行委員会を開催し、大会の継続について協議をしました。この会議には、区長会の主管課である町民安全課の鶴飼課長、体育協会の主管課である生涯学習課の岩田課長補佐にも出席をお願いしました。皆さんの協議の甲斐あって、次年度以降も、体育協会を中心に、区長会の協力を得て大会を継続してもらえる予定となりました。

3 大会詳細

1) 大会概要

趣 旨	大口町制50周年を機に老若男女が集まって、グラウンド・ゴルフの行政区による親睦対抗戦をする中で、世代間の交流や健康の増進を図るとともに、みんなで元気に盛り上がる町づくりに資する。
主 催	大口町制50周年記念グラウンド・ゴルフ大会実行委員会
共 催	大口町制施行50周年記念事業推進委員会、大口町、大口町教育委員会
後 援	中日新聞社
協 力	大口町区長会、大口町体育協会
主 管	大口町グラウンド・ゴルフ協会
と き	平成24年7月15日（日） 予備日：7月16日（月；海の日） 受 付 午前8時00分～ 開会式 午前8時30分～ プレー開始 開会式終了次第
ところ	大口町総合運動場（全面利用）
参加資格	各行政区住民の小学生・中学生・一般住民（男女は問いません。）

参加人数と構成

(1) 1チーム10名とする。内訳：小中学生3名・一般7名の構成を原則とする。

(2) 各行政区出場チーム数

垣田・さつき・外坪	各2チーム
上小口・中小口・河北・秋田・豊田・大屋敷	各3チーム
下小口・余野	各4チーム
	合計32チーム

申し込み方法

各行政区の区長さんは、チーム毎に所定の様式の参加申込書を2部（コピー可）作成し、参加費（1チーム2,000円）を添えて、平成24年6月15日（金）までに50周年記念事業事務局へお申し込みください。

＊ 参加費は、保険料・飲み物及び大会運営費に充当させていただきます。

競技実施上の規則及び試合方法

- (1) (社)日本グラウンド・ゴルフ協会オフィシャルルールを準用する。ローカルルールは、別に定める。
- (2) 各行政区の対抗戦とし、1チーム10名の2ラウンド（1ラウンド8ホール×2＝16ホール）の合計打数で順位を決定する。（行政区毎にチーム平均点を計算し、平均点の最小の区を上位とする。小数点以下第2位まで計算し、小数点以下第2位を四捨五入する。）

表彰

優勝、準優勝、第3位に、賞状と賞品を用意します。

その他

- (1) クラブ・ボール・マーカーは、各自で用意してください。借用希望の方は、参加申込書備考欄に借用希望の旨を記入してください。
- (2) 小中学生のクラブ・ボール・マーカーは、大会本部で準備します。
- (3) 雨天等荒天の場合は、別途連絡します。

大会役員

大会長	大口町長	森進
大会副会長	大口町制施行50周年記念事業推進委員会	委員長 大竹伸一
	大口町区長会	会長 藤田金生
	大口町体育協会	会長 柳沢昭光
大会委員長	大口町グラウンド・ゴルフ協会	会長 前田尚徳
委員	秋田区長 山田泰晴	豊田区長 宮川勉
	大屋敷区長 野田英明	河北区長 水野善久
	余野区長 吉田正司	上小口区長 藤川義廣
	中小口区長 重田輝一	下小口区長 渡邊弘和
	垣田区長 武田静雄	さつきヶ丘区長 木野宏
	大口町体育協会 副会長 泉原実	
	大口町体育協会 副会長 曾貝勝利	

大口町制施行 50 周年記念事業推進委員会

グラウンド・ゴルフ部会	部 会 長	長谷川実
	委 員	三輪純一
	委 員	鈴木義彦

競技役員

競技委員長	大口町グラウンド・ゴルフ協会	理事長	佐竹金政
競技総務	大口町グラウンド・ゴルフ協会	副会長	野田弘子

大口町制施行 50 周年記念事業推進委員会

副委員長	社本良子		
委 員	松永盈任	宇野省	佐竹義昇
	後藤清子	土屋千秋	稲垣紀子
	田中百百代	埴田実	前田恵理
	中村和枝	堀部令子	齊木徹
	水野眞澄	兼松昌史	

大口町体育協会	事務局	畠山弘宣
〃		白木広美

50 周年記念事業事務局

前田悦巳	木浪浩行	河原良子
------	------	------

競技委員

大口町体育協会	副理事長	酒井英子		
	理 事	梅原信秋	小松実	中邑育男
		沖本正記	山川千代子	中村誠士
		酒井秀子	高砂克彦	石川ミチル
		川崎佐記子	水野正己	長谷川房子
		村田美保子	糸井川毅	松坂志づ子

大口町グラウンド・ゴルフ協会

理 事	貝沼清二	廣瀬愛子	舟橋矩子
	酒井よし子	左右田全康	清水繁男
	坂元博	福富孝子	吉田雅子
	西島美知子	江口恵美子	

大会日程

- 前日準備 7月14日(土) 午後7時30分 総合運動場管理棟前集合
大竹委員長、社本副委員長、グラウンド・ゴルフ部会委員、
柳沢体育協会長、前田グラウンド・ゴルフ協会長、
畠山体育協会事務局長
ホールの配置、行政区待機場所の配置、グラウンド整備
- 大会当日 7月15日(日)
 - ◆運営幹部集合 午前6時30分 メインスタンド東入口集合
大竹委員長、長谷川委員、佐竹金委員、
藤田区長会長、

- 柳沢体育協会長、畠山体育協会事務局長、
前田G・G協会長、野田G・G協会副会長、
大会開催の可否の決定並びにその旨の広報、本部席の設置
- ◆大会役員集合 午前7時 メインスタンド前集合
大会役員全員
受付準備、道具準備、ホール設置、駐車場準備等
- ◆選手集合 午前7時50分
- ◆受付 午前8時00分 ～ 午前8時15分
- ◆スコアラー集合 午前8時20分
佐竹競技委員長から、各チームスコアラーに注意事項伝達
- ◆選手宣誓リハ 午前8時20分
長谷川委員から選手宣誓者、各行政区ブラカード保持者に
要領を伝達
- ◆選手整列 午前8時25分
- ◆開会式 午前8時30分～
典礼：大口町制施行50周年記念事業推進委員会 社本良子委員
- 1 開会のことば 大竹伸一副会長
 - 2 大会長あいさつ 森進大会長
 - 3 来賓祝辞 木野春徳大口町議会議長
杉本和巳衆議院議員
藤川政人参議院議員
鈴木喜博愛知県議会議員
(紹介) 大口町議会議員他(出席者のみ)
 - 4 競技委員長注意 佐竹金政競技委員長
 - 5 選手宣誓 行政区代表(外坪：舟橋矩子さん)
ブラカード保持者宣誓者の周りに集合
 - 6 準備体操 長谷川実大会委員
- ◆競技
- 第1ゲーム 午前 9時00分 ～ 午前10時00分
- 第2ゲーム 午前10時15分 ～ 午前11時15分
- ◆閉会式 午前11時30分～
典礼：大口町制施行50周年記念事業推進委員会 社本良子委員
- 1 成績発表 佐竹金政競技委員長
 - 2 表彰 森進大会長
 - 3 講評 藤田金生副会長
 - 4 閉会のことば 柳沢昭光副会長

2) 参加者

11行政区から31チーム、321人。

出場チーム名及び選手は次のとおりです。(敬称略)

は、小中学生の選手、各チーム右下はスコアラー

秋田区

チーム名	秋田ー1			代表者名	鈴木 敏代
選手氏名	安藤 駿	若田 颯馬	神田 理登	野末 弘子	松田 一子
	佐藤 きり子	奥村 光江	市川 祥子	左右田 みよ子	鈴木 敏代

チーム名	秋田ー2			代表者名	佐藤 千枝子
選手氏名	神田 敬登	楠元 光成	奥村 彩香	佐藤 喜久枝	佐藤 洋治
	中野 美幸	古池 三郎	水谷 勇	安藤 昌子	佐藤 千枝子

チーム名	秋田ー3			代表者名	大倉 栄徳
選手氏名	村井 萌夏	滝岡 さくら	滝岡 なつみ	佐藤 義勝	野末 昌淑
	田辺 勝明	左右田 全康	佐藤 正昇	佐藤 かねよ	大倉 栄徳

豊田区

チーム名	豊田(A)			代表者名	江口 宏
選手氏名	永田 琴音	豊田 茉実	大森 葵	社本 信子	社本 信義
	大島 あや子	中原 富士雄	大森 芳子	大森 政子	江口 宏

チーム名	豊田(B)			代表者名	江口 和芳
選手氏名	竹中 健登	恒川 大和	暮石 清太郎	江口 一男	社本 志げ子
	大島 弘幸	中原 房子	大森 道子	佐藤 輝子	江口 和芳

大屋敷区

チーム名	大屋敷グランドゴルフ同好会A			代表者名	宮地 弘信
選手氏名	宮地 ことね	宮地 ひなの	遠山 めばえ	前田 新生	川村 啓子
	丹羽 香澄	野田 弘子	丹羽 すむ子	澤木 志げ子	丹羽 節子

チーム名	大屋敷グランドゴルフ同好会B			代表者名	宮地 弘信
選手氏名	澤田 茉優	澤田 莉緒	安達 一晟	野田 政子	前田 保子
	三輪 季余子	野田 静子	澤田 雅史	澤田 珠代	服部 ふさゑ

チーム名	大屋敷グランドゴルフ同好会C			代表者名	宮地 弘信
選手氏名	宮地 夏生	是松 謙太	中西 祐斗	丹羽 勉	宮地 千恵子
	前田 峰子	野田 房子	三輪 勝美	是松 太	西島 美知子

予備選手	川村 厚生	丹羽 義明	野田 英明	後藤 國雄	宮地 弘信
------	-------	-------	-------	-------	-------

外坪区

チーム名	ハピネスA			代表者名	服部 和子
選手氏名	藤田 冴香	前田 実玖	藤田 莉奈	服部 美智子	舟橋 幸枝
	藤田 ひさゑ	稲垣 富江	稲垣 静子	舟橋 喜代美	服部 和子

チーム名	ハピネスB			代表者名	舟橋 矩子
選手氏名	能田 深慎	能田 光	須崎 輝昂	河合 きみ子	舟橋 喜美子
	中野 雪枝	舟橋 幸恵	藤田 弘子	藤田 シメ子	舟橋 矩子

河北区

チーム名	河北グランド・ゴルフA			代表者名	島 明
選手氏名	三輪 香苗	三輪 郁也	水野 沙紀	脇田 みさを	仙田 さち子
	中野 よし子	服部 静子	仙田 信子	福富 金光	福富 孝子

チーム名	河北グランド・ゴルフB			代表者名	島 明
選手氏名	鹿間 珠乃	大平 辰吉	大平 未来	水野 未子	佐久間 静子
	中野 忠	中野 孝子	仙田 英龍	塩川 和子	福富 和代

チーム名	河北グランド・ゴルフC			代表者名	島 明
選手氏名	高橋 亮	高橋 勇	柿脇 未奈	中村 タケ子	大竹 美喜子
	仙田 美代子	納堂 弘子	水野 はる子	水野 貞子	宮田 勉

予備選手	中村 敏子	島 明	水野 善久
------	-------	-----	-------

余野区

チーム名	余野 A			代表者名	村上 信一
選手氏名	赤井 萌恵	羽山 幸那	古川貴大・伊藤あゆな	秋田 千枝子	仲山 義治
	吉田 美代子	山田 正徳	石原 千代子	山田 鉦伍	村上 信一

チーム名	余野 B			代表者名	村上 信一
選手氏名	福井 南帆	佐々木流都花	輪湖 文紀	向 都	梅田 勉
	丹羽 保	山田 秋子	青木 はつ枝	三田村 君代	山田 政衛

チーム名	余野C			代表者名	村上 信一
選手氏名	佐々木 花菜	木村 風沙	伊藤 由衣	川瀬 淑江	向 一之
	近藤 時子	伊藤 浩	吉田 三千子	青木 實	山田 幸司

チーム名	余野D			代表者名	村上 信一
選手氏名	下村 健人	浅井 香奈憂	松本拓真・松本和真	山田 雅子	近藤 武夫
	片野 節子	山田 守	吉田 たま子	吉田 秋彦	柿野 章一

上小口区

チーム名	上小口A			代表者名	広瀬 春雄
選手氏名	佐竹 志仁	佐竹 美咲	寺澤真華・寺澤真桜	広瀬 茂子	大塚 ふさ子
	小濱 よし子	小池 笑子	坂崎 ・子	今枝 かな江	水野 安成

チーム名	上小口B			代表者名	広瀬 春雄
選手氏名	丹羽 晃生	石原 匠	後藤 康輔	広瀬 春雄	寺澤 峯夫
	寺澤 輝	竹内 輝子	酒井 秀子	宇野 すま子	村田 幹夫

チーム名	萩島			代表者名	仙田 秋男
選手氏名	櫛部 宥実果	末永 琉成	末永 桃香	高桑 芳春	仙田 秋男
	今枝 孝一	石黒 文男	江口 れい子	小川 里美	坂崎 富雄

中小口区

チーム名	ふれあいチーム			代表者名	高橋 忠
選手氏名	水野 逸風	水野 慎治	安藤 龍一	佐藤 義照	廣瀬 かねよ
	松永 光子	・田 雄亮	・田 雅子	丹羽 正安	高橋 忠

チーム名	ほほえみチーム			代表者名	梅田 タカ子
選手氏名	・田竜之助	宮田 光	水野 健登	遠藤 和子	尾関 坂江
	木野 嘉治	水野 峰男	稲垣 隆広	水野 多三男	梅田 タカ子

チーム名	えがおチーム			代表者名	舟橋 美枝子
選手氏名	木野 未優	木野 天音	屋崎 百香	舟橋 きよ子	服部 ふみ子
	笹山 芳紀	舟橋 米子	宮地 和子	舟橋 鈴子	林 千鶴子

下小口区

チーム名	下小口A			代表者名	鈴木 美恵子
選手氏名	余語 旬大	酒井 琉生	宮崎 光矢	広瀬 愛子	倉地 智代子
	江口 恵美子	篠原 義美	田中 仍子	森田 旭	鈴木 美恵子

チーム名	下小口B			代表者名	小野川 博
選手氏名	宮元 泰征	木村 宗太	木屋 直也	清水 繁男	物部 孝
	長谷川 行生	春日井 加代子	広瀬 鋳太郎	井出 早苗	小野川 博

チーム名	下小口C			代表者名	江口 幸久
選手氏名	河内 慶	木村 幸太	河内 海人	酒井 久和	薦木 住江
	佐塚 照子	今枝 勝	酒井 敏行	江口 幸久	平田 欽也

チーム名	竹田			代表者名	杉本 敏弘
選手氏名	山内 優弥	棒田 和奏奈	伊藤 朱音	前田 俊子	宮田 美智子
	江口 けい子	前田 敏子	宮本 幸三	宮本 久子	杉本 敏弘

垣田区

チーム名	垣田A			代表者名	中村 貴祐
選手氏名	伊藤 一樹	小山 晃也	伊藤 祐孝	中村 貴祐	伏原 金治
	青山 高人	梶野 せつ子	坂元 京子	森脇 登志子	坂元 博

チーム名	垣田B			代表者名	宮島 高一
選手氏名	西垣 郁哉	江口 紘平	西垣 恭平	村田 みな子	有馬 勉み
	馬場 アヤ子	小室 紀代子	飛澤 峰男	中道 拓夫	宮島 高一

さつきヶ丘区

チーム名	さつきなんでも			代表者名	安井 邦雄
選手氏名	竹澤 怜奈	棚橋 茉奈	水野 拓海	中島 森夫	伊藤 金清
	棚橋 のぶよ	今井 富郎	堀部 昭雄	岩波 美枝	安井 邦雄

チーム名	さつきかんでも			代表者名	鈴木 健
選手氏名	中村 百希	飯村 美帆	久保田 大翔	岸 鋼逸	三輪 賀子
	水谷 吉男	土川 喜一郎	伊神 英臣	鰐部 茂	鈴木 健

3) 競技結果

優勝 河北区 AV: 479.333
準優勝 余野区 AV: 493.750
第3位 大屋敷区 AV: 495.000
第4位 外坪区 第5位 秋田区
第6位 さつきヶ丘区、垣田区 第8位 下小口区
第9位 上小口区 第10位 中小口区 第11位 豊田区

番外編 (チームスコア)

第1位 河北Cチーム 第2位 余野Dチーム 第3位 なんでもチーム
優勝した河北区は、事前に練習会を開催するなど準備万端で大会に臨み、3チームとも500以内のまとまったスコアで、2位以下を引き離しての優勝を飾りました。ただ、この大会は競うことが主眼ではなく、おじいさん、おばあさん、お父さん、お母さん、そして小中学生を中心とした青少年の3世代の交流と行政区間の交流に主眼を置いた大会です。その意味では、どの区も良い交流ができたのではないのでしょうか。全体の競技結果は次のとおりです。

行政区	チーム名	チームスコア			行政区 平均点	順位
		1G	2G	計		
秋田	秋田ー1	262	239	501	503.667	5
	秋田ー2	253	268	521		
	秋田ー3	250	239	489		
豊田	豊田(A)	253	246	499	520.500	11
	豊田(B)	274	268	542		
大屋敷	同好会A	244	255	499	495.000	3
	同好会B	242	247	489		
	同好会C	255	242	497		
外坪	ハピネスA	257	235	492	502.000	4
	ハピネスB	262	250	512		
河北	A	248	242	490	479.333	1
	B	243	245	488		
	C	227	233	460		
余野	余野A	261	243	504	493.750	2
	余野B	248	243	491		
	余野C	252	254	506		
	余野D	233	241	474		
上小口	上小口A	266	277	543	514.667	9
	上小口B	248	249	497		
	萩島	243	261	504		
中小口	ふれあい	253	252	505	518.000	10
	ほほえみ	250	272	522		
	えがお	265	262	527		
下小口	下小口A	258	241	499	510.250	8
	下小口B	251	276	527		
	下小口C	248	268	516		
	竹田	244	255	499		
垣田	垣田A	244	249	493	507.000	6
	垣田B	262	259	521		
さつきヶ丘	なんでも	231	248	479	507.000	6
	かんでも	266	269	535		
計		7,793	7,828	15,621	504.652	

5) 来賓

杉本衆議院議員、藤川参議院議員、鈴木県議会議員、木野大口町議会議長始め大口町議会議員15名、安藤老人クラブ連合会長、酒井さくらメイト会長、舟橋社会福祉協議会会長、3小学校長他計27名が来場、参観していただきました。

6) 配付物(選手、来賓、大会役員、競技役員共通)

・大会パンフレット

・参加賞(アクエリアス500ml1本、塩飴5個:50thロゴマーク金太郎飴)

競技中にも持って歩けるように500mlのペットボトル入りのアクエリアス(スポーツ飲料)を用意しました。また、熱中症対策にと50周年のロゴマークを使った金太郎飴の塩飴を作り、チャック付きのビニル袋に5個ずつ入れて渡しました。

・参加記念品(大会記念マフラータオル:町内某企業、丹羽郡内中日新聞販売店会、大口町制施行50周年記念事業推進委員会の協働作製)

大会記念品をという声が強く、安価に出来るものはないかと検討をし、健康推進員が作られたマフラータオルに50周年のロゴマークを入れようと進みかけました。一方で、中日新聞社の後援をお願いした中で、粗品としてタオルなら出しても良いと言ってもらえました。タオルとして2本は要らないので、協議調整した結果、協働で1つのタオルを作製しても良いとの結論に至り、地域振興課臨時職員のデザインによる大会記念のマフラータオルを作製しました。

・個人に渡したものの以外として、50th推進委員の協力により、冷たい麦茶13タンク、温かい麦茶2タンクを用意しました。麦茶を冷やすための氷は、給食センターの協力がいただきました。

7) 救護所

健康生きがい課に保健師の派遣を依頼しました。(近藤保健師が担当)幸いけがをした人はありませんでしたが、体調不良の中、どうしても出場したいと出たものの、やはりえらくて前半を休憩した選手がいました。幸い、後半には体力も回復し、無事競技を終了することができました。

4 主な経費(50th推進委員会会計)

収入の部

大会参加費	64,200円
計	64,200円

支出の部

参加賞	67,895円
賞品代	35,266円
保険料、グラウンド使用料他	30,895円
計	134,056円

5 部会長所感

町制50周年記念で老若男女が集まって、グラウンド・ゴルフの行政区による親睦対抗戦をする中で、世代間の交流や健康の増進を図ると共に、みんなで元気に盛り上がる町づく

りとの趣旨で取り組みましたが、数々の問題が発生しました。部会委員、推進委員、各区
行政区長、体育協会など各関係者の暖かいご支援、ご協力で開催する事ができました。

大会当日は明け方まで雨が降り、開催が危ぶまれましたが、雨も上がり迷うことなく決
行しました。各行政区から約350名の多数の参加をいただき、小学生から高齢者まで和
気あいあい怪我もなく、笑顔で終了する事ができました。

平成25年度以降は、主体組織大口町体育協会主催事業として、協力組織大口町区長会、
大口町教育委員会生涯学習課、大口町地域協働部町民安全課などのご協力をいただき、平
成25年7月14日(日)に行う予定です。

事業記録写真



大会・競技役員打合せ



スノーシュー打合せ



大会前の受付風景



開会式風景





おじいちゃん、おばあちゃんもまだまだ元気、人生の先輩だからね！



優勝した河北区の皆さん



準優勝の余野区の皆さん



第3位の大屋敷区の皆さん



藤田大会副会長の講評



柳沢大会副会長による閉会のことば

ロゴマークを使った
金太郎塩飴 ↓



行政区待機場所の風景



大会記念品のマフラータオル

『企業見学』

日時：平成24年8月22日（水） 出発：午前9時 帰着：午後0時30分
見学先：リンナイ株式会社大田工場、株式会社クエストアンドトライ

検討組織：企業見学部会

部会長：大竹伸一

部会員：社本良子、土屋千秋、前田恵理、堀部令子

協力委員：中村和枝（参加者の引率）

1 目的

先人の先見性と努力により豊かだと言われる今の大田があることに、感謝の気持ちを持ってもらえるよう周知を図る。その上で、工場見学を通し、様々な業種や職種があることや優れた技術を肌で感じながら、幾多の製造工程や働くことの大切さ、大変さを知ってもらう機会とする。

2 事業の経緯と概要

社本鋭郎初代町長が、同業種2社以上、できるだけ多くの業種、農業に影響のない工場をと町内に企業誘致したお陰で今の大田町があるのだから、企業を避けて大田町を語れないということ、また、町内にどんな企業があるのか、その技術力の高さやものづくりの大切さ、働くことの大切さ、大変さを知ってもらおうと企業見学を実施することとしました。町制40周年の折にも町内にある多数の優良企業の工場見学の検討を重ねたが、受け入れてもらえる企業が少なかったとの話を聞き、50周年こそはと意気込み臨みました。

小中学生の学年を固定し、今後も定期的に企業見学ができるようにしたい、学校のカリキュラムの中に入れ込めないか、社員食堂でランチができないかなどの様々な思いがありました。しかし、破るべき壁は厚く、子どもだけの受入れが難しかったり、大人だけでも見学範囲等に制限があったりして、なかなか調整がつかず日程が取れなくなっていくことが懸念されました。

一方で大竹委員長は、自分が部会長でもある責任感から商工会が事務局となって行っている工場見学に発展的相乗りができないかなどの模索と共に、某局の某番組で取材された町内企業に打診をしていただけていました。

以上のことを勘案し、夏休み期間中での親子見学会とし、子どもにも身近な製品を製造し、見て理解がしやすく楽しめる企業をとということで検討・協議した結果、ガス器具メーカーであるリンナイ㈱大田工場とフワフワを製作している㈱クエストアンドトライの2社にお願いをすることとし、打診をしたところ快諾していただきました。

事業開催月である広報おおぐち8月号に募集広告を載せましたが、周知不足の感がありましたので、夏休みの出校日に小学校高学年に募集チラシの配布を依頼しました。

参加していただいた親子は、12組34人。リンナイ大口工場では、工場内がとてもきれいで整然としており、一人一人にヘッドホン受信機を貸してもらえ、案内のお兄さん、お姉さんの説明が聞き取りやすく、ガスコンロなどが組み上がっていく様に感心して見入っていました。クエストアンドトライでは、小さい会社ではありますが、子ども向け遊具であるフワフワなどの設計から組み立てまですべて自社で行っており、パソコンを使った設計の様子、設計図を基に手作業で型紙を切り、縫製し組み立てていく様子を間近で見ることができました。また、見学後はフワフワでの遊び付き。夏の暑い日ではありましたが、子どもたちには時間が足りないようでした。

両社の見学を通し、ものづくりの楽しさを少しでも分かってもらえたのではないかと思います。子どもたちの目が輝いていましたので。

3 事業詳細

企業見学スケジュール

8月22日(水)

午前8時45分 役場集合

午前9時 役場出発

午前9時30分 リンナイ株式会社

集合写真を研究棟前で撮った後工場内の食堂へ入り、伊藤労務課長さんのあいさつ、同課の宮田さんから会社の概要説明。その後3班に分かれ、工場内を見学しました。工場内は撮影NGでしたので、記録写真はありません。

徒歩にてクエストアンドトライへ移動。

午前11時15分 株式会社クエストアンドトライ

久保社長にあいさつをいただいた後、設計部門、縫製組立部門、体験部門に行程を分け、3班がローテーションする形で見学をしました。

徒歩にて、バス待機場所へ移動し、帰路へ。

午後12時30分 役場到着 解散

参加者 12家族34名 大人12名 子ども(小学生)22名

配付物 飲み物(500ml アクアエリアス)、50th 塩飴5個

参加費 無料

4 主な経費(50th 推進委員会会計)

支出の部

保険料 1,000円

飲み物等 6,607円

計 7,607円

5 部会長所感

この度の50周年記念事業の1つである企業見学を実施するにあたり関係各位様には、深いご理解とご協力に心から感謝とお礼を申し上げます。両社とも心良くお引き受けて下さいましたことに敬意を抱いてやみません。

企業見学を通して親はもとより、この先各学習課程を終え社会人として立派に働くこの道を避けて通れません。子どもたちに働く尊さ大切さ苦勞さ大変さなど、健康で働ける喜びを知って頂ければと思っています。

半日という短い時間ではありましたが、子どもなりに小さいながらも自分の将来について、心に抱いたのではないのでしょうか。また、この見学を通して、言葉づかい、礼儀作法、そして何よりも親子といえども他の方々との団体行動の大切さを知っていただけたと思う、そうした緊張感を体験してもらえた事と思いました。

事業記録写真



出発前の町長あいさつ



進行役の土屋委員



町のバスに乗って出発！

▲大竹委員長
あいさつ



リンナイ館での集合写真



伊藤 労働課長



←
宮田さん



案内していただいた
お兄さん、お姉さん



リンナイ大口工場の全景



クエストアンドトライでの集合写真



久保社長 ▲

▼体験部門



設計部門



組立縫製部門

『子ども議会』

日時1：平成24年8月27日（月） 午前9時30分～午後0時10分

内容1：事前学習会

日時2：平成24年8月28日（火） 午前9時30分～午前11時29分

内容2：子ども議会 本会議

検討組織：子ども議会検討会

座長：大竹伸一 50th 委員長

委員：酒井廣治議員、岡孝夫議員、

天野拓夫南小校務主任、松山英昭北小教務主任、梅田晃西小教務主任、
浅田稔大中校務主任、

中村和枝 50th 委員、後藤清子 50th 委員、稲垣紀子 50th 委員、

田中百百代 50th 委員、堀部令子 50th 委員

：子ども議会部会

部会長：中村和枝

部会員：後藤清子、稲垣紀子、田中百百代、堀部令子

オブザーバー：大竹伸一

1 目的

大口町が誕生して半世紀。次の半世紀を担う子どもたちに、大口町の現状と未来について子ども議員となって本物の議場で、子ども目線での質問や討論を通し、議会の仕組みを理解してもらうとともに、次のまちづくりの主役になってもらう。

2 事業の経緯と概要

町制40周年の折に開催したサイバー議会、役場庁舎と学校を専用線で結び、子ども議会をリアルタイムで中継したもの。こうした取り組みを50周年でもとの思いもありましたが、経費的にはとても難しかったため、やれる方法でと検討は進みました。検討しているだけでは時間が足りなくなるので、まずは「子ども議会」をしたいという思いを学校に伝えないといけないと、4月23日に「子ども議会」、「企業見学」、「集まれ！我が町の芸術家たち」の3事業案について、教育委員会事務局に概要を提示し、進め方等について意見を聞きました。その結果、早期に学校と協議してもらいたい、先生に協議に加わってもらえるお願いしてはどうか、時期的には夏休み後半しか日程は取れないかもとの意見をもらいました。これを受け、5月11日の学校連絡会に大竹委員長が出席し、概要説明と共に各小中学校1名の先生の検討会への派遣をお願いしたところ、概要の修正をした上で了承をいただきました。議会に対しても4月24日付けで議長宛に議員から2名の検討会への参加協力依頼をし、2名の議員が検討会

に出席していただけることとなりました。

5月30日に第1回の検討会を開催し、実施に向けての詳細な検討、協議が始まりました。部会検討の中では、選挙からやりたいとか、議員及び町執行部それぞれの立場を経験してもらいたいとの意見が出ましたが、時間、学校カリキュラム、指導者などいろいろなハードルがあり、それらをクリアすることはできませんでした。

検討の結果、小学校の6年生各校2名と中学校1、2年生9名の計15名で子ども議会議員を構成する、事業期日は2日間、1日を事前学習、1日を本会議とし、本会議は一般質問の形態で、子ども議員が日ごろ考えていることなどを質問（再質問可）してもらい、町執行部が答えることとしました。また、質問内容をより具体化してもらおうと大口町総合計画資料と行政経営計画資料など行政資料を提供すること、質問する14名の子ども議員の質問内容がなるべく重ならないよう学校間で配慮していただくこととなりました。

6月末までに子ども議員の決定、夏休み前までに質問の内容調整等を学校にお願いし、議会には事前学習時の説明内容（議会のしくみ、議員としての体験談、伝えたいことなど）の組立、調整をお願いしました。また、具体的な検討の中で、単に質問し、答えるだけでは実の成るものにはならないのではとの意見が出、少しでも有意義で他の児童生徒にも意識付けができるようにと、「子ども議会宣言」提案し、採択するという内容を組み込みました。

回答については、先ず質問内容の吟味と質問の意図の確認を行った上で、8月1日の行政経営会議にて質問内容により回答を担当する課の割り振りと共に回答の方向性を検討しました。回答案を8月8日までに作成してもらうこととし、8月10日の行政経営会議にて回答案の調整をしました。その後は50th事務局中心に修正内容の確認等微調整を行った上で、副町長の最終確認後8月24日の町長決裁を経て、当日に臨みました。

事前学習時の内容については、議会事務局と議員さんで検討をしていただけた、議長、総務建設常任委員長、文教福祉常任委員長、議会事務局長に講師、パネリスト役を担ってもらえることとなりました。7月26日に開催された議員全員協議会後に木野議長、酒井議員、岡議員、河合議会事務局長、服部議会事務局次長、小島総務部長と事前学習会、子ども議会当日の打合せを行いました。

1日目、8月27日の事前学習会では議会の仕組みと町議会議員によるパネルディスカッション、本会議のリハーサルを行いました。

2日目、翌28日は、子ども議会本会議（子ども議会質問）を開催。木野議長には柴田子ども議会議長のサポート役をお願いしました。子どもたちの雄姿を多くの人に見てもらいたいと、傍聴席に入れない方のために別室に中継会場を設けました。また、

インターネットによる同時中継を行政課電算グループの協力により、配信しました。

子ども議員は、自己紹介の中で「楽しみたい」と今流の自己表現をしましたが、実際開会するとやはり表情は若干こわばって緊張しているようでした。しかし、自分の番が来ると表情も変わり落ち着きを取り戻し、堂々とした立派な発言が続きました。答える課長クラスの職員の方も分かりやすい表現に心掛けるなど、実際の議会より真摯に回答しているような感じさえしました。子ども議会質問終了後、子ども議員から今回の子ども議会をやり多きものにするためと前置きし、「子ども議会宣言」の提案がされ、全会一致で採択されました。その後、木野大口町議会議長の講評、森町長から総括答弁があり、閉会しました。

夏休み明けの2学期の始めに、各小中学校で子ども議会の報告をし、「子ども議会宣言」を全校児童生徒の前で読み上げたということです。子ども議会の内容は、行政課電算室の協力によりインターネット上のユーストリームにて同時配信をし、かつ、録画画像を見ることができるようにし、広報おおぐち10月号に6頁の特集記事を組み報告をしました。一方、子ども議員の感想を提出してもらいました。

「子ども議会宣言」については、これを記録するとともに顕彰するためには掲出が不可欠と考え、町内小学校教諭に揮ごうしていただき、それを原本とし、原本をコピーしたもので額装し、各小中学校の児童生徒の目に触れやすい所に掲出してもらいました。原本は、揮ごうしていただいた先生の学校に掲出してあります。大口町議会にも掲出してもらおうと、子ども議員代表2名から木野議長への贈呈式をし、議員控室の柱に掲出していただくことができました。

子ども議会の議事録と2日間の様子を撮影し、まとめたDVDを作製しましたので、子ども議員、各小中学校、教育委員会、議会事務局、町立図書館に配付しました。

次年度以降の継続については、議会改革の取り組みの一環として、議会中心で検討していただくことになっています。

3 事業詳細

(1) 子ども議員名

議 長	10 番	柴 田 千紗都	議員 (大口中学校代表議員)
南小学校代表議員	1 番	井 上 天飛人	議員
	2 番	前 田 幸 輝	議員
北小学校代表議員	3 番	鹿 間 珠 乃	議員
	4 番	下 山 彩 乃	議員
西小学校代表議員	5 番	石 井 優 衣	議員
	6 番	服 部 秀 斗	議員

大口中学校代表議員 7番 矢崎佳穂 議員 8番 若田 燎 議員

9番 阿部 凌也 議員 11番 鈴木 萌梨 議員

12番 寺澤 開人 議員 13番 宮川 拓海 議員

14番 村田 香鈴 議員 15番 室町 春花 議員

「子ども議会宣言」提案議員

7番 矢崎佳穂 議員 8番 若田 燎 議員

(2) スケジュール

事前学習会 8月27日(月) 午前9時30分から午後0時10分

時間	内 容
9:00	受付
9:25	議場に集合
9:28	典礼、日程説明、留意事項等：前田 50th 事務局長
9:33	大竹 50th 委員長あいさつ
9:35	森町長あいさつ 任命証書の手交
9:46	自己紹介（出席者全員）
9:50	議会の歴史としくみの学習：河合議会事務局長
10:10	パネルディスカッション ～ 議員からの注意点や経験談 ～ コーディネーター：岡議員 パネラー：木野議長、酒井議員、宮田総務建設常任委員長、 丹羽孝文教福祉常任委員長
11:07	休憩
11:17	本会議リハーサル 議長の進行に従い質問席に行き質問を朗読し、自席に戻る。
11:58	「子ども議会宣言」リハーサル
12:05	子ども議会当日の日程確認等
12:09	質疑応答・諸連絡
12:10	解散

本会議 8月28日(火) 午前9時30分から午前11時29分

時間	内 容
9:00	受付
9:25	議場着席
9:30	50周年記念事業推進委員会 大竹委員長あいさつ
9:32	自己紹介（議場内着席者）
9:39	開会のことば（柴田議長） 子ども議会質問（8名）

10:19	休憩
10:31	再会のことば（柴田議長） 子ども議会質問（6名）
11:11	子ども議会宣言 提案：矢崎議員、若田議員
11:15	木野大口町議会議長講評
11:20	森町長総括答弁
11:27	閉会のことば（柴田議長）、集合写真撮影
11:29	解散

（３）任命証書

任命証書 〇〇〇〇様 あなたを町制五十周年記念「子ども議会」の議員に 任命します この体験を通し次のまちづくりの主役 になってもらえることを心から期待しております 平成二十四年八月二十七日 大口町長 森 進 大口町制施行五十周年記念事業推進委員会 委員長 大竹 伸一	
---	--

(4) 質問概要と回答担当課及び議場での回答者

議 員 名	質 問 概 要	回答担当課及び回答者
井上 天飛人 ^{たかひと}	農業公園構想について	建設農政課 渡邊課長
前田 幸輝 ^{よしき}	子どものボランティアについて	地域振興課 平岡課長
鹿間 珠乃 ^{じゅの}	子どものボランティア参加について	学校教育課 竹本課長
下山 彩乃 ^{あやの}	交通不便について	地域振興課 平岡課長
石井 優衣 ^{ゆい}	福祉について	健康生きがい課 宇野課長
服部 秀斗 ^{しゅうと}	防犯推進について	町民安全課 鶴飼課長
矢崎 佳穂 ^{かほ}	まちづくりイベントについて	地域振興課 平岡課長
若田 燎 ^{りょう}	交通安全・防犯について	町民安全課 鶴飼課長
阿部 凌也 ^{りょうや}	大口町の節電について	環境課 近藤課長
		学校教育課 竹本課長
鈴木 萌梨 ^{もえり}	町の図書館について	図書館 熊崎図書館長
寺澤 開人 ^{かいと}	旧北小学校の活用について	旧北小跡地利用 検討プロジェクト (政策推進課) 岩崎プロジェクトリーダー
宮川 拓海 ^{たくみ}	防災について	(環境課、町民安全課) 杉本地域協働部長
村田 香鈴 ^{かりん}	待機児童、保育所問題について	福祉子ども課 中野保育長
室町 春花 ^{はるか}	食の安全について	大森副町長

「大口町子ども議会宣言」

私たちは、大口町の子ども代表として子ども議会に参加しました。この子ども議会において次のことを宣言し、一人一人がこれからのまちづくりの主役となることを誓います。

1. 私たちは、大口町が安全で平和な町であることを
願い、命を大切にします。

1. 私たちは、人を思いやり助け合える、地域の^{きずな}絆を
大切にします。

1. 私たちは、自然を守り「桜のまち」大口町を人と
自然が共生できる町にします。

平成24年8月28日

町制50周年記念 子ども議会

議長 柴田 千沙都 (大口中学校代表議員)

大口南小学校代表議員	井 上 天飛人	前 田 幸 輝
大口北小学校代表議員	鹿 間 珠 乃	下 山 彩 乃
大口西小学校代表議員	石 井 優 衣	服 部 秀 斗
大口中学校代表議員	矢 崎 佳 穂	若 田 燦
	阿 部 凌 也	鈴 木 萌 梨
	寺 澤 開 人	宮 川 拓 海
	村 田 香 鈴	室 町 春 花

(6) 出席者

8月27日(月) 事前学習会

子ども議会議員 15名 全員

大口町議会

木野議長、宮田総務建設常任委員長、丹羽勉文教福祉常任委員長、

河合議会事務局長

大口町町長事務部局

森町長、小島総務部長

大口町教育委員会事務局

長屋教育長

子ども議会検討会委員

大竹 50th 委員長、酒井議員、岡議員、天野南小校務主任、松山北小教務主任、

梅田西小教務主任、浅田大中校務主任、中村 50th 部会長、堀部 50th 委員、

後藤 50th 委員、田中 50th 委員、稲垣 50th 委員

その他

社本 50th 副委員長、長谷川委員、小中学校の教諭4名、井藤(撮影)、

酒井(撮影)

8月28日(火) 子ども議会本会議

子ども議会議員 15名 全員

大口町議会

木野議長、吉田副議長、酒井議員、岡議員、河合議会事務局長

大口町

森町長、大森副町長、長屋教育長、杉本地域協働部長、近藤(定)健康福祉

部長、野田建設部長、小島総務部長、近藤(孝)生涯学習部長、吉田(治)

会計管理者、鶴飼町民安全課長、近藤(勝)環境課長、平岡地域振興課長、

宇野健康生きがい課長、天野福祉子ども課長、中野(幸)保育長、渡邊(俊)

建設農政課長、社本(寛)政策推進課長、竹本学校教育課長、熊崎図書館長、

岩崎旧北小跡地利用プロジェクトリーダー

小中学校

天野南小校務主任、梅田西小教務主任、浅田大中校務主任、

50th推進委員会

大竹委員長、社本副委員長、中村部会長、堀部委員、後藤委員、田中委員、

長谷川委員

その他

松山行政課主任(配信)、田中行政課主事(配信)、井藤さん(撮影)、酒井さ

ん(撮影)、AZオン(撮影中継、配信)

(7) 傍聴者

8月27日(月)

吉田副議長、小中学校教諭 計5人

8月28日(火)

町内小中学校の校長始め教諭、子ども議員の家族、町議会議員、50th 委員など計40名ほど。

(8) 配布物

子ども議会議員に図書券(千円)と500mlペットボトルお茶

4 主な経費(50th 推進委員会会計)

支出の部

参加記念品	12,500円
録画、放映配信資機材等	92,660円
記録DVD編集、作成	55,735円
子ども議会宣言用額、用紙等	83,805円
保険料	1,240円
計	245,940円

5 部会長所感

たった2時間の議場での討議活動に参加するために、それに向けて多くの人から得た知識を自分のものにしようと最善の努力を重ねる。そして、精一杯の体制でその時を迎える。

つまり、 $(1+1=2)$ であることを100%信じ何事にも取り組む。素晴らしい!

贈呈式として、子ども議員が額装した「子ども議会宣言」を町議会議長に手渡した折、副町長から「大学生になって大口町から出ても、また戻ってきてほしい。」とか、議長から「子ども議会で要望が出た図書館の看板ができたね。明後日から我々も一般質問が始まるよ。」と話しかけられ、子どもたちの目は輝いていた。

将来の大人に純粋な気持ちを持ち続けさせるのは、先輩である我等大人の役目だと思う。

事業記録写真

事前学習会



森町長から子ども議員一人ひとりに任命証書を手交



河合議会事務局長から
議会の歴史と仕組みの講義



パネルディスカッションの
コーディネーター役の岡議員



パネラー役の木野議長（右下）と
宮田総務建設常任委員長（隣）

パネラー役の
丹羽勉文教福祉常任委員会委員長



パネラー役の酒井議員



ユーストリームでの
配信準備 ↓



子ども議会本会議



議長役の柴田議員と
そのサポート役の木野大口町議会議長

開会のあいさつをする大竹委員長



井上議員



鹿間議員



前田議員



下山議員



服部議員



矢崎議員



石井議員



若田議員



阿部議員



鈴木議員



寺澤議員



宮川議員



村田議員



室町議員





「子ども議会宣言」を提案する

若田議員と矢崎議員

木野大口町議会議長講評



↑ 総括答弁をする森町長

↓ 同時中継会場 →



録画・中継の資機材



町執行部側の風景



庁舎4階にある傍聴席風景



『防災訓練と地域防災事業』

日時：平成24年9月22日（土） 午前9時 ～ 午後1時

内容：大口町防災訓練

検討組織：防災部会

部会長：佐竹金政

部会員：大竹伸一、三輪純一、後藤清子、社本良子、兼松昌史

1 目的

東海、東南海、南海地震の発生が危惧されていた中で発生した東日本大震災の未曾有の被害により、防災に高い関心が寄せられている今、50thを機に防災（地域防災、町防災）について、町民目線での検討を継続し、地域に密着した地域防災の在り方、町防災の在り方をまとめていく。

2 事業の経緯と概要

阪神淡路大震災そして直近に発生した東日本大震災を目の当たりにし、大規模災害への備えと、広域での対応が不可欠であると認識し、町域を超えた防災訓練の実施、地域防災の在り方を見つめ直す、町防災に町民目線での検討を反映するといった大志を持って、検討を進めました。部会員の知識の向上を図ることも必要と外部の防災セミナーにも出掛けて研修もしました。

隣町の扶桑町も年を同じくして町制60周年に当たること、常備消防を両町で一部事務組合を立ち上げて共同処理していることなどから、扶桑町や丹羽消防署に広域防災訓練の実施を投げかけてみましたが、訓練想定が難しく両町防災担当が苦慮したこと、会場の統一についても苦慮したことなどから、残念ながら成案を見ることはできませんでした。

地域防災の在り方については、行政区単位の地域防災計画の策定や防災体制について検討するべきとの案もありましたが、単年度で出来ることではないため、まずは出来ることからやろうということとなりました。東日本大震災において一人の犠牲者さえ出すことのなかった釜石市の小学校を指導していたとして一躍時の人となった片田先生を招いて防災講演会を開催し、町民の防災意識をより高めようという案が出て、動き出したかにみえましたが、先生の予定が取れないことなどにより、これも成案を見ることはできませんでした。

では、出来ることは何？という検討の中、毎年開催している町防災訓練に相乗りし、防災部会として訓練内容を検討し、実施しようということで、検討を重ねました。結果、旧北小跡地を会場として、防災部会と町との協働による防災訓練を2部構成で実施することとし、50th推進委員会は第2部を主に担い、中でも炊出し訓練を担当しました。

第1部は、地域から会場までの集団避難訓練後、地区ごとに分かれて屋内運動場で避難所設営訓練、地域の危険箇所、被害状況を落した地図の作成訓練を行いました。

第2部は、炊出し訓練、防災関連設備、グッズ等の展示、各種体験コーナーを企業や各種団体、丹羽消防署などの協力のもと行いました。

大口町防災訓練が住民との協働で開催されたのは初めてで、その意義は大きなものがありますが、反省点も多くありました。50th委員も住民には変わりありませんが、一般参加者に炊出し訓練を実践してもらうべきであったし、第2部の自由参加の訓練では、はしご車と地震体験車の体験コーナー、炊出し配給訓練による試食があるなどの理由でもう少し来場者、参加者があると見込んでいましたが、実際の来場者、参加者が少なくPR不足を痛感しました。多くの団体、企業の方に協力していただいたので、申し訳ない思いでした。

反面、来場者、参加者にとっては混み合うこともなく、待つこともなくすべてのコーナーで思い思いに参加、見学することができたので、良かったのでは？協働で開催できたことの意義深さを今後の訓練等に継続できるようにすると共に反省点も今後の地域防災の在り方、訓練などに役立てていきたいと思います。

町防災への町民目線での反映については、防災訓練の企画、運営を通して感じたことなどをまとめ、「町防災への提言」として提言書を提出しました。

3 事業詳細

大口町防災訓練

9月22日(土) 町内全域並びに旧北小学校運動場及び屋内運動場

主 催 大口町、大口町制施行50周年記念事業推進委員会

災害想定 9月22日(土)午前8時05分頃、地震発生。地震の規模は、マグニチュード8.4。町内震度は、一部地域で震度5強、その他は震度5弱から震度4。午前8時25分災害対策本部を設置。避難所を7か所開設し、100名ほどの避難者あり。その他公園等にも避難者あり。死傷者及び建物被害については確認中だが、家屋、塀などの倒壊があり、道路にも陥没箇所がある模様。国道41号線及び155号線は、緊急車両以外通行禁止。中小口区内の一部で断水報告あり。都市ガスは町内全域で供給停止。電話回線も一部で不通。

参加者

11行政区の自主防災会から各10名 計110名

大口町 大口町地域防災計画による担当者

町長を災害対策本部長とする非常配備員計69名

大口町議会

大口町制施行50周年記念事業推進委員会 18名

大竹委員長、社本副委員長、鈴木委員、松永委員、長谷川委員、三輪委員、佐竹義委員、後藤委員、土屋委員、田中委員、稲垣委員、堀部委員、中村委員、埴田

委員、前田委員、（佐竹金委員、水野委員、兼松委員）

町内外参加団体 12団体 計90名

丹羽広域事務組合、大口町消防団、大口町社会福祉協議会、大口町災害救援ボランティア、D・サポート丹羽、サラダボールC o. 丹羽石油ガス共同組合、中部電力(株)小牧営業所、東邦ガス(株)、(株)NTT西日本 - 東海災害対策室、コカ・コーラセントラルジャパン(株)、中部三菱自動車販売(株)

訓練内容

第1部 午前9時から午前11時

・避難路安全確認訓練

内 容…徒歩による実際の避難訓練途中の危険箇所などを確認し、地図に落とし込み、まとめる訓練。

参加者…北小学校区（外坪、河北、上小口、中小口、下小口の各区自主防災会）の皆さん

・避難所設営訓練

内 容…段ボールや新聞紙などを使って、避難所内の間仕切り、避難所生活で必要なものを実際に作る訓練。

参加者…西小学校区（余野、垣田、さつきヶ丘の各区自主防災会）の皆さん

・DIG（図上訓練）

内 容…被害想定などを相談しながら地図に落とし込み、まとめる訓練。

参加者…南小学校区（秋田、豊田、大屋敷の各区自主防災会）の皆さん

※以上、場所は旧北小体育館内、指導者は大口町災害救援ボランティアの皆さん

・炊出し訓練

内 容 ハソリを使用したご飯炊き&豚汁づくり、ガス炊飯器を使用したご飯炊き

参加者…50t h推進委員会委員+協力者

場所は、旧北小体育館北側

・災害対策本部訓練

内 容 地域協働部…災害対策本部運用訓練、参集訓練、安否確認訓練、情報収集訓練、被害状況伝達訓練

救出救護部…避難所受入訓練、避難所設営訓練、救援物資取扱い訓練

応急復旧部…情報収集訓練、応急復旧訓練、簡易トイレ設置訓練

情報収集部…情報収集訓練、広報訓練、情報連絡訓練

給食給水部…給水訓練、炊出し訓練

参加者…災害対策本部員（町長以下役場職員）、丹羽広域事務組合水道部、大口町消防団

場所は、町内全域並びに役場庁舎及び旧北小学校跡地

第2部 午前11時から午後1時（自由参加、場所は旧北小グラウンド）

・炊出し配給訓練

- …50th推進委員会委員＋協力者で、訓練参加者におにぎりと豚汁を配給
- ・防災紙芝居の上演
 - …50th推進委員会委員による防災紙芝居を上演
- ・スタンプラリーの実施
 - …第2部の各コーナーを回るスタンプラリーを実施。粗品進呈。
- ・初期消火訓練、応急手当訓練、はしご車体験、エアーテント展示
 - …丹羽広域事務組合消防部による各種訓練
- ・放水訓練
 - …大口町消防団による実際の消火活動で使う口径40ミリのホースでの放水体験
- ・ボランティアセンター開設・受付訓練
 - …大口町社会福祉協議会、大口町災害救援ボランティアによるボラセンの開設及びボランティア受付訓練
- ・電気の復旧訓練・展示
 - …中部電力㈱小牧営業所による電気の復旧訓練
- ・衛星電話・災害ダイヤルの開設訓練
 - …㈱NTT西日本-東海による衛星電話の開設と災害伝言ダイヤル等の開設訓練と使用説明
- ・地震体験車
 - …大口町役場による愛知県所有の地震体験車で地震を体験
- ・防災に関する各種啓発展示
 - 防災展示…Dサポート丹羽、サラダボールCo.、東邦ガス㈱、丹羽石油ガス共同組合、大口町役場
- ・電気自動車の展示
 - …中部三菱自動車販売㈱による電気自動車の展示
- ・飲料水の販売
 - …コカ・コーラセントラルジャパン㈱による飲料水の販売

50th 推進委員会の訓練・展示内容の詳細

炊出し訓練、炊出し配給訓練

有事の際には、ライフラインにも大きな影響があり、電気、ガスが止まること、各家庭でも大きな被害があることが想定され、ハソリを使つての豚汁づくり、ご飯炊き、プロパンガス炊飯器でのご飯炊きを実践しました。

資機材は、日赤大口町分区が所有しているものを借り、プロパンガスは町内業者をお願いして用意しました。なお、日赤大口町分区が所有している炊出し資機材には、アタッチメント（簡易接続）でプロパンガスボンベと接続できない機材があり、これはガス業者（有資格者）でないと設置作業ができないとのことでした。材料は、300人分を目安に用意し、前日に各委員が分担して自宅に持ち帰り、切ってきました。ハソリでの豚汁づくりは、鈴木委員が指導者。ご飯炊きは

女性の方に利があるようでした。どちらも美味しく出来上がりましたが、ご飯はガス炊飯器よりハソリで炊いたおごげがある方がより美味しく感じられ、訓練参加者の皆さんは、お代りをして試食してくれました。

なお、短時間で多人数分を作らないといけなかったので、民生委員5名の皆さんが協力をしてくれました。

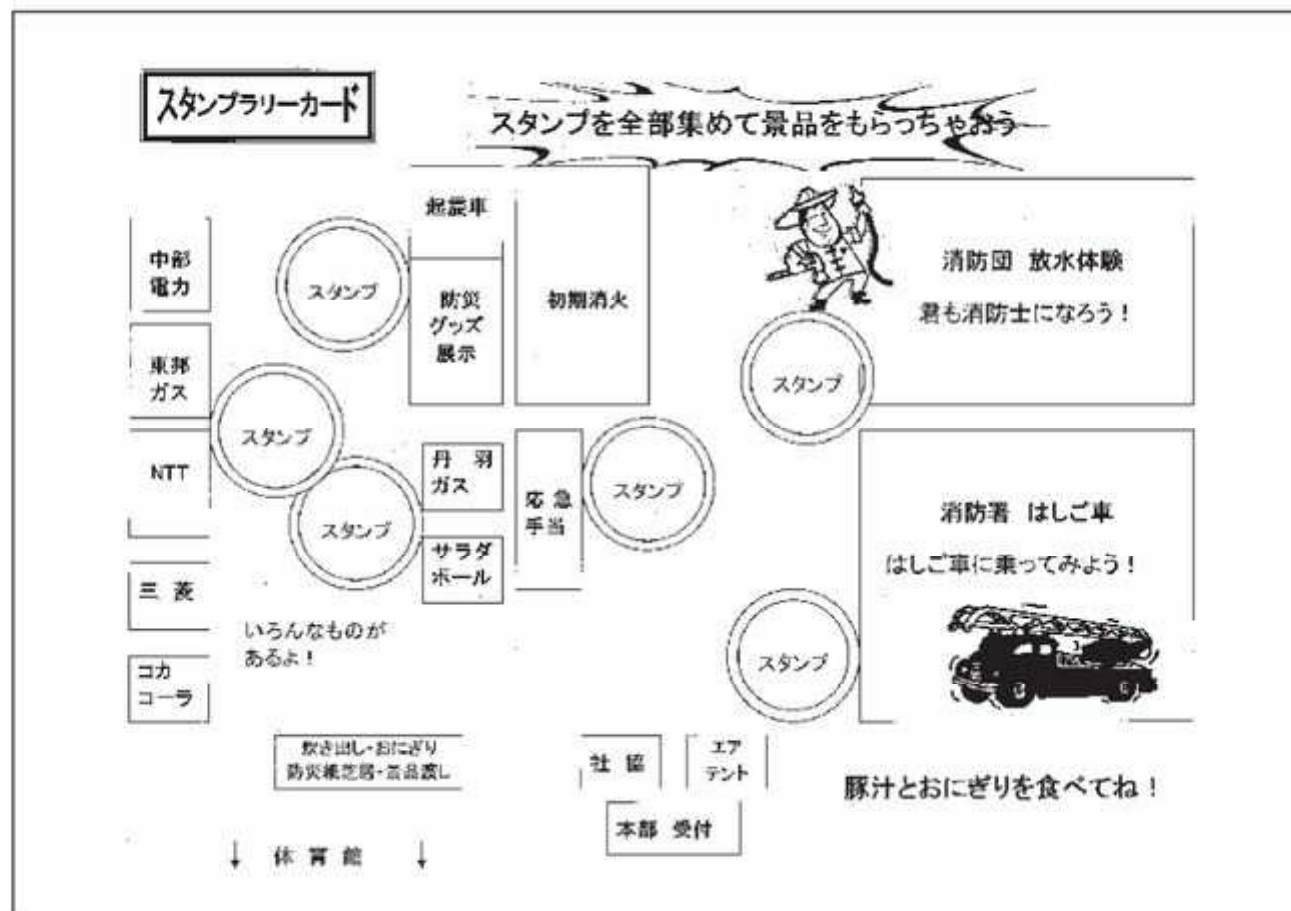
防災紙芝居

子ども向けの内容があっても良いのではと、佐竹金部会長が自らの防災研修でいただいた防災紙芝居があると聞き、その防災紙芝居を上演することとしました。紙芝居の化粧箱を大口町立図書館から借りて、炊出し訓練テント横で中村委員が上演しました。

スタンプラリー

第2部は、自由参加での訓練、防災展示が内容でしたので、一人でも多くの方に来ていただきたいし、また一つでも多くの訓練、展示を見ていただきたいとの思いから、スタンプラリーを実施することとしました。実際の来場者は、残念ながら少なかったのですが、スタンプラリーの効果は？

スタンプラリーカード



提言書の提出

50周年の年度も終わる平成25年3月末に、森町長宛提出をしました。その内容は、以下のとおりです。

平成25年3月31日

大口町長 森 進 様

大口町制施行50周年記念事業推進委員会
委員長 大 竹 伸 一

町防災に関する提言書

大口町制50周年記念事業として取り組んだ大口町防災訓練の企画・検討に基づき実施した避難訓練、図上訓練、炊き出し訓練などを通し、町防災並びに地域防災について考える機会を得ました。その中で委員が感じたことや意見を当委員会の防災部会にて下記のとおり取りまとめましたので、提言します。今後の我が町の防災行政及び地域防災計画の一助にいただければ幸いです。

記

1 町防災訓練への提言

想定する大災害に対応した訓練を実施するとともに、訓練種目に避難訓練と図上訓練を必ず入れる。避難訓練は、実際に避難する場合の避難経路、危険箇所、避難場所の把握、確認につながり、それと併せて行う図上訓練により、その再確認ができると共に訓練参加者のみならず参加していない住民も情報を共有することができるという大きなメリットがある。

2 地域防災への提言

(1) 地区防災委員の養成とその複数年任期制の導入

- ・大口町社会福祉協議会等とタイアップして、地区の防災委員の養成を行う。
- ・知識を積んだ防災委員を複数年任期とし、防災委員の交代は全員が代わるのではなく一部の交代とする。

(2) 地区の防災訓練の充実

- ・地区の防災訓練並びに訓練種目として避難訓練、図上訓練及び炊き出し訓練を毎年行うよう行政区等に働きかけると共に、その指導、フォローをする。
- ・図上訓練には地図が不可欠であるので、地区毎に縮尺の大きな図面を作成し、配布する。
- ・地区の情報（高齢者、障害のある方など避難をするのに援助が必要な方等の情報、居住者情報など）が必要不可欠であるので、その情報提供に配慮する。
- ・災害時の食料確保は大きな課題であり、炊出し器具の配備と共にその取扱いの習熟度を上げることができるよう配慮する。
- ・地区防災委員のみならず、地区の代表である区長や区の役員への防災に係る研修をも充実させ、住民の防災意識を高めると共に高い水準で維持する。

(3) 町内企業等との連携

- ・事業内容（敷地、設備、保有薬品、危険物の有無）などを考慮した上で、避難所又は一時避難所として活用できる場所、施設がないか町内企業、事業者と検討し、連携を図る。
- ・町行政や地区では常備できない重機等特殊資機材等を有する事業者と有事の際には事業に優先し災害復旧等に使用できるよう町内企業、事業者と協議し、連携を図る。

(4) 情報の共有と大切さ

- ・自ら備えることも大切であるが、一人で出来ることには限界がある。また、行政に出来ることも限界がある。「向こう三軒両隣」という言葉があるように、非常時においては近所同士の助け合いが不可欠である。このため、近所同士の連携の啓発に努める。
- ・有事の際、情報は生命をも左右する。地域住民が的確にリアルタイムな情報を得、共有できるよう設備整備を図ると共にその重要性を啓発する。

(5) 防災設備・器具の充実

- ・地区に防災倉庫を配備する。
- ・備えあれば憂いなし。地域住民が安心できるよう地区に必要最低限の防災備品、機具を配備する。

4 主な経費（50th 支出分：50th 推進委員会会計）

支出の部

炊出し訓練材料費	29,687円
計	29,687円

5 部会長所感

(1) 所感

各地区から多くの参加者があり、防災に対する意識の高さを感じた。
地域と行政、各関係機関が一同に会し同一步調で取りくむことができた。またお互いに情報交換したり、意見交換したりして、今後の見通しを持つことができた。

(2) 意見・要望

地区役員や担当者の意識は高く、防災に対しての取り組みも軌道に乗りつつあるが、まだまだ一般の人たちへの啓発が十分ではないと感じる。そこで今後以下のような実践訓練を行っていくとよいと思う。

- ・DIG(図上訓練)・・・地域の現況が把握できる。
- ・避難路安全確認訓練(地図と現地)
- ・要支援者確認訓練(本人の承諾)
- ・簡易担架作製、車椅子体験訓練
- ・家の耐震化・家具の転倒防止・非常持ち出し袋の点検等
- ・向う3軒両隣の精神(普段から仲良く助け合う)の啓発
- ・防災倉庫、その他の備品の整備を確実に進め、地域防災の備えを万全にする。

事業記録写真

第1部：炊出し訓練



豚汁づくり



ご飯炊き（ガス炊飯器）



おにぎりづくりとハソリでのご飯炊き

第1部：避難路安全確認訓練、避難所設営訓練、DIG（図上訓練）

（オレンジ色ベスト着用者は図上訓練の指導をするボランティア）





第2部：炊出し配給訓練



はしご車体験搭乗

放水体験



消火訓練



エアータントの展示



大口町災害救援ボランティアの展示コーナー



地震体験車「なまず号」の様子



中部電力(株)小牧営業所の展示・体験コーナー



NTT 西日本-東海の衛星電話体験



ポリ袋で出来る非常食の実演・試食



『桜・河川環境保護事業』

内容１：記念植樹

場所：大口南小学校

とき：平成２４年３月６日（土）

場所：平和公園、大口中学校、大口北小学校、大口西小学校

とき：平成２４年１２月２０日（木）

内容２：桜ライン３１１植樹活動への参加

場所：岩手県陸前高田市内

とき：平成２４年１１月１６日（金）～１８日（日） 植樹活動は、１７日（土）

内容３：五条川クリーンアップ作戦への参加

場所：町内五条川

とき：平成２５年３月３日（日）

検討組織：桜・河川環境保護部会

部会長 鈴木義彦

部会員 大竹伸一、社本良子、宇野省、水野真澄

１ 目的

大口町のシンボルである桜と五条川の自然環境の保全について、様々な活動をしている団体や個人を結びつけて、体系的に協議・検討・活動する場を創設したい。その一環として、小中学校に町の花である桜の木を植樹し、子どもの頃から郷土の自然保護に興味を持たせる。

２ 事業の経過と概要

上記の目的のもと事業内容の検討を進めましたが、主眼であった桜や五条川に係る様々な団体や個人を結び付け、体系的に活動できる場の検討は進みませんでした。現に五条川始め町内河川及び桜に係る活動をしている団体の把握も十分に出来ていなかったこと、活動も様々でありそれをどう結び付け、どう導くのかが見えなかったことが大きな要因だと思う。

結果として、目的として掲げた内容で残ったのは町の花である桜の木の記念植樹をすることだけでした。記念植樹に関しては、大口南小学校を平成２４年４月に移転新築したため、開校前に先行植樹をさせてもらいましたが、植樹に適した時期が秋以降ということだったので、その他の場所への植樹は当面の検討・協議が進まない状態が続きました。

夏前になり桜のまち大口として「桜ライン３１１」の植樹活動に参加してはという意

見が出、時期を同じくして「50周年記念事業で桜ライン311植樹活動を応援して欲しい。」とするふるさと納税があったこと、7月末に桜ライン311の橋詰代表が来庁されたこともあって検討に拍車がつき、50th推進委員会の了承を得て、新たに50周年記念事業として進めることとなりました。他の50th事業予定を勘案し、桜ライン311事務局との調整の結果、平成24年11月17日（土）に行われる予定の植樹活動に参加しようという日程が決まりました。町民参加者を募ってはとの意見も出ましたが、日にちが決まっていたこと、移動人数に制限があること、予算にも限りがあることなどにより、50th推進委員のみで、自己負担ありの参加ということで50th推進委員会委員の参加希望を採った結果、部会員を含む8名の50th委員が参加することとなりました。

桜ライン311の事務局に、現地での植樹に適した桜の種類、苗木の希望の大きさ、数を聞き、結果として「オオヤマザクラ」の1.5mの苗木10本を事前に送りました。植樹予定日の前日である16日（金）のFDA午後便で県営名古屋空港を後にする予定で一旦滑走路に出た機体が機器トラブルにより引き返すということがありましたが、1時間遅れ程度で無事出発しました。持参したのは、健康麦茶「桜野」の売上中桜ライン311活動支援金分40,900円に今回の植樹活動参加者からの寄附金9,100円を足した5万円とさくらメイトからの委託を受けた支援金で、事務局に手渡すことができました。

植樹活動中の現地では、さくら色の50thスタッフジャンパーを着て活動している姿が目にとまり、テレビ岩手の取材を受け、現地テレビで放映されました。長谷川委員の明るく力強い元気が印象的でした。

また、最終日の18日（日）には、ちょっと距離は離れていますが、大口町が職員を派遣している「南三陸町」を訪れました。役場女性職員が避難を呼びかける防災無線放送に最後まで従事した結果、防災庁舎と共に津波に流され殉職したという事実がテレビでも何度も放映されたその地を訪れたのです。骨組だけになった防災庁舎の保存か撤去かを巡って意見が割れているようですが、最後まで住民のことを思い殉職した職員がいたことだけは忘れないようにしたいと、手を合わせてご冥福をお祈りして来しました。

これまでの間、記念植樹についても検討をしてきましたが、学校側の承諾を得ることはできましたが、学校以外の公共施設への植樹場所がなかなか決まりませんでした。できれば、庁舎敷地内に植樹したかったのですが適した場所がなく、結果として大口中学校横の平和公園への植樹と決まりました。大口南小学校については、前述の理由により前倒しで記念植樹をさせてもらったのですが、残念ながら夏に枯れてしまい、保証の範囲内ということで再度植樹がされました。他の小中学校への植樹は期日を決めるだけになっていましたので、12月20日（木）に関係者立会いのもと植樹を行うという日程となりました。

植樹記念プレートについては、当初は昔ながらの白色の木の角柱でという意見が強く、経費面でもステンレスプレートなどと比べると安価（3分の2程度）であったため、木柱で予定をしていました。ただ、木柱では5年ほどしか持たず、記念植樹目的達成のためには永年に亘って立ち続けないといけないとの判断から調整をした結果、町内のステ

ンレス加工業者で木柱と変わらない経費で施工することができると分かりましたので、ステンレス製によるプレートに切り替え、施工しました。

なお、五条川堤への植樹の経緯の周知と顕彰、五条川を中心とした町内河川とその自然環境の保全、桜、河川関係の活動を続ける団体と支援等どう関わりを持つのが課題として残っていましたが、この時期になってその検討をするのは無理との結論となり、残りの期間に出来ることをしようということで五条川・合瀬川・矢戸川クリーンアップ活動への参加を呼び掛け、50th委員6名が参加しました。

3 事業詳細

桜ライン311植樹活動

参加委員 8名

団長：鈴木義彦部会長

団員：大竹伸一部会員、社本良子部会員、水野真澄部会員、
長谷川実委員、佐竹金政委員、田中百百代委員、齊木徹委員

スケジュール

11月12日（月） 桜ライン311事務局へ植樹用の桜苗木（オオヤマザクラ）を
10本送付

11月16日（金）

午後0時55分 庁舎前集合

午後1時 副町長の見送りを受け、庁舎発

午後1時25分 県営名古屋空港着

午後2時30分 離陸できず、滑走路から引き返す。

午後3時35分 県営名古屋空港発

午後4時50分 花巻空港着 レンタカーで宿泊所へ

午後6時30分 宿泊所着

11月17日（土）

午前5時30分 起床

午前6時 宿泊所発

午前7時 受付・全体ミーティング

午前9時 植樹活動開始

正午 植樹活動終了 宿泊所へ

11月18日（日）

午前9時 宿泊所発

午前10時30分 南三陸町着

南三陸町庁舎、防災庁舎等見学

午後1時 南三陸町発

午後3時30分 花巻空港着

午後4時15分 花巻空港発
午後5時35分 県営名古屋空港着
午後6時20分 役場着 解散

テレビ岩手 桜ライン311植樹活動放映日
平成24年11月26日(火) 午後5時19分頃
番組名：5きげんテレビ

町長に支援活動報告
11月19日(月)
報告者：大竹委員長、社本副委員長、鈴木部会長、水野委員

記念植樹(ソメイヨシノ)
3月 6日(木)
大口南小学校
出席者：古瀬校長、伊藤教頭
大竹委員長、社本副委員長、鈴木部会長、宇野委員、水野委員

12月20日(木)
大口北小学校 午前10時 ～ 午前10時15分
出席者：小川教頭、
大竹委員長、社本副委員長、鈴木部会長、宇野委員、長谷川委員、
佐竹義委員、中村委員

平和公園 午前11時10分 ～ 午前11時30分
出席者：森町長、木野議長、小島総務部長
大竹委員長、社本副委員長、鈴木部会長、宇野委員、長谷川委員、
佐竹義委員、中村委員

大口中学校 午後1時25分 ～ 午後1時45分
出席者：長屋教育長、田中校長、櫻井教頭、浅田校務主任、那須2年生学年主任、
岩田学校教育課主幹、生徒代表の2年生(大森陽平君、金子奨君、
町田翔君、水谷颯斗君、橋爪里沙子さん、水谷玲那さん、吉田寛奈さん)
大竹委員長、社本副委員長、鈴木部会長、宇野委員、水野委員、
長谷川委員

大口西小学校 午後1時55分 ～ 午後2時15分
出席者：岩田校長、子安教頭
大竹委員長、社本副委員長、鈴木部会長、宇野委員、長谷川委員、
齊木委員

平成25年1月19日（土） 記念植樹プレート設置

五条川・合瀬川・矢戸川クリーンアップ活動

平成25年3月3日（日） 午前9時 ～ 午前10時30分

出席者：鈴木義彦、松永盈任、長谷川実、佐竹義昇、佐竹金政、堀部令子

4 主な経費（50th 推進委員会会計）

収入の部

桜ライン311植樹活動参加委員寄附	9,100円
計	9,100円

支出の部

桜ライン311苗木代（送料込）	28,350円
桜ライン311植樹活動支援金	9,100円
桜ライン311植樹活動	420,465円
記念植樹苗木等（4本分）	63,226円
記念植樹プレート（工事費込、5本分）	199,500円
計	720,641円

※ 桜ライン311植樹活動支援金は、健康麦茶「桜野」の売上金中の活動支援金40,900円と併せ、5万円を手渡しています。

※ 平成24年度のふるさと納税額は43万円で、支出中桜ライン311植樹活動経費に充当させていただいています。

5 部会長所感

50周年推進委員として1年間いろいろな行事に参加させていただき、ありがとうございました。また、多くの方々と知りあえた事は、何ものにも代え難いものと感謝いたしております。

次々と多くの行事が行われてきましたが、桜部会として私の脳裏にまざまざと思い浮かびますのは、11月に陸前高田に推進委員総勢8人で桜ライン311に2泊3日で行ったことです。

大口町の代表として恥ずかしくない行動をしようと8人申し合わせ、力の限りガンバロウ！と現地に赴きましたが、新聞、テレビなど見る以上にすざましい震災の爪痕を残しておりました。もう少しは復興しているものと漠然と思っておりました私は、自然の災害の前にはなんと人は無力なものと、改めて思い知らされたしだいです。

全国から、老若男女が桜の植樹に多く集まり、泥まみれで頑張られる姿に感動するとともに、我々も和気あいあいと作業は順調に予定どおり無事終えることができました。植樹した神田ブドウ園の社長はじめ従業員の方々にも大変喜んでいただけました。

また、これは本当にサプライズなのですが、我々が行きました当日、岩手放送が取材に来られ、我々大口から来た植樹の様子が岩手放送のニュース番組で大々的に放映されました。番組の人気メインキャスターとも親しく打ち解けて話などができ、一同大喜びで一生忘れられない日となりました。

また、12月20日は森町長、町会議長、中学生などによる植樹式も、忘れ難いものです。当日は、北小学校、平和公園、大口中学校、西小学校で記念植樹を行いました。

最後に陸前高田桜ライン311に、大口町が引き続き参加されることを希望してやみません。

事業記録写真



桜ライン311 植樹活動



大森副町長他の見送りを受けて役場玄関前を出発



搭乗したFDAと搭乗前の様子
県営名古屋空港



橋詰代表が留守のため副代表があいさつ



植樹活動参加手続きをする鈴木団長



事務局到着後支援金等を贈呈

植樹風景と記念の集合写真



植樹場所は、マズカットサイダーが地場産業復興の
のろしにもなった(有)神田葡萄園

記念植樹

南小学校（植樹場所：正門左手前）



古瀬校長と大竹委員長



伊藤教頭と鈴木部会長

北小学校（植樹場所：体育館西）



小川教頭と大竹委員長



鈴木部会長、佐竹義委員、長谷川委員

西小学校（植樹場所：正門右奥）



岩田校長、子安教頭と大竹委員長



水野委員、長谷川委員、社本副委員長、齊木委員

平和公園（植樹場所：平和の礎左横）



森町長、木野議長と大竹委員長



中村委員、佐竹義委員、宇野委員、
社本副委員等、鈴木部会長

大口中学校（植樹場所：体育館入口右手前）



大森洋平君、金子奨君、水谷颯斗君、町田翔君



橋爪里沙子さん、水谷玲那さん、吉田寛奈さん



太竹委員長、長屋教育長、田中校長、櫻井教頭



記念の集合写真



植樹記念プレート



集合写真

『大口町表彰式』

日時：平成24年11月23日（金：祝） 午前9時57分～午前11時14分

場所：大口町健康文化センター 4階 ほほえみホール

検討組織：表彰式検討会

委員：田中義郎事務局長、宇野千春次長（大口町社会福祉協議会）

松永淳一主査、渡邊祥子主査（政策推進課）

大竹伸一、社本良子、松永盈任、長谷川実、中村和枝（50th 推進委員会）

：表彰式典部会

委員：大竹伸一、社本良子、松永盈任、長谷川実、中村和枝

1 目的

表彰条例に基づく一般表彰、自治功労者表彰を行う式典として、また50thを機にまちづくりに寄与・貢献していただいた個人・団体・組織を顕彰することにより、その御労苦を労うとともに明日の活力につなげる場として、表彰式典を開催する。

2 事業の経緯と概要

町の表彰式は、自治功労者表彰を除きこれまで秋に開催する周年記念式典の中でのみ（10年に1度）行われてきましたが、町制50周年では記念式典を町制施行日である4月1日に開催することし、町民手作りでシンプルな記念式典にしたいこと、表彰式典には検討時間が必要であることから、表彰式典は秋を目途に開催するとの方向性を出しました。

検討時間を必要とした主な理由は、大口町社会福祉協議会の表彰と大口町の表彰の1本化の模索、大口町表彰式の毎年開催化、現行の表彰条例等表彰に係る例規の見直しなどを検討するためでした。

まず、例規の見直しについては、表彰関係の主管課である政策推進課が表彰条例等の改正を検討し、例規審査会に諮ると共に条例の一部改正については9月議会で議決、規則等については9月議会の結果を受け一部改正を施行しました。

大口町表彰式としての1本化については、検討会を開催することとし、大口町社会福祉協議会、政策推進課に出席してもらい、検討を重ねました。大口町社会福祉協議会の協力により同協議会の規程等の整理をしてもらい、同協議会が福祉の集いを予定していた11月23日（金：祝）に、平成24年度大口町表彰式として一本化して開催することとしました。表彰状、感謝状等の用紙、記念品等についても協議をし、両団体同一步調とすることとしました。

頭を悩ましたのは、会場です。大口町としての表彰式をするので、多くの人に見てもらいたい、一緒に表彰者を祝ってもらえたらという思いがあったのですが、適した会場があ

りません。町民会館町民ホールは、広さ的には良いのですが2階にあるため階段を利用しないといけないし、エレベーターも小さいのが1基あるのみで、受付スペースや来賓接待をする部屋がありません。総合福祉会館集会室は、ちょっと広すぎる、土足で入れない、舞台照明がないなどです。結局、一般の方は入れませんが、福祉の集いを予定していた健康文化センターのほほえみホールでの開催もやむを得ないとの結論となりました。

表彰の内容としては、一部改正した大口町表彰条例及び同施行規則に基づく①自治功労者表彰、②一般表彰、新規制定した大口町褒賞規程に基づく③感謝状等の贈呈、④金婚表彰、社会福祉協議会ほう賞規程による⑤大口町長感謝、⑥社会福祉協議会長表彰、⑦社会福祉協議会長感謝状の贈呈としました。

なお、本年は町制施行50周年に当たるため、50周年に係る表彰、感謝状等についても検討をしましたが、成案を見るには至らず、ファイナルイベント又は次年度の表彰式典での検討となりました。

また、何らかの記念品を出したいという意見が出、大口町産の米粉を使った米粉ロールをミニサイズで出してはどうかという所まで議論が進みましたが、公費支出には理解が得られないとの結論。しかし、耕作くらぶが、今後もミニ米粉ロールを大口町の特産品として活用できるようにすること、助成するのは50周年の年度に限りであることを条件に、記念品を提供してくれることとなりました。製作元のドンバルさんに特注サイズのミニロールケーキの作製協力を依頼し、地域振興課臨時職員に米粉ロール紹介カード、外箱の帯をデザインしてもらい、表彰式典記念品として、参列者に持ち帰ってもらいました。

一方、アトラクションがあった方がよいとの意見が出て検討した結果、今回は、数人で踊ってもらえる民踊が良いとし、日本民踊研究会の安藤五四子さんをお願いしてはどうかということになり、後日安藤さん宅を田中社協事務局長と尋ね、お願いしたところ二つ返事で快諾してもらえた上に、謝礼については必要ないと固辞されました。

表彰式当日は、特に問題もなくスムーズな進行をすることができました。アトラクションもめでたい席にあった選曲と舞踊で、式典を盛り上げていただけました。

表彰式開催後にも検討会を開催し、今回の反省と共に来年度以降の毎年開催に向けた改善点などを話し合いました。

3 事業詳細

【表彰式次第】

典礼：音訳ボランティア タンボポのメンバー2名（交替で）

開式の辞：大竹 50th 委員長

国歌斉唱：音源はCD

先覚者及び東日本大震災等で亡くなられた方に対する黙とう（30秒）

式辞：森大口町長、舟橋大口町社会福祉協議会長

大口町表彰状授与

自治功労者：佐々信雄様、水野弘俊様

一般表彰：倉地和弘様、宮地計年様、
仙田比左夫様、土川照恵様、服部光延様、井上辰廣様
近藤清子様

大口町感謝状贈呈

近藤彰男様、奥村敏之様、
大塚成夫様、社本良子様、中神常光様

金婚表彰状授与

佐竹三喜雄・澄子ご夫妻	小澤敏郎・さだみご夫妻
江口修・芳江ご夫妻	大森順・清子ご夫妻
大森藤嗣・松栄ご夫妻	小松勝・秀子ご夫妻
宮地吉武・かつ子ご夫妻	今枝雄治・弘美ご夫妻
舟橋一雄・喜美子ご夫妻	松山茂・杉子ご夫妻
石原親治・千代子ご夫妻	石原三郎・政子ご夫妻
安藤長延・五四子ご夫妻	舟橋貫次・ちづ子ご夫妻
柘植正司・三紀子ご夫妻	角田美静・恵子ご夫妻
江口幸久・恵美子ご夫妻	浜田茂・チエご夫妻
瀧谷昌壽・詔子ご夫妻	小室保夫・紀代子ご夫妻
中島森夫・美智恵ご夫妻	

大口町社会福祉協議会表彰状授与

宮川桂子様 西屋奈美子様

大口町社会福祉協議会感謝状贈呈

ダイセイ倉庫運輸㈱様 石黒文男様

来賓祝辞：鈴木喜博愛知県議会議員、木野春徳大口町議会議員

登壇来賓紹介：大口町区長会長 外坪区長 藤田金生様

参列者の紹介：町議、区長、自治功労者、社会福祉協議会理事・評議員、民生委員、
主任児童委員

アトラクション：日本民踊研究会

安藤豊淑五さん 日本民踊研究会師範、日本舞踊・新舞踊協会助教授

鎌田豊五隆さん 日本舞踊研究会師範

澤田豊五香さん 日本舞踊研究会師範

①「慶（よろこび）」：鎌田師範、澤田師範

②「喜代節（きよぶし）」：安藤師範

③「祭り酒」：安藤師範、鎌田師範、澤田師範

閉会の辞：長谷川実 50th 委員

【表彰等記念品】

自治功労表彰：襟章（菊の紋：正副）

一般表彰：湯呑茶碗（犬山焼き）

感謝状：証書ホルダー

金 婚 表 彰：夫婦湯呑茶碗（犬山焼き）

社会福祉協議会町長感謝状：湯呑茶碗（犬山焼き）、証書ホルダー

社会福祉協議会長表彰：湯呑茶碗（犬山焼き）、証書ホルダー

社会福祉協議会長感謝状：証書ホルダー

【表彰式記念品】

米粉ロール（１００％大口町産の「あいちのかおり」の米粉で焼いた生地で巻いたロールケーキ。使用した卵も大口町産。大口町にこだわった製品です。）

… 大口町NPO登録団体「耕作くらぶ」協賛

【協力者】

アトラクション ３人：日本民謡研究会

手 話 通 訳 ２人：手話ボランティア、大口町手話サークル

典 礼 ２人：音訳ボランティア「たんぽぽ」

要 約 筆 記 ４人：要約筆記ボランティア「スマイル大口」

記 録 ２人：憩いの四季

計 １３人

【スタッフ等人員配置】

町 職 員 ９人

社 協 職 員 ４人

50th 委員 １２人 計 ２１人

4 主な経費

・50th 推進委員会会計

支出の部

檀上花代	4, 8 5 8 円
------	------------

計	4, 8 5 8 円
---	------------

・一般会計

支出の部

証書ホルダー（１００冊）	7 2, 1 3 5 円
--------------	--------------

表彰記念品	1 4, 0 0 0 円
-------	--------------

パンフレット用紙等	4, 4 2 5 円
-----------	------------

白布クリーニング	5, 3 6 0 円
----------	------------

表彰状等筆耕料	2 9, 0 4 0 円
---------	--------------

表彰式案内状郵送料	7, 9 5 5 円
-----------	------------

会場使用料	1 0, 4 0 0 円
-------	--------------

計	1 4 3, 3 1 5 円
---	----------------

合 計	1 4 8, 1 7 3 円
-----	----------------

事業記録写真



自治功勞表彰
水野弘俊様





一般表彰:左から倉地和弘様、宮地計年様、仙田比左夫様、服部光延様、井上辰廣様



町長感謝状:近藤彰男様



町長感謝状:奥村敏之様



町長感謝状(社協):大塚成夫様



町長感謝状(社協):社本良子様



社協会長表彰:宮川桂子様



社協会長表彰:西屋奈美子様



社協会長感謝状:ダイセイ倉庫運輸(株)様



社協会長感謝状:石黒文男様

金婚表彰



佐竹ご夫妻



小澤ご夫妻



江口ご夫妻



大森ご夫妻



大森ご夫妻



小松ご夫妻



宮地ご夫妻



今枝ご夫妻



舟橋ご夫妻



松山ご夫妻



石原ご夫妻



石原ご夫妻



安藤ご夫妻



舟橋ご夫妻



柘植ご夫妻



江口ご夫妻



瀧谷ご夫妻



小室ご夫妻



中島ご夫妻



祝辞: 木野議長



金婚表彰は、各席にて手渡し



祝辞: 鈴木県議



平成24年度 大口町:
大口町社会福祉協議会・大口町制施行50周年



安藤豊淑五師範

アトラクション: 日本民謡研究会による日本民謡



長谷川 50th委員による閉会の辞



受付風景



表彰式記念品の
米粉ロール
協力: 耕作くらぶ



『集まれ!我が町の芸術家たち』

松崎祐一&空条寅子コンサート』

大口中学校吹奏楽部への楽器指導

日時：平成24年12月1日（土） 午後2時 ～ 午後3時35分

場所：大口中学校 1階 多目的室

コンサート

日時：平成24年12月2日（日）

午後1時 開場 午後1時30分 開演 午後4時01分 終演

場所：大口町民会館 町民ホール

検討組織：集まれ!我が町の芸術家たち実行委員会

＊検討始めは、集まれ!我が町の芸術家たち検討会

実行委員長：大竹伸一 50th 委員長

実行委員：大島弘幸大口町文化協会会長、酒井喜代子さくらメイト会長、
田中聖章大口おやじの会会長、水野裕子子どもと文化の森専務理事、
岩田雄治生涯学習課長補佐、
堀部令子50th委員、後藤清子50th委員、土屋千秋50th委員、
稲垣紀子50th委員、田中百百代50th委員、中村和枝50th委員

：芸術家部会

部会長：堀部令子

部会員：後藤清子、土屋千秋、稲垣紀子、田中百百代、中村和枝

オブザーバー：大竹伸一

1 目的

自治体規模の小さな我が町ではあるが、そんな我が町出身で社会の第一線で活躍している芸術家がおられる。そうした芸術家たちのパフォーマンスを彼らを育んだ故郷である大口で披露してもらうことで、後輩を導くきっかけとするとともに、我が町に夢と活力と潤いをもたらしてもらう。

2 事業の経緯と概要

大口町の文化レベルを底上げし、文化の香り高い町にしたいとの思いから提案された事業で、その意を汲み50周年記念事業として採択されました。一口に芸術家と言ってもそのジャンルはたくさんあり、どの分野でこういった大口町にゆかりがある方が活躍されているのか情報が集約されているわけでもなかったもので、まずは、情報のある音楽にスポッ

トを当て、開催しようということになりました。継続性も考えないといけませんが、音楽以外のジャンルについては、本年の事業検討と並行して情報を集めていくこととしました。

音楽にスポットを当てたとは言え、まだ範囲は広いため、情報を共有しようとそれぞれの情報を出し合いました。その結果、50周年の年には記念事業としての意味合いが必要なので、お招きすることが難しい方にしようと、下小口在住であった広島交響楽団のトランペット奏者の松崎祐一さん、同じく下小口在住であったパリに本拠を置いて活動しているソプラノ歌手の空条寅子（林早苗）さんに白羽の矢を当て、それぞれのルートで本人に打診をした結果、共に快諾をしていただけ、空条さんの来日スケジュールを尊重し、開催日を12月2日の日曜日としました。

継続性を考慮し、検討組織を立ち上げることとし、文化協会、さくらメイト、子どもと文化の森、おおぐちおやじの会に協力依頼をし、検討会に加わってもらい、協働で検討・運営していくこととしました。なお、この検討会の名称を9月には実行委員会に改称しました。

空条さんの住むパリとは時差があり、彼女の普段のスケジュールも不明であることから、主にメールでの協議、情報交換をしました。松崎さんとは、メール、電話共に連絡手段として使いました。事業目的の達成と継続性を考えると、収入なくして事業継続はもとより検討もできないこと、芸術の鑑賞（文化事業を多くし、文化の香り高い町にする）には経費が掛かることを認識してもらいたいことから、入場料を頂く（有料にすることとし、大人1,000円、小学生から高校生は500円、幼児未満は入場不可と決めました。事業経費は出来るだけ切り詰めることとし、プログラムは2色刷りの業者委託、チケット及びチラシは、1色で手刷りとしました。

コンサートの内容としては、それぞれのコンサートをしていただくだけではお二人を同時にお呼びした甲斐がなく、少しでも来場者に楽しんでもらいたいと、二回りほどの年の差があるお二人ですが、共に音楽で生計を立ててみえること、下小口に居住してみえたことから共通の話題もあるであろうと、音楽を志したきっかけや後輩へのアドバイス、小中学校時代の話、思い出、海外での生活ぶりなどをコーディネーターを立て、トークショー並びにジョイントコンサートをお願いすることとしました。

また、松崎さんには別に大口中学校の吹奏楽部の楽器指導をお願いしたところ、これも快諾していただきました。コンサート前日の1時間という短い時間での指導予定でしたが、同級生で今も趣味でトランペットを吹いてみえる大森克美さん、前田和正さんも駆けつけていただけ、時間も30分ほど延長し、熱心に指導をしてもらえました。大中吹奏楽部の金管担当の中学生の皆さんには良い勉強になったと思います。

さて、有料でのチケット販売には不安もありましたが、実行委員会委員の努力によって322枚のチケットが売れ、当日は298名の来場者を集めることができました。来

場者にアンケートをお願いしたのですが、皆さんから高い評価を頂け、お二人のコンサートを楽しんでいただけたようです。コンサート終了後も継続的に実行委員会を開催し、今後の継続について検討、協議が重ねられた結果、「集まれ！まちの芸術家たちの会」として大口町NPO団体登録をし、事業を継続していくこととなりました。

3 事業詳細

【コンサートプログラム】

第1部 松崎祐一コンサート

ピアノ伴奏：松崎由紀

デピュタンテ(H. L. クラーク作曲)

2本のトランペットのための協奏曲 (A. ヴィヴァルディ作曲)

+ 宮本弦 (名古屋フィルハーモニー交響楽団所属)

協奏曲から第3楽章(J. N. フンメル作曲)

Yesterday (ビートルズ)

明日に架ける橋 (サイモン&ガーファンクル)

アニメ映画“天空の城ラピュタ”から「ハトと少年」 (久石譲)

Piece of my wish (今井美樹)

+ 宮本弦、小西明子

休憩

第2部 空条寅子コンサート

ピアノ伴奏：安田結衣子 (東京藝術音楽大学講師)

歌で巡る春夏秋冬

ゆく春 (中田喜直作曲)

THE SUMMER KNOWS “1942 年夏のテーマ” (ミシェル・ルグラン作曲)

落葉松 (小林秀雄作曲)

MY FAVORITE THINGS “私のお気に入り” ミュージカル『サウンドオブミュージック』より
パリの情景

ピアノ独奏 エディット・ピアフのオマージュ (プーランク作曲)

LES CHEMINS DE L' AMOUR “愛の小径” (プーランク作曲)

JE TE VEUX “君が欲しい” (サティ作曲)

GLITTER AND BE GAY “着飾って愉しく” オペラ『キャンデード』より (バーンスタイン作曲)

休憩

第3部 トーク&ジョイントコンサート

案内役コーディネーター：尾関恵子 (大口町保育士)

- ・どんな子どもだったか
- ・子どもの頃の遊び

・海外での生活、演奏会

ほほえみを花束にして（大口市イメージソング）

美女と野獣

【出演者プロフィール】

松崎 祐一（トランペット奏者）

大口市小学校卒業、大口市中学校卒業、小牧高校卒業後、名古屋芸術大学入学、卒業後に広島交響楽団に入団、現在に至る。トランペットを和久田照彦、竹本義明、中山富士雄、杉山正、KスタインINGER各氏に師事。1994年にウィーンに留学。演奏の傍ら、広島文化短期大学（現広島文化学園大学）、作陽音楽大学にて後進の指導にあたる。現在、広島のエリザベト音楽大学非常勤講師。

趣味は、キャンプ、釣り、ダイエット。

空条 寅子（ソプラノ歌手）

大口市小学校卒業、大口市中学校卒業、明和高校音楽科卒業。劇団四季を退団後に渡仏。これまでに松本美和子、ペギー・ブーヴレ、現在はイザベル・ギヨーに師事。現在はパリを中心に演奏活動をしている。

宮本 弦（トランペット奏者）

広島県出身。東京音楽大学卒業。現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団所属。第6回東京音楽コンクール第2位。第25回日本管打楽器コンクール第2位。第78回日本音楽コンクール第2位。第81回日本音楽コンクール入選。松崎祐一、津堅直弘、高橋敦、板本浩規の各氏に師事。

松崎 由紀（ピアニスト）

広島県出身。エリザベト音楽大学ピアノ科卒業。ピアノを浜田淳子、秋吉章子、増本各氏に師事。広島を中心にピアノ伴奏者として活躍。

安田 結衣子（ピアニスト）

大阪府出身。京都堀川音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。卒業時にアカンサス音楽賞受賞。パリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科卒業。現在は日本に帰国し、東京藝術大学音楽学部などで教鞭をとる傍ら、国内外でピアニストとして幅広く演奏活動をする。

【楽器指導】

大口市中学校吹奏楽部の金管楽器担当の中学生に、松崎さんから指導。場所は、大口市中学校1階多目的室。時間は、午後2時から1時間のはずが、終わってみれば3時30分過ぎ。

前半は、2年生の5重奏、練習曲は「ルネッサンス舞曲集」、後半は1年生の7重奏、練習曲はケーラーの「キンダーアルバム」の演奏の指導をお願いしました。松崎さんの友人であり、同級生であり、トランペット奏者でもある大森克美さん（中学校教諭）、前田和正さん（江南ウインドアンサンブル所属）も駆けつけてくださり、松崎さんの補助をしていただきました。

【前日スケジュール】

12月1日（土）

【当日スケジュール】＊楽器指導を除く。

12：00 大竹委員長、音響業者、事務局集合
生け花、舞台吊看板準備

14：00 音響仕込み

16：15 進行スタッフ集合、打合せ

16：30 松崎さんご夫妻、宮本さん、空条さん、安田さん来館

17：00 リハーサル

20：45 リハーサル終了

松崎さんご夫妻は、名古屋市内のホテルに宿泊。移動は自家用車。

宮本さんは、在名。移動は、自家用車。

空条さん、安田さんは、犬山ホテルに宿泊、事務局で送迎。

12月2日（日）

8：30 事務局集合

8：45 照明業者、音響業者集合
照明仕込み、音響チェック

9：00 空条さん、安田さん迎え

9：30 空条さん、安田さん来館

10：15 進行スタッフ①集合

10：30 松崎さんご夫妻、宮本さん来館

11：00 松崎さんリハーサル

11：30 空条さんリハーサル

12：15 進行スタッフ②集合

13：00 開場

13：30 開演

16：00 終演

松崎さんご夫妻等は、それぞれ離館。

空条さん等は、空条さんのご実家へ。

【司会者&コーディネーター】

コンサートの司会並びにジョイントコンサートでのトークショーのコーディネーターは、重要な役。誰にお願いしようか実行委員会では悩みましたが、最終結論は「やっぱり尾関先生だよね。」となり、尾関恵子さんに打診したところ「不安はあるものの何とかやってみる。」と快諾していただきました。尾関さんは、大口町立保育園の保育士です。コンサート中の曲紹介などは松崎さん又は空条さんがそれぞれでやっていただきましたが、その他は尾関さんの役どころ。身近なところではふれあい祭り、その他町事業などで多くの場数を踏んできた実績は流石なもので、見事に大役を果たしていただきました。

【その他】

反省しきりの松崎さん

数日前から体調を崩してしまった松崎さん。公演に穴は開けられない、まして自分の故郷である大口の皆さんが楽しみにしてくれていると思い、体に鞭を打って大口へ。前日の大口中学校吹奏学部員の指導時は、咳が途切れませんでした。コンサートでは咳は出ず無事終えることができましたが、本人は音に満足がいかず、「大口町の皆さんに申し訳なかった。機会を与えていただければなら、リベンジしたい。」と言ってみえました。

+αの出演者：小西明子さん

リハーサル会場に松崎さんと一緒に現れたお嬢さん。最初は、松崎さんの娘さんかなと思っていたのですが、共演者と分かりびっくり。広島県内の大学に通う現役の女子大生で、松崎さんに師事するトランペット奏者でした。

舞台上の吊り看板

最近のコンサートなどでは、めっきり見かけなくなったとのこと。舞台効果上、邪魔者扱いされている感じです。今回のコンサートは、町制50周年を記念したものであるので、視覚的にも記録的にも判るようにしたいとの判断、そして舞台効果上も問題ないことを確認し、吊り看板を設置しました。

舞台演出

今回のコンサートは、クラシック中心の曲構成となるため、舞台効果は無しでもいいのではとの意見が多数派でした。町民会館はもともと演出ができるような十分な設備等がなく、建設から20年経過することから設備の老朽化が否めなく、調光機器もいつダウンするか分からない中での開催でした。でも、お金をかけずに見栄えは良くしたいということから、派手にならず経費も余りかからないジョーゼットでの演出となりました。また、緞帳も下ろさず暗転だけで舞台転換とすることとしました。

今後の50周年事業PR

ジョイントコンサートで演奏・歌っていただける我が町のイメージソング「ほえみ^{フーグ}を花束にして」の歌詞を印刷しコンサートパンフに挟み込む予定でしたので、その裏面を利用し、このコンサート以後に予定している50周年事業のPR文を掲載しました。

集まれ! 我が町の芸術家たち

大口町制50周年記念事業

大口町出身の音楽家を招いて大口町の思い出を語りながらの楽しいコンサートを行います。



大口町出身で広島交響楽団のトランペット奏者



松崎 祐一

Aヴィヴァルディ
2本のトランペット協奏曲八重洲
Hクラーク作曲 デビュータンテ
その他ポップス系 など

大口町出身でバリ在住の声楽家



空条 寅子

サウンドオブミュージックより「私のお気に入り」
蝶々夫人より「ある晴れた日に」 など

2012 **12・2** (日)

大口町民会館ホール

午後1時開場、午後1時30分開演

大人 1,000円 小・中・高校生 500円

チケット販売

町民活動まかせてネット・役場50周年記念事業事務局
生涯学習課・子どもと文化の森

※乳幼児の入場はできません。

※託児の申し込みは、前もってNPO法人子どもと文化の森(TEL 0587-94-1223/平日午後1時～5時)に
お申し込みください。(有料1人300円・定員15名)

主 催／大口町制50周年記念「集まれ！我が町の芸術家たち」実行委員会

共 催／大口町制施行50周年記念事業推進委員会 大口町 大口町教育委員会 大口町文化協会 おおぐちおやじの会 さくらメイト NPO法人子どもと文化の森

問合せ／大口町役場 50周年記念事業事務局 TEL 0587-95-1111 内線 186

【アンケート結果】

コンサート来場者数 297人
アンケート回収数 94枚 回収率 31.6%
居住地域 大口町内 74.5%、江南市 12.8%、犬山市 4.3%
年齢 60歳代 42.6%、70歳代 27.7%、50歳代 14.9%
今後の希望 開催して欲しい 91.5%
情報源 知人・家族 68.1%、広報 22.3%、広報無線 10.6%
アーティスト情報（大口町在住、出身、ゆかりのある）
画家の服部さんという情報のみ
印象・感想

「素敵な時間を過ごすことができた」、「ソプラノの高音・声量ともとても良かった」、「トランペットの三重奏が迫力があり良かった」、「生の演奏、歌声が聴け、共に素晴らしかった」、「豊かな心持になり、幸せを感じました」、「大口出身の芸術家の今後の活躍に期待する」、「トークが楽しくて良かった」など、良い印象、感想ばかりの回答が並びました。嬉しい感想です。

4 主な経費（50th 推進委員会会計）

収入の部

チケット売上げ	316,500円
計	316,500円

支出の部

松崎祐一氏謝礼（交通費、宿泊費、宮本氏等含む）	206,000円
空条寅子氏謝礼（交通費、宿泊費、安田氏含む）	172,000円
ポスター印刷費	48,510円
パンフレット印刷費	61,950円
チラシ・チケット用紙代	7,420円
商工会館使用料	10,780円
音響・照明委託料	309,750円
保険料、その他	39,116円
計	855,526円

5 部会長所感

(1) 事業立案について

50周年の記念としてわが町にも素晴らしい活躍をしている芸術家たちがいることを知って誇りに思い、町民に心豊かなひと時をと企画しました。

(2) 事業準備

まず生涯学習課に事業の内容説明に伺う。大口町の方針として有名人は招聘しない。生涯学習課は職員の配置が少なく、当日は他の予定があり協力は難しいということでした。次年度からの継続性を考え部会＋協力団体（大口町文化協会、大口おやじの会、サクラメイト、子どもと文化の森）の代表者による実行委員会を7月に立ち

上げ、出演者への依頼、チケット売り、ポスター、チラシの配布、当日の役割分担等打ち合わせをしました。11月の時点でチケット売り上げが200枚というかなり厳しい状況でしたが生涯学習課のアドバイスと事務局の下支えもあり何とか開催を迎えました。

(3)開催当日

前日松崎さんによる大中吹奏楽指導では体調の悪い中、実のあるご指導はさすがプロと感激しました。当日は各担当者が役割分担をし、無事終わることが出来ました。約300名の入場者、アンケートの結果から素晴らしかった。「これからもこのような企画を」という言葉をいただき、やって良かったと思っています。

(4)継続性

大口町を愛する思いと町民が良質な芸術、文化にふれる機会を提供したいとの思いでNPO団体を立ち上げようと検討中です。

(5)全体の総括として

この事業を通して町と民の協働とは何か？ 役場内での意思疎通が出来ているのか？ 50周年事業とは町民が運営するもの？ 行政の支援は？ チケットを売った収入が継続事業に使えないと言う事はおかしい？ 疑問符のつく状態での1年間。でも経験できた事と委員の人たちとの絆に感謝をする次第です。

事業記録写真

大口中学校吹奏楽部楽器演奏指導

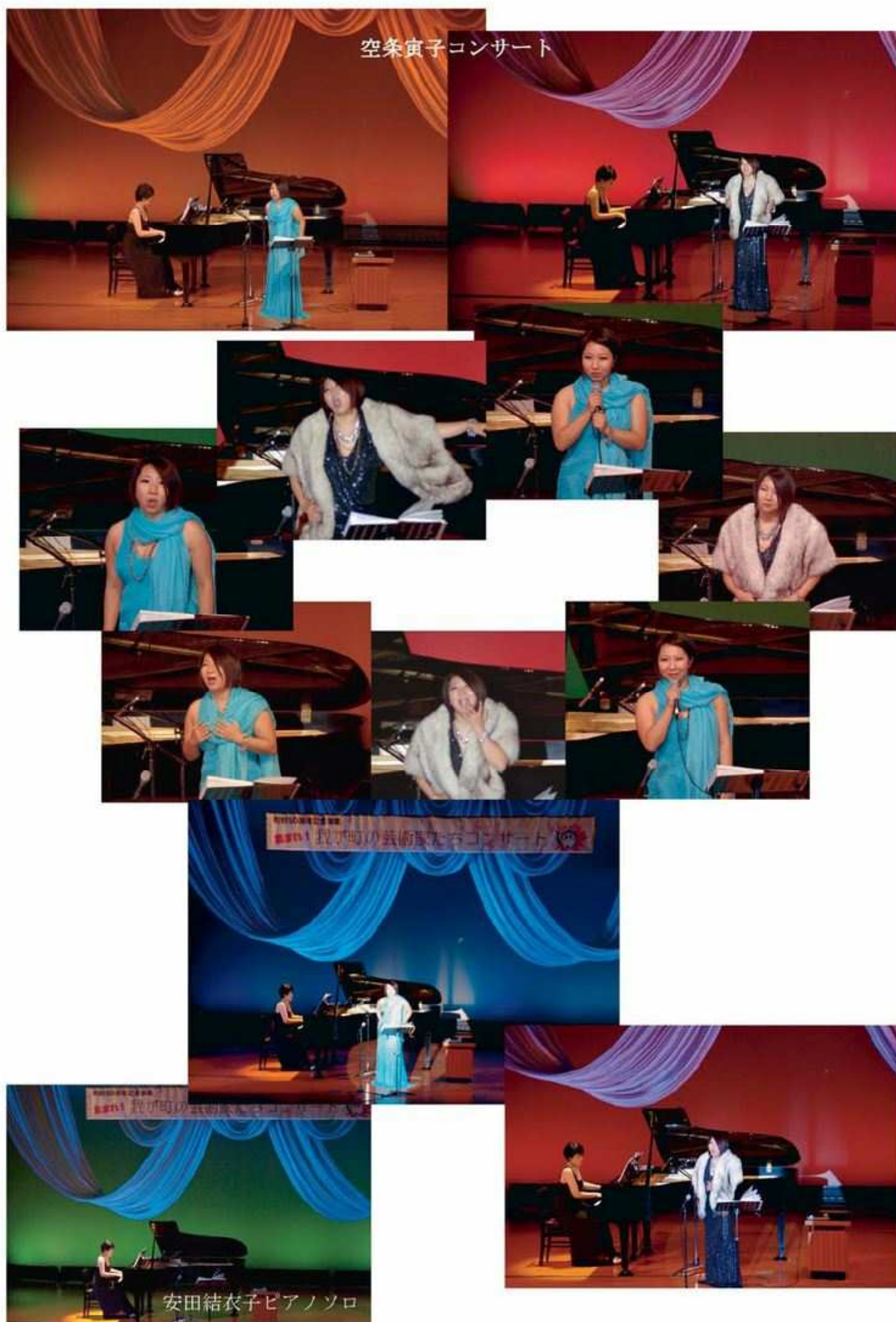




二重奏 (宮本氏と)



三重奏 (宮本氏+小西氏と)





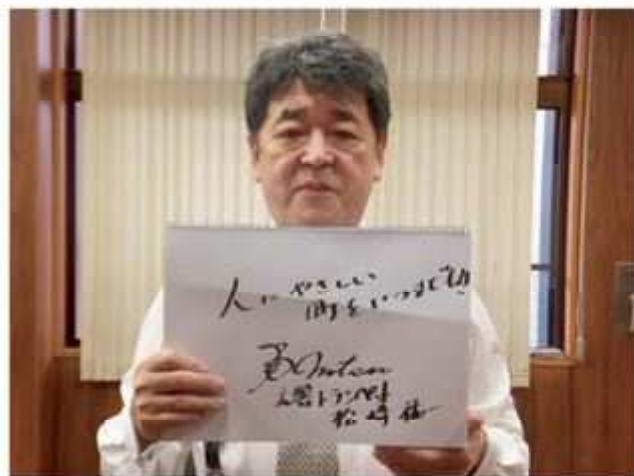
コンサート後



左から空条さんマネージャー、前田委員、
後藤委員、安田さん、空条さん



空条さんからのメッセージ



松崎さんからのメッセージ



委員長作の壇上の生け花



空条さん、松崎さんとスタッフ集合写真

『ヤマザキマザック美術館鑑賞』

部会長：土屋千秋

副部会長：田中百百代

部会員：大竹伸一、堀部令子、中村和枝

1 目的

ヤマザキマザック㈱の故山崎照幸会長が収集した一流の美術品、工芸品を展示した美術館が名古屋にオープンしたので、その美術品、工芸品に触れ、世界一流の芸術を鑑賞してもらう機会を作る。

(ヤマザキマザック㈱は、昭和36年にいち早く大口町に移転し、平成23年に50周年を迎えられたこと、またヨーロッパ近世ロココ期の絵画を多く所有する美術館は珍しいこと、東海地区にある愛知県美術館、徳川美術館、名古屋ボストン美術館、名古屋市美術館と並ぶ素晴らしい美術館であることを勘案し、この町制50周年を機に大口に本社を置く企業の素晴らしい美術館をより多くの町民に知ってもらい、一流の美術品に触れ、日頃の生活に少しでも潤いができたらと考えました。)

2 事業の経過と概要

地元企業が作ったヤマザキマザック美術館の美術品、工芸品に触れ、世界一流の芸術を鑑賞してもらう機会を作ることを目的に実施。企業見学事業ではヤマザキマザック㈱の見学はかないませんでしたが、美術館横にある工作機械ギャラリーは、工作機械の実機の展示他、ヤマザキマザック㈱の技術力にて生産される部品の数々が展示されており、怪我等の心配なく同社の技術力に触れることができるので、その見学も併せて入れ込みました。また、折角名古屋市内中心部に出掛けるので、美術鑑賞以外でも何かしら潤いとかゆとりを感じてもらおうと、美術館地下にあるイタリアンレストランのランチも組み入れました。

以上のような内容で50th推進委員会主催の町のバスで行く「ヤマザキマザック美術館鑑賞講座」、「親子鑑賞会」をそれぞれ開催したところ大変好評で、鑑賞講座を2回追加開催しました。また、行政区や団体企画による町バスでいく鑑賞会を9回も開催してもらえ、美術館鑑賞は大変好評でした。また、ヤマザキマザック㈱並びにヤマザキマザック美術館のご好意により大口町制50周年特別価格で特別鑑賞券を斡旋販売したところ、こちらも好評で多くの購入者がありました。

参加者のアンケートを実施したのですが、7割の方は企画に満足していただけ嬉しく思いました。また、工作機械ギャラリーの見学を通してヤマザキマザック㈱が大口町にあるのは知っていたが、どんな会社であるかの認識がなく、ヤマザキマザック㈱の理解と共に、日本を代表する世界的工作機械の大手2社が大口町にあるということを認識していただく機会にもなったようです。

なお、故山崎照幸氏の娘さんである山崎照子さんが平成24年12月に副館長から館長に就任されましたが、その館長自ら毎回の鑑賞会、鑑賞講座、親子鑑賞会ともに参加

された皆さんへのあいさつと見送りをさせていただきました。

3 実施詳細

(1) 特別鑑賞券の販売

ヤマザキマザック美術館の特別鑑賞券を 50th 事務局、生涯学習課、町民活動まかせてネットで、平成 24 年度末まで 50 周年特別幹旋価格の 800 円で販売。同美術館の常設展の鑑賞料金は 1 千円、企画展開催期間中は 200 円ほど UP しますが、この特別鑑賞券は、使用期限がなく、企画展開催中でも追加料金を払うことなく鑑賞できる特別なチケットです。309 枚の売り上げがありました。

(2) 鑑賞会

行政区、まちづくり団体、サークルなど仲間が集ってそれぞれで企画していただいた鑑賞会。交通手段は、大口町のバス。モデル日程として紹介させていただいたのは、町バスで美術館に向かい、到着後美術館横の工作機械ギャラリーの見学、イタリアンレストランでランチ、その後学芸員の解説付きで美術鑑賞をするという内容。当初は、どんな反応があるか分らなかったもので、さつきヶ丘区がモデル的に区民の鑑賞会を開催していただい、解説付きで展示物を見ることができる機会があまりないこと、ランチが美味しかったことなどにより参加していただいた皆さんの評価はとても良いものでした。他の行政区、団体等の企画の名乗りが上がった日程は 2 か月後のことですが、50 周年も残り 2 か月となってから 8 回も開催していただきました。

(3) 鑑賞講座

世界一流の美術品をどういった視点で鑑賞すれば造形が深まるのかなど、美術館の鑑賞に係るノウハウや故山崎照幸氏は何故ロ可可期の絵画に着目したのか、何かきっかけがあったのかなどをヤマザキマザック美術館学芸員からお話を聞き、その上で実際に鑑賞してはどうかと鑑賞講座を企画しました。学芸員に大口町まで来ていただき、一緒にバスに乗って美術館へ。その道中、上記のような話をさせていただきました。到着後の内容は、前述の鑑賞会と同様です。有意義な鑑賞ができたことと思います。

(4) 親子鑑賞会

「鉄は熱いうちに打て」ではないですが、感受性が豊かな時期に世界一流の美術品に触れ、何かしら感じてもらえたら、感じるものがあったらそれをきっかけに伸ばしてもらえたらと、親子鑑賞会を企画。学芸員もいろいろと考えていただい、「アートキューブ」を使った教室的な鑑賞会を開催してもらえました。子どもの感覚の鋭さや見方に驚きの数々。学芸員もその感覚に新たな気づきがあったようです。親子鑑賞会は、ランチではなく美術館 1 階にあるカフェにてのケーキセットと組み合わせました。

(5) 実施日、実施団体、参加者

鑑賞会	合計	259 名
① 平成 24 年 12 月 11 日 (火)	さつきヶ丘区	31 名
② 平成 25 年 2 月 11 日 (月・祝)	さくらメイト	31 名
③ 平成 25 年 2 月 15 日 (金)	太極拳有志	32 名
④ 平成 25 年 2 月 20 日 (水)	下小口区竹田	33 名
⑤ 平成 25 年 2 月 27 日 (水)	下小口区	33 名

- ⑥ 平成 25 年 3 月 12 日 (火) 健康クラブ笑顔 21 17 名
- ⑦ 平成 25 年 3 月 13 日 (水) 余野区健康推進委員 26 名
- ⑧ 平成 25 年 3 月 14 日 (木) 中小口区 女性の会 30 名
- ⑨ 平成 25 年 3 月 22 日 (金)

読者クラブ・ヘルシーエイジングの会・中国語講座 26 名

鑑賞講座 合計 102 名

- ① 平成 25 年 1 月 24 日 (木) 35 名
- ② 平成 25 年 3 月 15 日 (金) 33 名
- ③ 平成 25 年 3 月 20 日 (水・祝) 34 名

親子鑑賞会

平成 25 年 1 月 27 日 (日) 21 名 (大人 11 名 子ども 10 名)

(6) 主な行程

- 9:45 集合場所に町バスを配車
- 9:50 参加者集合
- 10:00 出発 (鑑賞講座は、車中、学芸員からのお話付き)
- 11:00 ヤマザキマザックプラザ西側に到着 下車 (町バスは一旦帰町)
- 記念集合写真撮影
- 工作機械ギャラリー見学
- 11:30 ランチ イタリアンレストラン「トペ」
- 13:00 美術館鑑賞
- 学芸員の解説付き
- 14:45 ロビー集合
- 15:00 バス乗車 出発
- 16:00 集合場所到着 解散

(7) 四方山話

ヤマザキマザック美術館の展示絵画は、ガラスなどによる展示保護がなく、筆使いや絵の具の盛りなどが分かるよう間近で見ることができます。また、描かれた年代ごとに展示室のクロスの色が変えられており、分りやすさと共に部屋の雰囲気も変わり良い感じでした。調度類の中のディスクオルゴールは、メンテナンスなどはヤマザキマザック株の社員がするという事で、ものづくりの技術屋らしいと関心。ガレのガラス工芸品は現地の美術商が店をたたむという事で、一般には見せず大切にしまってあったものを、バラバラにせずまとめて引き取って大切にしてもらえらるのならという事で、譲り受けたものとのことで、ガレの作品の中でも一級品ばかり。海外へ商談に出かけた折、ヨーロッパではお昼休憩が長いこと、土日はしっかりと休むことなどから、商談にならない時間を美術鑑賞に充てたことが、収集のきっかけとか。現館長は、常に商談に随行していたとか。駐日フランス大使は、名古屋に来ると必ずヤマザキマザック美術館を訪れるらしい。今でこそ高値のロココ期の絵画だが、収集をし始めたころはそれほどでもなく、比較的求めやすかったようで、将来性も考え収集されたとのこと。

4 主な経費（50th 推進委員会会計）

収入の部

鑑賞会参加費	329,160円
鑑賞講座参加費	199,880円
親子鑑賞会参加費	25,300円
特別鑑賞券売上	243,280円
計	797,620円

支出の部

特別鑑賞券購入	489,600円
ランチ等支払	265,600円
保険代、販売手数料等	38,485円
計	793,685円

5 部会長所感

マザック美術館部会では、当美術館へのバスツアーを企画し、年末からの3か月余りで、団体と個人合わせて、約600人の町民の方にご参加いただきました。マザック美術館の収蔵品の豊富さと美術館スタッフのもてなしの気持ちが感じられる案内、役場から直接バスで現地に行けたり、同ビル内で快適に食事もできる手軽さが、たくさんの参加者動員につながったと思います。

今後、美術館だけでなく、音楽や舞台、講演会などの文化的なイベントへの参加にも、町バスの有効な活用ができれば、町内で大がかりな文化的企画をするよりも、手軽に、豊富に、文化的イベントにたくさんの方が参加できるのではと考えます。

事業記録写真





鑑賞講座 第1弾



鑑賞講座 第2弾

前列中央
山崎館長
一番左前列
坂上学芸員



鑑賞講座 第3弾



工作機械ギャラリー





山崎館長、後藤部長はじめ ▲

▼ 美術館スタッフみんなで見送り



ランプの底は、本来蛸溜まり



鑑賞講座での館内鑑賞風景



3月20日（水：祝）のランチ
前菜5種盛



パスタ



飲み物とデザート

自主企画鑑賞会

▼ 2月11日（月・祝） さくらメイト役員研修



▼ 2月15日（金） 太極拳有志



▼ 2月20日（水） 下小口区竹田有志





▼ 2月27日(水) 下小口区有志



▼ 3月12日(火) 健康クラブ「笑顔21」



イタリアンレストランでのランチは地下

▼ 3月14日(木) 中小口女性の会総会



後藤部長休暇によりピンチヒッター



▼ 3月22日(金) 読書クラブ・ヘルシーエイジングの会・中国語講座



『ファイナルイベント』

日時：平成25年3月30日（土）

まちの元気編	開会 午前11時	閉会 午後2時
支え合い編	開演 午後1時10分	終演 午後3時10分
場所：まちの元気編	町民会館第1駐車場	
支え合い編	町民会館町民ホール	

部会長：兼松昌史、

副部会長：水野眞澄

部会員：大竹伸一、前田恵理、中村和枝、齊木徹

1 目的

1年間実施してきた50周年記念事業にかかわってもらった様々な人々への感謝と、大口町が進むべき未来に向かって「この50年に感謝し、そして明日への一歩」を発信する。また、我が町の東日本復興支援の取り組み（大口絆つなぐネット、丹羽J.C、桜ライン311活動支援など）をパネルにして紹介する。

2 事業の経緯と概要

町制50周年事業にご協力いただいた方々への感謝と、未来への第1歩としてより活気あるまちづくりができることを目指して、ファイナルイベントを開催。

未来は世界的グローバルな視点を持っていないと開けないし、取り残されてしまう。今世界で何が起きているのか、ニュースなどメディアで紹介される内容は多くの人が情報として共有できるが、そうでないことは知らないことばかり。「地球のステージ」は多くの人が知らない世界の一面を自らの活動を元に伝えてくれる。その内容は、子どもたちの笑顔と活力。「地球のステージ」の魅力に引き付けられ我が町も平成18年度から5年間連続で公演を開催したのですが、平成23年度からは途切れていました。こうした折、50周年の最後の事業としてこの「地球のステージ」公演を柱にしたファイナルイベントの企画案が出てきたのです。50th推進委員会で審議したのですが、委員が「地球のステージ」を知らないのではまず委員に理解をしてもらおうと、過去の公演チラシ等で説明し、映像を見てもらいました。その結果、企画案は承認され「ファイナルイベント」として50周年記念事業の最後を締めくくる事業として位置付けられたのです。

ファイナルイベントを開催するにしても、その他のコンテンツをどうするか、予算をどうするかなど検討しなくてはいけないことがたくさんありました。他の記念事業同様部会を追加組織し検討しました。予算面では、50～60万円位は町から50th推進委員会に記念事業予算としていただいている予算の執行残として回せるとかない状況でしたが、「地球のステージ」の公演だけで40万円ほど必要なので、財源を何とかしないとイケない状況でした。そこに、丹羽ライオンズクラブから協賛しても良いとの声が掛か

り、同クラブの理事会で審議、例会で映像と資料を用意し説明をし、了承がいただけ、45万円の協賛金をいただくことができました。

イベントの組み立てについては、50周年の最後の記念事業となるので「感謝」という言葉はキーワードから外せない、また感謝して終わりではなく未来に向かって歩き出せるような、何かを発信できるようなイベントにしたいとのことから、テーマを「感謝そして明日への一歩」としました。そして、町民の皆さんに夢や希望、誓いなどを宣言してもらい、その内容を画用紙などに書いて本人と共に写真を撮り、その写真をイベント会場に掲出してはどうかという意見が出、採択されました。写真を撮らせてもらったのは、ふれあいまつり、集まれ！我が町の芸術家たちコンサート、そして成人式の3つのイベントの時で、合計70枚弱の「夢撮り」をし、この「夢撮り」写真をのぼり旗にし、会場に掲出をしました。特にアピタ大口店側の道路際フェンスに掲出したのぼり旗は、ゴールデンウィーク明けまで掲出しました。

また、町民活動まかせてネットとの協働で開催した「HAPPY バースデー！おおぐち」事業で築いた絆を大切にしたいとのことから、協力していただけた団体、グループ、企業の皆さんなどに再び声を掛け、協力していただく形で住民パワーを出したいと、チラシを作成し広報に折り込みました。

何か目玉になる内容も欲しいと、以前からくすぶっていた花火を規模を小さくし、予算の範囲内で考えることができないかを模索してみました。最初に考えたのが長野県阿智村の清内路で奉納花火として開催されている手作りの仕掛け花火。火薬から仕掛けまですべて住民の手作りなので、時間がとても掛かるし、时期的にも難しいとのことで、清内路花火を招聘することはできませんでした。

次に白羽の矢を当てたのが、三河地方で盛んな手筒花火。大きさ（火薬量）にもよりますが、1本1万円から3万円で上げることが可能です。相談した煙火店からは田んぼアートをした田んぼ内で周りの交通規制なしに上げることができるスターマインもあり、予算は30万円から50万円くらいという提案もありました。手筒花火も手作り花火ですが、今回は火薬や手筒は花火師が作製し、上げる（奉納：出す）のは自分で、案としては50th推進委員の有志で一人1万円の自己負担で50周年への感謝と我が町のますますの発展祈願、そして東日本の復興祈願を込めて手筒花火を奉納する。また、町民からも奉納者を募り奉納してもらおう。そして、役場前の田んぼで10分ほどのスターマインを打ち上げる。これらを、ファイナルイベントの夜の部と位置づけ開催するというものです。しかし、部会で協議した結果、火傷含め怪我をする危険があること、夜までイベントを開催することがどうかなどにより、成案となりませんでした。

東日本の復興支援で物産を販売してはどうかという提案も出ました。結果は、どこの何を仕入れるのかは事務局一任、仕入れ値に支援金をプラスして販売し、売れ残りがあれば委員の中で協力をするということで、東日本物産の販売をすることとなりました。

「感謝」というテーマでは何をするのか。この1年の記念事業のパネル展示、そして大口町内の東日本復興支援の取組み紹介、そして50th推進委員会委員によるお礼のあいさつをするということでまとまりました。

開場をどこにするかということでは、「地球のステージ」は映像と音楽のシンクロコンサートなので必然的に町民会館町民ホールという設定になりますが、屋外イベントはアピタ大口店の駐車場、愛知北農協大口支店の駐車場、「HAPPY バースデー！おおぐち」と同様役場前の道路と駐車場、町民会館第1駐車場といった案が出されました。アピタ大口店、愛知北農協とも駐車場の借用は快諾してもらえ、ファイナルの内容、ボリューム含め検討しました。

開催時間については、1日案、午前案、午後案、午前から午後案、午後から夜間案まで出ました。

以上のことを総合し、会場を「地球のステージ」と屋外の2つに分けることとし、「地球のステージ」関係を「支え合い編」、屋外を「まちの元気編」として、それぞれ町民会館町民ホール、町民会館第1駐車場を会場として開催することとしました。開催時間は、「まちの元気編」が午前11時から午後2時、「支え合い編」は午後1時10分から午後3時10分としました。

ファイナルイベントへの参加募集（出店者、パフォーマンスの募集）は、チラシを作成し広報おおぐち1月号に折り込み、応募していただいた出展者の説明会を2月8日（金）に開催しました。パフォーマンスのスケジュール等出演詳細については、あさぎの大森正太郎君にアドバイスをもらいながら組み立て、当日のパフォーマンスステージの司会も大森君にお願いをしました。

そして、このイベント周知のため「まちの元気編」及び「支え合い編」両会場にファイナルイベント告知看板を設置しました。

ファイナルイベントに先駆け、3月16日から、町内の3商業施設にて「地球のステージ」のパネル展示と大口町内の東日本復興支援の取組み紹介パネル展示をしました。これは、「地球のステージ」という映像と音楽のシンクロステージがどういう内容のものなのかを知ってもらいたいと、そして出来るなら知っていただいた上で興味を持って当日の公演に来場していただきたいという思いと、平成23年3月11日の東日本大震災以後、我が町大口町としてあるいは町内の団体等が東日本の復興のために取り組んできたことを皆さんに紹介したいという思いで行ったものです。

3 実施詳細

(1) 日時及び場所：平成25年3月30日（土）

まちの元気編	午前11時から午後2時	町民会館 第1駐車場
支え合い編	午後1時10分から午後3時10分	町民会館町民ホール

(2) まちの元気編

まちの元気編は、ファイナルイベントのテーマは勿論のことですが、「HAPPY パースデイ！おおぐち」での「絆」がとても大切なものでした。なかなか詳細が決まらない中、多くの団体、企業の皆さんがよく出店、出演していただくと、共に感謝しております。企画運営する側より、出展、出演いただける皆さんの方がとてもよく要領を得てみて、段取りの悪さをすべての面でカバーしていただきました。

まちの元気編の内容は、様々なまちづくり団体、企業の活動展示とパフォーマンス、そして50周年記念事業のパネル展示、東日本物産市そして「夢撮り」ののぼり旗の掲出です。町民会館第1駐車場のアピタ大谷店よりの半分を会場とし、残りの田んぼ側東半分は駐車場としました。大竹委員長の開会宣言、森町長、木野町議会議長のあいさつで始まった限られたスペースでの3時間という短時間での開催でした。それでも、2千人ほどの来場者があり、盛り上がったイベントとなりました。

まちの元気篇の最後には、50th 推進委員会委員からの感謝のことばを述べさせていただき、事業の終了となりました。東日本物産市の売上金の一部、44,140円を当町が職員を派遣している南三陸町に寄附をしました。

1) 出展者、パフォーマンス募集チラシ



50周年記念事業 FINAL

感謝 そして 明日への一歩

平成24年4月1日の町制
50周年記念式典 & HAPPY パース
デイ！おおぐちから始まった50周年記念事業。
この「つながり」を未来につなげていこう。

募集

出店募集・参加条件

- ※ 大谷50年に感謝したい、または、明日の大谷につなげていきたいという思いのある方
- ※ 一緒にイベントを盛り上げてくれる方
- ※ 出店費に限りがありますので、多数の場合は主催費で調整させていただきます。
- ※ 飲食の出店は、営業許可のある方に限ります。

参加内容 出店や後援施設等で展開できる活動や取組み（出店）デント（Dent）
1つ、机2本、椅子4つで出店できる方（持ち込み大歓迎）
参加 後援施設等で展開できる活動や取組み
参加費 0円
申込期限 3月30日（金）まで

みんなのメッセージ募集

新聞紙にメッセージを記入し、それを付いた封筒の裏を剥離し、3月30日の会場でメッセージを発送する予定です。

申込み 50周年記念事業事務局にメール又は FAX でお送りください。写真の掲載が難しい方は、事務局で撮影します。



第1部 復興支援 イベント

感謝 そして明日への一歩

五島川の復興水の源に合わせ、4月に行われた HAPPY パースデイ！おおぐちのようなイベントを開催します！

第2部 町民会館ホール

わが町と被災地の絆&地球のステージ

わが町と被災地の絆 被災地へ支援を募り、大谷つたでネットやオンラインのつながりをもたせに活動します。

地球のステージ 世界で起きている様々な出来事、環境問題などを、会場と大谷の子ども、スライドに映し出し、語りと歌で表現された「地球と大谷のシンクロナイズドコンサート」です。



みんなのメッセージ 待ってるよ！

申込み及び問合せ先／大谷町役場 50周年記念事業事務局 TEL 0587-95-1111 内線 186
Eメールアドレス 50syuunen@town.oguchi.lg.jp

2) まちの元気編チラシ

町制50周年記念事業FINALイベント

～ まちの元気編 ～

“感謝 そして 明日への一歩”

平成25年3月30日(土)

～まちの元気編～

《町民会館第1駐車場にて》

11:00から 14:00まで

～支え合い編～

《大口町民会館ホールにて》

12:30 開場

ライオンズクラブT.T.班

13:10 国際平和ポスターコンテスト 賞状授与式

13:20 大口町プロモーションビデオ上映

13:30 『地球のステージ』開演

要券不要 全1時間40分



平成24年4月1日の

町制50周年記念式典&

HAPPYバースディ！おおくちから

始まった50周年記念事業。

この「つながり」を
未来につなげていこう。



ファイナルイベントを、
みんなで盛り上げよう♪

飲食

- うまいっ!!串焼き:もやい
- 大口産米粉ドーナツ、揚げたてコロッパ:非作くらぶ
- なつかしの駄菓子:魚いの匹羊
- 大口産大豆の田楽:AGRIクラブ
- 美味。うなぎオリジナルメニュー:ひつまぶし編長
- つちのうまみ:ホットドリンク:町民活動まかせてネット
- 日本一美味しいと賞されている焼きそば:矢戸川をきれいにする会

物販・展示・工作・ゲーム

- オリジナルグッズ・活動PR展示:やろ舞いプロジェクト
- オリジナルグッズ・活動PR展示:志留～sikyau～
- 10年樹ありがとう♡企画:コミュニティ/サポート隊
- お米の計り売り・50thパネル展示:町制50年推進委員会
- 飾りたくなる植物:多岐植物愛好会
- とりたて新鮮!野菜・お花:大口町朝市会
- 送り出し物いっぱいリサイクルバザー:ハートフル大口保護者会
- ものづくり教室【ストロー工作】:気海理化学ボランティアセンター
- 射的だよ!!!:大口町商工会青年部

ステージ

- 日本民謡:日本民謡研究会
- 太極拳:太極拳協会
- 和太鼓演奏:日本太鼓研究会
- 鳴子おどり:あさぎ、草花、さくら連、歩～あゆみ～、志留～sikyau～

主催/大口町制施行50周年記念事業推進委員会・大口町・大口町教育委員会 共催/丹羽ライオンズクラブ

3) まちの元気編 会場レイアウト



4) まちの元気編 出展内容及び配置



5) パフォーマンスステージスケジュール


町制50TH
～まちの元気編～

ファイナルイベント
2013 3/30 (日)

ステージプログラム

時間	演目	グループ名
① 11:00～	開会のことば	50th推進委員会 委員長
② 11:02～	あいさつ	大口町長・大口町議会議長
③ 11:08～	日本民謡	豊淑五会
④ 11:18～	太極拳	大口町太極拳協会
⑤ 11:28～	日本民謡	大口民謡会・大口こざくら会
⑥ 11:33～	和太鼓	日本太鼓研究会
11:48～	休憩 	
⑦ 12:20～	 囃子おどり	総踊り①
⑧ 12:25～		歩 ～あゆみ～
⑨ 12:36～		さくら連
⑩ 12:47～		志 響 ～sikyou～
⑪ 12:58～		葉花
⑫ 13:09～		あさぎ
⑬ 13:20～ ～13:30		総踊り②

進行状況により時間が変わることあります。

※大口町民会館にて◆支え合い編◆
13:30～ 地球のステージ 入場無料!

6) 「夢撮り」のぼり旗

ファイナルイベントに際し、明日への一步につながるものということで、町民の皆さんの夢、希望、誓い、将来へのメッセージなどを書いて、その書いた紙と共に写真を撮り、ファイナルイベント会場及び導線に掲出しようという企画を立てました。これを「夢撮り」と表現します。夢撮りは3回（3つにイベント時）行い、合計65枚撮影しました。

初回は、11月3日、4日に開催されたふれあいまつりで撮影しました。41枚の夢撮りができました。2回目は集まれ！我が町の芸術家たちコンサートで行い、7枚の夢撮りができました。3回目は平成25年1月13日に開催された大口町成人式会場で、17枚の夢撮りができました。

合計66枚の夢撮り写真を5枚1組にし、組を変えながら合計41枚ののぼり旗を作製し、会場に掲出しました。

7) 東日本物産市

ファイナルイベントにおいても何か東日本の復興支援につながることをしたいと協議し、募金箱の設置という案もありましたが、何処に行っても募金、募金であり、募金をしていない人はいないだろうということで、募金はしないこととしました。復興祈願の花火も成案とはなりませんので、物産を販売することにより、販売するためには仕入れないといけないので、このことが被災地へお金を落とすことになり支援につながるだろうということで、物産販売をすることとなりました。物産と一口に言っても色々なものがあり選定に悩みましたが、食べるもので、日持ちがし、誰もが気軽に買うことができるものという観点から、事務局で選定しました。

合計22品目とちょっと欲張りすぎたのですが、1つはマスカットサイダー。岩手県陸前高田市にある神田葡萄園のサイダーで、桜ライン311で50th委員が植樹したぶどう畑がこの神田葡萄園のぶどう畑だったのです。また、海産物の多くは「菊鶴商店」と言って、岩手県釜石市にある海産物を中心に扱うお店ですが、ここの社長は東日本大震災の折に津波で流された車にいたとして映像が流れた女性で、九死に一生を得た方です。この菊鶴商店から14品目を購入しました。そして、宮城県七ヶ浜町で家族で海苔を作っている星海苔店から4種類の海苔を、宮城ふるさとプラザ東京出張所から牛タン商品2種類を購入しました。残る1種類は、50th委員からの寄附で、東日本復興支援品として販売していたリストバンドです。結果的に、このリストバンドは商品としてではなく、物産を購入していただけた方へのプレゼントとなりました。

物産市での販売商品は、以下のとおりです。

東日本復興支援 物産販売一覧

No	品名	説 明	販売単価	支援金	発注先	No	品名	説 明	販売単価	支援金	発注先
1	マスカットサイダー	陸前高田の神田葡萄園のサイダー	200	40	神田葡萄園	12	おにぎりわかめ	おにぎりの具材	500	100	菊鶴商店
2	おつまみ牛たん	宮城県喜助のおつまみ牛たん	400	80	宮城ふるさとプラザ	13	おにぎりひじき(うめ)	"	500	100	"
3	牛たんジャーキー	宮城県喜助の牛たんジャーキー	400	80	"	14	おにぎりひじき(しらす)	"	500	100	"
4	さんまのピリ辛	さんまの煮付け(常温保存)	500	100	菊鶴商店	15	三陸漬	わかめの茎の味噌漬	500	100	"
5	さんま生姜煮	さんまの煮付け(常温保存)	300	60	"	16	鮮わかめ	わかめの塩蔵	500	100	"
6	ぶり大根	ぶり大根の煮付け(常温保存)	300	60	"	17	かもめの卵ミニ6個入りパック	お菓子	500	100	"
7	岩うにほたて	貝柱とウニの煮物(常温保存)	500	100	"	18	かもめの卵ミニ パラ売り	お菓子	100	20	"
8	子持ちほたて	貝柱と数の子の煮物(常温保存)	500	100	"	19	海の薫り(焼のり全型10枚)	七ヶ浜海苔(焼のり)	300	60	星のり店
9	わかめわさび	わかめとワサビの佃煮	500	100	"	20	おにぎりの恋人	七ヶ浜海苔	400	80	"
10	わかめ明太子	わかめと明太子の佃煮	500	100	"	21	おやつ七ヶ浜のり(塩あじ)	七ヶ浜海苔	400	80	"
11	かもめの鼻くそ	お菓子、ココアボール	300	60	"	22	味付けのり 八つ切り5枚入20束	七ヶ浜海苔	400	80	"

8) 南三陸町長からの礼状

後日、佐藤南三陸町長から、礼状が届きました。

謹 啓

新緑のまぶしい季節になってまいりました

さて、このたびは過分なるご寄付をありがたく
頂戴させていただきます 誠にありがとうございます
す お陰様で災害復興住宅と防災集団移転四カ
所の着工に加え、役場や病院等の公共施設の敷
地造成が夏頃から始まる予定で復興への足取りが
少しずつ確かなものになってまいりました

貴殿のご支援に応えるべく町民一丸となって復
興にまい進してまいりますので、今後もお力添えの
ほどお願い申し上げます

機会があれば、ぜひ南三陸町にも足をお運びく、
ださい

まずは略儀ながらお礼の挨拶といたします

敬 白

平成二十五年五月吉日

南三陸町長

佐藤 仁



大口町制施行五十周年記念事業推進委員会 御中

(3) 支え合い編

支え合い編は、丹羽ライオンズクラブ協賛事業として開催したものです。支え合い編のメイン事業である「地球のステージ」公演のスポンサーとなっていただけなのです。もともとは、本町の50周年事業に何かしらの協力をしたいと申し出ていただけなのですが、50周年記念事業事務局の不手際で申し出自体が流れかけていました。そうした中、ファイナルイベントの企画提案が出てきて、50周年記念事業として位置づけされたことから話は急展開。丹羽ライオンズクラブの大島会長、猪子幹事にお話をさせていただき、11月7日に開催された丹羽ライオンズクラブ例会にて提案並びに事業説明をし、晴れてご承認をいただくことができたのです。丹羽ライオンズクラブ役員の皆さんのお骨折りには感謝です。

50th 委員の中でも「地球のステージ」を知らない委員がいて、事業提案が出た時には、資料映像をみんなで見て審議し開催することとしましたし、もっと理解を深めるため近隣で開催される「地球のステージ」公演を何度も見に行きました。当町公演直近の3月には北名古屋市での公演が予定されておりましたので、その公演の主管である北名古屋市市民活動推進課に、ファイナルイベントのチラシ配布依頼をし、北名古屋市での公演来場者等に配布してもらいました。

支え合い編の内容は、ライオンズクラブ主催の国際平和ポスターコンテストの表彰式、大口町プロモーションビデオの上映、「地球のステージ」1＋震災特別篇、そしてパネル展示です。進行は、土屋委員に努めてもらいました。来場者は、300人弱ほどで、ちょっと残念でした。

また、会場では「地球のステージ」事務局への募金、桜ライン311植樹活動への募金を呼びかけ、33,900円を「地球のステージ」事務局へ、6,509円を桜ライン311事務局へ寄附をしました。

大口町では平成18年度から平成22年度まで毎年「地球のステージ」公演を続けてきました。特に平成22年度の公演は、平成23年3月19日に開催しており、これは奇しくも東日本大震災から8日後のことでした。「地球のステージ」公演は心療内科医の桑山紀彦氏による映像と音楽のシンクロステージです。桑山氏は出身こそ岐阜県高山市ですが、現在は宮城県名取市に「東北国際クリニック」を構えてみえ、東日本大震災ではご自身が被災者であり、多くの友人を失っているのです。そんな彼が、大震災からわずか8日後に東日本の現状も伝えようと来町していただけたのでした。大口町有志では、この「地球のステージ」公演を続けて開催したいと考えています。毎年は無理でも3年に一度は開催し、特に中学生を中心に見ていただく機会を作ろうと、仲間集めに奔走しております。興味のある方は、是非、ご参加を！ご連絡は、大口町役場 地域協働部 地域振興課までお願いします。

また、ファイナルイベントに先立つこと2週間前の3月16日（土）から町内の商業施設のスペースを借りて、「地球のステージ」と我が町の東日本復興支援の取組

みを簡単にまとめたパネル展示を行いました。「地球のステージ」という映像と音楽のシンクロコンサートがどのようなものか知っていただこうと、そして知った上で興味を持っていただき当日の公演に来場いただけたら嬉しいと思って開催したものです。同時に、平成23年3月11日の午後発生した巨大地震と巨大津波によって未曾有の被害を受けた東日本の皆さんへ、十分とは言えないかも知れませんが我が町の人々がそれぞれの出来る範囲内で支援をしてきた活動について、大まかな概要をお伝えしようと、パネルを作成し展示しました。

1) 見学した「地球のステージ」公演

平成24年10月20日(土)	もりの会公演(長久手市)
10月20日(土)	笠松町文化協会公演(岐阜県羽島郡笠松町)
10月27日(土)	ワールド・コラボ・フェスタ公演 (名古屋市中区)
11月17日(土)	あいち国際交流はなのき会公演(名古屋市中区)
平成25年 3月 3日(日)	北名古屋市公演(北名古屋市)

2) パネル展示スケジュール

平成25年3月15日(金)	「地球のステージ」パネル到着(宅急便)	
16日(土)	午前8時30分	搬入・展示
～	Vタウン大口にて展示	
19日(火)	午後5時30分	撤去・搬出
20日(水)	午前9時	搬入・展示
～	ヨシヅヤ大口店にて展示	
23日(土)	午後6時30分	撤去・搬出
24日(日)	午前8時	搬入・展示
～	アピタ大口店にて展示	
29日(金)	午後6時30分	撤去・搬出
	町民会館2階ロビーへ	
30日(土)	町民会館ロビーにて展示	
4月 1日(月)	「地球のステージ」パネル返却	

2) 支え合い編チラシ

町制50周年記念事業 **FINALイベント**
 “感謝 そして 明日への一歩”

～支え合い編～



ほんとうの しあわせって なんだろう？

困難の中でも、目を輝かせて生きる

**私たちを見て！
ぼくらを感じて！**

地球のステージ 1
ステージ1：震災篇

平成**25**年**3**月**30**日(土)

12時30分 開場
 13時10分 賞状授与式 ライオンズクラブ会長
賞状授与式ステージ上
 13時20分 大口町70周年ビデオ上映
 13時30分 開演 全1部40分

大口町民会館ホール
井田様が先導してください。大口町コミュニティバスをご利用ください(時刻表QRコード)。

入場無料 (全席自由)
※貴席の場合は、入場をお断りする場合もありますので、ご了承ください。

■『地球のステージ～震災篇～』パネル展
 ■大口町復興支援 パネル展 (併設展示)
 3/16(土)～19(火) Vタウン大口店
 20(水)～23(土) ヨシツヤ大口店
 24(日)～29(金) アビタ大口店 2階
 30(土) 大口町民会館

●『地球のステージ』とは.....
 これまで57カ国を歩き、紛争・災害地域で途次火災・心のケアを続ける中、出会った子どもたちの“たくましく生きる輝き”を伝える映像ライブです。

■ステージ1の内容
 放浪の旅を経て、海外支援活動へ導く少女と出会い、そこから始まる新たな道。ステージで語られる人々の姿から、大切なものに気づかされます。

■震災篇の内容
 2011年3月11日。メディアで知られなかったことを、2年経った今、人々はどう立ち上がろうとしているのか。高知県名取市で院長を務める「東北国際クリニック」が被災するも、翌日から24時間体制で診療を続けた、桑山医師が伝えます。



桑山 紀彦 くわさやま のりひこ
 作詞・作曲・映像制作
 ガーランド・キター・バイオリン
 長野県桑山市出身
 高知県名取市 東北国際クリニック院長

小・中学校で多数公演、NHK『東北発 未来を築く』講師、日本記者クラブでの会見、雑誌『AERA』、『ラジオ深夜便』等で注目の診療内科医

平成23年3月19日の震災特刊から2年ぶりの大口公演にあたり『地球のステージ』の企画運営を進めながら、「本当のしあわせって？」「子どもたちに伝えたいことって？」など、未来に想いを馳せ、大口公演を一緒に盛り上げてくれる仲間を募集中です！

公演開催・応援サポーター申込み：問合せ先 / 大口町地域振興課
 ☎/95-1111 内線114 メール / chiki@town.oguchi.lg.jp

主催 / 大口町制施行50周年記念事業推進委員会・大口町・大口町教育委員会 共催 / 丹羽ライオンズクラブ

(4) ファイナルイベントポスター

町制50周年記念**FINAL**イベント

平成**25**年**3**月**30**日(土)

“感謝 そして 明日への一歩”

～ まちの元気編 ～ 11:00から 14:00まで

ファイナルイベントに
みんな来てネ!!

平成24年4月1日の
町制50周年記念式典&
HAPPYバースティ! おおぐちから
始まった50周年記念事業。

この「つながり」を
未来につなげていこう。

飲食

- うまいっ!! 奉迎さ: もかい
- 人口産米物トーナツ、揚げたてコロケ: 秋村くら
- なつかしの駄菓子: 熊いのぼり
- 人口産大豆の田舎: AGRクラブ
- 美味。うなぎオリジナルメニュー: むつるのしず
- ひとほかにほか、ソフトドリンク: 元気なまかせてネット
- 日本一美味しいとされている唐辛子: 矢野川産唐辛子会

物販・展示・工作・ゲーム

- オリジナルグッズ・活動PR展示: やまのいプロジェクト
- オリジナルグッズ・活動PR展示: 志賀・skyoun
- 10年間のあつたあつた: コミュニティサポート隊
- お米のむらり: 50th/ネル展示: 町制50周年委員会
- 飾りになる植物: 多摩植物愛好会
- とりたて新鮮! 野菜・お花: 大口町産会
- 飾り出しのいっしょいっしょ: サイクルバザー/ハートフル大口町産会
- ものづくり教室(ストロー工作): 東海理ボランティアセンター
- 村のまよひ! : 大口町農工商会

ステージ

- 日本民謡: 日本民謡研究会
- 太極拳: 太極拳協会
- 和太鼓演奏: 日本太鼓研究会
- 親子おどろき: 元気なまかせてネット、志賀・skyoun

町制50周年記念事業FINALイベント～まちの元気編～ 問合せ先 / 大口町50周年記念事業推進部 ☎95-1111 内線180

～ 支え合い編 ～

地球のステージ

ほんとうのちあわせって、なんだろう?

困難の中でも、目を輝かせて生きる
私たちを見て!
ぼくらを感じて!

地球のステージ 1. 震災篇

『地球のステージ』とは.....
これまで57カ国を歩き、紛争・災害地域で医療支援・心のケアを続ける中、出会った子どもたちの“たくましく生きる輝き”を伝える映像ライブです。

大口町民会館ホール 入場無料(全席自由)

12時30分 開場
 13時10分 開演授与式
 13時20分 大口町70周年ビデオ上映
 13時30分 地球のステージ開演

小中学校で多数公演
NHK『東北発☆未来塾』
雑誌『AERA』
日本記者クラブ記者会見
『ラジオ深夜便』等で
注目される、現役の医師
桑山紀彦さんが、
歌い、語り、伝えます!!

桑山 紀彦(くわん のりひこ) 山口県下関市出身。山口大学医学部卒業。山口県立総合医療センター医師。NHK『東北発☆未来塾』出演。雑誌『AERA』掲載。日本記者クラブ記者会見。『ラジオ深夜便』出演。

■ ステージ 1 の内容

旅費の旅を経て、海外支援活動へ導く少女と出会い、そこから始まる新たな物語。ステージで語られる人々の姿から、大切なものに気づかれます。

■ 震災篇 の内容

2011年3月11日、メディアで知られなかったことも、2年経った今、人々はどう立ち上がろうとしているのか。宮城県名取市で被災を体験する「東北復興クリニック」が被災するも、翌日から24時間休まず診療を続けた、桑山医師が伝えます。

■ 『地球のステージ～震災篇～』パネル展

■ 大口町 復興支援 パネル展 (併設展示)

3/16(土)～19(火) Vタウン大口店
20(水)～23(土) ヨシツヤ大口店
24(日)～29(金) アビタ大口店 2F
30(土) 大口町民会館

主催 / 大口町制施行50周年記念事業推進委員会・大口町・大口町教育委員会 共催 / 丹羽ライオンズクラブ
～ 支え合い編 ～

4 主な経費（50th 推進委員会会計）

収入の部

丹羽ライオンズクラブ助成金	450,000円
募金（支え合い編：「地球のステージ」事務局へ）	33,900円
募金（支え合い編：桜ライン311事務局へ）	6,509円
東日本復興市売上	216,100円
お米量り売り売上	13,000円
計	719,509円

支出の部

「地球のステージ」公演料	376,535円
「地球のステージ」資料（DVD、本）	40,935円
「地球のステージ」公演諸費	17,700円
「地球のステージ」事前学習費	4,805円
ポスター、チラシ	39,775円
夢撮りのぼり旗作製費	110,700円
東日本物産購入	192,653円
量り売り用米購入	14,600円
まちの元気編音響代	84,000円
まちの元気編長椅子、テントレンタル	49,485円
保険料、その他諸費	40,283円
「地球のステージ」寄附金	33,900円
桜ライン311	6,509円
南三陸町寄附金（東日本物産市売上の一部）	44,140円
計	1,056,020円

5 部会長所感

2つの事業（イベント）を一つの形で取り組んだことで、運営主体等の境目が分かりにくく、最後まで混乱してしまいましたが、事務局のサポートにより、細かな点も目が行き届き事業を終了することができました。

ふれあい編では、多くの協力により、手作り感がある良い事業が最後に実施することができ、委員会らしい事業が実施できたと感じている。

また、会場周辺を飾っているファイナルの旗は、この桜の時期にマッチした良いデザインであり、みんなの元気でまちの景観を彩っている感じが非常に良いと感じています。

ファイナルに関わる皆さんの得意なことやできることを少し分けていただき、皆さんが主役として取り組める事業展開ができたと感じています。

事業記録写真
まちの元気篇



大竹委員長・森町長開会あいさつ、木野議長祝辞

活動展示



活動展示とTシャツ販売：志響



五目稲荷、蒸し菓子、駄菓子：憩いの四季



飾りたくなる植物：多肉植物愛好会



オリジナルグッズ販売：やろ舞いプロジェクト



ストロー工作、バルーンアート：東海理化ボランティアセンター



地産地消「田楽」とジュース：AGRIクラブ



米粉ドーナツ、揚げたてコロッケ：耕作くらぶ



50周年最後の美味しい串焼き：もやい



射的・ゲーム：商工会青年部



日本一美味しいと自負している焼きそば：矢戸川をきれいにする会



綿菓子、リサイクルバザー：ハートフル大口保護者会



安心安全な新鮮野菜とお花：大口町朝市会



ホットドリンク・手作り小物マーケット：町民活動まかせてネット



10年ありがとう企画：コミュニティバスサポート隊



お米の量り売り、東日本物産市、50th パネル展：50th 推進委員会
パフォーマンス



日本舞踊：豊淑五会



太極拳：大口町太極拳同好会



日本舞踊：大口民踊会大口こざくら会



和太鼓：日本太鼓研究会



歩～あゆみ～



さくら連



志馨 ～shikyou～



菜花



あさぎ



総踊り



50th 推進委員会委員によるお礼





支え合い篇



▲「地球のステージ」：映像と音楽のシンクロコンサート
←総合司会の土屋委員

▲桑山紀彦氏



50th 推進委員会委員からの最後のお礼のあいさつ



会場入口に置かれた募金箱



会場準備中のスタッフ



「地球のステージ」パネル展：町民会館町民ホールロビー



開場前の打合せ：
丹羽ラインオンズクラブ役員の皆さん

▲支え合い篇会場出口へ移動して
東日本物産を販売

「地球のステージ」、大口町の東日本復興支援 移動パネル展

パローショッピングセンター：平成25年3月16日～3月19日



ヨシヅヤ大口店：平成25年3月20日～3月23日



アピタ大口店：平成25年3月24日～3月29日



「夢撮り」のぼり旗の例



夢撮り写真

ふれあいまつり撮影分：平成24年11月3日～4日







集まれ！わが町の芸術家たちコンサート撮影分：平成24年12月2日





成人式撮影分：平成25年1月13日





告知看板

▼ 町民会館第1駐車場アピタ大口店交差点側



▲ 町民会館入口左側

番外 (例年より早く満開となった五条川堤の桜: 3月30日現在)



LED 照明による
鮮やかなライトアップ

ははこ 『母子の愛情のまち啓発事業』

部会長：田中百百代

部会員：後藤清子、稲垣紀子、中村和枝、堀部令子

1 目的

本町に伝わる母子の愛情物語（裁断橋物語、山姥物語）を顕彰し、我が町が慈愛溢れる母子の愛情物語の町であることを広めるとともに、現代版の母子の愛を実感できる町づくりをしていく。

2 事業の経過と概要

上記の目的を達成するためまずは2つの物語を知り、現在どんな団体がどのような顕彰事業をしているのか、顕彰団体がないのならどんな実態があるのか現況を把握しないといけないということで、勉強をすることとなりました。

最初に、4月8日に堀尾跡公園で開催された金助桜まつりに参加し、祭りの内容、裁断橋物語の主人公である金助とその母の物語がどのように顕彰されているのかを知ると共に、同時開催される春の伝統芸能発表会で裁断橋物語を朗読してもらいました。

次に、5月13日に桂林寺で開催された堀尾家供養祭並びに引き続いて開催された母の日講演会に参加し、堀尾史蹟顕彰会の活動内容を学びました。

そして、5月25日に開催された名古屋市熱田区にある市立白鳥小学校と大口南小学校の交歓会にも出席させてもらい、裁断橋物語が子どもたちにどの程度浸透しているのか、裁断橋物語を学習の中でどのように取り入れ、顕彰しているのかを見学しました。

山姥物語については顕彰団体等がないことを知り、まずは知ってもらおうと11月に小口城址公園で開催される秋の伝統芸能発表会で、山姥物語を部会員で紙芝居をしようと企画しましたが、残念ながら雨天中止となってしまいました。その後、特に検討がされないまま時間が流れてしまいましたが、年が明けた1月25日に山姥物語の伝説が残る徳林寺に出掛け、小坂住職から山姥物語を聞くと共に山姥物語をどのようにして広めているのか現状を伺いました。

3 実施詳細

この部会は、どういう形で成果を出すのか大変難しい課題でした。委員全員が子ども議会、集まれ！我が町の芸術家たちの部会員を兼ねており、他にも個々に他の部会員を兼ねている中で、その忙しさと課題の難しさから部会を開けませんでした。

裁断橋物語の主人公である堀尾金助とその母は、松江開府の祖として崇められている堀尾吉晴と共に、堀尾史蹟顕彰会という組織が堀尾氏の出身である豊田区中心に出来ており、この堀尾史蹟顕彰会の事業の中で啓発、保存、伝承がなされている状況にあります。また、裁断橋物語が縁で、名古屋市熱田区にある市立白鳥小学校と大口南小学校が

交歓会を毎年開催しています。このため、そうした事業に参加、見学することにより、現状把握と今後の検討の方向性を出したいと考えました。

平成24年4月8日には金助桜まつりと共に開催される春の伝統芸能発表会で、部会から伝統芸能保存会事務局に依頼をして、伝統芸能の皆さんがお囃子など奏でながら行進してくる間に姥堂横の野外ステージで「裁断橋物語」を朗読してもらいました。秋の伝統芸能発表会は、平成24年10月28日に予定されており、部会員が山姥物語の紙芝居をする予定でしたが、秋の伝統芸能発表会そのものが雨天中止となってしまいました。

5月13日には堀尾史蹟顕彰会主催で堀尾氏の供養祭と母の日講演会、同月25日には堀尾跡公園と新生大口南小学校を会場に名古屋市立白鳥小学校と大口南小学校との交歓会に臨席をし、部会員で「裁断橋物語」の啓発状況を確認しました。特に白鳥小学校との交歓会では、堀尾跡公園で両校の児童が声をそろえて裁断橋の擬宝珠に刻まれた銘文を暗唱する姿には感動を覚えました。

山姥物語もどのように広め顕彰していくか、その手掛かりを求め平成25年1月25日に山姥寺として有名な徳林寺に部会員で話を伺いに行きました。以前は、小中学生がグループ学習で山姥物語について尋ねに来ることが多かったようですが、今はその機会も少ないとのこと。小中学生などに徳林寺の住職やお庫裏様から、直接山姥物語について語ってもらう機会をもっと作るとよいと感じました。

なお、「裁断橋物語」は顕彰組織がありますが「山姥物語」はないということで、「山姥物語」の顕彰組織の組織化を検討するという目的がありました。徳林寺及びその檀家も巻き込んでの組織化が有効ではないかと思われませんが、徳林寺の意欲・意向がどれくらいあるのかが重要であり、話を伺った限りでは「来たら話す」という受身的な印象で、自ら進んで積極的に話を広めようという意欲は少ないように感じました。徳林寺とどのようにタイアップしていくのかを考えるのが、顕彰組織結成の鍵となりそうです。

こうして見学やお話を伺うことで実態の把握をすることはできましたが、課題を前に進めるには至りませんでした。唯一の成果は、大口町歴史民俗資料館が伝統芸能保存会の行事である伝統芸能発表会で、春は「裁断橋物語」を秋は「山姥物語」を朗読していくことを検討していることです。

また、母子の愛情のまち啓発部会員も所属する「集まれ！我が町の芸術家たち」部会が、事業の継続を検討する中で伝統文化の継続性も目的に入れてくれているので、その中で「裁断橋物語」、「山姥物語」の継承・啓発をする機会を検討していただけたらと考えています。

4 主な経費

なし

5 部会長所感

町制50周年記念事業推進委員会の2回目の会合で見た周年事案の一覧表の中にあった「母子の愛情サミット」という文字、さらに事業内容としては「日本の三大母の銘文に関

連して金助の母、本居宣長の母(松坂)、野口英世の母(福島)の三地区で母の愛情をテーマにサミットを開き、毎年交流して関係を深める。」とあった。

私は、10年ほど前に猪苗代湖のほとりにある野口英世記念館に立ち寄った際に、英世の母シカが息子にあてた手紙の実物を見た。もともと、数年の予定でアメリカに渡った英世でしたが、研究成果が認められ世界的な名声を得たことなどから、なかなか帰ってくる機会がない息子に対して、「お前の出世にはたまげました。早く帰ってきてください」と下手な字ではあるけれども、子を思う母の気持ちが強く表れている手紙を見たときの衝撃は今も鮮やか覚えている。

また、松阪市の木綿問屋の長男として生まれた本居宣長は、小さいころから商売より学問を好む子どもであったことから、母は、当時としては珍しく、義兄に家業ついでもらって、商家の長男である息子を医者にするため京都に留学させている、その後、医者になって松阪に戻ったが、その一方で、京都では国学も学び、古事記を体系的に研究するなどして、その門人も490人を数えたと言われていることは、三重県生まれの私としてはかなり小さいころからよく知っている話であった。

そして、今、金助の生地である大口市に私は住んでいる。私がこの推進委員会に参加させていただいた大きな理由の一つが、定年までは名古屋にいる時間のほうが長くて、大口町のことをほとんど知らない、そろそろ大口町を勉強したいと思っていたときであったことなので、これはいい機会だと考えてこの部会にかかわるようになった。

ところが、その後、いろいろと紆余曲折を重ね、その部会が「母子の愛情のまち啓発」部会になり、裁断橋物語と山姥物語の啓発という、意図していたものと大きく様変わりしたことで、何のビジョンも持つことができず、どう流れていくかも予想できないまま、その船に乗ってしまったような気がする。今になって振り返れば、事務局の助言や指導に乗っかって流れていただけの1年半だったような気がしており、形のあるものを何も残せなかったことをたいへん申し訳なく思っている。

ただ、大口町への理解が若干進んだこと、春、秋の伝統芸能保存会に少しは関われたこと、徳林寺の住職から意義深いお話が聞けたことなど、私個人としては大変有意義な1年半だったと感謝している。今後は「集まれ!わが町の芸術家たち」部会の継続事業の中で、この経験を活かしていければいいかなと考えている。

事業記録写真

なし

『健康麦茶「桜野」』

製造年月日 : 平成24年7月26日(木) 納品
製造数 : 2,100箱
販売金額 : 220円/箱(内20円は、桜ライン311活動支援金)

1 目的

町制50周年を記念し、これまで愛飲されてきた麦茶「五条川」のコンセプトを引き継ぎ、大口町産六条大麦に薬草をブレンドし、飲みやすい健康麦茶として製造販売することにより、町民皆さんの健康の一助にしよう。そして、桜ライン311活動への支援も兼ねた商品とする。

2 事業の経緯と概要

麦茶「五条川」の開発メンバーから50th推進委員会に、麦茶「五条川」の開発余剰金を利用して、町制50周年を記念して新しい麦茶を作ってもらえないかと提案がありました。

50th推進委員会では、提案を受けるか検討をし、そもそも50周年記念事業に馴染むのか、また、現在も愛飲されており、尚且つ「憩いの四季」で販売している麦茶「五条川」の支障にならないかとか、企画製造販売する事業費としてどれ位必要でどこが負担するのかなどの意見も出ましたが、売れば持ち出しを少なくすることができること、50周年限りの製造販売なら「五条川」の邪魔にはならないだろうということで、提案を受け入れ、麦茶「五条川」開発余剰金240,784円の寄附(指定寄附:健康麦茶の製造)をいただきました。

50th推進委員は、特段お茶づくりについて経験や知識がある訳でもありませんでしたので、福玉米粒麦粥に相談しながら検討を進めました。麦茶「五条川」の開発メンバーとしても、もともと健康麦茶を作りたいと考えていたようですので、そうした意見及び思いを聞きながらの検討となりました。麦茶は、イメージ的に夏の飲み物の定番ですので、時期的にも押し迫った中での事業推進でした。

どんな健康麦茶にするのか、つまりどんな薬草をブレンドするのか、そのブレンドの比率はどうするのか、いくつかの試作品を作ってもらい、飲み比べをし、これならと委員自らの舌で決定をしました。

また、製造数量については福玉米粒麦粥の製造工程、機械の能力並びに製造原価及び購入予想などを基に、最低のロット+αということで、2,100箱と決定しました。価格については利益を上げる必要はないこと、桜ライン311の植樹活動を応援したいことにより、製造原価に1箱20円の支援金を足して、1箱220円と決定しました。

わくわく大口21、健康推進員、環境課の皆さんの大口協力もあって、2,100箱

の「桜野」は完売することができ、50th 委員寄附を加えた5万円を桜ライン311事務局に手渡すことができました。

なお、麦茶「五条川」開発メンバーからの寄附の趣旨は、健康麦茶の企画製造が主なものですが、販売により回収された資金については50周年記念事業に有効活用をしてもらいたいというものでした。しかしながら、50周年記念事業費として大口町から預かった資金に残金できたことから、寄附の趣旨が十分に反映されていないとの申し出があり、まちづくり活動に有効に使っていただくことを条件に20万円を返金させていただきました。返金したお金は、別のまちづくり活動へ寄附されたことを確認しております。

3 事業詳細

1) 麦茶「五条川」開発メンバーからの提案内容

町制50周年の「5」、五条川の「5」を掛けて、麦茶「五条川」の開発資金にて5種類の薬草をブレンドしたお茶を企画製造し、町民の皆さんの健康を願った50周年記念商品として販売する。

2) 50th 推進委員会での審議の経緯

5月8日 第16回推進委員会会議で提案 … 継続審議

上記提案内容及び試作品での試飲、概算経費などについて説明。

6月12日 第17回推進委員会会議 … 結論出ず

前回会議後の検討経過、見積書、購入見積もり、経費の支弁などについて説明

6月17日 田んぼアート「田植え」

田植え終了後の協議により、50th 記念事業として承認

3) 商品詳細

商品名 : 大口町制50周年企画商品 健康麦茶「桜野」

製造数量 : 2,100箱(10g×16袋入り)

原材料名及び配合率 : 大口町産六条大麦 65%、

ケツメイシ 20%、スギナ 5%、どくだみ 5%、桑の葉 5%

※ 配合率は目安としてお考えください。

販売価格 : 1箱220円(うち、20円は桜ライン311活動支援金)

製造販売者 : 福玉米粒麦(株)

パッケージデザイン : 地域振興課 臨時職員

パッケージ製造 : (株)松浦紙器製作所

4) その他

- ・ 製造した2,100箱は完売。
- ・ 5万円を桜ライン311事務局へ寄附。
- ・ 薬事法の規制により、効能表示、成分表示、病名とかを入れることはできません。

んでした。

- ・ 指定寄附金の受領年月日は、平成24年6月20日
- ・ 納品年月日は、平成24年7月26日
- ・ 部会は組織しませんでした。

4 主な経費（50th 推進委員会会計）

収入の部

指定寄附金	240,784円
「桜野」売上金	449,900円
計	690,684円

支出の部

「桜野」製造費	313,110円
「桜野」パッケージ代	128,153円
桜ライン311植樹活動支援金	40,900円
(桜・河川環境保護事業における50th委員からの桜ライン311植樹活動への寄附金9,100円を合わせて、5万円を寄附した。)	
麦茶「五条川」開発グループ還付金	200,000円
計	682,163円

事業記録写真



『大口町プロモーションビデオ』

制作年月日 : 平成25年3月21日(木) プレス 3月22日(金) 納品
映像時間 : 約9分30秒
制作本数 : DVD 10枚 BD(ブルーレイディスク) 10枚 計20枚

1 目的

町制50周年を記念し、我が町大口町の50年の歩み、移ろいを記録映像として残すとともに、我が町を訪れる方たちに「大口町」を紹介するため短時間で分かりやすく親しみやすい映像を作りたいと企画しました。

2 事業の経緯と概要

当初は、目的の前段にある我が町の50年の歩み、移ろいをドキュメンタリータッチで、人間の成長になぞらえて紹介する映像などを企画したいと検討をしたのですが、他の50周年記念事業の企画、予算計上、資料作りに追われ、十分掘り下げた案を練ることができませんでした。

大口町プロモーションビデオについては、もともと大口町を紹介する映像として町制30周年記念、40周年記念で制作したものがありますが、いずれも長編で来町者に気軽に見てもらえるものではありませんでしたので、10分～15分程度で大口町を紹介できる映像があるといいと近年考えられていたようです。

50周年記念事業が折り返し地点を過ぎる頃、50th事務局にプロモーションビデオの提案があり、検討をしてみることとなりました。説明(ナレーションや字幕)を極力なくし、BGMと共に映像が流れ、つまり、音楽を聴きながらリラックスした雰囲気の中で映像により大口町をPR出来るような感じに仕上げたいと取り組んできました。

映像の内容としては、五条川の四季を基本構成とし、その中で四季折々のまちの姿、四季には大別できなくても50年間の町の移り変わりを、現在と過去の写真の対比で描こうということになりました。

BGMとしては、今はやりのJ-POPなど皆さんに親しまれている曲を使いたいのでは山々ですが、著作権の問題があり簡単には使用できませんので、そうした問題がなく、しかも耳触りではなく、ゆったりとした感じで聞いてもらえるのはやはりクラシックだろうということになりました。

以上のような大筋の内容で、10分程度の時間で大口町を紹介できる映像、しかもこの先の使用に耐える映像をと考え、これまで大口町の映像に係る業務を請け負ってきた業者に委託することとしました。

業者委託をするには費用が掛かりますので、その費用は必要最低限のものに抑え、必要な静止画や動画の選別、撮影は手作業とし、なんとか50周年記念事業としての最後

の事業である「ファイナルイベント」にて披露することができました。

3 事業詳細

1) 大口町プロモーションビデオの企画書

大口町プロモーションビデオを制作するにあたり、次の企画書を作り決裁を受けました。

大口町プロモーションビデオ（PV）の制作

1. 趣旨

町制50周年という節目を迎えた本年は、従来の周年とは趣を異にした年であります。半世紀という節目の年に、この間の本町の成長・発展を記録し、整理する必要があります。特にこの10年余りの「協働」を主眼においた住民の参画と参加のまちづくりは、我が町のまちづくりの大きな舵取りとして、記録するべきと考えます。

2. PVの編集コンセプト

町制30周年、40周年と町勢ビデオを制作しましたが、我が町を短時間で気軽に紹介できる映像ではありませんので、10分以内で我が町を紹介できる映像とします。

内容としては、

- (1) 町の生い立ちや環境、人々の暮らしの変化（今昔）を表現する。
- (2) 我が町の豊かな自然とその四季を表現する。
- (3) 先人の取組みを表現する。
- (4) 現在のまちの元気を発信する。

を基本コンセプトとし、50年、100年先のより良い「まち・暮らし」を目指して取り組んでいるまちづくりを理解してもらえるものとします。

3. 構成案

構成の「柱」には、50周年記念事業の基本理念を据えたいと思います。

50周年記念事業 基本理念

のどかな田園風景が広がる私たちのまち大口町には、
春の風物詩「五条川の桜」、
世界で活躍する「多くの企業」、
土地改良・区画整理事業などで整えられた「恵み多き大地」、
そして参画と参加のまちづくりで培われた「協働の精神」
があります。

「町民」、「まちづくり団体」、「企業」、「行政」のエネルギーを、
尽きることのない「私たちのまちの宝」として結集し、町制施行
半世紀（50周年）という節目の年を、4者が一体となり、夢を抱
ける、心豊かなまちとして受け継がれるよう、さらなる発展のスタ
ートとして位置付けています。

今回提案する大口町プロモーションビデオは、この50周年記念事業の基本理念を柱とし、映像（スチル写真、動画）と音楽で表現することとし、ナレーションやテロップ（字幕）を極力排除します。著作権に触れないクラシック音楽をBGMに使い、全体を6分割（プロローグ、春、夏、秋、冬、エピローグ）構成とします。

クラシックを選択した理由は、いつの時代にも愛されてきた普遍性のある曲の方が、代々受け継がれていく町や人の営みと重なると考えたからです。

ナレーションやテロップを排除する理由としては、見る方を飽きさせず、ゆったりとBGMとともに映像を見ながらまちの変遷や生活の移り変わり、景色などを頭の中でも思い浮かべていただきたいと考えたからです。

映像を3秒程度で次々に展開させることで、まちの生い立ちと現在といった今昔や、施策前後といった対比ができるような見せ方を考えています。

4. 構成の骨格

6部×（五条川の映像15秒＋（3秒×旧現）×8コマ）

（1）プロローグ：息吹

- ①50周年基本理念
- ②大口町の誕生（町制施行）
- ③生活基盤の変化

（2）春：麗、華

- ①春の五条川
- ②花見
- ③入学式
- ④農作業
- ⑤住民活動

（3）夏：動、躍

- ①夏の五条川
- ②夏祭り
- ③遊び
- ④農作業

（4）秋：穰、想

- ①秋の五条川
- ②秋祭り
- ③町民体育祭
- ④農作業
- ⑤公園

（5）冬：静、貯

- ①冬の五条川
- ②企業
- ③文化財

(6) エピローグ：躍、繫

- ①子ども
- ②お年寄り
- ③メッセージ

5. 素材の確保

今後、詳細な構成案を組み立て、必要となる「絵」をイメージし、そのイメージに沿った動画、写真を下記により選定、募集します。

- (1) 大口町歴史民俗資料館で所蔵している文献等資料
- (2) 広報おおぐち、広報無線及び尾北ホームニュースにて、素材提供を呼び掛け
- (3) 写真愛好家の皆さんに協力依頼（古い写真の提供、新しい写真の撮影）

6. スケジュール

- 1 1月 PVの基本方針の検討、決定、詳細構成の検討、決定
- 1 2月 素材選定、撮影、募集
 - 1月 素材の決定、撮影
 - 2月 編集作業、完成

6. 業務委託

今回の大口町プロモーションビデオの制作、編集、一部撮影等の作業を30周年以後本町に係る映像関係作業に関わってきた担当者に委託することで、過去に撮り貯めた素材の活用を図るとともに、スムーズな制作工程管理、より本町の魅力を引き出すことができるようにしたいと考えております。

2) 素材の選別・撮影

プロモーションビデオの内容として、大口町の今昔を写真の新旧の対比で見せることを考えましたので、まずは町制施行当時あたりの写真探しから始めました。もともと別の記念映像を作る予定で、プロモーションビデオ用ではなく広報にて写真や映像募集をしたのですが、町民の皆さんの反応はなく、わずかにお一人からの提供だけでした。

募集のカテゴリーが大きすぎたとの反省をし、プロモーションビデオ用ということで素材対象を絞り、再度広報にて募集をしたのですが、これも空振り。仕方なく、写真を趣味で撮っている方等に、お話を伺い、時には写真を見せていただいたりして素材を探しましたが、なかなかイメージ通りの素材は見つかりませんでした。

ある方のお宅には半日間お邪魔をし、倉庫に積まれていた写真の箱をいくつも座敷に持ってきてもらえて、座敷が半分以上埋まる量の写真箱がありました。重い写真箱を引っ張り出していただけたのですが、50年前の写真となるとそう数

はなく、ご迷惑をお掛けしただけになってしまい、申し訳なく感じています。

また、ある企業の部次長さんは、当方からの写真提供依頼に奔走され、お忙しい中、計3度に渡りわざわざ写真データを役場まで届けに来ていただきました。

素材選びも難航しましたが、古い写真ではその撮影場所等の特定も難しいものがありました。けれど、話はいろいろしてみるもの、聞いてみるもので、撮影場所や被写体の特定ができたものもいくつかあり、現在に置き換えての撮影をすることができたものもありました。

町の様子は航空写真だと広範囲が映し出されますので、重宝します。平成23年に中日新聞に上小口上空、国道41号線付近の写真が掲載されていたので、その使用申請を㈱中日新聞社に提出し、許可をいただきました。余談ですが、この際、㈱中日フォトサービスの佐藤社長との面識ができ、「大口町として必要な空撮カットがあるのなら、日にちの約束がなくてもいいのなら飛んだついでに撮ってもいいよ。」とのお言葉をいただき、後日、以前の空撮に合わせた構図でとても安価で航空写真を撮ってもらえました。

今昔の対比に使いたい昔の写真は、以上のような状況で当初描いた映像は思うように出てこず、多少の変更は余儀なくされました。

動画映像は、五条川の四季に使う予定で、春と夏の五条川映像は近年撮影したものの使用ができたのですが、秋と冬の映像がない状況でした。このため、政策推進課長が自らビデオカメラを持ち出し、紅葉真っ盛りの秋の五条川の風景、大雪が降った朝から河川敷に降りるなどして見事な冬の五条川風景を撮影してくれました。

こうして選定、撮影した写真は、ビデオとして編集しないといけませんので、後述のBGMの収録日に写真をビデオに取り込む作業をしました。本来なら、スタジオ等で行うのが良いのですが、経費節約です。大きな空間は必要なく、町民会館1階の事務室に、大の大人が5人も入って撮影となりました。

3) BGM

どんな音源を使用するのか、当初はやはり大口町のイメージソング「ほほえみを花束にして」かなという必然的な思いがありましたが、1曲では調子が悪く、場面転換ができません。企画書にあるように、いつの時代にも愛されてきた普遍的な曲の方がビデオのイメージに合いますし、著作権問題も生じませんので、総合的に判断しクラシック音楽としました。担当者にはクラシック音楽への造形はありませんでしたので、ここは業者頼み。著作権にとらわれない五条川の四季に合う曲をリストアップしてもらいました。

次にその音源をどうするのか、市販の音源（CD等）を使うのか、演奏しても

らうのか。ここは、迷わず演奏してもらうことを選びました。では、誰に演奏してもらうのか。ここで白羽の矢を当てたのが、愛知県立丹羽高等学校の吹奏楽部です。50周年記念事業の企画にあたり、同校吹奏楽部顧問の坂内先生にお話を伺ったことがあり、その折に「私たちが出来ることがあったら、何でもおっしゃってください。」と言っていたのを真に受け、打診をしてみました。結果は、二つ返事で承諾していただきました。ただ、問題は日程。年末や年度末にはいろいろな行事が入っており、それに向けた練習もしなくてはいけないので、当方のプロモーションビデオの音源としての曲の練習ができるのか、また、録音をする時間、場所が確保できるのかという問題です。

幸い、1日だけですが丹羽高校吹奏楽部の都合と合う録音する時間、会場を予約することができました。次は使用する楽曲です。最初に提示した楽曲の中の1つは、高校生ではとても難しい楽曲だそうで変更を余儀なくされましたが、これも幸いなことに変更調整の結果、引き受けていただけることとなりました。

使用した楽曲は、次のとおりです。

プロローグ	組曲『展覧会の絵』プロムナード	ムソルグスキー
春	行進曲『威風堂々』第1番	エルガー
夏	交響詩『ローマの松』より「ボルケーゼの荘の松」	
	レスピーギ	
秋	歌劇『ローエングリン』より「エルザの大聖堂への行列」	
	ワーグナー	
冬	吹奏楽のための組曲『第2番』	ホルスト
エピローグ	組曲『惑星』より「木星」	ホルスト

以上の楽曲を丹羽高校の吹奏楽部の皆さんは、練習を重ね、堂々と演奏してくれました。生の音は違いますね！

収録（音撮り）をしたのは、平成25年2月11日（月：祝）、町民会館町民ホールを使いました。丸1日かけての収録となりましたが、高校生の皆さんは弁当持参で会場準備（椅子、平台等の出し入れ）、楽器の搬入、搬出ともすべて手慣れた感じでてきぱきとやってくれ、もちろん演奏も一生懸命でとても良い収録ができました。

ところが、問題が1つ。50th事務局と坂内先生の調整が甘く、先の楽曲の変更がきちんと伝わっておらず、坂内先生は演奏することが難しいとした曲が単純に削られたものと思ってみえたのです。50th事務局としては、このことが判明した時は血の気が引きましたが、坂内先生のフォローに助けられ、無理な日程を空け、再度の収録をしていただけることとなりました。

再度の収録をしたのは、3月7日（木）の夕方から、前回と同じ町民会館町民

ホールで行いました。学校の授業が終わってからの収録でした。町民会館1階にある会議室では、同時時間帯に和太鼓の練習が入っており、和太鼓の音が2階ホールまで響くので、本番の時だけ叩くのを控えるという協力も快くしていただけ、この日の収録も無事終えることができました。皆さんのご協力に感謝です。

丹羽高校吹奏楽部の皆さんには、何のお礼も差し上げておりません。楽譜を1組プレゼントしただけです。これでは申し訳ないと感じたのか、委託業者が丹羽高校吹奏楽部の皆さん用に、プロモーションビデオと同じ長さで大口町の映像の代わりに演奏風景が入ったDVDを人数分作成して、プレゼントしてくれました。

なお、プロモーションビデオに登場する指揮者は、坂内先生ではなく、丹羽高校吹奏楽部の特別講師である桐田正章先生です。

4) 編集作業、納品

編集作業は、委託業者での作業です。立ち会い希望を聞かれましたが、ファイナルイベント等の準備等で長時間に及ぶ編集作業に時間を割くことができませんでしたので、お任せをしました。基本構成とどの写真をどの順番でどこに使用するのかが事前打ち合わせで決まっていたので、特に問題はないとの判断もありました。映像面では、ラフ編集のチェックを経て、本編集の試写をし、完成となりました。音響面でも、基本作業は映像と一緒にですが、最終の確認は名古屋市北区のスタジオに出向いて行い、完成となりました。

DVDとブルーレイディスクそれぞれ10枚の納品契約でしたので、そのプレス作業が3月21日に行われ、翌日3月22日に無事納品されました。

5) 披露

大口町プロモーションビデオは、平成25年3月21日にプレスされ、翌22日に納品されました。完成披露は、50周年記念事業のトリを飾るファイナルイベントです。3月30日(土)に開催したファイナルイベントの支え合い篇で、「地球のステージ」公演の前に上映しました。上映時の機材は、「地球のステージ」の機材をそのまま借用しました。

6) 活用

折角編集した大口町のプロモーションビデオですので、少しでも活用して欲しいので、DVDとブルーレイディスクをセットにして、主な所に活用依頼をしました。依頼先及び保管先は以下のとおりです。

大口町教育委員会、大口中学校、大口南小学校、大口北小学校、大口西小学校、大口町議会事務局、大口町立図書館、地域協働部地域振興課、総務部政策推進課、会計室

また、制作に協力者いただいた方にもコピーを贈呈しました。

5) その他

当初は 50th 推進委員会事業としてスタートしたものではありませんでしたが、事業遂行上の必要性から 50th 推進委員会に了解をいただき、50 周年記念事業としての位置付けとなりました。

50 周年期間も残り少なかったこと、他の記念事業の推進もしていかなければならないことなどにより、部会は組織しませんでした。

4 主な経費（50th 推進委員会会計）

収入の部

予算流用	1, 6 8 0, 0 0 0 円
計	1, 6 8 0, 0 0 0 円

支出の部

プロモーションビデオ制作費（委託料）	1, 6 8 0, 7 3 5 円
楽譜購入	4 8, 1 9 5 円
楽器搬送費	5 3, 2 3 5 円
空撮写真代	5 2, 8 1 5 円
計	1, 8 3 4, 9 8 0 円

事業記録写真



楽器の搬入搬出や会場準備は自分たちの手で



▲桐田先生と寺村プロデューサーの打合せ風景



▲▼ 練習風景



▲写真を映像として取り込む作業



▼特に何の変哲もありますが、納品されたDVD、ブルーレイディスク、そして丹羽高校吹奏楽部にプレゼントされたDVD



『大口町制 50 周年記念事業プロジェクト』

発 足 平成 22 年 10 月 1 日

メンバー 発足から平成 23 年 3 月 31 日まで

リーダー 木浪浩行

副リーダー 水野眞澄

渡邊祥子、兼松昌史、伊藤秀晃

平成 23 年 4 月 1 日から平成 23 年 7 月 31 日まで

リーダー 水野眞澄

副リーダー 兼松昌史

渡邊祥子、伊藤秀晃、田中良明

平成 23 年 8 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日まで

リーダー 水野眞澄

副リーダー 兼松昌史

渡邊祥子、伊藤秀晃、田中良明、清水学、新納友美

検討内容等

☆平成 22 年 10 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで

町長からプロジェクトチームに与えられた命題は、町制 50 周年（半世紀）という節目を町民みんなで祝うと共に、大口町としてのこれまでの 50 年、そして町制 40 周年からの 10 年間のまちづくりに尽力した人々の歩みを振り返り（検証し）、それを記録として次の時代に引き継いでいけるよう残していったほしい、そして町制 50 周年記念式典を町制施行日である 4 月 1 日に挙行できるよう検討してもらいたいというものでした。

プロジェクトチームの会議を進めるにあたって、まず次の 6 点を確認しました。

- ① 資料は、事前にメールするのであらかじめ確認のうえ会議に出席する。
- ② 会議は、第 1・第 3 木曜日の午後 6 時からとする。
- ③ 会議は、原則 2 時間以内とする。
- ④ 会議録の作成は、水野・渡辺・兼松・伊藤の順で作成し、作成後は木浪リーダーにメールする。
- ⑤ グループウェアの共有フォルダーにプロジェクト員用の 50 周年フォルダーを作成する。
- ⑥ 会議での意見・発言は、お互いに尊重し、オープンな話し合いができるようにする。

以上の6点並びに命題を確認し合った上で、会議を進めました。

当初の2回（10月中）の会議で決定したことは、

- ① 記念式典を平成24年4月1日に挙げる。
- ② 記念事業を企画検討、実施するためには、「大口町まちづくり基本条例」の協働の理念に基づき、住民参加の「実行委員会」が必要である。
- ③ 記念事業の内容により、行政主導のものと、実行委員会主導のものとに分ける。
- ④ 町制50周年記念事業の基本コンセプトを決めて「ロゴ」と「キャッチフレーズ」を公募する。

以上の4点です。

11月中の2回の会議で協議、決定したことは、

- ① 50周年記念の「ロゴマーク」と「キャッチフレーズ」募集の詳細の検討と決定。
- ② 50周年記念事業の基本コンセプトの検討と決定。
- ③ 住民参加の「実行委員会」として（仮称）50周年記念事業推進委員会設置要綱の検討。
- ④ 大口町の50年の事業記録の残し方の検討。
- ⑤ 上記の大まかなスケジュールの決定。

以上の5点です。

12月中の2回の会議で協議、決定したことは、

- ① 大口町の50年の事業記録として、大人用に事業のまとめ冊子、子ども用に絵本を製作する。
- ② 上記事業としては、「土地改良事業」、「学校建設事業」、「ごみ処理事業」、「コミュニティバス事業」の4事業とし、映像及び音声で関わった方々にお話を伺い、残す。
- ③ 上記4事業の担当割と、話を聞く方の候補出し。
- ④ 町史の編さん。
- ⑤ 4月1日開催の記念式典で、ロゴとキャッチフレーズの作成者を表彰する。

以上の5点です。

年が明けた1月中の2回の会議で協議、決定したことは、

- ① ロゴとキャッチフレーズの応募状況の確認と1次選考。
- ② 大口町の50年の記録事業に、「この10年のまちづくり」を加える。
- ③ 映像の残し方、絵本、町史編さんの検討。
- ④ 大口町町制施行50周年記念事業推進委員会設置要綱（案）の草案。

以上の4点です。

2月中の2回の会議で協議、決定したことは、

- ① ロゴとキャッチフレーズ決定のための投票の呼び掛け。
- ② 大口町町制施行50周年記念事業推進委員会設置要綱の草案の決定。
- ③ 50周年記念事業プロジェクト提案書（案）の検討

以上の3点です。

3月中の2回の会議で協議、決定したことは、

- ① ロゴマークとキャッチフレーズの決定とその周知方法の検討と決定。
- ② 大口町の50年の記録事業の各事業班のインタビュー結果の報告。
- ③ 50周年記念事業プロジェクト提案書の決定。
- ④ 石上げまつりへの参加検討

以上の4点です。

ロゴマークとキャッチフレーズ

ロゴマークとキャッチフレーズについては、町のホームページ、広報おおぐち平成23年1月号、尾北ホームニュースで公募し、ロゴマークに応募された41点とキャッチフレーズに応募された83点の作品をそれぞれ10作品にしぼり、広報おおぐち3月号に投票用郵便はがきと作品を掲載して投票を実施しました。3月17日に投票を集計し、ロゴマークとキャッチフレーズを決定。広報おおぐち5月号でロゴマークとキャッチフレーズを発表しました。

ロゴマークとキャッチフレーズの活用・啓発をお願いしたのは、町の封筒、広報の表紙、職員の名札、名刺の台紙、一般文書です。50th 事務局では役場正面の屋外アーチ看板、啓発用ののぼり旗・卓上旗などにロゴマークとキャッチフレーズを活用しました。

これまでの検討・取り組みのまとめとして報告書を作成し、3月31日に町長室にてプロジェクトチーム全員から森町長室に報告書を手渡しました。（大森副町長、小島総務部長同席）

報告書の内容は、以下のとおりです。

50周年記念事業プロジェクト報告書

1 プロジェクトメンバー

木浪 浩行 水野 真澄 渡辺 祥子 伊藤 秀晃 兼松 昌史

2 町の現況をふまえて

40周年記念事業では、「住民の参画と参加のまちづくり」の考え方のもと、「やろまい大祭」や「伝統芸能発表会」などの事業が始まりました。これらの事業は、住民主体で現在まで継続されている事業が数多くあり、素晴らしい成果だと思います。また、「まちづくり」のために様々な団体が自主的に組織されました。こうした住民の意識や町づくりの方

向性として、平成21年には「大口町まちづくり基本条例」が制定され、自立と共助の精神で「住民の参画と参加のまちづくり」が実践されつつあります。

これらのことを踏まえたうえで、50周年記念事業プロジェクトでは住民みんなで考え、住民みんなで盛り上げることを意識しながら議論を重ねてきました。

3 プロジェクト会議等の経過

50周年記念事業プロジェクトでは、「50周年の年をどうするか。」をスタートに、辞令交付後(10月)毎月2回定例会議を実施することを決め、50周年に向けて次のとおり会議を中心に検討を行いました。

①10～40周年事業の洗い出し(第1回会議 10月)

(過去を簡単に振り返り、50周年に必要なことを議論するため)

- 10周年・・・新庁舎、町章制定、名誉町民条例制定
- 20周年・・・町民憲章、町史、大口音頭
- 30周年・・・行政中心となり各部局での事業実施(ゴミゼロ運動など)
イメージソングの公募(ほほえみをブーケにして)
- 40周年・・・住民主体とした事業主催(やろまい祭りなど)

②プロジェクト員が描く50周年。(第1・2回会議:10月)

(まずは、みんながどのように考えているか意見交換。)

- ・50年間の映像や写真(大口百景など)を集める。みんなに見せる。
- ・記念イベント(テレビ放送、タイムカプセル、講演など)
- ・新たな取り組み(地域通貨の発行、記念減税、姉妹都市)
- ・テーマやロゴなどの募集。
- ・町制施行は、4月1日だからこの日を記念日にしたい。

③50周年の大きなイメージを決める。(第1・2回会議:10月)

①②を題材に共通する事項やイメージするものをすり合わせ次の点を大きなイメージとして取りまとめた。

- ・「50年」「半世紀」をキーワードとし、大きな節目と考える。
- ・町民みんなで祝う。(実行委員会などが必要)
- ・尽力した人々の歩みを振り返る。
- ・未来へ繋ぐ一歩とする。
- ・町制施行日(4月1日)に式典を行う。
- ・PRから町全体で盛り上げる。
- ・行政主導、町民主導の事業と分ける必要が出てくる。

④50周年コンセプトの具体化、決定。(第3・4・5回会議:11～12月)

ロゴやキャッチを募集する際に、みなさんが50周年を感じ取れるよう今まで検討したキーワードやまちづくり条例をベースに50周年プロジェクトで決定しました。

⑤50周年事業の具体化。(第6回会議以降:12月~3月)

事業では、「みんなで祝う。」「未来へ繋ぐ。」「まちの半世紀」をキーワードに事業を進めることとしました。

⑥事業の仕分け(第6回会議以降:12月~3月)

急ぐ必然性のあるものや性質上、行政主導で進める事業と、町民の皆さんと作り上げる事業に分ける必要性があることを確認しました。

4 町制50周年記念事業について

「半世紀」といえば、大きな節目の年。また、時代の流れからまちの風景や生活も大きく変化し、昔のことが薄れ行くこの時代に50周年プロジェクトでは、「みんなで祝う。」「未来へ繋ぐ。」「まちの半世紀」を大きなイメージとして、コンセプトを決めし、事業を検討しました。なお、啓発事業や準備が必要な事業については、一部プロジェクトにて実施しながら、次のように取りまとめました。

①50周年記念事業のコンセプト

⇒ロゴ・キャッチ募集の際に広報1月号に掲載

「のどかな田園風景が広がる、私たちのまち大口町には、春の風物詩「五条川の桜」、世界で活躍する「多くの企業」、土地改良・区画整理事業などで整えられた「恵み多き大地」、そして参画と参加のまちづくりで培われた「協働の精神」があります。

「町民」、「まちづくり団体」、「企業」、「行政」のエネルギーを、尽きることのない「私たちのまちの宝」として結集し、町制施行半世紀(50周年)という節目の年を、4者が一体となり、夢を抱ける、心豊かなまちとして受け継がれるよう、さらなる発展のスタートとして位置付けています。」

②50周年記念事業

プロジェクトでは、メンバーが思う周年事業や必要な事項をすり合わせ検討し5つの事業を計画しました。

なお、啓発が必要なものや自分たちでできる点は、プロジェクトで取り組みながら各事業について次のとおりまとめました。

(1)キャッチフレーズとロゴマーク(⇒プロジェクト取組中)(別紙のとおり)

50周年事業の第1段として、「50周年をみんなにPR。」を目的に、家庭や企業内で話し合い、応募したり投票することで、住民・企業の参加とともに、50周年を迎える第一歩として実施しました。

- ・広報1月号で作品の公募。
- ・プロジェクトで各10点選考。(2月)
- ・広報3月号で10点への最終投票
- ・プロジェクト会議(3月17日)決定。
- ・広報5月号でロゴ・キャッチ発表(予定)

なお、採用決定した作品は、平成 23 年と 24 年に封筒などで、50 周年の啓発に活用し、各採用者は（５）で提案する記念式典で表彰をします。

（２）まちの歴史映像化（⇒プロジェクト取組中）

「50 年間の歴史は、今記録しなければ消えていく。」そんな思いから行政が中心となり、大きな事業を映像・音声で話を残すことにしました。

映像は、放映用（10～15 分）と記録用（1 時間くらい）の 2 種類を DVD 化。

放映用は、式典時放映とホームページで配信。

記録用は、職員に先人の知恵と苦労を伝える研修用。

注目すべき事業（歴史）

- ①土地改良事業（今の大口町の基盤ともいえる事業）
- ②学校建設事業（歴史とともに変わってきた教育、校舎の移り変わり）
- ③ゴミ関係事業（ゴミ処理場がある町）
- ④まちづくり事業（この 10 年のまちづくり活動）

プロジェクトでは、定例会以外で職員やOBなどに聞き取りを行い、映像資料のネタを調査しました。

なお、今後継続することで、24 年度に活用できるよう事業を継続し、23 年度中に完成が望ましいと考えます。

（３）町の 50 年を綴る（提案事業）

50 周年を検討する際に資料や記録が少ない。町史では、町制になってからのことが少ないなどの理由から、まちの歴史を未来へ繋ぐものとして、まちの 50 年を綴ることが必要であり、重要取り組み事業と考えるが、時間や専門知識など簡単に取組むことができると思えないことから、今後行政が中心となり進めていく事業として提案します。

作成イメージ及び検討理由

- ・ 50 周年で、町史の続編を作る。
- ・ 映像資料を生かして文章化。
- ・ 昭和 57 年刊行の町史の足りない部分を補い、昭和 57 年以降のまちづくりの動向を調べて記述や年表化。
- ・ 行政区単位の歴史も触れる。
- ・ 子どもの郷土愛を育むという観点から絵本の作成。
（子どもが家族に「読んでほしい」などの点から、家族のふれあいを深め、家族にも内容を理解してもらえる機会ができるため）
- ・ 絵本は、毎年、ある年齢の子に配り郷土愛を育むことができる。

（４）まちの力を推進（23・24 年度主力事業）

ロゴ・キャッチの募集から 50 周年を迎える準備として啓発が始まり、24 年度には、「みんなで祝う。」の視点から、まちの力である町民・団体や企業が一緒になり盛り上げる事業（イベント）が想定される。

そこで、プロジェクトでは事業の企画、立案及び実施の柱となる組織が必要と考え、「大口町町制 50 周年記念事業推進委員会」を設置しました。

推進委員会のイメージ

- ・まちで活躍する人が中心となった委員会。（まちづくり団体など）
- ・お願いする、事業を見守る推進委員会ではなく、皆さんと一緒に取組む。

事業イメージ

- ・「町民」、「まちづくり団体」、「企業」、「行政」のエネルギーを4者が一体となった事業。
- ・24年度に施行する事業が想定されますが、啓発事業として23年度中に施行するものも想定されます。
- ・素案が必要であれば、プロジェクト内で話し合われたアイデア・町民主体の「50周年を祝う日」を定めての行事などを提案します。

○石上げまつり

大昔から大口町のいくつかの区が参加していた祭りで、20、30周年に行った事業として、プロジェクトでは、「50周年も!」とそんな思いから、計画し進行中の事業。

案・・有志などでなく広くPRし、町の皆さんで参加。

土台に11の石を置くことで、行政区をイメージし、50周年記念の献石を支える。

（23年に土台の11をあげ、24年に献石を）

（5）記念式典（提案事業）

町制施行が昭和37年4月1日であることから、4月1日を記念日として平成24年4月1日に式典を実施します。

式典の中では、啓発活動で募集した、ロゴやキャッチの採用者は、ここで表彰することとし、また映像の放映版（短縮版）も上映します。

事業効果、理由、イメージ

- ・年度の始まりであり、24年度を周年の年度として祝うことができる。
- ・「50周年が何年何月何日からか」をまちの皆さんに知ってもらう。
- ・近隣首長のあいさつだけでなく、みんなで祝うような取り組みが必要。

5 今後の課題

- ①推進委員会の実施要綱に基づき、速やかに委員の募集が必要と考えます。
- ②キャッチフレーズとロゴマークは、23年度から封筒に印刷し啓発に活用しますが、他の活用方法については、課題として継続して考える必要があります。また、ロゴマークについては、作品のデータ化など調整が必要な点があります。
- ③映像は、4月以降も継続して審議し、必要であれば取り上げる主題を増やし取材するものとします。
- ④町史の続編等は、その性格上、歴史民俗資料館が中心となることが想定されますが、事業実施等について、行政内部で検討（作成の時期・期間や体制など）が必要と考えます。
- ⑤式典内容については、行政が必要な部分と推進委員会で検討してもらう部分が想定されますので具体的なイメージは、今後煮詰める必要があります。

☆平成23年4月1日から平成25年6月30日まで

平成23年度に総務部に50周年記念事業事務局が設置され、木浪リーダーが事務局員となりました。プロジェクトチームとしては報告書を提出して終わりではなく、50周年記念事業事務局とタイアップして50周年記念事業の推進すること並びに報告書記載のプロジェクトチームとして取り組み中の事業を推進していくため4月以降も継続が決定され、4月人事異動により行政課の田中主事を新たに加え、水野新リーダー、兼松新副リーダーの下活動を継続しました。

新年度、新体制となったので、プロジェクトチームの進め方について、

- ① 50周年記念事業事務局との役割分担はしない。
- ② 会議は、原則第2、第4木曜日、午後5時30分から1時間30分を目途に開催。
- ③ 会議の2日前までに資料をメール送信する。
- ④ 会議録は、輪番で作成する。
- ⑤ 決裁は、早めに回すこと。(プロジェクト→50th事務局→政策推進課)

以上の5点を確認しました。

また、7月にも人事異動がありましたので、戸籍保険課の清水主事、生涯学習課の新納主事補の2人が新たにメンバーとして加わりました。

進めたのは、町制50周年記念事業推進委員会（以下「推進委員会」と表記。）に関する検討、まちの歴史（事業）の映像化の検討、石上げまつりの検討です。

推進委員会については、

- ① 50周年記念事業の企画立案から推進まで、50周年のコンセプトを柱として、みんなの力を結集し、楽しめることを考えてもらう。
- ② 委員は公募とする。
- ③ 意思のある人にやってもらう。

とし、広報7月号に推進委員会委員の公募記事を掲載するとともに、町のホームページや広報無線でも委員募集の旨の周知をしました。

結果、9月1日に自薦他薦のやる気のある20名に委員を委嘱し、推進委員会の活動が始まりました。

石上げまつりについては、隣の犬山市の奇祭であるが、大口町内でも明治時代には地域で競いながら献石をしたという事実があること、大口町役場としても30年余り前から有志にて参加してきたこと、町制20周年、30周年の折には大きな献石をし建立した実績があること、町制40周年の折には献石がされていないことなどを勘案し、町制50周年という大きな節目の年に当たり町民を上げて巨石を献石したいという思いがあり、検討をしました。

結果、河北交友会が中心となって大口町制50周年記念献石実行委員会が組織され、平成23年度、平成24年度の2年間に渡る献石計画を立て、献石が実行されました。

まちの歴史（事業）映像化については、現在の大口町を形作った主要事業として「土地改良事業」、「学校建設事業」、「ごみ処理場事業」、「この10年のまちづくり事業」の4つの事業をピックアップし、プロジェクト員の担当分けをし、まずは携わった先輩職員から話を聞くことから始めました。一部は平成22年度末から取り掛かっておりましたが、この事業がプロジェクトチームの最大の命題となりました。

なお、50周年記念事業は、50th 推進委員会中心で企画運営していくこととなりますので、プロジェクトチームは50th 事務局と共にそのサポートを続けてくれました。

町の歴史（事業）映像化については、この後「まちの語り部」事業として位置づけ、話を伺う様子をDVD並びに音声データとして、話の内容は紙ベースとしてそれぞれ編集、保存し、各主要事業の記録として残すと共に、今後の職員等の研修に活かしていきたいとしました。

また、事業担当を決めたことから平成23年9月以降は、原則第2木曜日（午後5時45分開催）を全体会議とし、各事業担当を部会と称し、部会は月1回以上部会リーダーが調整して開催することとしました。

担当分けは、次のとおりです。 ◎印は部会リーダー

「土地改良事業」部会 … ◎兼松昌史、渡邊祥子、伊藤秀晃、水野眞澄

「学校建設事業」部会 … ◎渡邊祥子、田中良明、新納友美、水野眞澄

「ごみ処理場事業」部会 … ◎伊藤秀晃、清水学、田中良明、水野眞澄

「まちづくり事業」部会 … ◎清水学、兼松昌史、新納友美、水野眞澄

プロジェクトチームは、配属されている部課の所掌事務の他に50周年記念事業関係も行うということで、特に「まちの語り部事業」としての主要事業のまとめは、その主要事業の特殊性、時間の経過、資料などの条件が思うように整わず、かなりの重労働でした。50周年記念事業の手伝いもあり、佳境の時には作業が深夜近くにまで及ぶことがありました。

プロジェクト員の努力により、平成25年6月21日の行政経営会議に水野リーダー、兼松副リーダーが出席して「まちの語り部事業」の報告をし、晴れて任務を完了することができました。

なお、報告書は行政内部資料との位置付けですので、関係者しか閲覧することはできませんが、図書室に常置してあります。

50th プロジェクトチーム最終報告書

大口町制50周年記念事業プロジェクト報告書

- | | | |
|---|------|-----------------------------------|
| 1 | メンバー | 水野眞澄、兼松昌史、渡邊祥子、伊藤秀晃、清水学、田中良明、新納友美 |
| 2 | 任期 | 平成23年4月1日から平成25年6月30日 |

- 3 活動内容 ① まちの語り部事業として「土地改良」「ごみ処理場」「学校建設」「まちづくり」の4事業について、当時事業にかかわった住民、職員（OB含む）に取材をし、映像として当時の事業の様子や想いを記録として残すとともに要約版を作製した。
- ② 平成23年4月1日に設置された町制50周年記念事業事務局と協力し、50周年記念事業を行った。
- 4 会 議 全体の会議は、木曜日を中心に34回実施した。その他まちの語り部4事業の部会・取材を行った。
- 5 まちの語り部事業 当初、まちの語り部事業で取りまとめた内容は、広く町民の皆さんに公開をしていくことを予定していたが、取材をお願いした方の多くが非公開を望まれたことから、職員のみ公開することとする。

取材を通して特に印象に残った言葉

水野 「昭和40年代初め国の役人の梶木又三さんから大口町の農地全体を行く末は5人でやる時代が来るといわれ3反を1枚とする土地改良を行った。」（土地改良・佐藤久雄）

兼松 「土地改良は非常に悩むことが多かったが、とにかく人と話をすること。自ら出かけないと話ができない。」（土地改良・グループ）

渡辺 「公共の建物が隣地とお付き合いをしていくためには、法では解決できない個人的な感情への配慮が必要である。」（学校建設・近藤孝文）

伊藤 「処理場施設更新当時は、施設と地域にパイプ（公害防止委員会）がなく、情報を得ることもこちらの意見を伝えることもできなかった。」（ごみ処理・座談会）

清水 「まちづくりの四者（よんもの）、しがらみなく何でも受け入れてくれる他所者、どんなことでも一生懸命やってくれる馬鹿者、チャレンジ精神旺盛な女性、元気な子どもたち、この四者が中心となるまちづくりは発展する。」（まちづくり・大森康江）

田中 「地域と触れ合うというのは、子どもたちが成長していく上で最

も重要であり、人との触れ合いが作れる学校になれば良い。行政が教育に対してできることは、環境を整備することである。（学校建設・酒井・）

新納 「何か問題が起きると、『乗り越える課題が1つ出来た。』と思えるようになった。」（まちづくり・マミーポケット）

- 6 その他 まちの語り部「土地改良」の取材の中で、土地改良事業にご尽力をいただいた方から「土地改良の起工式が行われた、昭和41年1月26日という日は大口町にとって特別の日である。町長室にある町の年表に記載してほしい。」とのお話を伺いました。

《参考》

大口町プロジェクトチーム設置要綱

大口町プロジェクトチーム設置要綱

（目的）

第1条 この要綱は、多様化、高度化する住民ニーズに対し複数の部課にまたがる施策の推進を図るため設置する大口町プロジェクトチーム（以下「プロジェクト」という。）に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

（組織）

第2条 プロジェクトのメンバーは、行政経営会議において選考し、町長が任命する職員を持って組織する。

2 プロジェクトにリーダーと副リーダーを置く。

3 リーダー及び副リーダーは、行政経営会議において選任する。

（リーダーの職務）

第3条 リーダーは、会務を総理する。

2 リーダーに事故あるとき又はリーダーが欠けたときは、副リーダーがその職務を代理する。

（会議）

第4条 プロジェクトは、リーダーが招集し、その議長となる。

2 プロジェクトは、その目的を遂行するため必要と認めたときは、関係職員の出席を求めることができる。

3 プロジェクトは、目的達成のための調査研究結果及び推進状況を行政経営会議に報告するものとする。

(各課の協力)

第5条 プロジェクトの設置目的の達成のために各部課(局)は、積極的に協力しなければならない。

(庶務)

第6条 プロジェクトの庶務は、総務部政策推進課において処理する。

(その他必要事項)

第7条 この要綱に定めるもののほか、プロジェクトの運営に関して必要な事項は、行政経営会議において協議する。

附 則

この要綱は、告示の日から施行する。

附 則

この訓令は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この訓令は、平成25年4月1日から施行する。

『その他の50周年記念事業』

町制50周年記念ポロシャツの作製・販売

1 販売時期	平成23年	第1次受注：6月15日締切	284着受注
		第2次受注：7月 6日締切	198着受注
		第3次受注：8月 4日締切	103着受注
		平成23年 計	585着
	平成24年	第1次受注：3月10日締切	42着受注
		第2次受注：6月 8日締切	94着受注
		第3次受注：7月 3日締切	7着受注
		第4次受注：9月11日締切	5着受注
		平成24年 計	148着
		合計	733着

2 実施主体 町民活動まかせてネットと大口町との協働

3 事業経費

50周年事業として公費支出なし

4 実施概要

町民活動まかせてネットから「つながりとスーパークールビズで町制50周年を盛り上げよう大作戦！」という事業名で、町制50周年のPRと私たちに出来ることの一つ（節電とクールビズ対策）で復興支援をしようと、今までのまちのつながり、これからのつながり、東北復興へ向けての気持ちのつながりを大切にし、そのかけ橋になりたいと町制50周年のロゴマーク入りのポロシャツの製作・販売の企画提案がありました。



50th 事務局ではこの提案を受け入れ、町民活動まかせてネットと協働で、胸に50周年のロゴマーク、左袖に「つながろう日本！」をプリントした全22色から選べる



▲大村愛知県知事が

50th ポロを着て定例記者会見

ポロシャツを2,800円で販売。30着の受注がないと販売を見合わせるといった条件付きでの斡旋で、2,800円うち200円を東日本大震災被災地復興支援金、100円を町民活動センター運営費としました。蓋を開けてみると、役場職員、町議会議員、小中学校の先生、各種団体等の皆さん等から、平成23年は585着、平成24年は148着の発注をいただきました。

この結果、平成23年は20万円を大口町社会福祉協議会が主催する東日本復興支援事業費へ寄附することができました。

平成24年は、寄附先、金額とも検討中です。

町制 50 周年記念アーチ看板設置

- 1 設置日 平成23年6月30日
- 2 実施主体 大口町
- 3 事業経費 679,350円(一般会計から)
- 4 実施概要

役場前のアーチ看板を、土台と骨組を補修のうえ、50周年のロゴマークとキャッチフレーズをデザインしたものに作り替えをしました。

このアーチ看板には大口町産業団地協同組合様からいただいた寄附金20万円を充当させていただきました。



この町制50周年の広告看板は
大口町産業団地協同組合様から
いただいた寄付金を使わせて
いただいております。

町制 50 周年啓発用のぼり旗・卓上旗の作製、掲出

- 1 掲出期間 平成23年8月末～平成25年3月末
- 2 実施主体 大口町
- 3 事業経費 498,960円(一般会計から)
- 4 実施概要

平成24年度が町制50周年であることを啓発するために、50周年のロゴマークとキャッチフレーズをデザインしたのぼり旗と卓上旗を作製しました。デザインは、大口町歴史民俗資料館の臨時職員。2種類のデザインで各200枚の計400枚をのぼり旗、卓上旗それぞれ作りました。

のぼり旗は、役場を始めとした町内公共施設の屋外で掲出するとともに、町内事業所、各行政区にもお願いし掲出していただきました。卓上旗は、役場等の公共施設では、窓口カウンターや会議室、机の上などに掲出し、町内事業所でもそれぞれの箇所に掲出していただきました。また、50周年記念の各事業でも掲出しました。



ふれあいまつりに出展

平成23年度

1 出展期間

平成23年11月5日（土）～6日（日）

2 実施主体

大口町ふれあいまつり実行委員会

3 事業経費

12,210円（一般会計から）

ロゴマークシール用紙の購入

クリアファイルの購入

4 実施概要

町制50周年の周知を図るため50周年ブースを設置しました。出展内容は、町制50周年記念クイズの実施と、桜の木に大口町の良いところ、大口町への希望などを書いた花を咲かせてもらうコーナーの運営です。クイズの参加者には50周年のロゴマークシールを、8割以上の正解者には50周年のロゴマークとキャッチフレーズ入りのクリアホルダーを差し上げました。

また、ふれあいまつりの中で開催されたJIP-FM主催のビッグマウスコンテストに出場させてもらえ、大竹委員長があらん限りの大声で「50周年記念事業を成功させる！」と宣言しました。



平成24年度

1 出展期間

平成24年11月3日（土）～4日（日）

2 実施主体

大口町ふれあいまつり実行委員会

3 事業経費

6,504円（一般会計から）

パウチフィルムの購入

その他は出展内容により、50周年記念事業の各事業費から支出

4 実施概要

町制50周年記念事業のPRと報告



▲ ふれあいまつり 50th ブース

▼ 田んぼアート収穫米の量り売り



2日に開催する「集まれ！我が町の芸術家たち」コンサートのPRとチケット販売、スマイルプロジェクトファイナル（第4弾）のPR、ファイナルイベントに向けた「夢撮り」等を行いました。また、特設ステージを借りて、9月に開催した案山子コンテストの表彰式を行いました。

等の目的で50周年推進委員会のブースを出展しました。平成24年度の出店内容として、これまでに開催してきた50周年記念事業の写真展示、田んぼアートで収穫した新米（あいちのかおり、赤米、紫米）の販売、12月

▼ 50th 事業パネル展



▲ 「夢撮り」の夢の記入



▲ ふれあいまつり後の 50th 事業PR

まちづくり協働フォーラム2012に出展

- 1 出展期間 平成24年2月5日（日）
- 2 実施主体 町民活動まかせてネット
- 3 事業経費 50周年事業として公費支出なし
- 4 実施概要

まちづくり協働フォーラム2012に、町制50周年のPRのため出展しました。50周年記念式典も2か月後に迫った折での開催であったため、万端な準備ができず大口町の昔の写真展として、50年ほど前の写真を大きなブラバンに張っての展示のみしかできませんでした。

大口町制施行50周年記念事業推進委員会委員の名刺・名札の作製

- 1 実施日 任期中
- 2 実施主体 大口町
- 3 事業経費 9,624円（一般会計から）
ネクストラップ型名札の購入、名刺用紙の購入
- 4 実施概要

50周年記念事業の企画・運営に際し、渉外活動のほか、委員としての身分表示のため、50周年のロゴマーク及びキャッチフレーズを入れた名刺を当初は全委員分各10枚作成しました。以後は、委員の需要に応じてプリントをしました。

また、ネクストラップ型の名札を作成し、対外的な委員活動をする時に掲出してもらいました。

大口町制施行50周年記念事業推進委員会スタッフジャンバーの作製

- 1 作製日 平成24年3月
- 2 実施主体 大口町制施行50周年記念事業推進委員会
- 3 事業経費 50周年事業として公費支出なし
- 4 実施概要

50周年記念事業の企画・運営・実施に際し、委員として心をつなぐ一致団結して取り組むため、委員としての服装を統一したいと委員から提案が出て検討しました。その結果、長袖が必要な時期はスタッフジャンパー、暑い時期には50周年ポロシャツを着るということとなりました。ポロシャツは、原則としてトロピカルピンク、既に購入済みの委員は購入したポロシャツでも構わないということになりましたが、スタッフジャンパーはありませんので、デザインから委員で検討をし、土屋委員のデザイン案を基に、さくら色のスタッフジャンパーができあがりました。50周年記念事業の折には一目で委員が判り重宝するとともに、委員としての仲間意識の高揚に十分な威力を発揮しました。



▲ 50th 推進委員会スタッフジャンパー、ネクストラップ型名札、50th のぼり旗

町制50周年記念事業パネル展示コーナーの設置

- 1 設置期間 平成24年4月～平成25年3月末
- 2 実施主体 大口町制施行50周年記念事業推進委員会
- 3 事業経費 50周年事業として公費支出なし
- 4 実施概要

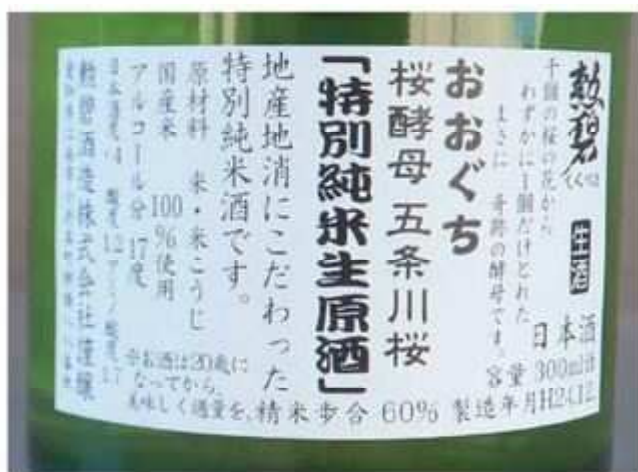
普段は、建設農政課がお知らせとか事業報告などのために使用している庁舎1階建設農政課横にある印刷室の仕切り壁を50周年期間中、建設農政課の協力を得て借りることができました。

このため、この壁を「町制50周年記念事業パネル展示コーナー」として、50周年記念事業の写真パネルを事業が終了した事業から、更新をしながら掲出しました。

大口町制50周年記念1コイン「おおぐち」の販売

- 1 作製日 平成24年12月24日受取
- 2 実施主体 大口町制施行50周年記念事業推進委員会
- 3 事業経費 50周年事業として公費支出なし
- 4 実施概要

田んぼアート婚活部会担当事業である婚活イベント「スマイルプロジェクト第4弾」の開催に際し、五条川堤の桜の花から採取した奇跡の酵母「桜酵母」と大口町産の「あいちのかおり」で醸造した清酒「おおぐち」を知ってもらおうと、その造り酒屋である勲碧酒造の酒蔵見学を企画しました。その折、「HAPPY パースデイ！おおぐち」の大口町商工会の出展で1コイン（500円）の清酒「おおぐち」



ぐち」を販売していたものをこの12月にも製造してもらえないか打診をしてみました。初めは「未定」という回答でしたが、ある程度本数がまとまるなら造ることはやぶさかではないとの新たな回答を得た上、造るのであれば50周年記念の特別なラベルにしてみようかと反対に意見をいただきました。

そこで、大口町商工会の了承を得、地域振興課の臨時職員にラベルデザインをお願いし、大口町制50周年記念の1コイン「おおぐち」

を造ることとしました。当初は、スマイルプロジェクト第4弾参加者のお土産として作製を打診したのですが、町制50周年記念の特別ラベルで造ってもらえるとなると話は別で、多くの方を買っていただければと斡旋をしました。決定から納品まで日程に余裕がなかったので、職員及び50th推進委員のみへの斡旋となってしまいましたが、スマイルプロジェクト第4弾の参加者お土産分含め216本もの受注がありました。

町制 50 周年記念事業への寄附等

一般寄附①

- 1 受 付 日 平成 23 年 5 月 27 日
- 2 寄 附 者 大口町産業団地協同組合 様
- 3 寄附金額 20 万円
- 4 寄附概要

大口町産業団地協同組合様から、大口町制 50 周年記念事業に役立ててもらいたい
とご寄附をいただきました。

ご主旨に基づき前述の役場庁舎前に設置したアーチ看板の作製費として活用させて
いただきました。ありがとうございました。

一般寄附②

- 1 受 付 日 平成 24 年 4 月 2 日
- 2 寄 附 者 株式会社 丹風園 様
- 3 寄附金額 3 万円
- 4 寄附概要

株式会社丹風園様から、大口町制 50 周年のお祝いとして 50 周年記念事業に役立て
てもらいたいと、大口町制施行 50 周年記念事業推進委員会にご寄附をいただきました。
ご主旨に基づき 50 周年記念事業費として活用させていただきました。ありがとうご
ざいました。

一般寄附③

- 1 受 付 日 平成 24 年 6 月 20 日
- 2 寄 附 者 麦茶「五条川」開発メンバー 様
- 3 寄附金額 24 万 7 8 4 円
- 4 寄附概要

麦茶「五条川」開発メンバー様から、大口町制 50 周年記念事業として新たな麦茶
の開発をしてもらいたいとの提案を受け、委員による協議の結果、提案を受け入れ 5
0 周年記念事業として取組むこととなったため、その事業費に充てて欲しいと、並び
に新麦茶を製造販売していただだけ、売上げが上がった場合には 50 周年記念事業に役
立ててほしいと、大口町制施行 50 周年記念事業推進委員会にご寄附をいただきました。
ご主旨に基づき大口町制 50 周年記念企画商品健康麦茶「桜野」の製造販売事業に活
用させていただきました。ありがとうございました。

一般寄附④

- 1 受 付 日 平成 25 年 3 月 21 日
- 2 寄 附 者 丹羽ライオンズクラブ 様
- 3 寄附金額 45 万円
- 4 寄附概要

ファイナルイベントの支え合い篇のメイン行事として開催する「地球のステージ」公演に協賛していただきました。「地球のステージ」の公演費用並びに「地球のステージ」の啓発として中学生や一般の方にも知ってもらいたいとDVDやサッシを購入し、大口中学校と大口町立図書館に活用を図ってもらうよう寄託しました。ありがとうございました。

一般寄附⑤

- 1 寄附者 オークマ㈱ 様
- 2 寄附内容 50th ロゴマークとキャッチフレーズ作者への記念品
- 3 寄附概要

町制施行50周年記念式典にて、町制50周年記念のロゴマークとキャッチフレーズの作者の表彰式を行い、巻物風のアルミ製の賞状兼記念品を渡しました。この賞状兼記念品はオークマ㈱の皆さんが作製していただいたものです。ありがとうございました。

一般寄附⑥

- 1 寄附者 オークマ㈱ 様
- 2 寄附内容 生花2鉢
- 3 寄附概要

町制施行50周年記念式典に際し、胡蝶欄の鉢植え2鉢をお祝いにといただきました。町民会館2階入口に飾らせていただきました。ありがとうございました。

一般寄附⑦

- 1 寄附者 酒井建築㈱ 様
- 2 寄附内容 50th ロゴマークとキャッチフレーズ作者への記念品の記念品立て
- 3 寄附概要

賞状兼記念品は、アルミニウムを削り出して出来ており重さもあるため、各作者が自宅で飾ることができるようにと、専用の立てを作製していただきました。ありがとうございました。

一般寄附⑧

- 1 寄附者 町内謀企業 様、丹羽郡内中日新聞販売店会 様
- 2 寄附内容 グラウンド・ゴルフ大会参加者記念品
- 3 寄附概要

グラウンド・ゴルフ大会の参加者記念品として、50th ロゴマークとキャッチフレーズの入った素敵なマフラータオルを作製していただきました。ありがとうございました。

ふるさと納税①

- 1 受付日 平成23年4月15日
- 2 寄附者 匿名希望 様
- 3 寄附金額 3万円
- 4 寄附概要

匿名希望様から、大口町制50周年事業に役立ててほしいと事業指定のふるさと納税がありました。

ご主旨に基づき大口町制50周年の啓発事業費として活用させていただきました。ありがとうございました。

ふるさと納税②

- 1 受付日 平成24年7月6日
- 2 寄附者 匿名希望 様
- 3 寄附金額 3万円
- 4 寄附概要

匿名希望様から、大口町制50周年記念事業として実施される桜ライン311植樹活動支援事業に役立ててほしいと事業指定のふるさと納税があり、大口町制施行50周年記念事業推進委員会負担金として予算化させていただきました。

ご主旨に基づき50周年記念事業として、平成24年11月16日から18日にかけて取り組んだ桜ライン311植樹活動費として活用させていただきました。ありがとうございました。

ふるさと納税③

- 1 受付日 平成24年7月17日
- 2 寄附者 匿名希望 様
- 3 寄附金額 40万円
- 4 寄附概要

匿名希望様から、大口町制50周年記念事業として実施される桜ライン311植樹活動支援事業に役立ててほしいと事業指定のふるさと納税があり、大口町制施行50周年記念事業推進委員会負担金として予算化させていただきました。

ご主旨に基づき50周年記念事業として、平成24年11月16日から18日にかけて取り組んだ桜ライン311植樹活動費として活用させていただきました。ありがとうございました。

『各種団体等主催事業』

町制施行 50 周年記念 バス広告の掲出

1 掲出期間

平成23年度及び平成24年度

2 実施主体 大口町（地域振興課）

3 事業経費

50周年事業として公費支出なし

4 実施概要

大口町コミュニティバスは、平成16年から大口町巡回バスとして試行を始め、今では1コイン（100円）で気軽に乗れる町民の足として定着してきました。そのコミュニティバスの車内広告を歴史民俗資料館の臨時職員がデザインしてくれ、平成23年度から2年間コミュニティバス車内に掲出され、50周年の啓発に一役買ってくれました。



町制施行 50 周年記念 清酒「おおぐち」の販売

1 醸造販売 平成23年12月、平成24年3月

平成24年12月

2 実施主体 大口町商工会

3 事業経費

50周年事業として公費支出なし

4 実施概要

五条川堤の1000個の桜の花から1つ採取できた奇跡の酵母である「桜酵母」と大口町産の「あいちのかおり」を使って醸造した清酒「おおぐち」が平成20年12月に誕生しました。

平成23年及び平成24年の清酒「おおぐち」の醸造に際し、服部米穀店の服部祥三さんをはじめとする町内の酒類販売業者さんのご協力により、50周年のロゴマークの入ったラベルを貼付し、販売していただきました。

写真一番右は、前出の一般発売はされていない50周年記念ラベルの1コインの「おおぐち」です。



町制施行 50 周年記念 玄関マットの貸与

- 1 貸与期間
平成 24 年 1 月初めから 3 月末
- 2 実施主体 (株)ダスキンサーヴ東海北陸
- 3 事業経費
50 周年事業として公費支出なし
- 4 実施概要
(株)ダスキンサーヴ東海北陸様のご厚意により、町制 50 周年のロゴマークとキャッチフレーズの入った 2 種類の玄関マットを製作してもらえ、3 か月間役場庁舎玄関に



2 週間替わりで貸与していただきました。
来庁者への 50 周年の周知に一役買ってもらえました。

町制施行 50 周年記念 金助桜祭り

- 1 実施日 平成 24 年 4 月 8 日 (日)
- 2 実施主体 金助桜祭り実行委員会、堀尾史蹟顕彰会
- 3 事業経費
50 周年事業として公費支出なし
- 4 実施概要



平成 24 年の金助桜まつりは、大口町制 50 周年記念の位置付けをしていただけ、盛大に開催されました。松江開府の祖、今の松江市の礎を築いた堀尾吉晴公の縁で堀尾史蹟顕彰会と松江市にある松江堀尾会は毎年交流をし、親交を深めてきました。こうした交流が縁で、松江城がある島根県松江市から大口町制 50 周年をお祝いするために遠路はるばる「松江城姉さま鉄炮隊」及び「松江若武者隊」も駆けつけ、見事な火縄銃の演武や立ち回りを披露してもらえました。50th 推進委員会としては祭りの警備等のお手伝いをしました。

町制 50 周年記念 学校給食

- 1 実施日 平成24年4月初旬
- 2 実施主体 大口町（学校給食センター）
- 3 事業経費
50周年事業として公費支出なし
- 4 実施概要

大口町制50周年に際し、学校給食並びに保育園給食の中で、子どもたちに町制50周年記念の特別メニューづくり又は一品の検討を打診しました。給食センターでは、特別メニューは難しいが、1品なら考えることができるかもしれないと検討をしてもらえました。その結果、4月当初の献立として出されたゼリーのラベルに「50周年」をデザインしてもらえました。



町制 50 周年記念 保育園給食

- 1 実施日
平成24年6月～平成25年3月
- 2 実施主体 大口町（保育園）
- 3 事業経費
50周年事業として公費支出なし
- 4 実施概要

保育園では、町制50周年を記念して平成24年6月から平成25年3月までの月1回、町制50周年を祝うと共にPRも兼ねた何かしらをあしらった50周年記念給食を実施してくれました。写真は、ロゴマークの旗がついた50周年記念給食です。



町制 50 周年記念 れんげまつり

- 1 実施日 平成24年4月28日（土）
- 2 実施主体 大口町（建設農政課）
- 3 事業経費
50周年事業として公費支出なし
- 4 実施概要

ゴールデンウィーク前半のイベントとして定着してきた平成24年度の「れんげまつり」は、町制50周年記念の冠をつけて開催してくれました。ブースの中には、50周年のロゴマークのぬり絵も用意してくれていました。また、町制50周年記念献石実行委員会もブースを構え、石上げ



まつりのPRをしていました。天候にも恵まれ、多くの子どもたち、家族連れで賑っていました。

れんげまつり会場は、大口町役場庁舎東側にある土地改良整田碑付近です。この年は、れんげまつり会場田には大口町の町章が菜の花とキカラシで描かれました。この会場とは別に、庁舎南側田んぼには菜の花とキカラシで「50th」の文字が描かれ、きれいに浮かび上がりました。田起こし、種まき、草取り、補植など作業は大変だったと思います。

また、50周年が終わった後の気配りもきちんとしてもらえました。

見事に浮かび上がった「THANK 50」です。



▲ 平成25年4月30日撮影

町制50周年記念 第6回あっぱれ桜華祭

- 1 実施日 平成24年4月29日(日)
- 2 実施主体 あさぎ
- 3 事業経費
50周年事業として公費支出なし
- 4 実施概要

大口町を中心に活動する鳴子踊りチームである「あさぎ」主催のまつりで、平成24年の桜華祭は、大口町が50

周年を迎えたことを祝って開催してくれました。新曲の披露、大口町制50周年クイズや代表である田頭さんを中心としたダッシュマンも出場した寸劇などで、楽しく盛り上がった内容でした。

また、「大口50thをコーラスで祝い隊♪」が出演し、参加者とともに大口町のイメージソング「ほほえみを花束にして」を合唱してくれました。



町制 50 周年記念 五条川自然塾

- 1 実施日 平成24年8月4日（土）
- 2 実施主体 わくわく大口21
- 3 事業経費
50周年事業として公費支出なし
- 4 実施概要



小学生未満の子どもたちを五条川の自然に親しませることで、自然の恵みのありがたさや命の大切さ、自然の中で遊ぶ楽しさを知ってもらおうと町制40周年の年である平成14年度から開催されてきたイベント。平成24年は、



町制50周年を記念して開催してもらえました。五条川の中でゴムチューブで遊んだり、ゴムボートに乗ったり、水を張った田んぼの中で泥んこになって遊び、仮設の池では魚のつかみ取りなど、夏の楽しい一日を過ごしていました。

町制 50 周年記念 記念献石

記念献石①

- 1 実施日 平成23年8月7日（日）
- 2 実施主体 町制50周年記念 献石実行委員会
- 3 事業経費 50周年事業として公費支出なし
- 4 実施概要

町制50周年を記念して、犬山市の尾張富士で毎年催される石上げ祭りに参加し、2年間継続で献石をし、記念碑として建立する計画が立てられました。中宮から、やや上がった場所に、町制20周年と30周年の献石が立っており、その並びに50周年記念の献石を立てることとし、平成23年度は50周年の本番で献石する巨石の土台を築く石を企業や各種団体に協力していただき、献石しました。

参加企業、各種団体は、次の皆さんです。

（あいうえお順：計11団体で11の礎石を献石）



▲ 平成23年の献石風景

大口町建設業協力会、河北交友会の皆さん、大口町体育協会の皆さん、酒井建築、下小口有志会の皆さん、タイム技研㈱の皆さん、大和エンタープライズ、(社)丹羽青年会議所の皆さん、服部農園(有)の皆さん、大口町役場有志の皆さん、葬祭会館やさしのホール

参加者は、300人強、参加者に配る豆しぼりに東日本復興祈願のことばを書いてもらい、奉納しました。



▲大口町有志の献石を載せたトラック



▲平成23年に献石された11の礎石

▼20周年、30周年の献石と並んで中宮やや上付近に建立された50周年記念の献石



記念献石②

- 1 実施日 平成24年8月5日(日)
- 2 実施主体 町制50周年記念 献石実行委員会
- 3 事業経費 50周年事業として公費支出なし
- 4 実施概要

町制50周年を記念した2年継続の献石の本番。「大口町制50周年記念献石」と彫られた高さ180cm、重さ1.2トンの巨石を台車に乗せて、約480名の町民有志で力を合わせて引き上げました。

当初は、32点吊りつまり32人で担ぎ上げる構想を立てていましたが、献石が大きすぎて引きずることになってしまうという指導があり、尾張富士大宮浅間神社でも近年使ったことがない台車で引



▲延々と続く献石を載せた台車を引っ張り上げるロープと人並み(手前が台車)



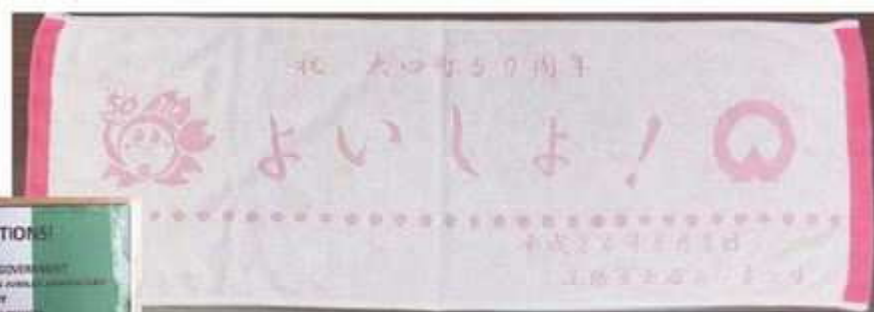
っ張り上げることとなりました。また、中宮手前はこう配がきついため、万が一を考え動力ウィンチを準備しましたが、480名の力は想像をはるかに超え見事人力のみで無事献石をすることができました。

この日の出発式において、愛知万博の折に当町のフレンドシップ国となったことが縁で河北交友会と交流が続いている東海ナイジェリア人会から、大口町制50周年のお祝い

にと、代表であるC. J アリンゼさんから森町長に絵画のプレゼントがありました。

後日、尾張富士の中腹に町制50周年記念で献石した巨石が、昨年献石していただいた礎石を土台に見事に建立されました。

▼平成24年の献石参加者に配布された記念タオル



▲東海ナイジェリア人会様からプレゼントされた絵画とそのメッセージ

町制50周年記念 灯籠流し

- 1 実施日 平成24年8月15日(水)
- 2 実施主体 下小口灯籠流し有志の会
- 3 事業経費
50周年事業として公費支出なし
- 4 実施概要



町制50周年を記念して、下小口区有志が灯籠流しを企画。盆の夜、下小口の天神パークから樋田橋までの間、50周年のロゴマークとキャッチフレーズをあしらい、東日本大震災の犠牲者の慰霊と復興祈願をこめた灯籠が流された。また、天神パークへつながる五条川堤の遊歩道には、竹灯籠も設置され、温もりを感じる夏の夜の演出でした。



町制 50 周年記念 やろ舞い大祭

- 1 実施日
平成24年9月8日（土）
- 2 実施主体
やろ舞いプロジェクト実行委員会
- 3 事業経費
50周年事業として公費支出なし
- 4 実施概要



平成14年に始まったやろ舞い大祭は、昨年10周年を迎えました。平成24年は町制50周年を記念して開催し、50周年記念のキーホルダーの販売、タイトル看板に50周年のロゴマークを入れ、パフォーマンスでも50周年ロゴマークをお面代わりにつけて踊るなど、町制50周年のお祝いムードを盛り上げてくれました。なお、J I P-FMのビッグマウスコンテストもこの中で開催されました。

町制 50 周年記念 菊八重会発表会

- 1 実施日 平成24年9月9日（日）
- 2 実施主体 琴生流菊八重会
- 3 事業経費
50周年事業として公費支出なし
- 4 実施概要



毎年行われている大正琴発表会に町制50周年を記念して開催してもらえました。家元で特琴生流菊八重会の代表でもある加藤昭代さんが、50周年を記念して「山姥物語」を題材にした創作曲を作ってくれ、その発表演奏が行われました。

町制 50 周年記念 福祉講演会

- 1 実施日
平成24年9月23日（日）
- 2 実施主体
大口町（健康生きがい課）
- 3 事業経費
50周年事業として公費支出なし
- 4 実施概要



毎年開催している福祉講演会に町制50周年を冠して開催してくれました。50周年記念の福祉講演会の講師は、中京大学スポーツ科学部の湯浅景元教授で、「10歳若返る いきいきウォーキング」と題して、ポールウォーキングを中心とした健康管理に関する講演を聞くことができました。

町制 50 周年記念 町民体育祭

- 1 実施日 平成24年10月7日（日）
- 2 実施主体 町民体育実行委員会
- 3 事業経費 50周年事業として公費支出なし
- 4 実施概要

恒例中の恒例行事で、町民に親しまれている町民体育祭を町制50周年を祝って開催してくれました。

町制 50 周年記念 4園合同運動会

- 1 実施日 平成24年10月13日（土）
- 2 実施主体 大口町（福祉こども課）
- 3 事業経費 50周年事業として公費支出なし
- 4 実施概要

平年はそれぞれの保育園で開催している運動会が、町制50周年を記念して、総合運動場を会場に町内4保育園の合同運動会として開催されました。

秋晴れとなり、園庭よりとても大きな会場での合同運動会に、園児たちは元気に走り回っていました。



町制 50 周年記念 歴史民俗資料館企画展

- 1 実施日 平成24年10月20日～12月16日
- 2 実施主体 大口町（歴史民俗資料館）
- 3 事業経費 50周年事業として公費支出なし
- 4 実施概要



町制50周年を記念して「大口町の50年」と題して町制施行時の記録や映像を展示。昭和37年4月に町制施行を記念して行われた町民体育大会の8ミリ映像に、来館者の関心が寄せられていました。



町制 50 周年記念 憩いの四季祭り

- 1 実施日 平成25年2月2日(土)～3日(日)
- 2 実施主体 憩いの四季
- 3 事業経費 50周年事業として公費支出なし
- 4 実施概要

恒例となってきた憩いの四季祭りを町制50周年記念として開催してもらえました。50周年記念事業を憩いの四季の酒井貞夫さんを始めとするパソコンクラブのメンバーが記録写真、映像を撮り貯めてくれましたので、その映像の放映の他、劇団福祉座の公演では町制50周年に係る内容を入れるなどして盛り上げてもらえました。



町制 50 周年記念 第6回おおぐち合唱祭



- 1 実施日 平成25年2月3日(日)
- 2 実施主体 おおぐち合唱祭実行委員会
- 3 事業経費
50周年事業として公費支出なし
- 4 実施概要
第6回目となったおおぐち合唱祭は、町制50周年を記念して開催してもらえました。各合唱グループの発表が終わった後、大口町イメージソング「ほほえみを花束にして」を参加者全員で合唱してくれました。

町制 50 周年記念 Genki 森もり植樹活動

- 1 実施日 平成25年3月17日(日)
- 2 実施主体 Genki 森もり
- 3 事業経費 50周年事業として公費支出なし
- 4 実施概要

(株)東海理化からの支援を受け、Genki 森もりが名古屋上水道の上に整備されている尾張広域緑道への植樹を、多くの親子参加者のもと町制50周年を記念して開催してくれました。

植樹活動後は、隣接する企業の敷地を借り、(株)東海理化のボラアンティアセンターによるバルーンアートやお姉さんたちの美しく楽しいコーラスで時間を過ごしました。



あらかると

第肆回観桜会

- 1 実施日 平成24年3月25日(日)
- 2 実施主体 ヴォーカル・パフォーマンス・グループ櫻組
- 3 実施概要

大口町制施行50周年記念式典のアトラクションとして実施した合唱事業の協働相手であるヴォーカルパフォーマンスグループ櫻組の発表会。50周年記念式典の1週間前、犬山市南部公民館ホールを会場に盛大に開催されました。この発表会の中で、



指導者であり司会進行を務めていた吉川氏が、平成24年は大口町制50周年の年であること、4月1日に記念式典が挙行されること、記念式典の中で大口町制30周年を記念して作られた大口町のイメージソング「ほほえみを花束にして」を合唱曲にアレンジし、町民100人で結成されたコーラス隊で合唱することを報告・PRし、自ら独唱してくれました。また、記念式典フィナーレで歌った「希望の歌」独唱もありました。

入場無料の楽しい発表会です。皆さんも是非足を運んでみてはいかがでしょうか？

菜花の地方(じかた)

- 1 公演日 平成24年7月28日(土)
～7月29日(日)
- 2 公演主体 菜花(さいか)
- 3 公演概要

大口町を中心に活動する鳴子踊りチームの「菜花」が、小牧平成夏祭りに出場。小牧駅から小牧市民会館までを地方と共にパフォーマンスを披露。平成24年の



「菜花」の地方は、町制50周年を記念し、「50 OOGUCHI」の文字を入れてもらえました。

また、同年8月25日(土)、26日(日)のにつぼんど真ん中祭り(どまつり)にも同じ地方で参加し、パフォーマンスと共に「OOGUCHI 50」もPRしてくれました。

ボトルキャップアートの展示

- 1 実施日 平成24年4月1日(日)
～平成25年3月3日(日)
- 2 実施主体 (社)丹羽青年会議所
- 3 実施概要

丹羽JCの皆さんが、「HAPPY パースデイ! おおぐち」にて、参加型のブースを運営し、ボトルキャップ9,500個を使用して見事に50周年のロゴマークを描き出してくれました。このボトルキャップアートは、役場玄関ロビーにほぼ1年間掲出され、50周年の啓発に一役買ってもらえました。



50th 推進委員会その他

町長から感謝状

ファイナルイベント終了後、町執行部主催による茶話会を開催してもらえました。ところがなかなか片付けが終わらず、森町長、大森副町長、長屋教育長のお三方を1時間以上もお待たせしてしまいましたが、気長に待ってもらえ、「1年と半年、本当にお疲れ様でした。」というねぎらいのことばと共に、50th 委員全員に町長から感謝状をいただきました。森町長の配慮にファイナルイベントの疲れもどこかへ飛んだようで、賑やかな歓談の内に終了となりました。

50周年記念事業に係る一般提案一覧

No	分類キーワード	提 案	提 案 の 概 要
1	行政事務	キャラクターナンバープレート (原付)	例：東京都青梅市；市制60周年を記念し、同市に記念館がある赤塚不二夫氏のキャラクターを用いた原付バイク用のナンバープレート2,000枚を交付。
2	行政事務	命名権などによる 広告収入の確保	例：名古屋市；市内239か所の歩道橋のネーミングライツ（命名権）を売却すると発表。歩道橋の側面に企業名や商品名を表示できる。契約条件は、30万円以上で、表示の作成・削除は契約者の実費負担。
			例：大阪市；歩道橋の命名権、 年45万4千円／か所で5年契約。
			本町でもコミュニティバスの広告、封筒・HPのバナー広告等実施済みだが、利用者の選択が広がることで、より多くの企業、住民の協力が得られる可能性がある。同様に、街路樹の植樹、街路灯・防犯灯などにネームプレートを付ける権利を売るなど、全庁的な取り組みに発展させてほしい。
3	歌	元気の出る歌を作る	
4	公募 小説	大口町を題材とした小説の募集	
5	企業 子ども	町内企業見学	子どもたちにどんな仕事やモノづくりがあるのかを知ってもらう。大口町には世界的な有名な企業、技術力がある企業も多いので、そういった企業を見せて進路選択の手がかりにしてもらう。

No	分類キーワード	提 案	提 案 の 概 要
6	ロゴ 協働 服	50周年マーク入りTシャツ及び ポロシャツの作製	50周年記念マーク入りTシャツ及び ポロシャツを作って、まず職員が仕事(もちろん自費で購入)で着る。これは、夏場のクールビズ対策です。例としては、昨年一色町(現西尾市)の職員が派手なTシャツを着て仕事をしていました。作るのはNPO、販売もNPO。今年は、節電をしなければならないので、大きな顔をしてTシャツが着れるようにするのも、一案かと思います。
7	五条川 まちづくり団体	五条(川)ネットの 組織	我が町の母なる川「五条川」に関わり、 関心を持っているグループ、個人をつな ぐネットを形成し、情報交換の場として だけではなく、まちづくりの場として活 用してはどうか。清掃活動、生態調査、 環境監視など、それぞれの立場で動きは あるが、それを集約し、情報を共有する。
8	土地改良 記録	土地改良事業の記 録を残してほしい。	大口の土地改良事業は、昭和の半ばか ら始まり、30有余年に渡る事業展開がな されてきた。この記録がきちんと残って いない。土地という財産が絡むことなの で、きれいな話ばかりではなくどろどろ した部分もあるだろうが、出来るだけ記 録として残してもらいたいと考える。
9	企業 協働	町内企業とのコラボ	町内には先人の偉業により多くの優良 企業が進出してくれているが、こうした 企業に対して町は何の恩返しもししてい ない。企業があるのが当たり前のように 思っているが、それは違う。今こそ、こ うした企業の業績を称え、行政と住民が 手を携え、明るい大口を目指すべく、協 働できるプランを考えるべきである。

No	分類キーワード	提 案	提 案 の 概 要
10	企業 恩返し	町内企業の活用 (恩返し)	大口町の今があるのは、社本鋭郎先生の工場誘致施策により大口町に進出してきてくれた企業のお陰であるにも拘らず、行政は企業に対して何も気を遣っていない。世界的に有名な企業、大企業がこんなにある町は少ないのに、その有難味を理解していない。こうした企業を活用し、企業に恩返しのできる施策を！
11	子ども 議会	子ども議会の開催	
12	音楽	議場でコンサート	
13	音楽	「ココロの学校」の開校	来年、町制50周年にあたりましてひとつ提案があります。以前、堀内さんが町のイメージソングを歌って下さいました。今度は、ココロの学校を開校していただく提案をしたくって。別添の内容とその学校で谷村さんが歌って下さいますCDも一緒に送付いたします。谷村さんのココロの学校は、歌とトークと音のお話、そして地元の子どもたちの歌があって…。音のお話は、子どもたちが疑問の事です。例えば、「ド」は何でドなの？、答える事が出来ますか。谷村さんから教えていただけますよ！起立、礼から始まるココロの学校、一度開校していただけますことを願っています。以上、よろしくお願いします。
14	式典 町民 民族芸能	記念式典	記念式典で、高いお金を出して著名人の講演会をやっているようだが、ナンセンス。それより、町内で頑張っている人、尊敬されるべき行いをしている人のお話を聞く方が、よほど良い。

No	分類キーワード	提 案	提 案 の 概 要
14			また、地元の文化的なこと、例えば河北の木遣りを見ていただくとか。地元根差したものをすべき。
15	母 サミット	母親の愛情サミット	日本三大母の銘文に関連して、金助の母、本居宣長の母（松坂）、野口英世の母（福島）の三地区で、母の愛情をテーマにサミットを開き、毎年交流して関係を深める。
			女性三大名文 金助の母、成尋阿闍梨母集、ジャガタラお春の文
			女性三大母の文 金助の母、成尋阿闍梨母集、英世の母の文
16	案山子 コンテスト 住民参加	案山子のコンテスト	手作りの案山子を募集し、コンテストを実施する。れんげ祭りで周知し、8月末までが応募期間、夏休み中に案山子づくり講座を開講、商工会サマーフェスティバル又はやろ舞い大祭でコンテストをし、実際に田んぼに立てた後、ふれあいまつりで人気投票を実施。
17	祭り 花火	大口町 パースディ 前夜祭	大口町の誕生日である4月1日の1日前の3月31日に、前夜祭として東北の復興支援を兼ね、花火を打ち上げる。本年、日進市の花火大会で福島県の煙火店の花火を市民クレーム（放射能汚染）により、打上げを急ぎ中止したため、世間の批判を浴び、市長等が福島県並びに煙火店を訪れ、陳謝した。測定分析の結果、放射能汚染は確認できず、安全として、早い時期に打ち上げるとの約束をしている。本年3月11日の被災から1

No	分類キーワード	提 案	提 案 の 概 要
17			年が過ぎることもあり、我が町の50歳のバースディを祝うとともに、東日本大震災の犠牲者の冥福を祈り、且つ復興支援にもなるよう東北の煙火店の花火を打ち上げる。

50周年記念事業に係る推進委員からの提案一覧

No	分類キーワード	提 案	提 案 の 概 要	P R したい点、特色など	問題点、その他
1	桜 アート 展示 住民参加	街中さくくらっぱい	春の五条川だけでなく、年中桜がいつばいになるようにする。はがきサイズ(指定サイズ)に各自が思う桜の花(花びら)を描いてもらい、募集する。その葉書を桜の花(花びら)と見立て、桜の花を作り上げ、公共施設や大型スーパーに展示する。	多くの人が参加できる。夏休みの子供の宿題として募集は？募集の折には桜への思いや歴史を載せるなどし、五条川の桜への関心を高める。	学校との協議？早くから取り組み、式典に間に合う？数が集まらないと桜の木にならない。
2	人 アート コンサート 展示	集まれ！芸術家たち	大口町に関係のあるアーティストたちにジャンルを超えて集まっていただき、コンサート、絵画などの展示会を開催する。	大口町出身、大口町に関係のある芸術家たちに集まっていただき、大口町の思い出とか、思いを語っていただきながら、これからの大口町に対する夢も語っていただき、プロの芸術に触れる。会場は町民会館、経費は交渉次第	日程調整が難しい。 候補…松崎さん(バイオリン)、空条虎子さん(ソプラノ)、安井正規さん(エレクトーン)、堂地さん(ピアノ)、服部恒弥さん、山田和子さん、山下陽子さん(絵画)、今枝達夫さん(書道)
3	式典 コーラス 音楽 団体	記念式典をコーラスで祝う	記念式典のプログラムとして、町関係コーラス団体や町民参加型のコーラスを提案します。楽曲は、藤澤ノリマサの「希望の歌」	今回、提案する藤澤ノリマサの『希望の歌』は、第九の合唱をベースに 日本語の簡単な歌詞を付け、ポップスとクラシックをミックスしたものです。 歌のテーマは『あなたの笑顔が世界を変えろ。みんなの笑顔が未来を創る』というもので、今回の 50th『昔も今も未来もずっと 愛があふれる皆の大口』のキャッチフレーズにも合う内容と考えます。 また、日本語のサビ部分は、子供から高齢者まですぐに覚えられるメロディーと歌詞。ポップス調の明るいソロと後半第九合唱のサビ部分のドイツ語コーラスを配し、オーケストラ風の演奏なども盛り込まれて、式典を盛り上げる華やかさも魅力です。	コーラス企画としてどう組み立てるか。(会場、コーラスの人数、コーラスの方法、コーラスへの参加方法など) 指揮者は櫻組の吉川朗、伴奏者は同組の吉田奈津を推薦。 費用は、プロへの依頼をするのか、生演奏でいくのか、オーケストラにするかなどで大きく変化。

No	分類キーワード	提案	提案の概要	PRしたい点、特色など	問題点、その他
4	式典	4月1日の50th 記念式典会場	大口中学校ドーム下	大口中学校校舎は、2008年2月竣工。 40th以降大口町の大きな事業なので、 50thを祝う場所として中学校のシンボルにもなっているドーム下を活用できないか。	面積、形状、収容力などの詳細が不明。どの程度の天候に耐えるのか。中学校行事との調整が可能か。
5	事務改善	広報のペーパーレス 化	毎月届く広報は、カラー写真付きで楽しく読んでいますが、読み終わると大量の資源紙となります。個人的に保存が必要と思われる情報はわずかであり、バックナンバーを保存する必要のある部分もそれほどはありません。町の行政については、住人として知っておくべきことです。が、そうろろ媒体をかえても良い頃ではないでしょうか？住民が、従来の紙媒体広報とインターネット版広報の選択出来るようにしてはどうでしょうか？	この10年間インターネットの普及率は、75%を超えて（スマートフォン含まず）います。 インターネット版の広報も更新した時期にメールでお知らせすれば、タイムリーに見てもらえることが出来ると思います。インターネット版広報は、バックナンバーが、場所を取らずに保管でき、いつでも必要な時に見られるのも魅力。紙資源の無駄を省き、処理費用も大幅に削減できるとともに、区長さんの広報仕分けや当番さんの広報配布の負担もずいぶん軽減化されると考えます。	高齢者やインターネットを使わない家庭も考慮して、全く紙媒体の広報を廃止してしまう案は、現状考えませんが、年度の初めに紙媒体・インターネット（メールでの更新ニュース付き）の選択が出来るようにして1年間は同じ方法での広報受け取りを決めれば、現在膨大な量となっている区長さんの広報仕分けや当番さんの広報配布の負担も随分軽減化されると考えます。
6	企業 住民参加	桜の町&みんなの町 50th	物造り、人造りの時代から助け合う仲間、話し合う仲間とのコミュニケーションを計り、協力し合う、見て解る、聞いて解る事業内容を取り入れたい。目で見て解るパネル街道とか、クイズラリーなど楽しんで遊び心で町民が参加できる出し物、また、工業の町から文化の町へのステップを図る。	大口の今昔、先輩諸氏の苦労話、体験談などを日本文化直伝承等含め、児童あるいは今の若い人たちにもぜひ伝えたい。できる限り委員等の持っている物品等の借出し、創意と工夫&知恵を出し合って活用する。開催場所は、町の中心部である総合福祉会館、町民会館、ほほえみプラザ等。	大口町の今と昔と題して、昔の写真、資料などの有無、先輩諸氏の苦労話とか、体験談など収集できるか。
7	映画鑑賞 子ども 東日本支援 夜	ミッドナイトシアター —IN 大口	被災地の子どもたち（愛知県にいる被災者の子どもたちを含む。）を呼んで、野外でミッドナイトシアター（新作のドラえもん）を鑑賞してもらい、その周りには	物やサービスで溢れかえっている現在の大口町民の皆さんに大口町に愛着や誇りを持ってもらうためには、町民が力を合わせ、共に、他を思いやる心を養うことが大切と	被災地の子どもたちの宿泊施設をどうするか（旧北小体育館など）、映画はフィルム代別で100万円位？飲食ブースのデ

No	分類キーワード	提 案	提 案 の 概 要	PRしたい点、特色など	問題点、その他
7			食べ放題の屋台村（大口の飲食店に出店していただく。）を設置し、ひと夏の思い出をとともに作ってもらおう。	考えます。 地産地消を意識した飲食店のブースを考 えるとよい（大口ライスバーガーなど）、 廃油キャンドルを立体アート風に並べ東 北地方の復興への願いを発信する。 開催場所は、役場駐車場。参加人数は、大 口町民の総数＋東日本大震災の被災者	トは行政、調理機材は出展者持 参。売り上げ予想で出店者に受 け取ってもらおう代金は1ブース 10万円。
8	スポーツ 住民参加 世代間交流 屋外	50周年記念GG大会	各行政区より小学生、PTA、高齢者、 地域住民等で編成し、親睦交流を図る。 各地区の愛好者の参加希望者で交流。	幅広く、誰も（子ども、高齢者、女性、 青年）が参加できる。急速な高齢化社会の 健康保持の手段として、豊かな心、生きる 喜びを創造するスポーツで町を元気にし よう！開催場所は、総合運動場。	各行政区で参加希望者を取り まとめることができるか。参加 希望者が多い場合は調整が必 要。参加者は、256名、スタ ッフ20名の計276名。参加 費500円程度。継続を希望。
9	五条川 桜 住民参加	五条川と桜並木を守 ろう	大口町の誇る五条川の桜並木を守るた めに町民参加のプロジェクトを作る。単 年度だけではなく、長期的なものとする 必要がある。町づくりの一環として全庁 的な保全活動を立ち上げたい。	今も町である程度維持管理がされてい るが、植樹されて今年で58年となり、寿 命期を向かえている。枯死する木も増え、 今後加速度も増すものと思われる。 五条川は一級河川であるため、国管理の 河川。国、町、住民のやること、出来るこ とを整理し、分担を決めて、自分たちで きることは自分たちでやる体制を作りた い。	財政がタイトな状態の中、イ ベントの数はなるべく少なく し、効果的なものに絞り込みた い。他に NHK のど自慢の誘 致はできないか。当局に対し相 当前からアプローチが必要だろ うが、実現できたら素晴らしい と思う。
10	防災 住民参加	(防災フェア)	なまず号（地震体験車）で地震体感、 東日本大震災と台風12号被害のパネル 展示、防災グッズ展示など。	なまず号に乗る機会が少ないので、震災 や豪雨に備えて体感するのも良いのでは。 また、東海、東南海地震に備えて心の準備 も必要では。	なまず号の借用は無料だそう ですが、予約ができるか不明。
11	企業	(町内企業展)	町内企業のPRと製品等の紹介。(ヤマ ザキマザック、オークマ、東海理化、リ ンナイ、福玉米粒麦、ケイエイチケイナ ど)	町内企業を知るのにより機会と思う。町 内にある企業が何を作っているのか知ら ない町民も少なくないようです。	

No.	分類キーワード	提 案	提 案 の 概 要	P R したい点、特色など	問題点、その他
12	音楽 中学生 高校生	(中高生による吹奏 楽)	丹羽高校、大口中学校の吹奏楽による 演奏はいかが？		
13	委員 スタイル	(推進委員会ユニ フォーム)	50 t h ボロ (ライトピンク) を推進 委員のユニフォームとして揃いで着用し てはどうかしら？		
14	桜 地名 植樹	大口町「桜50番地」	大口町の新たな地名として「桜50番 地」を新設。そこに「50年桜」を植え る記念事業を行う。	大口町を見守るシンボルとしての「5 0年桜」、地名として地図に残ることこ ろが大口町の50年目の出発地点だとい うことをアピールできるんじゃないでし ょうか。	そもそも地名を新設することが できるのか。 植えるとすればどこが良いの か。 「50年桜」を植える人をどの ように決定するのか。
15	防災 住民参加	大規模災害訓練	大口町内全戸に訓練内容を周知させた 上で、地震、火災、事故時の救出など に關するもので実施してみては？	耳からは聞いて知っているつもりで も、いざという時にどういう動きをする のか把握し、体験することが役立つの ではないか。規模を大きくして実施する のは、50 t h という年周りで、受け入れ てもらえるのでは。	住民に十分周知の上でやらな いと苦情、迷惑通報が出ると思 う。
16	田 アート	田んぼアート	キャラクター、金助君、町章のほか、 参加者が考える大口町のイメージを、黒 米等を使って田んぼに描く。	大口町は農業の町であることも次世代 に伝える方法として、定着しつつある黒 米づくりをより多くの住民に提唱する、 収穫時期には報道関係にも知らせること で、近隣のみならず全世界（ネットやユ ーチューブ）に大口町をPRできる。 また、保育園や北小学校も稲作に取り組 んでいるので、収穫以外の楽しみを持っ て体験に取り組むことができると思う。 それが、将来の農業につながることを期 待する。	

No.	分類キーワード	提案	提案の概要	PRしたい点、特色など	問題点、その他
17	式典 伝統芸能	祝賀式典に華を添える	式典直前に伝統芸能「木遣り」を、直後に新しい芸能? 「さくら連・やろ舞い隊の踊り」で華を添える。	開式10分前に運動場で花火を打ち上げ、同時に式典会場(町民会館)客席最上部から「木遣り隊」が吟じながら中央通路を下り、舞台緞帳前を右から左に通って会場を出ると、幕上げ。 閉会式では、幕が下がり次第、客席後方より「さくら連、やろ舞い隊」が全通路を通して舞台へ上がる。	幸いにして24年4月1日は、日曜日で、出演者に参加依頼がし易いと思う。
18	冠事業	冠事業募集	各種団体によりイベントが開催されている。これらの主催団体に「50周年のシンボルマークを使用してもらい、記念事業に協賛・参画してもらう。	幅広い層の町民に関心を持ち、参画をしてみようことが狙い。	シンボルマークを使って協賛してもらおうにあたって、助成金を交付するのか? 交付するとすれば、①金額は? ②均一交付or規模に応じて差を付ける? 例えば、桜並木健康ジョギング、金助まつり、やろ舞い大祭、商工会盆踊り、体育祭、伝統芸能発表会等など。
19		HALF CENTURY TOWN フセンチュリー 大口タウン	①記念式典、②NHKラジオ体操、③街路樹植樹、④演劇(オペラ)、⑤演芸、⑥心の学校、⑦美術展(画家、書家等)、⑧コンサート、⑨芋煮会、⑩民舞、⑪小学生、中学生作品展、⑫餅つき、⑬路側帯改築、⑭自然歩道の整備(桜の補充、アジサイを植える、庵を作る)、⑮生け花展示会、⑯作品展、⑰町内企業の展示会、⑱売店(朝一、その他)、⑲喫茶部(3会場)、⑳伝統芸能	ポスターを作って貼る、住民の全員参加、50th行事をまちぐるみで作り上げていく、参加の仕方を多様化する、のぼりを立てる、50th実施計画表を作成し各家庭に配布する、広報無線で呼びかける、広報に案内広告(呈茶券、餅券、芋煮券)付きを入れる。 町民全員が50th記念事業を認識している。式典は参加できなくても見学はできる状態であるべきである。町民会館で実施すれば多く参加できる。	開催場所は、町民会館、福祉会館(体育館)、総合運動場植樹は4月29日に路側帯付近で。 総額2千万円位。

No.	分類キーワード	提案	提案の概要	PRしたい点、特色など	問題点、その他
20	スポーツ 親睦 住民参加	各種団体、協会同親睦大会	大口町で活躍している各団体、協会を一堂に集め、親睦を図る。これまでのt h 記念は各団体、協会ごとに冠事業で行っていたが、50th 記念では大口町としては最後になると思うから。	子どもから高齢者まで幅広く参加し、スポーツを通して心豊かなまちとして受け継がれるように。開催場所は、総合運動場。	
21	体験	気球に乗って大口町を見る	参加希望者を募って、気球に乗って大口町の原風景を楽しむ。	黒米アートなどの企画や紅葉が楽しめる季節だとさらに楽しいかも。航空写真で町を見るといいのはよくあるが、最近のニュースなどで各地で気球に乗るイベントをたびたび見るようになった。	気球に乗るための出発場所として町内に適切な場所があるか？名古屋県営空港や自衛隊からの飛行機の飛行との調整が可能か？気球の基数や頻度により参加人数は変わる。費用は参加者にも求めたほうが、不公平感がないと思う。

大口町制施行50周年記念事業推進委員会議事録

第1回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成23年9月1日(木) 午後7時25分から午後9時05分				
場 所	大口町役場 2階 第1会議室				
出席委員	鈴木 義彦	松永 盈任	大竹 伸一	宇野 省	佐竹 義昇
	三輪 純一	長谷川 実	後藤 清子	土屋 千秋	佐竹 金政
	稲垣 紀子	田中 百百代	社本 良子	前田 恵理	中村 和枝
	堀部 令子	齊木 徹	水野 眞澄	兼松 昌史	
職務等の為出席した者	森町長、小島総務部長、前田局長、木浪補佐				
欠席委員	埴田 実				
会議内容	1 町長あいさつ 2 委嘱状交付 委員一人ひとりに森町長から手交 3 他己紹介 4 協議事項 (1) 推進委員会の役割について…推進委員会設置要綱に基づき説明 所掌事務…50thの啓発、企画立案及び実施、調査研究及び記録 (2) 今後のスケジュールについて…スケジュール案を示し説明 月2回会議開催、11月中を目途に事業案を作成、1月末には報告したい。 (3) 委員長及び同職務代理者の選出 …協議により決定(委員長:大竹伸一委員、副委員長:社本良子委員) (4) これまでの周年記念事業について…過去の周年事業資料により説明 (5) 既決事項について …プロジェクトチームでの検討及びこれまでの経緯を説明 (6) 提案事業について …これまでにあった事業提案、他市町の状況などを説明 (7) その他 ①会議は、基本的に第2・第4火曜日の午後7時から開催することと決定 ②委員からの50周年記念事業提案をお願いした。 5 その他 委員名簿の配布について議論があったが、名簿登載の住所、氏名、連絡先などは個人情報であるが、それぞれが外に漏らさないものと信用して配付することとした。				

第2回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成23年9月27日（火） 午後7時05分から午後9時01分				
場 所	大口町健康文化センター 1階 機能回復訓練室				
出席委員	大竹 伸一	社本 良子	鈴木 義彦	松永 盈任	宇野 省
	佐竹 義昇	長谷川 実	土屋 千秋	稲垣 紀子	田中 百百代
	埴田 実	前田 恵理	中村 和枝	堀部 令子	齊木 徹
	水野 眞澄	兼松 昌史			
職務等の為 出席した者	前田事務局長、木浪課長補佐				
欠席委員	三輪 純一	後藤 清子	佐竹 金政		
会議内容	1 委員長あいさつ（大竹委員長） 埴田委員あいさつ 2 協議事項 (1) 記念式典について 開催日は、平成24年4月1日（日）の予定。場所・時間・内容について各委員が式典イメージを考え、次回に持ち寄ることとした。 (2) 周年記念事業について 委員等からの事業提案をテーマ毎に分類し、スケジュールを立てやすいように定例イベントなども含めた資料整理をし、次回までに配布する。 年間スケジュールを書き込める白紙も用意する。 (3) 今後の会議の進め方について 次回から、グループ討議形式で会議を進めることとした。 (4) その他 … 事務局説明 推進委員会の進捗状況並びに委員名簿を公開することについて、合意を得る。公開の方法等は今後も検討していくこととした。 3 その他 ・ 次回は、平成23年10月11日（火） 午後7時から 役場 2階 第1会議室にて				

第3回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成23年10月11日（火） 午後6時58分から午後9時16分				
場 所	大口町役場 2階 第1会議室				
出席委員	大竹 伸一	社本 良子	鈴木 義彦	松永 盈任	宇野 省
	佐竹 義昇	三輪 純一	長谷川 実	後藤 清子	土屋 千秋
	佐竹 金政	稲垣 紀子	田中 百百代	埴田 実	前田 恵理
	中村 和枝	堀部 令子	水野 眞澄	兼松 昌史	
職務等の為出席した者	前田事務局長、木浪課長補佐				
説明の為に出席した者	町民活動まかせてネット 代表 木野弓子				
欠席委員	齊木 徹				
会議内容	1 委員長あいさつ（大竹委員長） 2 承認事項 ・第2回推進委員会議事録について…承認 ・50周年ブログの開設と公開情報について…承認 3 協議事項 (0)町民活動まかせてネットから、町制施行日に町民を挙げて50周年を祝うイベントに係るプレゼンテーションをしたいという希望があり、委員会に諮り了承を得て、プレゼンテーションをしてもらった。継続審議とした。 (1)記念式典について 4班で討議。町民会館を会場とし午前10時から開会とするというのが多数意見なので、それを基調とし、内容等を検討し、次回には式典案としてまとめたい。 (2)周年記念事業について 1年間の事業の組み立てを考える。具体的には提案されている事業等の中からやりたいと思う事業を選択し、次回までに年間スケジュール表に落とし込んでくること。次回は、そのスケジュール案を基に協議する。 (3)その他 代理出席について…50th 委員は、団体等を代表して出てもらっている訳ではなく、意思ある個人として委員となっていていただいているので、代理は不要。 事前配付の資料を会議の時に持参してもらうようお願いした。 4 その他 ・次回は、平成23年10月25日（火） 午後7時から 役場 2階 第1会議室にて				

第4回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成23年10月25日（火） 午後7時07分から午後9時08分				
場 所	大口町役場 2階 第1会議室				
出席委員	大竹 伸一	社本 良子	鈴木 義彦	宇野 省	佐竹 義昇
	三輪 純一	土屋 千秋	佐竹 金政	稲垣 紀子	田中 百百代
	埴田 実	前田 恵理	中村 和枝	堀部 令子	齊木 徹
	水野 眞澄				
職務等の為出席した者	前田事務局長、木浪課長補佐				
欠席委員	松永 盈任	長谷川 実	後藤 清子	兼松 昌史	
会議内容	1 委員長あいさつ（大竹委員長） 2 承認事項 ・第3回推進委員会議事録について…承認 3 確認事項 ・町民活動まかせてネットからの提案について…承認、推進委員会の式典担当委員とタイアップして進めていく。 4 協議事項 (1)記念式典について 会場案毎の討議を事務局から提案したが、会場、オープニング、50周年としての主体事項、アトラクション、前夜祭といった項目を中心に全員で討議した。 ①会場は町民会館とし、午前10時からの開催とする。 ②オープニングは、大中の吹奏楽と木遣りを依頼する。 ③ロゴ、キャッチの作者スピーチと、小学生と昭和37年生まれの人にスピーチをしてもらうこととし、公募する。 ④前夜祭の花火については、やりたい気持ちは強いが、費用捻出の集金は難しい。やりたい意向は残して継続審議。 (2)周年記念事業について 各委員の年間スケジュール案を提出してもらい、定例的なイベントとともにまとめ、次回資料として提示することとなった。 (3)その他 愛知万博の折に町内企業等の協力により作製した記念品2種類を紹介。 ふれあいまつりへの出展について…50周年クイズとロゴマークシールなどによる出展について承認。 5 その他 ・次回は、平成23年11月8日（火） 午後7時から 役場 2階 第1会議室にて				

第5回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成23年11月8日（火） 午後6時58分から午後9時05分				
場 所	大口町役場 2階 第1会議室				
出席委員	大竹 伸一	社本 良子	鈴木 義彦	松永 盈任	宇野 省
	佐竹 義昇	三輪 純一	長谷川 実	後藤 清子	土屋 千秋
	佐竹 金政	稲垣 紀子	田中 百百代	埴田 実	前田 恵理
	中村 和枝	堀部 令子	水野 眞澄	兼松 昌史	
職務等の為出席した者	前田事務局長、木浪課長補佐				
欠席委員	齊木 徹				
会議内容	1 委員長あいさつ（大竹委員長） 2 承認事項 ・第4回推進委員会議事録について…承認 3 協議事項 (1)記念式典について ①スピーチ者募集に係る広報1月号の文案については、修正して掲載へ。 ②記念品については、全戸配布500円、来賓配布1000円で予算要求。 ③記念式典の推進班の編成については、中村委員、土屋委員、長谷川委員、三輪委員、佐竹金委員の5名に決定。 ④式典次第（案）を承認。 オープニング（大中吹奏楽、木遣り、合唱） 式典 1. 開式の辞 2. 国歌斉唱 3. 先覚者に対する黙とう 4. 町長式辞 5. 表彰 6. 表彰（ロゴ&キャッチ） 7. 50周年を振り返り、未来を語る（大口町の礎を作った社本氏、企業のまち、近年の協働のまちづくり、小学生と昭和37年生まれの方のスピーチ） 8. 来賓祝辞 9. 委員長あいさつ (2)周年記念事業について 年間行事予定表について事業毎にやる・やらないを決めたいので、次回までに各自検討しておくこと。 (3)その他 50thブログの紹介、ふれあいまつりのお礼とアンケート結果報告、陸前高田市の津波到達ラインへの桜の植樹活動の紹介と検討依頼、公費支出が難しい記念事業資金の集め方の検討依頼 4 その他 ・次回は、平成23年11月22日（火） 午後7時から 役場 2階 第1会議室にて				

第6回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成23年11月22日(火) 午後6時58分から午後9時10分				
場 所	大口町役場 2階 第1会議室				
出席委員	大竹 伸一	社本 良子	鈴木 義彦	松永 盈任	宇野 省
	佐竹 義昇	三輪 純一	長谷川 実	後藤 清子	土屋 千秋
	佐竹 金政	稲垣 紀子	田中 百百代	埴田 実	前田 恵理
	中村 和枝	堀部 令子	齊木 徹		
職務等の為出席した者	前田事務局長、木浪課長補佐				
欠席委員	水野 眞澄	兼松 昌史			
会議内容	1 委員長あいさつ(大竹委員長) 2 承認事項 ・第5回推進委員会議事録について…承認 3 報告事項 ・12月補正予算の結果について…全戸配布の記念品は認められず。記念式典記念品のみ。合唱事業は協働ならOKとのこと。前夜祭花火も認めてもらえず。金額の問題ではなく、必要性、継続性、発展性等の問題。 ・第1回式典部会の報告(三輪部会長)…表彰条例に基づく表彰は別機会とした。50年を振り返り、未来を語るは座談会方式で、委員長あいさつは50周年記念事業のスタート宣言とする。合唱事業は、櫻組との協働事業。 4 協議事項 (1) 記念式典について…質疑応答。次回、藤澤の唄の資料を提出する。 (2) 周年記念事業について…事業種類で3グループに分けて討議 A: 文化関係…吹奏楽、集まれ芸術家をまとめてコンサートの開催、愛情サミット、桜関係もまとめて事業計画。 B: スポーツ関係…グランドゴルフ、企業見学、合同防災訓練 C: イベント関係…田んぼアートを案山子コンテスト、婚活を含めた事業として開催。 (3) その他 ・12月に限って、第1・第3の6日・20日に会議を開催する。 ・花火に町費は出ない。JCさんを中心に実行委員会ができればいい。 ・次回の6日には各グループの周年事業をまとめてほしい。 5 その他 ・次回は、平成23年12月6日(火) 午後7時から 役場 2階 第1会議室にて				

第7回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成23年12月6日(火) 午後6時58分から午後9時06分				
場 所	大口町役場 2階 第1会議室				
出席委員	大竹 伸一	社本 良子	鈴木 義彦	松永 盈任	三輪 純一
	長谷川 実	後藤 清子	土屋 千秋	佐竹 金政	稲垣 紀子
	田中 百百代	埴田 実	前田 恵理	中村 和枝	堀部 令子
	齊木 徹	兼松 昌史			
職務等の為出席した者	前田事務局長、木浪課長補佐				
欠席委員	宇野 省	佐竹 義昇	水野 眞澄		
会議内容	1 委員長あいさつ(大竹委員長) 2 承認事項 ・第6回推進委員会議事録について…承認 3 報告事項 ・藤澤ノリマサの資料について…You Tubeにあった「希望の歌」を映写 ・式典に関する交渉の状況について…式典案はシンプルなものではないとの指摘。町内企業同士の協働は難しい、企業誘致の頃を知る人が少ない。切手シートは負担が大きい、美術館の割引はOK。 4 協議事項 (1) 記念式典について…藤川参議に祝辞をもらうためには3人の来賓祝辞が必要。祝辞に時間制限を付けるのは失礼とのこと。 (2) 周年記念事業について…新規に記載された事業を含めての前回と同様3グループによる討議 A班：加えて文化講演会ができないか。 B班：町民挙げてのグランドゴルフ大会。小中学校と役場に桜を記念植樹。町民挙げての防災訓練の検討。 C班：米作りが大口の原点なので、米作りの一連作業を通して人が集えるイベントを。 (3) その他 名鉄の歩け歩け大会の大口コース設定の提案があり、名鉄との協議により進めるかも。 5 その他 ・次回は、平成23年12月20日(火) 午後7時から 役場 2階 第1会議室にて				

第8回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成23年12月20日（火） 午後7時02分から午後9時12分				
場 所	大口町役場 2階 第1会議室				
出席委員	大竹 伸一	社本 良子	鈴木 義彦	松永 盈任	佐竹 義昇
	三輪 純一	長谷川 実	後藤 清子	土屋 千秋	佐竹 金政
	稲垣 紀子	田中 百百代	埴田 実	前田 恵理	中村 和枝
	堀部 令子	水野 眞澄			
職務等の為出席した者	前田事務局長、木浪課長補佐				
欠席委員	宇野 省	齊木 徹	兼松 昌史		
会議内容	1 委員長あいさつ（大竹委員長） 2 承認事項 ・第7回推進委員会議事録について…承認 3 報告事項 ・式典次第及び式典に関する報告事項について…「50年を振り返り、未来を語る」の内容を1本（社本鋭郎氏）に絞ることとなった。合唱、吹奏楽の関係で舞台前に平台、箱馬で階段を作る。階段前面には委員長が桜の絵を描く。壇上の生花も委員長に依頼予定。 4 協議事項 (1)記念式典について…委員もスタッフで、スタッフマニュアルを作成中。前日にリハーサルを行う。 (2)推進委員会中間報告について…推進委員会で検討してきた式典案等について、12月8日付けで提出。 (3)周年記念事業について…記念事業について予算の検討を各班でお願いしようとしたが、進まず。事業の検討は部会を組織することとした。 (4)その他…まかせてネットとの協働事業の資料説明。子どもたちへの記念品として、給食で考えている。行政としての冠事業の紹介。年明けに懇親会を開催。 5 その他 ・次回は、平成24年1月10日（火） 午後7時から 役場 2階 第1会議室にて				

第9回 大口市制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成24年1月10日（火） 午後7時00分から午後8時54分				
場 所	大口市役場 2階 第1会議室				
出席委員	大竹 伸一	社本 良子	鈴木 義彦	佐竹 義昇	三輪 純一
	長谷川 実	後藤 清子	土屋 千秋	佐竹 金政	稲垣 紀子
	田中 百百代	埴田 実	前田 恵理	中村 和枝	堀部 令子
	齊木 徹	水野 眞澄			
職務等の為出席した者	前田事務局長、木浪課長補佐				
欠席委員	宇野 省	松永 盈任	兼松 昌史		
会議内容	1 委員長あいさつ（大竹委員長） 2 承認事項 ・第8回推進委員会議事録について…承認 3 協議事項 (1)周年記念事業について…11の事業で部会構成をした。早急に部会を開き検討を進めること、部会の日時を事務局に連絡することとした。 部会構成は、 ①式典部会、②田んぼアート婚活事業、③桜河川環境保護、④グラウンドゴルフ大会、⑤工場見学、⑥子ども議会、⑦広域防災訓練と講演会、⑧芸術家の演奏会、⑨母子愛情物語、⑩表彰式典、⑪マザック美術館の見学 (2)その他 ・4月8日の金助桜まつりを町制50周年記念で開催することとなり、協力依頼あり。松江市から姉さま鉄砲隊が派遣される。推進委員会として盛り上げたいので、ご協力を。 ・藤澤ノリマサの出演交渉については、未だに未定とのこと。 ・協働契約2本（まかせてネットと櫻組）は完了。 ・コーラス員の募集をしている。募集要項は櫻組作。学校にもお願いする予定。 ・名鉄の春の歩け歩け大会コースへの組み入れは、堀尾史蹟顕彰会からの要望もあり、麦茶五条川の無償提供、ぜんざい2千食の無償提供といった協力もあったが、他団体が別の日に大口コースを設定しており組み込まれなかった。 ・ロゴ&キャッチ表彰における記念品作製をオークマが全面協力。 ・役場玄関マット2種類をダスキンスーツ東海北陸が提供。 ・清酒「おおぐち」のラベルにロゴマーク使用。 ・1月28日（土）懇親会開催。 4 その他 ・次回は、1週間前倒しし平成24年1月17日（火） 午後7時から 役場 2階 第1会議室にて				

第10回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成24年1月17日（火） 午後7時05分から午後9時00分				
場 所	大口町役場 2階 第1会議室				
出席委員	大竹 伸一	鈴木 義彦	松永 盈任	宇野 省	佐竹 義昇
	長谷川 実	後藤 清子	佐竹 金政	稲垣 紀子	田中 百百代
	埴田 実	前田 恵理	中村 和枝	堀部 令子	齊木 徹
	水野 眞澄				
職務等の為出席した者	前田事務局長、木浪課長補佐				
欠席委員	社本 良子	三輪 純一	土屋 千秋	兼松 昌史	
会議内容	1 委員長あいさつ（大竹委員長） 2 承認事項 ・第9回推進委員会議事録について…承認 3 報告事項 (1) 式典部会の報告について ①「希望の歌」と「ほほえみを花束にして」の順番を入れ替えたい。 ②国歌斉唱で独唱してもらう場合は、伴奏はなし。 ③4月8日の金助桜祭りに協力をする。 ④藤澤ノリマサ事務所からスケジュールの都合がつかない旨の連絡があり、櫻組指導者の吉川氏を代役でお願いする。 ⑤社本鋭郎氏対談関係は、質問事項を協議中。 4 協議事項 (1) 周年記念事業について ・田んぼアート予算計上の考え方を見直さないと事業実施ができない。 ・田んぼアートの候補地の再検討が必要。 ・炊出し訓練の材料費が必要。 ・子ども議会の概要は次回までに詰める。 ・記念植樹の日時場所は、再検討する。 ・芸術家の演奏は、中学校授業の一環ではなく一般向けで行ってはどうか。 ・事業の（案）を取るため、行政経営会議に正副委員長が出席し、事業説明をしてもらうことを考えている。 ・町が考えている50周年の予算枠はない。必要な事業には予算をつけてもらえるので、そうした要求をしないといけない。 (2) その他 ・委員のスタッフジャンパーかベストを自費でも作りたい。 ・委員の身分証として名刺を作成し配付予定。 5 その他 ・次回は、平成24年2月14日（火） 午後7時から 役場 2階 第1会議室にて				

第11回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成24年2月14日（火） 午後7時02分から午後9時09分				
場 所	大口町役場 2階 第1会議室				
出席委員	大竹 伸一	社本 良子	鈴木 義彦	松永 盈任	宇野 省
	佐竹 義昇	三輪 純一	長谷川 実	後藤 清子	土屋 千秋
	稲垣 紀子	田中 百百代	前田 恵理	中村 和枝	
	堀部 令子	齊木 徹	水野 眞澄	兼松 昌史	
職務等の為出席した者	前田事務局長、木浪課長補佐				
欠席委員	埴田 実	佐竹 金政			
会議内容	1 委員長あいさつ（大竹委員長） 2 承認事項 ・第10回推進委員会議事録について…承認 3 報告事項 (1) 事務局からの報告 ①経営会議で、事業計画案（事業名、実施時期、目的、事業概要）を説明。 ②当初予算は要求額そのまま町長査定で認めてもらえた。 ③ロゴ&キャッチ作成者記念品の試作を展示（オークマ㈱協力） ④来場記念品は、ヤマザキマザック㈱から協力の承諾あり。デザイン検討中。 ⑤学校給食で「お祝いゼリー」を出してもらえる。 ⑥推進委員会設置要綱の一部を改正した。 ⑦合唱に119名の応募があった。大中吹奏楽部は43人編成。 (2) 各部会からの報告 式典部会…役割分担表を作成。司会者等は今後煮詰める。 防災部会…2回開催。9月22日に防災訓練、大規模な炊出し訓練を！ 芸術家部会…予算が取れたので時期、場所、内容を煮詰めていく。 母子部会…「ははこ」と呼んでほしい。DVDを放映する機会を作りたい。 子ども議会部会…早めに学校と調整したいし、継続したい。 4 協議事項 (1) 田んぼアートについて…土地賃借料を協議、図案の提案依頼。 (2) その他…HAPPY バースデー！おおぐちの検討状況説明。社本鋭郎氏に係る対談の収録を2月21日に行う。スタッフジャンパーは桜色で、1着2,700円、会計を中村委員、監査を佐竹義委員にお願いする。 5 その他 ・次回は、平成24年2月28日（火） 午後7時から 役場 2階 第1会議室にて				

第12回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成24年2月28日（火） 午後7時05分から午後9時00分				
場 所	大口町役場 2階 第1会議室				
出席委員	大竹 伸一	社本 良子	鈴木 義彦	松永 盈任	宇野 省
	佐竹 義昇	三輪 純一	長谷川 実	後藤 清子	土屋 千秋
	佐竹 金政	稲垣 紀子	埴田 実	前田 恵理（遅刻）	中村 和枝
	堀部 令子	齊木 徹	水野 眞澄	兼松 昌史	
職務等の為出席した者	前田事務局長、木浪課長補佐				
欠席委員	田中 百百代				
会議内容	1 委員長あいさつ（大竹委員長） 2 承認事項 ・第11回推進委員会議事録について…承認 3 報告事項 (1)事務局からの報告について ①ロゴ&キャッチ記念品のアルマイト加工が裏目、オークマ株の配慮あり。 ②来場記念品図案についてヤマザキマザック株から変更要望あり。 ③HAPPY バースデイおおぐち、合唱、対談VTRは順調に推移。 ④献石実行委員会を2回開催。1m×2mの献石予定。 ⑤記念式典案内状を発送。総数509通。 ⑥50th ポロをスタッフユニフォームとします。色は自由、強制ではない。 (2)部会の開催報告について ・式典部会…2月24日にひな壇を組んで練習。 ・防災部会…9月22日に決定。内容は今後。 ・田んぼアート部会…3班構成。大口米粉スイーツを検討中。婚活をスマイルプロジェクトと称して第1弾を計画。3月に安城に出向く予定。 ・こども議会部会…継続について検討、子ども議員数は15で、中学3年生を予定。意識向上のため議会の傍聴を！ 4 協議事項 (1)その他の部会状況 ・桜・河川部会…南小への記念植樹のみ3月中に実施。桜ライン311植樹活動を応援したい。 ・グランドゴルフ部会…2月18日の体育協会役員会にて協力の承諾有。3月2日の理事会で決定の予定。開催予定日は7月15日。 ・芸術家部会…開催予定日を10月27日とした。継続が課題。 ・工場見学部会…商工会主催等の工場見学が2つ有。 (2)田んぼアート「米粉スイーツを考えよう！」について…ふれあいまつりをゴールとして、建設農政課とタッグを組んで進めたい。8月書類審査をし、				

	5 作品を決定。9 月には婚活班とタッグを組み、試作品を作って審査予定。若手農業者の参画も検討中。大口町の農産物のギフトセットを賞品に！ (3) その他 ・行政部局の協力は得られるのか？どんな部局が事業に関連するのか？その調整窓口は？問い合わせ窓口は？…50th 事務局が窓口となり調整する。 5 その他 ・スタッフジャンパー見本を提示。希望サイズの報告を。 ・次回は 平成24年3月21日（水） 午後7時から 役場 2階 第1会議室にて
--	---

第13回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成24年3月21日（水） 午後7時00分から午後9時00分				
場 所	大口町役場 2階 第1会議室				
出席委員	大竹 伸一	社本 良子	鈴木 義彦	松永 盈任	宇野 省
	佐竹 義昇	三輪 純一	長谷川 実	後藤 清子	土屋 千秋
	佐竹 金政	稲垣 紀子	田中 百百代	埴田 実	前田 恵理
	中村 和枝	堀部 令子	齊木 徹	水野 眞澄	
職務等の為出席した者	前田事務局長、木浪課長補佐				
欠席委員	兼松 昌史				
会議内容	1 委員長あいさつ（大竹委員長） 2 承認事項 ・第12回推進委員会の議事録について…承認 3 報告事項 (1) 事務局からの報告について ①板東英二の「そこ知り！」の収録が3月9日にあった。 ②記念式典来場記念品が出来上がってきた。支払額は15万円ほど。 ③社本鋭郎氏に係る記念対談は未完成。本日の会議後に音入れをし、再編集により20分程度にまとめた。 ④3月23日の部課長会に委員長が出席し、協力依頼予定。 (2) 田んぼアート婚活事業について 3月9日に委員3人がデンパークへ行き、指導をいただいた。田んぼアートのデザインはロゴマークで、データ作成をまかせてネットに依頼した。通				

	常の苗はJAに依頼、赤米等は河北に依頼。高所見学会を企画したい。田んぼアートサポーターを募集した。第1回目の婚活を5月13日に予定し、チラシ、ポスターを事業所等に配布。 (3)式典部会について 式次第を決定した。担当割、進行台本案も出来上がった。オープニングとエンディングのアトラクションに係る入退場の資料もできた。3月30日午前中に大中吹奏楽部のリハーサルをし、午後委員長が生花を生け、受付班が受付準備。3月31日には委員は午前9時集合。午前中は音響と照明のセッティング。午後1時から大中吹奏楽部のリハ、午後2時からコーラスの最後の練習、午後3時からアトラクションの通しリハをし、その後式典の通しリハを予定。当日は、午前7時集合で、午前8時30分まではHAPPY パースデイの準備を手伝い、その後町民会館へ移動し式典に備えてください。式典が終了次第片付けをし、HAPPY パースデイの応援に回ってください。当日の駐車は、アピタ五条川駐車場へ。役割分担と演技図の確認を！服装は、スタッフジャンパー、男性はワイシャツ、ネクタイ、スラックス、女性はブラウスもしくはセーター、スカートかパンツスタイル、ジーパンなどはダメ。委員以外は40周年青色ジャンパー。担当打合せは、リハーサル当日にリハをやりながら。開始宣言の出るタイミングに留意を。委員長以外はのぼり旗持参で開始宣言。 4 協議事項 (1) 記念式典について ロゴ&キャッチの記念品を舞台に飾るという件については検討中。登壇来賓は、控室からアトラクション前に会場の固定椅子に着座。登壇来賓の案内は配役通りで。 (2) その他 ・ネクストラップ型の名札を用意する。 ・オークマ株から胡蝶蘭の生花一对を贈ってもらえる予定。 ・集まれ！芸術家部会では、広島交響楽団のトランペット奏者である松崎さんとソプラノ歌手である空条寅子さんにコンタクトを取っており、4月2日に堀部委員が松崎さんと会う予定。学校行事に組み入れるには先生に負担が掛かるので、NPO団体に協力依頼をし相談していきたい。 ・金助桜まつりでは警備の協力をお願いしたい。スタッフジャンパー着用。協力者には堀尾史蹟顕彰会から呈茶券と記念品が用意されている。午前9時集合、午後3時解散予定。 5 その他 ・スタッフジャンパー代金（2,835円）の納入をお願いします。 ・次回は 平成24年4月10日（火） 午後7時から 大口町役場 2階 第1会議室
--	--

第14回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成24年4月10日（水） 午後7時08分から午後9時12分				
場 所	大口町役場 2階 第1会議室				
出席委員	大竹 伸一	社本 良子	鈴木 義彦	松永 盈任	宇野 省
	佐竹 義昇	三輪 純一	長谷川 実	土屋 千秋	佐竹 金政
	稲垣 紀子	埴田 実	前田 恵理	中村 和枝	堀部 令子
	齊木 徹	水野 眞澄	兼松 昌史		
職務等の為出席した者	木浪課長補佐				
欠席委員	後藤 清子	田中 百百代			
会議内容	1 委員長あいさつ（大竹委員長） 2 承認事項 ・第13回推進委員会議事録について…承認 3 報告事項 (1)事務局からの報告について ①学校給食のお祝いゼリーを用意したので試食してみてください。 ②丹風園という業者から50周年事業への寄附がありました。 ③4月5日に「そこ知り！」の放送があった。 ④金助桜まつりと同時に開催される春の伝統芸能発表会で「裁断橋物語」を朗読してくれた。（田中部会長の強い働きかけ有） (2)集まれ！芸術家たちについて 12月1日にリハーサル、2日に本番と決定。曲目などは8月には決めた。『ほほえみを花束にして』をジョイントできると良いし、対談もできたらと考えている。松崎さん、空条さん共にピアノ演奏者を一人連れてくるとのこと。出演料はお二人で10万円＋交通費＋宿泊料の予定。 (3)金助桜まつりについて 協力ありがとう。消防団と警察の連携で迷惑をお掛けした。 (4)田んぼアート婚活部会について 田植えの参加者は、推進委員、婚活参加者、サポーターの3者のみとし、田植えをイベント化しない。デザイン画にメッシュを切ってあるが、交点に竹串をさす予定。6月12日から通水されるので13日から16日くらいで田すりと下絵書きを予定。植える米は、普通米（あいちのかおり）、赤米、紫米の3種。紫米は輪郭、赤米は花卉としたい。顔の中には何も植えない（浮かび上がって見える？）予定。田植え後の作業表を作成中。紫米は背が伸びるので肥料を減らし、普通米には肥料を増やして調整。ぶつつけ本番なのでよろしくお願いします！5月13日の婚活は、男性10名、女性3名の応募。女性が足りないので協力を！				

	4 協議事項 (1) 今後の委員会の進め方について ・第2、第4火曜日を定例会としてきたが、部会を優先し、中間報告や全体協議の場として月1回の開催としたい。…承認 ・推進委員と行政等との合同連絡会議は？…部会長から事務局に依頼して欲しい。 ・4月区長会にグラウンドゴルフ大会の依頼を！…難しい。 ・グラウンドゴルフ大会に予算付けを！…当てにしない方が継続しやすい。 ・何故、グラウンドゴルフ予算がないのか？…自主的にお金を集めれると思ったので、予算要求をしていない。 ・推進委員会に気を使ってほしい。推進委員の位置付けを明確に！…上司に伝えます。 ・予算執行の考え方について…個々に相談。 ・推進委員会で執行できるお金は？…126万3千円+3万円。議会だよりに載っていた300万円はパートさんの人件費等が入った金額。推進委員会費は5事業分の予算。 ・50周年事業について4月の区長会で示してもらいたい。…局長にその旨伝えてもらう。グラウンドゴルフについても検討する。 ・田んぼアートは来年度も継続するのか？…農業振興理念のみの継続で、田んぼアートはそのきっかけ。 ・参加費等の定義を！…予算額は皆さんの話し合った金額で満額認められている。必要ならば提示すべきだった。協議することが多いので、次回にしては。 (2) 会計の流れについて 会計は中村委員にお願いする。寄附金の3万円で口座を開き、そこに町負担金を入金する。概算支払可、精算で戻してもらえば良い。領収書の宛名は「50周年推進委員会」 ・レシートや内容提示は不要？…検討する。 ・スマイルプロジェクトは4回あり、1回精算か継続しても良いのか？…検討する。 ・寄附金と負担金を一緒の通帳で管理していいのか？お金のことは事務局で決めてもらいたい。…1通帳で可。収入の扱いは検討する。 5 その他 ・次回の推進委員会後に親睦会を開催。場所、会費は追って連絡。 ・次回は 平成24年4月24日（火） 午後6時から 大口町役場 2階 第1会議室
--	---

第15回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成24年4月24日（水） 午後6時00分から午後6時55分				
場 所	大口町役場 2階 第1会議室				
出席委員	大竹 伸一	社本 良子	鈴木 義彦	松永 盈任	宇野 省
	佐竹 義昇	三輪 純一	長谷川 実	後藤 清子	土屋 千秋
	佐竹 金政	稲垣 紀子	田中 百百代	前田 恵理	中村 和枝
	堀部 令子	齊木 徹	水野 眞澄	兼松 昌史	
職務等の為出席した者	森町長、小島総務部長、前田事務局長、木浪課長補佐				
欠席委員	埴田 実				
会議内容	1 あいさつ 大竹委員長…15回目の委員会。気を引き締めて取り組んで行きたい。 森町長…新しい50周年のスタートが切れた。これからもよろしくお願いします。 2 承認事項 ・第14回推進委員会議事録について…承認 3 報告事項 (1)事務局からの報告について ①企業見学について…天野先生の取組み紹介。小学校のカリキュラムに企業見学を組み入れるのは無理。小学3年生の副読本に町内企業の紹介があり、学校毎に決められている。(南小と北小はリンナイ、西小は東久)。この副読本は4年ごとに改訂され、平成24年に代わったばかりとのこと。50周年で取り組むなら、夏休みに希望者を募っての開催か。 ②記念式典は好評、ありがとうございました。委員としての感想を聞かせて欲しい。記念式典、HAPPY バースデイの写真があるので、希望者は申し出てください。 (2)会計…4月19日に農協で口座開設。口座名義は「50周年推進委員会 中村和枝」。やりくりについてご意見を！ (3)田んぼアート婚活部会…5月13日のスケジュールを立てた。(アイスプレイキング、自己紹介、クッキング、会食、学生時代を思い出すゲーム、メッセージカード) 男性16名、女性5名の応募。農業経験者の有志で稲作グループを立ち上げたい。 (4)グラウンド・ゴルフ部会…4月12日に近藤生涯教育部長と松浦生涯学習課長と協議し、全面的に協力してもらえることとなった。翌日、柳沢体育協会会長と区長会に書類提出し、ご理解をいただいた。4月18日に部会を開催。5月8日の推進委員会の前に実行委員会を開催。				

	(5) 子ども議会部会…昨日部会を開催したが、良い報告ができない。学校回りをし、良い報告ができるよう頑張る。次回の部会は5月中旬予定。長屋教育長、竹本学校教育課長、岩田学校教育課主幹と協議したが、学校行事としての開催は難しく、夏休みの出校日を4校併せての開催も無理とのこと。中学3年生の模擬議会開催とそれを小学生が見るのは可能かもとのこと。5月10日の学校連絡会にて提案し、先生にも会議に加わってもらう予定。議会には依頼文を提出し、5月26日の全員協議会で協議し、協力議員を選任していただける予定。6月に下案、7月に子ども議員募集、夏休み前に決定し、8月末に開催したい。 (6) 母子の愛情のまち啓発部会…5月13日の堀尾供養祭、5月25日の南小学校と白鳥小学校の交歓会に参加予定。 4 協議事項 (1) 会計処理について…会計の考え方を作成した。 ① 5月8日までに部会毎に事業内容を固めて予算の見直しをして欲しい。不足する場合は補正要求をする。 ② 保険代や飲食代は受益者（参加者）負担。 ③ 事業毎に速やかに精算する。参加費を徴収し余った場合は返金。 ④ 部会長又は部会長から指名された委員は収支報告ができるよう記録をして欲しい。 ⑤ 個人判断での支出はダメ。 ⑥ 支出前に部会長又は指名された委員は概算請求をし、終了次第精算する ⑦ 領収書をもらうこと。宛名は「50周年推進委員会」。明細が分かるようにして欲しい。レシートも可。部会名を書いて事務局に提出。 ⑧ 残額は繰り越し可能。 ・ 1回1回精算しないといけないか？…お願いしたい。会費に残額が生じれば返却。 ・ 返却は不要では？会費に見合った内容であるかどうか問題。…余るようなことはないと思うが、余れば返金をして欲しい。監査が入ってもきちんと説明できるようにして欲しいという趣旨です。 (2) その他 ・ 防災対策の市町村ゼミナールがあるので、希望の方は参加を！ 5 その他 ・ 5月20日に丹羽JC主催の防災事業があるので、希望の方は参加を！ ・ 次回は 平成24年5月8日（火） 午後7時から 大口町役場 2階 第1会議室
--	---

第16回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成24年5月8日（火） 午後7時12分から午後8時32分				
場 所	大口町役場 2階 第1会議室				
出席委員	大竹 伸一	社本 良子	鈴木 義彦	松永 盈任	宇野 省
	佐竹 義昇	三輪 純一	長谷川 実	後藤 清子	土屋 千秋
	佐竹 金政	兼松 昌史	田中 百百代	前田 恵理	中村 和枝
	堀部 令子	齊木 徹			
職務等の為出席した者	前田事務局長 木浪課長補佐				
欠席委員	稲垣 紀子	水野 眞澄			
会議内容	1 委員長あいさつ（大竹委員長） 2 承認事項 ・第15回推進委員会議事録について…承認 3 報告事項 (1)事務局から ①50周年事務局の一般会計予算の明細を作成し、説明。 ・臨時職員の予算は年額か、時給は、交通費は？…年額、860円、交通費は別。 ・委託料の内容は？…秋の表彰式典で放映予定の映像費と50周年記念事業の記録用。 ・式典予算が余って返金したとか？…返金ではなく残金。 ・HAPPY バースデイの明細が見たい。…精算時に提示します。 ②大正琴の菊八重会から町制50周年記念で演奏会をしたい旨の申し出有。裁断橋物語を題材とした創作曲を作ってもいいということであったので、冠事業として問題ないと判断している。 ③麦茶「五条川」の開発余剰金利用の新たなお茶を検討 ④推進委員会の親睦会の口座を開設。「大伸会」 ⑤子ども議会関係で酒井廣治議員と岡孝夫議員が検討会に参加報告有。 ⑥記念式典の反省点、意見をまとめた。 ⑦防災関係のゼミナールと防災フェスタ2012の参加確認。 (2) 田んぼアート婚活部会…先日河北で苗代をした。6月13日田すり、15日下絵、16日苗準備、17日田植え予定。案山子募集を7月広報に掲載予定。下絵について説明。現場に竹が立ててあるので確認を！スマイルプロジェクトは男女とも定員の16人に達した。 (3) グラウンド・ゴルフ部会…本日検討会議を開催。6月11日に次回を開催。女性委員に司会者をお願いしたい。				

	4 協議事項 (1) 各部会の予算について…グラウンドゴルフ部会で参加賞のタオル代として6万円、集まれ！芸術家部会で謝礼として13万2960円の不足を聞いており、6月補正予定。 ・田んぼアート婚活部会の中での流用は可能か？…可能 ・グラウンドゴルフでは賞品は町から出すべきとの意見あり。 ・福玉倉庫からの1千万円の寄附の使い方を示して欲しい。 ・子ども議会関係でも予算が欲しいが。…部会で詰めて欲しい。 (2) その他 ①麦茶「五条川」の余剰金について…麦茶「五条川」の開発余剰金があり、町制50周年を機に新しくお茶を開発できないかと福玉さんに相談したら快諾してもらえたが、資金が足りず協力をお願いしたい。箱代を別として10万円ほど不足。できれば箱も新しくしたい。麦は大口町産、薬草は中国産。50周年の5と五条川の5を掛け5種類のブレンド茶ができないかという発想。今日飲んでもらったのは、麦茶65%、ケツメイシ20%、どくだみ、スギナ、桑の葉各5%の配合。原価142円、箱代23円、シール代別途。新たな箱を作るには版代だけで20万ほど必要。製造ロットとしては最低1,800。そうした相談を福玉米粒麦(株)としている。 ・販売ルートはあるか？…今は憩いの四季で販売。 ・どんな薬草が入っているか？…どくだみ、ケツメイシ、スギナ、桑の葉。 ・箱ではなくビニール袋にしてはどうか？…安くなるが積算はしていない。 ・企業名を載せる協賛を募集すれば？ファンド手法で現物支給というのもあるが。…企業名が入ったパッケージは欲しくないかな。 協議打ち切り 5 その他 ①推進委員会の会議について…推進委員会の会議回数を月2回から1回にしてはという意見が出て、そのままになっていたが。 ・第2火曜日の1回でいいのでは？ ・部会から要請があれば、別に開催すればいい。 ②表彰式典について…表彰条例に基づいた表彰関係だけではない表彰式にしたので、アイデアを出して欲しい。 ・アトラクションとして「母子の愛情物語」を披露したい。 ・表彰条例に定められた対象は？開催日程は？…規定内容はホームページから検索可能。日程は未定だが、11月23日予定の福祉の集いと抱き合わせでも良いのかなとも思う。 ③次回は、平成24年6月12日（火） 午後7時から 大口町役場 2階 第1会議室
--	---

第17回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成24年6月12日（火） 午後7時03分から午後8時25分				
場 所	大口町役場 2階 第1会議室				
出席委員	大竹 伸一	社本 良子	鈴木 義彦	松永 盈任	宇野 省
	佐竹 義昇	三輪 純一	長谷川 実	土屋 千秋	佐竹 金政
	稲垣 紀子	田中 百百代	前田 恵理	中村 和枝	堀部 令子
	齊木 徹	水野 眞澄	兼松 昌史		
職務等の為出席した者	前田事務局長 木浪課長補佐				
欠席委員	後藤 清子	埴田 実			
会議内容	1 委員長あいさつ（大竹委員長） 2 承認事項 ・第16回推進委員会議事録について…承認 3 報告事項 (0)事務局より ①50th ポロシャツについて…本年度受注は91着。 ②6月補正予算について…認められず。まずは現予算で対応とのこと。 (1)田んぼアート婚活部会…田植えとスマイルプロジェクト第2弾を6月17日に開催。定員に余裕あり。ご協力を。13日に代掻き、15日に下絵書き。下絵書きには河北エコの会3名、ファイターズクラブから2名、老人クラブから1名のお手伝い予定。17日の田植え本番は、午前7時30分集合。受付8時、8時15分委員長あいさつとリーダーからの注意事項。田植えには河北エコの会5名、ファイターズクラブから5名のお手伝い予定。苗をほぐしてもらえると助かる。 (2)グラウンド・ゴルフ部会…大会日は7月15日。午前8時30分開会。雨天の場合は16日に順延。会場は総合運動場。主催は実行委員会。中日新聞社の後援は未定。日程としては、受付8時、8時30分開会、9時競技スタート、休憩をはさんで2ゲームをし、11時30分閉会式予定。役割等は資料のとおり。1チーム10人で、小中学生3人を入れる。足りない場合はペナルティ有。実行委員会を組織し、委員長に大竹委員長、副委員長に藤田区長会長と柳沢体育協会会長。予算を組み、歳入歳出13万8千円。1チーム2千円の参加費を徴収。全32チーム。参加賞としてお茶1本。団体戦とし、3位までに副賞を用意。町内某企業と丹羽郡中日新聞販売店会との協働で、参加賞としてタオルを提供してくれる。町内の企業名は出して欲しくないとのこと。横断幕2枚を掲出する。 (3)子ども議会部会…5月30日に検討会を開催し、その旨を6月6日の学校連絡会に報告した。6月26日に第2回目の検討会開催予定。				

	(4) 広域防災訓練と地域防災部会…9月22日予定。内容は未定。 (5) 集まれ！我が町の芸術家たち部会…5月11日に部会を開催し、実行委員会形式で検討をすることとした。関係団体をお願いに行く。7月半ばまでに実行委員会を立ち上げたいと思っていたが、核になると思っていたスタンウェイ友の会に断られ困惑している。6月中には教育委員会や生涯学習課をお願いに行く。 (6) 母子の愛情のまち啓発部会…南小学校と白鳥小学校の交歓会に出席。47年の歴史は素晴らしい。9月9日に開催予定の大正琴発表会で山姥物語に因んだ作曲が発表される予定。秋の伝統芸能発表会に山姥物語の朗読を考えている。裁断橋物語や交歓会のDVDを披露できる場を考えたい。 (7) 桜・河川環境保護部会…環境関連団体が6団体あり、50周年として手伝えることを検討中。記念植樹は11月に考えている。 ・企業見学部会、表彰式典部会、ヤマザキマザック美術館見学は手つかず。 4 協議事項 (1) 部会運営について…表彰式典とヤマザキマザック美術館見学の担当委員が決まっていないので、決めたい。事業が終わったから担当も終わりではなく、協力をお願いしたい。 5 その他 ① 50周年記念健康茶について…最低の1800ロットでないと機械の準備ができないため、配合を変えた3案を作成した。どの案にしても麦茶「五条川」の余剰金はそれで尽きてしまう。箱代と諸経費併せて40万円ほど必要となり、委員の皆さんに出資していただけないかと考えている。原価が200円を超えるが、200円で売った場合、800箱から900箱売らないと出資金の回収ができない。表彰式典の記念品とか町の行事での活用をお願いすれば900箱は売れるという目算。皆さんのご協力をお願いしたい。 ・一人当たりの出資額は？…1万円を予定。 ・町に協力してもらっては？…「五条川」も住民出資。 ・50周年でやることではないのでは？…出資ではなく貸すと考えてもらえないか。50周年の名前と力を借りたい。 ・冠事業であり、ここで議論することではない。町出資で。…余剰金を推進委員会に寄附をし、売れば事業資金として残る。50周年事業としてのPRにもなるのでは？ 協議打ち切り ② 次回は、平成24年7月10日（火） 午後7時から 大口町役場 2階 第1会議室
--	--

第18回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成24年7月10日（火） 午後7時02分から午後8時30分				
場 所	大口町役場 2階 第1会議室				
出席委員	大竹 伸一	社本 良子	鈴木 義彦	松永 盈任	三輪 純一
	長谷川 実	後藤 清子	土屋 千秋	稲垣 紀子	田中 百百代
	埴田 実	前田 恵理	中村 和枝	堀部 令子	齊木 徹
	水野 眞澄	兼松 昌史			
職務等の為出席した者	前田事務局長（中座）、木浪課長補佐				
欠席委員	宇野 省	佐竹 義昇	佐竹 金政		
会議内容	1 委員長あいさつ（大竹委員長） 2 承認事項 ・第17回推進委員会議事録について…承認 3 報告事項 (1)事務局 ①グラウンド・ゴルフ大会について…7月13日午後1時30分から参加賞等仕分け作業有。14日午後7時30分から総合運動場で準備。当日は実行委員は午前6時30分集合。お茶タンクでのお茶づくりにご協力を！当日の駐車は給食センター。役割分担を説明。 ②健康麦茶「桜野」について…注文が多く、2100ロットに変更。販売単価は220円、内20円を桜ライン311植樹活動への支援金とする。原価は210円なので若干の赤字。 ③冠事業である琴生流大正琴発表会のポスターをもらった。大口町及び大口町教育委員会の後援も取られた。 ④下小口区有志による50周年記念の灯籠流しがある。ロゴマーク、キャッチフレーズを灯籠に使ってくれる。 (2)田んぼアート婚活事業部会…8月19日のスマイルプロジェクト第3弾の詳細を詰めている。午後2時から田んぼアート見学後、下小口学共に移動しBBQ、交流タイム、メッセージカード記入、その後自由参加で商工会の盆踊り。 (3)グラウンド・ゴルフ部会…実行委員会の会議を重ね内容を固めてきた。詳細は事務局からの説明のとおり。皆さんの協力では是非とも成功させたい。大会終了後委員だけの大会を予定。 (4)子ども議会部会…6月26日に第2回検討会を開催。「子ども議会宣言」をするなど充実した内容にしてくれようとしています。第3回検討会を7月31日予定。子どもたちがやって良かったと思える子ども議会にしたい。				

	(5) 広域防災訓練と地域防災部会…9月22日に防災訓練を旧北小学校で開催。午前中は屋内運動場で、南小校下は図上訓練、北小校下は避難訓練と危険箇所図作成訓練、西小校下は避難所設営訓練。午前11時から午後2時を目途に自由参加型の訓練を予定。 (6) 集まれ！我が町の芸術家たち部会…松崎さん、空条さんの了解を得た。継続性について審議したい。12月1日愛知駅伝、2日愛知県文化協会芸能大会があり、生涯学習課の協力を求めるのは難しい。 (7) 母子の愛情のまち啓発事業部会…9月9日に菊八重会の発表会で山姥物語に因んだ曲と語りをやってもらえる。秋の伝統芸能発表会で山姥物語を朗読予定。表彰式典で南小が作った裁断橋物語に係るDVDを流せたらと思っている。 (8) 桜・河川環境保護部会…記念植樹の時期を今後検討。11月16日～19日のうち2泊3日で桜ライン311の植樹活動に8名程度で参加。部会からは鈴木、大竹、社本、水野が参加。個人負担は2万円。7月26日に桜ライン311の代表が来町する。あと4人の参加者を募集。(三輪、齊木、田中、佐竹金の各委員) (9) 企業見学部会…8月20日の午前中にリンナイ㈱を予定。 4 協議事項 (1) 表彰式典部会、ヤマザキマザック美術館の見学の部会員の補充について ・表彰式典とは？…表彰条例に基づいた表彰、金婚表彰、感謝状の贈呈など。政策推進課が表彰に係る規定の見直し中で、これまで10年に1回であった一般表彰を含め、表彰式を毎年開催としたい。推進委員会としては特に感謝状贈呈の関係で対象を検討してもらえればと思う。表彰が2部制になれば感謝状の贈呈関係は推進委員会で進行、運営も可。2部制とか表彰に係る規定の見直し関係は、社会福祉協議会、政策推進課との打ち合わせが必要。 ①表彰式典部会…大竹、社本、松永、中村 協議打ち切り 5 その他 ・石上げ祭りで実際に献石する石が庁舎前に展示してある。石上げ祭りにも是非参加を。参加費は千円。午前8時45分役場集合で、7月20日までまかせてネットで受け付けている。タオルの参加賞有、雨天決行、300人バス6台を予定。220万円の寄付金が集まっている。 ・次回は、1週間繰り上げ、平成24年8月7日(火) 午後7時から 大口町役場 2階 第1会議室
--	--

第19回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成24年8月7日（火） 午後7時01分から午後8時44分				
場 所	大口町役場 2階 第1会議室				
出席委員	大竹 伸一	社本 良子	鈴木 義彦	松永 盈任	佐竹 義昇
	三輪 純一	後藤 清子	土屋 千秋	佐竹 金政	稲垣 紀子
	田中 百百代	埴田 実	前田 恵理	中村 和枝	水野 眞澄
	兼松 昌史				
職務等の為出席した者	前田事務局長（中座）、木浪課長補佐				
欠席委員	宇野 省	長谷川 実	堀部 令子	齊木 徹	
会議内容	1 委員長あいさつ（大竹委員長） 2 承認事項 ・第18回推進委員会議事録について…承認 3 報告事項 (1)事務局 ①グラウンド・ゴルフ大会について…明け方の急な降雨もあり開催が心配されたが、実行委員会の判断良く無事開催できた。ご協力に感謝。大会後の7月26日に実行委員会を開催し、大会の反省と共に継続性について検討した。8月30日にも実行委員会を予定。 ②子ども議会について…7月20日までに全子ども議員から質問が届いた。7月27日の部課長会で配布し、8月1日の行政経営会議にて回答担当課の割り振りをした。8月8日までに回答素案が出てくる予定で、8月10日の臨時行政経営会議にて回答内容の調整をし、町長決裁を経た上で先生方にも確認していただき、本番を迎える予定。 ③藤澤ノリマサコンサートについて…藤澤の所属事務所であるスマイルカンパニーから7月29日に開催される名古屋市民会館での名フィルとのジョイントコンサートへの招待連絡が7月24日の夕方ありました。期間がない中でしたが8枚のチケットを用意してもらえ、委員が出掛けました。 ④扶桑町制60周年記念式典について…8月1日に扶桑町制60周年記念式典が扶桑文化会館で開催され、表彰式典部会メンバーが出席。表彰は記念式典の中ではなく、同日の午前8時45分から中央公民館で開催。本町の記念式典を参考にしたとのこと。式典時間は1時間25分。記念品は、守口漬、封筒兼用のファイル、記念要覧。 ⑤健康麦茶「桜野」について…7月26日に納品。事前注文が2,006箱。今日現在39箱売れたので、残りは55箱。全部売れて、2万1千円の赤字で、24万円の寄附金が22万円ほどの残となる。 ⑥桜ライン311について…桜・河川環境保護部会の事業として、桜ライン				

	311植樹活動への参加を予定しているが、50周年記念事業として公費を使う事業であるのに、活動は推進委員の一部だけ等といった点に疑問を感じる。実施時期、内容について今一度考えて欲しい。 ⑦集まれ！我が町の芸術家たちについて…7月14日に第1回検討会、第2回を8月31日に予定。今回お招きするのは、広島交響楽団のトランペット奏者松崎祐一さん、パリ在住のソプラノ歌手空条寅子さんの二人。ともにピアニストが同伴。松崎さんには名フィルのトランペット奏者宮本さんが友情出演。曲目は未定、希望曲があれば早めに連絡を。コンサート前日、松崎さんによる大口中学校吹奏楽部の楽器指導有。コンサート時間は2時間を予定しているが、松崎さんから長いとの指摘あり。予算は全体で100万円ほど。検討会には、さくらメイト、子どもと文化の森、生涯学習課が参加、文化協会、大口おやじの会にも参加要請中。 ⑧ヤマザキマザック美術館について…部会未組織。事務局私案としてチケットの斡旋窓口をまかせてネット、本年度中50%オフ、来年度以降20%オフで交渉できないかと。スパイ活動、総務部長の逝去により未協議。 ⑨推進委員として積み立てをして旅行に行きたいとの提案がありました。 (2) 田んぼアート婚活部会…8月19日の第3弾、男性は定員だが、女性は4名のみ。ご協力を！ (3) グラウンド・ゴルフ部会…大会は大成功。継続に向けて検討中。 (4) 子ども議会部会…7月31日に検討会を開催。実際に議場を見、2日間の流れ、子ども議会宣言文の確認をした。 (5) 広域防災訓練と地域防災部会…訓練会場の確認、第2部の配置等を協議。 (6) 集まれ！我が町の芸術家たち部会…7月14日の検討会で大人千円、高校生～小学生500円、未就学児は不可、子どもと文化の森に託児を委託することを決定。 (7) 母子の愛情のまち啓発部会…9月9日の菊八重会発表会に出かけ、お礼を言う。 (8) 桜・河川環境保護事業部会…小中学校への記念植樹、桜ライン311植樹活動への協力の詳細は今後検討。 (9) 企業見学部会…8月22日の午前中にリンナイ(株)と(株)クエストアンドトライを見学予定。 4 協議事項 (1) 予算の補正について ・各記念事業内容を精査し、現予算額と対比すると1,004,000円不足するので、この分を補正要求予定。…承認 5 その他 ・局長の桜ライン311に係る発言について …行っちゃいけないということか？
--	--

	…公費を使うことについて少し議論をお願いしたいということ。 …局長の私見なのか、公の発言なのか？ …私見と言って発言。 …公の会議で私見発言はおかしい。公費支出に異議があるのならもっと早い段階で話が欲しい。ダメなら寄附金が使えなくなる。 …局長としては意見を出して欲しいということ。委員として協議した結果問題がないということであれば、計画として進めてもらえば良い。 ・記念植樹の標柱が木柱から金属柱になっていることについて …強度のこと、変更意見を予想して金属柱で計算した。 …少ない予算の中、部会で木柱と決めた。勝手に金属柱で計算するのはおかしいし、そんなことなら事務局で勝手にやってもらえば良い。 …今後の反省材料にする。 ・次回は、平成24年9月11日（火） 午後7時から 大口町役場 2階 第1会議室
--	---

第20回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成24年9月11日（火） 午後7時02分から午後9時03分				
場 所	大口町役場 2階 第1会議室				
出席委員	大竹 伸一	長谷川 実	鈴木 義彦	松永 盈任	佐竹 義昇
	斉木 徹	後藤清子	土屋千秋	兼松 昌史	稲垣 紀子
	田中 百百代	埴田 実	前田恵理	中村 和枝	水野 眞澄
	宇野 省	堀部 令子			
職務等の為出席した者	前田事務局長、木浪課長補佐				
欠席委員	佐竹 金政	社本 良子	三輪 純一		
会議内容	1 委員長あいさつ（大竹委員長） 2 承認事項 ・第19回推進委員会議事録について…承認 3 報告事項 (1)事務局 ①補正予算について…9月議会へ上程した積算内容としては、 ・田んぼアートは当初と変更なし。 ・グラウンド・ゴルフは0円から74,000円の増。 ・企業見学は0円から2,600円の増。 ・子ども議会は0円から216,025円の増。				

	・広域防災は当初と変更なし。 ・芸術家は231,000円から909,275円に増。 ・桜河川は322,477円から1,042,102円に増とし、記念事業予算の当初積算は1,263,000円でしたが2,952,000円とし1,689,000円の増額としました。 なお、収入として3万円の寄附金、桜野の売上残金208,000円、桜ライン311植樹活動の自己負担220,000円があるのでその分を差し引き1,231,000円を補正予算要求しました。 ②推進委員会口座残金について…8月27日現在で1,279,256円の残高がありますが、まだ支払いが済んでいないものがある。 ③下小口の灯籠流しについて…8月15日に天神パークから樋田橋の100mほどの間で開催された。竹灯籠での演出もあって良かった。でも、開催までに紆余曲折があつて大変だった。 ④8月19日のスマイルプロジェクト第3弾について…田んぼアート見学の集合写真を今日付けで参加者に郵送した。 ⑤企業見学について…8月22日に、リンナイ、クエストアンドトライを見学し、11家族34名が参加。参加者アンケートを実施し、結果をまとめました。企業見学の集合写真は今週中にも参加者に送付予定。 ⑥行政と団体のテーマ別意見交換会について…8月26日に開催され、9人の委員が参加。 ⑦案山子について…8月27日に案山子づくり教室を開催。50人ほどの子どもたちが参加し、10体の案山子を作製。展示の6番～15番がその作品。8月30日に竹を伐り出し、案山子の展示用にセットした。 ⑧子ども議会について…8月27日、28日に開催。ユーストリームにて5台のカメラ映像を同時中継をした。録画画像を配信しているのでご覧ください。 ⑨桜野について…お盆前に完売しました。 ⑩グラウンドゴルフについて…8月30日に実行委員会を開催。体育協会中心で区長会、グラウンドゴルフ協会、生涯学習課の協力により継続してもらえる予定。 ⑪菊八重会発表会について…9月9日に開催され、山姥物語を題材にした創作曲が披露された。なかなかいい曲だったとのこと。 (2) 田んぼアート婚活部会…田んぼアートの見学会と案山子コンテストを先週の土曜に開催。700名ほどの見学者があつた。8月19日のスマイルプロジェクト第3弾も盛り上がった。ビールも完売。今後、稲刈り、脱穀と続きますのでご協力を。田んぼアート行事作業記録の裏に10月の予定が記入しており、稲刈り10月21日、28日脱穀予定なので、全員の方の協力をお願いします。
--	--

	(3) グラウンド・ゴルフ部会…8月30日に実行委員会を開催し、継続がほぼ決まった。行政区対抗世代間交流大会。事務局は、生涯学習課と体育協会が連携。7月開催予定。経費は町費と行政区。 (4) 子ども議会部会…子どもたちにとって素晴らしい夏休みになったと思う。回答はゆっくりやさしい言葉で分かりやすく話してくれた。ただ、行政には目を覚まして欲しい。先生方発案での子ども議会宣言も採択され、2学期の始業式で感想を発表し、子ども議会宣言を読み上げてくれたようです。9月19日に検討会を開催予定。 (5) 広域防災訓練と地域防災部会…9月21日午後1時30分集合で、女性は買出しと炊き出し準備、男性はテント等資機材の準備。当日（22日）は、豚汁300人分、おにぎり200個を作る予定。 (6) 集まれ！我が町の芸術家たち部会…8月31日に部会を開催。継続するという観点からチケットを売って資金を作ることとした。大人千円、子ども500円。文化不毛の大口というイメージをぬぐいたい。9月21日に実行委員会を開催予定。会場を一杯にしたいので皆さんの協力を！ (7) 母子の愛情のまち啓発部会…加藤先生にお礼を言えなかったが、良かったのかも。局長からは冠事業の代わりに曲作りと聞かされていたが、当日の話では前町長の酒井鋏さんから何年か前に山姥物語の曲を作ってくれと頼まれていて、やっとできたとのこと。酒井さんのお花も出ていたので。秋の伝統芸能発表会には山姥物語の朗読をさせてもらう予定。 (8) 桜・河川環境保護部会…桜ラインの話を進めても良いのか？…推進委員の皆さんの了解を得られたので、進めていただいて構いません。予算要求もさせていただいていますので。…事務局長が反対するというのは重い言葉では？…あくまでも私見。…事務局長として反対なら事業の見直しをしないといけないが。…仮に地位利用で反対しても委員の皆さんの意見としてやっていくとなったので。…退席せずに意見を聞くべきだった。…退席した方が良かったし、進めなければいけない事業があったので退席した。皆さんの意見としてまとまったので、進めてもらえば良い。…公式な場で個人的見解を言うのはどうか。さて、桜ライン311の作業日程がまだ決まらないが、予算的なことは考えて早割を利用したいので、11月16日～18日に決定したい。16日の午後2時55分の便で出発、18日は午後4時40分の便で帰名。宿泊はビジネスホテルのシングルと花巻温泉。10月10日までに一度集まってもらいたい。…桜野の桜ライン311支援金をどう検討してくれるのか？…部会で検討する。…折角50周年記念事業として取組むので、現地に記念碑的なものを立てることはできないのか？…総務部長からも聞いたが、現地の皆さんの感情を考えると難しいのでは。立てても良いようなところがあればお願いしたいが。また、雨天で植樹作業ができない場合は事務局
--	---

	のお手伝いをする予定。 (9) 企業見学部会…局長の報告のとおり。 (10) 表彰式典部会…11月23日に大口町、社会福祉協議会、推進委員会で開催予定。長谷川委員が部会入り。 (11) ヤマザキマザック美術館の見学…堀部委員が以前ヤマザキで働いていたと聞いたが、窓口になってくれそうな人はいますか？…います。…では、よろしくお願いします。 4 協議事項 (1) ファイナルイベントの開催について…大口町制50周年記念ファイナルイベント「地球のステージ in おおぐち」企画案について委員から説明。前教育長の大口町の教育に関する思いとして「世界を舞台に活躍できる子どもを育てていきたい」というものがあると聞き、「地球のステージ」を提案する。時期は3月30日。主な事業内容は、50周年の感謝祭と地球のステージ。事業費は70万円。予算がある訳ではないが、丹羽ライオンズさんの後援予定。世界へ目を向ける「気づき」のきっかけになればと考えている。 ・地球のステージは賛成だが、50周年ではなくやりたいという意思のある方たちがいるので、その方たちと協働ではできないのか。 ・地球のステージと感謝祭と分けた運営も良いかも。 ・やりたいと思う人たちが核となってやるべき。50周年として取組んでも良いと思う。 ・感謝祭については継続性は考えていないが、地球のステージは3年に1度は開催できるように考えたい。 ・地球のステージを知っていただきたいので、近隣で開始される公演を見に行きたいと考えている。都合のつく委員は参加を！ ・50周年事業として取組むこととし、部会長は水野委員で。 (2) ふれあい祭りについて…本年のふれあいまつりへの出店のアイデアをお願いしたい。 ・50周年記念事業のパネル展、田んぼアート収穫米の販売。 ・集まれ！我が町の芸術家たちコンサートのチケット販売。 5 その他 ・案山子の新聞記事のコピーを配布。案山子コンテストの賞品、参加賞へのご意見を。 ・ふれあいまつり出展へのご協力を！ ・次回は、平成24年10月9日（火） 午後7時から 大口町役場 2階 第1会議室
--	--

第21回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成24年10月9日（火） 午後7時05分から午後8時50分				
場 所	大口町役場 2階 第1会議室				
出席委員	大竹 伸一	鈴木 義彦	松永 盈任	佐竹 義昇	三輪 純一
	長谷川 実	後藤 清子	土屋 千秋	佐竹 金政	稲垣 紀子
	田中 百百代	前田 恵理	中村 和枝	堀部 令子	齊木 徹
	水野 眞澄				
職務等の為出席した者	前田事務局長、木浪課長補佐				
欠席委員	社本 良子	宇野 省	兼松 昌史	埴田 実	
会議内容	1 委員長あいさつ（大竹委員長） 2 承認事項 ・第20回推進委員会議事録について…承認 3 報告事項 (1)事務局 ①今後の予定…地球のステージ公演（10月20日午後長久手、夜間笠松、10月27日午後オアシス21）田んぼアート関係（10月21日稲刈り、10月28日脱穀、11月3日、4日ふれあいまつり） ②懇親会…9月13日開催のお礼。 ③防災訓練…9月22日開催のお礼。 ④石上げ祭り…10月1日に50周年記念献石が無事建立。 ⑤グラウンドゴルフ…9月19日の区長会に委員長が出席し、来年度の開催を報告した。 ⑥地球のステージ…9月19日に政策推進課長と共に丹羽ラインオンズクラブ会長等に協賛のお願いをした。10月、11月の審議を経て決定予定。 10月20日長久手公演…齊木委員 10月20日笠松公演 …委員長、前田委員、埴田委員、中村委員 10月27日オアシス21公演…委員長、堀部委員、田中委員、土屋委員、11月17日ウィルあいち公演…佐竹義委員、後藤委員、稲垣委員 ⑦ファイナルイベント…9月24日、25日にまかせてネットに協力依頼をした。内容によっては協力してもらえる。 ⑧ヤマザキマザック美術館…チケット販売をまかせてネットに打診し、5%の手数料が必要だけどそれでいいなら可。あとはヤマザキマザック(株)次第。 (2)田んぼアート婚活部会…稲刈りは10月21日予定だが、雨天予想なら20日に前倒しする。バインダーを佐竹義委員に借りる。鎌は建設農政課に借りる。案山子も稲刈りと同時に撤去し、入賞した3体以外は解体。稲刈り				

	の一般協力者は募集しない。河北エコの会6名とファイターズクラブは午後なら手伝い可能。原則手刈り。はさがけは案山子展示場所と駐車場フェンス。稲刈りの当日、芋煮とおにぎりを作ってもらいたい。脱穀は28日予定、雨天予想なら前倒しで27日。宇野委員の脱穀機を借用予定。もみすりは1日後に河北エコの会の機械を借用予定。収穫米の販売は10kg単位。紙袋に入れラベルを張りたいので、10月31日にはお手伝いを！販売価格は未定。 スマイルプロジェクトは今回（第4弾）で最後。12月24日開催予定。清酒「おおぐち」の紹介と酒蔵見学、お米を使った料理などを検討中。 (3) グラウンド・ゴルフ部会…体育協会では来年度予算案を10月中旬に生涯学習課へ提出予定。 (4) 子ども議会部会…9月23日に検討会を開催し、大口町議会の方で継続の検討をしていただけることとなった。本日の学校連絡会にて、お礼かたがたその旨を報告した。 (5) 防災訓練と地域防災部会…継続性は今後検討。第2部の参加者が少なく残念。PRの仕方を考えるべき。まかせてネットから借用したテントが1張り不明。 (6) 集まれ！我が町の芸術家たち部会…10月12日の検討会でチケットを作成し、チラシの配分をする。ポスターが出来上がってくる。コンサートは12月2日、前日の1日中学生への楽器指導及びタワリハーサル予定。 (7) 母子の愛情のまち啓発部会…秋の伝統芸能発表会が10月28日にあるが脱穀と重なるので検討する。予定としては午前11時過ぎから山姥物語の朗読をする。場所は、小口城址公園。 (8) 桜・河川環境保護部会…桜ライン311植樹活動支援は、11月16日～18日で8名参加。参加者は会議後残ってください。 (9) 企業見学部会…部会開催を検討中。 (10) 表彰式典部会…本日の午後3時から第2回目の検討会を開催し、事業名と次第を検討。金婚表彰は20組の応募。社協表彰が3名と1名。町長表彰が2名の予定。委員推薦があれば、10時開式で午前中に終了予定。 (11) ヤマザキマザック美術館の見学…10月5日に美術館に出向いて協議をした。堀部委員、田中委員、土屋委員、中村委員。ロ可可期の絵画を多く所有しているところは珍しく、フランス大使は必ず寄られるそうです。まだ知名度がないが、良い美術館なので鑑賞機会を作りたい。何でヤマザキだけ？と言われても、町内の他の企業で住民対象にできる情報がないし、一企業に肩入れするものではなく美術館の鑑賞が目的。 ・チケット販売が主眼なのか鑑賞が主眼なのか？…両方。自分で行ける人は良いが、そうではない方もあるし、機会を提供すれば興味を持っても
--	---

	らえる。 ・生涯学習講座に組み入れてもらっては？…美術館横の自社ビル1階に工作機械ギャラリーがある。工場内は安全上の配慮、企業機密の問題で公開していない。美術館の楽しみ方や子ども向けにギャラリーとの組み合わせでの講座開催も良いかも。 4 協議事項 (1) ふれあい祭りについて…収穫米の販売、コンサートチケットの販売、記念事業写真パネル展示、案山子コンテスト表彰式をする。表彰式は3日の12時40分から13時までで、委員長、佐竹義委員、佐竹金委員、埴田委員、齊木委員、長谷川委員、土屋委員にお手伝いをお願いしたい。ブースの場所は本部横。 ・案山子コンテストの賞品は？…1位30kg、2位20kg、3位10kgの収穫米（玄米）。全員余野の方なのでお米が不要ということはないと思う。 (2) 表彰式典の推薦について…3件の推薦をいただいている。 ・表彰条例に基づいた表彰しかできないのか？…既知の範囲で各担当課が推薦しているが漏れがないようにしたいことと、50周年枠として町に貢献があった方を表彰してはどうかということをお願いしている。町長名での表彰が無理であったとしても、委員長名での表彰もありかと。 ・40周年の委員は全員表彰されたとか…任期途中での感謝状贈呈だった。50周年の委員にも感謝状を出すという話もあるが、任期終了後でもいいのではという意見もある。 ・委員長名の表彰をすることで間に合うのか？…次回の推進委員会というわけにはいかないなので、部会に一任をお願いしたい。 ・50周年委員への感謝状贈呈を委員から提案するわけにはいかないが、…贈呈時期含めて部会で検討したい。 (3) ファイナルイベントの開催について…部会構成をしたいので、メンバーへの名乗りをお願いします。…水野委員は1月以降は部会に参加できない。 ・兼松委員を部会長とし、水野委員、中村委員、前田委員、齊木委員、委員長の6名とし、部会を早めに開催する。 5 その他 ・次回は、平成24年11月13日（火） 午後7時から 大口町役場 2階 第1会議室
--	--

第22回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成24年11月13日（火） 午後7時03分から午後8時54分				
場 所	大口町役場 2階 第1会議室				
出席委員	大竹 伸一	社本 良子	鈴木 義彦	松永 盈任	埴田 実
	三輪 純一	長谷川 実	後藤 清子	土屋 千秋	佐竹 金政
	稲垣 紀子	田中 百百代	前田 恵理	中村 和枝	堀部 令子
	齊木 亨	水野 眞澄	兼松 昌史		
職務等の為出席した者	前田事務局長、木浪課長補佐				
欠席委員	佐竹 義昇	宇野 省			
会議内容	1 委員長あいさつ（大竹委員長） 2 承認事項 ・第21回推進委員会議事録について…承認 3 報告事項 (1)事務局 ①お礼…田んぼアート（稲刈り、炊き出し、脱穀、もみすり）、ふれあいまつり ②地球のステージ…10月20日、27日の公演出席お礼。11月17日の公演チケットが委員都合で2枚余っているので、どなたかご参加を。丹羽ライオンズクラブに地球のステージのプレゼンをし、協賛について承認をもらえた。 (2)田んぼアート婚活部会…収穫量は、あいちのかおり9俵、紫米45kg、赤米15kg。ふれあいまつりでの売り上げは、89,800円。田んぼアート諸経費は14万円、これに案山子コンテスト等含めると18万円位の経費となった。スマイルプロジェクト第4弾の応募状況は、男性3名、女性1名。選挙になると場所が使えなくなるので、検討が必要。 (3)グラウンド・ゴルフ部会（完了） (4)子ども議会部会…継続の方向性は出たが内容の検討は未。議事録、DVD、子ども議会宣言のパネルなどは未完成。 (5)防災訓練と地域防災部会…防災訓練は終わったが地域防災というテーマでどう取り組むのか悩んでいる。 (6)集まれ！我が町の芸術家たち部会…チケットの売上143枚。チラシやポスターができたので、皆さんに手分けして売ってもらっている。ご協力を！当日の役割分担の説明。司会は尾関恵子さん。松崎さんはピアニストは奥さん、お子さん一人、松崎さんの弟子で現名フィルのトランペット奏者宮本さんを連れて来る。空条さんはピアニストの安田さんとマネージャーの3名。				

	音響照明は業者委託、前日は午後5時から、当日は午前11時からリハーサル予定。コンサートパンフにアンケートを挟んで渡す予定。次第としては、町長あいさつ、委員長あいさつ、松崎さんコンサート、空条さんコンサート、ジョイントコンサート。午後3時30分終演予定。 ・チラシはどこまで配布されているのか。明和高校は？…考えていない。近隣の高校の吹奏楽部には配布しようと思っている。小牧高校含め追加配布を検討する。 ・委員はチケットを購入しなくて良いのか？…購入してもらう予定。…スタッフとして出るのに購入しないといけないのか？また、お弁当は出ないまでもお茶くらいの配布はあっても良いのでは。 ・空条寅子は芸名で、日本名は林早苗さんという。…ジョさんの娘さんか。本名で告知した方が良いのでは？…二人とも大口中学校卒業なので、そのことも掲載した方が良く、先生のネットワークもお願いすべき。…いろいろなネットワークを駆使して、チケット販売に協力を！ (7)母子の愛情のまち啓発部会…10月28日の秋の伝統芸能発表会に山姥物語の紙芝居をやろうとして練習してきたが雨で中止になった。 (8)桜・河川環境保護部会…11月16日～18日で桜ライン311植樹に行ってくる。メンバーは、委員長、副委員長、田中委員、齊木委員、水野委員、長谷川委員、佐竹金委員と私鈴木です。 ・桜ライン311の説明を！…現在NPO法人登録の申請中。東日本大震災での津波到達地点の延長170キロに桜の木を植え、非難の目印にしようという運動。今年度の植樹は、第1回を11月10日に、第2回を11月17日に、もう1回は陸前高田市民のみで行われる。なかなか進んでおらず、100分の1にも満たないとのこと。予算的には20本の桜の苗木を計上していたが、贈ることを許されたのは10本のみ。桜野の支援金を持参して渡してくる。16日の午後1時役場玄関ロビー集合で、副町長から激励のことばをいただく予定。 ・桜野の支援金は1箱20円で2、100箱作りましたが、差し上げた分もあるので40、900円の支援金となった。これに参加委員がカンパをし、5万円として支援金を持っていってくれる。また、手土産として桜野と記念式典の記念品（写真立て）と赤米を持参。 (9)企業見学部会…商工会内で2つの企業見学会があるので、継続性についての指摘を受けているが粘り強く交渉したい。 (10)表彰式典部会…11月23日に健康文化センター4階ほほえみホールで開催。午前9時30分開場、午前10時開会、午前11時30分終了予定。アトラクションとして日本民謡研究会の安藤さん方に民謡を披露してもらう。50周年関係の表彰はファイナルイベントで。委員から推薦のあった
--	---

	4名の内、佐々先生は表彰対象となったが、残り3名は見送り。お一人は具申対象にならず、さわやかエアロビクス関係は来年が活動50周年に当たるのでその方が良いということ、前山さんは具申をしたのだけれど審査から漏れてしまったので、次年度審査してもらうよう依頼した。開会の辞は委員長、閉会の辞は部会長予定。参列の記念品としてドンバルさんで製造販売されている米粉ロールを考えている。クリームがバタークリームに変更になるが。帯等のデザインは地域振興課の山下さん。公費支出が認められず、耕作クラブが協賛してくれます。皆様のご協力を。 (11) ヤマザキマザック美術館鑑賞部会…先週部会を開催。鑑賞券は100枚以上購入する条件で単価720円、桜野の売り上げから費用を捻出し、200枚購入予定。販売窓口は、まかせてネット、生涯学習課、50周年事務局。1月24日に美術館鑑賞とランチをセットにした鑑賞会2,100円、1月27日には親子鑑賞会大人1,600円、子ども1,300円を開催。交通手段は町バス。試行として12月11日にさつきヶ丘区有志で鑑賞会を開催してくれます。明日の区長会で鑑賞会の企画を提案予定。 (12) ファイナル部会…2回部会を開催。地球のステージを見たがリンクは難しい。町民会館周辺駐車場で感謝祭をやれたら。ふれあい祭りでやったメッセージ撮りを活用していく予定。具体的になってきたらまかせてネットにも相談予定。地球のステージの予定が午後1時30分から2時間程度なので、その前後に感謝祭を予定。 ・丹羽ラインオンズさんの協賛には表彰式を一緒に行うという条件がある。15分くらい時間が必要とのこと。メッセージ撮りは今後の行事の中でも行う予定なのでご協力を。 4 その他 ・先日さくらメイトで陸前高田市に行ったのですが、桜ライン311の事務局の方に会えず義援金が渡せなかったなので、今回渡してきてもらいたい。 ・宇野委員が海外出張。 ・コンサートの時の服装はスタッフジャンパー着用で。 ・次回は、平成24年12月11日（火） 午後7時から 大口町役場 2階第1会議室
--	--

第23回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成24年12月11日（火） 午後18時07分から午後19時05分				
場 所	大口町役場 3階 第5会議室				
出席委員	大竹 伸一	社本 良子	鈴木 義彦	佐竹 義昇	埴田 実
	三輪 純一	長谷川 実	後藤 清子	齊木 徹	佐竹 金政
	稲垣 紀子	田中 百百代	前田 恵理	中村 和枝	堀部 令子
	水野 眞澄				
職務等の為出席した者	前田事務局長、木浪課長補佐				
欠席委員	宇野 省	松永 盈任	兼松 昌史	土屋 千秋	
会議内容	1 委員長あいさつ（大竹委員長） 2 承認事項 ・第22回推進委員会議事録について…承認 3 報告事項 (1)事務局 ①11月23日表彰式典、12月2日コンサートのお礼。 ②12月2日のコンサートは、チケット売上げは大人311枚、子ども11枚で、来場者は大人298人、子ども5人、招待券を36人に送付し来場者は26人、当日購入者も21人あった。来場者の年齢層は、50歳以上が85%、91%の方が来年度以降も開催を希望されている。 ③記念事業の収支状況について説明。監査役の委員の了承なしに資料を出したので申し訳ない。使途はファイナルイベント以外にもまだある。 (2)田んぼアート婚活事業部会…田んぼアートの支払いは完了。12月24日にスマイルプロジェクトを開催。男性は満員御礼だが、女性は5人。女性の参加の声掛けの協力を！勲碧酒造の見学と試飲あり。清酒おおぐちのお土産付き。鈴鹿市からの参加者もあり、大口のPRになれば。 (3)子ども議会…来年度以降については議会から連絡が来ることになっている。 (4)防災訓練と地域防災部会…12月14日に部会を開催し、継続性について検討予定。 (5)集まれ！我が町の芸術家たち部会…300人ほどの来場者があり良かった。12月17日に実行委員会予定。継続は難しそうだが、さくらメイト、子どもと文化の森、文化協会、大口おやじの会と協力のできたので、この関係を活かしたい。 ・来場者は喜んでいて。松崎さんは出演間際まで練習していたし、コンサート後の見送りもしていて、とても一生懸命だった。				

	・アンケートの感想はとても良い。松崎さんは体調管理に反省しきり。 (6) 母子の愛情のまち啓発部会…今後の継続を検討しないといけない。 (7) 桜・河川環境保護部会…桜ライン311の植樹活動については報告書を見て欲しい。小中学校等への記念植樹は、12月20日に北小午前10時、平和公園午前11時、大口中学校午後1時20分、西小学校午後2時30分の予定。 ・記念植樹プレートのデザインを回覧。プレートの作製については事務局の勝手があつて申し訳ない。金属製にすることの了承は得たつもり。オールステンレスで、高さ1m、板面はA4横サイズ。予算は木製で3万円強だったが、カラーで1本3万5千円（消費税抜き）の予定。 ・南小は？…開校前の3月に植樹済み。ただ、枯れてしまったので業者責任で植え替え予定。 ・スコップは自宅にあるものに紅白の帯を巻いて、スプレーする。 ・子どもたちも一緒に植樹するのか？…子どもは大中のみ。小学校は校長先生と。学校行事としては忙しくて対応できないとのこと。 (8) 企業見学部会…調整中。 (9) 表彰式典部会…社会福祉協議会との合同表彰式としては初めてだった。表彰内容、感謝状関係で調整不足があるようなので今後の課題。 (10) ヤマザキマザック美術館部会…鑑賞券を200枚購入したが、団体の予約があるので残りは30枚ほど。ヤマザキマザック社員はこの12月以降は無料となったのを受けて、特別価格で出してもらっている。区長会で企画をお願いしたが、下小口区が名乗りを上げてくれた。中学校等への鑑賞講座授業も打診中。 ・残り30枚の範疇でしか売らないということか？…希望が多いようであれば追加購入可能。 (11) ファイナル部会…広報1月号折込チラシを配布。3月30日に2部構成で開催。1部は「感謝そして明日への一步」として役場駐車場と道路を会場にパフォーマンスや活動展示、飲食ブースなど、2部は地球のステージ、東日本復興支援の取組み紹介。メッセージを書いてもらいデジカメで撮り、会場に掲出予定。 ・区長会にどう働きかけるのか？…年度末であわただしい時期なので、予定なし。出ていただく分には歓迎。 4 その他 ・水野委員は、平成25年1月8日から3月15日まで県外研修。 ・次回は、平成25年1月15日（火） 午後7時から 大口町役場 2階第1会議室
--	--

第24回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成25年1月15日(火) 午後7時10分から午後9時05分				
場 所	大口町役場 2階 第1会議室				
出席委員	大竹 伸一	社本 良子	鈴木 義彦	松永 盈任	三輪 純一
	長谷川 実	後藤 清子	土屋 千秋	佐竹 金政	稲垣 紀子
	田中 百百代	埴田 実	中村 和枝	堀部 令子	齊木 徹
職務等の為出席した者	前田事務局長、木浪課長補佐				
欠席委員	宇野 省	佐竹 義昇	前田 恵理	水野 眞澄	兼松 昌史
会議内容	1 委員長あいさつ(大竹委員長) 2 承認事項 ・第23回推進委員会議事録について…承認 3 報告事項 (1) 田んぼアート婚活部会…スマイルプロジェクト第4弾を予定どおり開催。女性の参加者が男性の半分だったが、皆さんの協力で無事終了。 (2) 防災訓練と地域防災部会…12月14日部会を開催。防災に係る提言をしてはどうかという意見が出た。推進委員会終了後部会を開催。 (3) 集まれ!我が町の芸術家たち部会…1月17日に実行委員会開催し、継続性の検討をする。継続となる場合は、今の実行委員会がそのままズレ込むことになると思うが難しい。 (4) 母子の愛情のまち啓発部会…部会を開いて継続性について検討する。 (5) 桜・河川環境保護部会…12月20日に記念植樹をした。記念植樹プレートを19日に立てる予定。3月3日のクリーンアップ活動へ50周年委員として参加を検討したいので参加できる方は挙手を。 ・委員長、副委員長、佐竹金委員、中村委員、松永委員、田中委員、後藤委員、埴田委員、齊木委員、長谷川委員、鈴木部会長が参加予定。 (6) 企業見学部会…商工会主催の工場見学とタイアップできないか押していく。 (7) ヤマザキマザック美術館部会…1月24日の鑑賞講座はキャンセル待ちの状態。1月27日の親子鑑賞会は申込は10名のみ。皆さんの協力を! ・資料に「残数-62」とあるが?…鑑賞券購入枚数は200枚、団体企画による申込等が262名の参加予定なので、その不足分。鑑賞講座がキャンセル待ちなので、3月に再企画を考えている。 ・推進委員の参加も募りたい。団体等の随行等として、鑑賞券は推進委員会				

	で、昼食は各自負担で。 ・親子鑑賞会の参加者が少ない場合、大人だけの参加も可能か？…部会として検討をしていないのに定員に満たない場合のみ可能と返事をしてしまった。 (8) ファイナル部会…1月8日に部会開催。部会の直前に50周年、政策推進課、地域振興課で打合せをし、地球のステージ関係は地域振興課、政策推進課は50th 委員への感謝関係、50th は出展、パフォーマンス関係。HAPPY バースデー！おおぐちへの出展者、パフォーマンス団体の5団体に声掛けをし、3団体が了承してくれた。1月13日に成人式があり、委員長、中村委員、齊木委員で出掛けメッセージを書いてもらった。「世界に通用する研究をする」とか「女性初の総務部長になる」とか「武道館ライブを成功させる」等の夢があった。 ファイナルイベントの開催日時は、3月30日の午前11時から2時の予定。3課打合せで会場を町民会館と役場駐車場とするのは一体感に欠けるし、道路横断の危険が伴うとの指摘とともに、会場をアピタ駐車場、農協駐車場を推してきた。アピタ大口店の了解はもらえたが、他からクレーム有。農協も了解をもらえたので農協でどうかと考えているが、部会ではこのことは未検討。 ・参加申込の締切を延ばせるか？…可能。 ・テント、机、イスは用意するのか？…テント1張り、机2台、イス4脚は主催者で用意し、それ以上は各自。 ・2部構成は時間がずれるのか？…表現として1部、2部と使っただけで、事業としては1つです。地球のステージは午後1時30分から午後3時30分の予定。屋外のイベントは午後2時終了予定。 ・昼を挟むとなると飲食がメイン？…憩いの四季、AGRIクラブ、耕作くらぶ、もやい、矢戸川をきれいにする会には了承をもらった。 ・舞台を用意するのか？…組まないが、ステージとして見立てる空間がある。 ・桑山さんを外に出して呼び込んでは？…機材関係で難しい。地球のステージは過去に5回開催しており、地域振興課は桑山さんとの連絡も取りやすいし、過去の開催では平均して200人から300人の来場者があった。 ・部会での検討ではなく、推進委員会の中で検討できないか？…部会検討の報告は決定内容ではないので、意見があれば発言してもらい、検討したい。 ・まかせてネットにはお願いしていないのか？…事業規模が小さく委員だけでということをお願いしていない。 ・50周年としての出展は？…記念事業のパネル展以外未検討。 ・餅つきがやりたい！
--	--

- ・メッセージの掲示、PVのようにして流したらどうかなど検討中。また、大口町のプロモーションビデオを町予算で制作中。そのお披露目も考えている。
- ・手筒花火が置いてあるが？…最後に心に残ることがしたい、花火をやりたいと思っている委員がいるし、僕もしたい。以前阿智村の清内路花火を断念した後、年末のテレビ番組で手筒花火を上げているのを見て聞いてみたら、意外と簡単に上げることができることが分かった。50周年への感謝、未来への元気の発信、東日本の復興祈願の奉納という形で、有志の方の一部負担でやれないかなと考え提案するもの。規模は小さいがスターマインも可能とのこと。
- ・公安委員会の許可とか場所は？…公安の許可は業者が撮ってくれる。場所は町民会館第1駐車場と田んぼの中。
- ・夜まで引っ張れるのか？…その点は考慮が必要。今考えているのは、昼の部と夜の部に分けること。賛同者がどれくらいいるか分らないが、3～5本を同時に上げ、それを何回か繰り返す。費用は1本1万8千円かかるが、負担金を1万円とし、願かけなどを紹介しながら、太鼓演出ありなどで時間は持つと考えている。
- ・3部構成は無理では？イベントと花火はくっつけないと。
- ・出展又は参加予定団体には主婦もあり、夜の外出は？

継続審議

(9) 事務局

- ①集まれ！我が町の芸術家たちコンサートのブログを12月16日にアップ。
- ②12月17日の区長会に出席し、ヤマザキマザック美術館とファイナルイベントへの参加依頼をした。
- ③ワンコインおおぐちは216本の受注があった。
- ④12月26日に記念植樹のブログをアップ。
- ⑤1月3日にヤマザキマザック美術館鑑賞講座等参加者募集ブログをアップ。
- ⑥賀詞交歓会への出席お礼。
- ⑦美術館親子鑑賞会の申込が伸びず、急ぎょチラシを作成し小中学校で配布してもらった。チラシを見ての応募が10名、問い合わせ2件あり。

4. 議題

- ・部会の完了に向けて。記録集の作成。…記念事業の記録を作りたい。各部会の活動もまとめたかったので、部会長の協力をお願いしたい。

	5 その他 ・東日本復興支援の募金活動をしたい。…募金、義援金はたくさんの方が協力しているので、今更新たにしなくても。 ・東日本復興支援につながるか分らないが、やろ舞いプロジェクトが作ったキーホルダーがあり、それを安く譲ってもらって売り、義援金としてはどうか？…販売するとして、予算は推進委員会で出すのか？…委員の了承があれば。…売れ残ったら？…リサイクルセンターの景品にでも。…リスクが残ってはいけない。売れ残ったら返す。…募金の景品にしては？…購入している人もいます。 結論出す ・次回は、平成25年2月12日（火） 午後7時から 大口町役場 2階第1会議室
--	---

第25回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成25年2月12日（火） 午後7時04分から午後8時16分				
場 所	大口町役場 2階 第1会議室				
出席委員	大竹 伸一	社本 良子	鈴木 義彦	松永 盈任	佐竹 義昇
	三輪 純一	長谷川 実	後藤 清子	土屋 千秋	佐竹 金政
	稲垣 紀子	田中 百百代	埴田 実	中村 和枝	堀部 令子
	齊木 徹				
職務等の為出席した者	前田事務局長、木浪課長補佐				
欠席委員	宇野 省	前田 恵理	水野 眞澄	兼松 昌史	
会議内容	1 委員長あいさつ（大竹委員長） 2 承認事項 ・第24回推進委員会議事録について…承認 3 報告事項 (1) 田んぼアート婚活部会…米粉を使った製品開発関係は煮詰まらなくてやりきれていない。建設農政課と一緒にやりたかったが。 (2) 防災訓練と地域防災部会…1月15日に部会開催。町民安全課と調整しながら提言案をまとめている。 (3) 集まれ！我が町の芸術家たち部会…2月6日に実行委員会を開催。町のNPO団体に登録して1年に1回の開催と文化の底上げを考えている。予算と				

	しては一人1千円を徴収し、規約など作りながらコツコツとやっ行ってこうとなっている。 (4)母子の愛情のまち啓発部会…1月25日に部会を開催。親子の川柳を考えてもらってはどうかという意見が出たが、事務局から時間がなく、準備ができないと言われた。徳林寺に行って話を聞いてきた。継続していく母体ができればいいが何も決まっていない。 (5)桜・河川環境保護部会…記念植樹プレート設置が完了。3月3日のクリーンアップ活動に参加する。小雨決行で、午前8時50分役場集合、9時から10時まで活動。資料裏面に活動場所が書いてあるので、スタッフジャンパー着用をお願いします。 ・出席できない委員…委員長、三輪委員、土屋委員、後藤委員、稲垣委員、中村委員 (6)企業見学部会…商工会の担当者が代わって引き継ぎができていないので進展なし。 (7)ヤマザキマザック美術館部会…1月27日に18名の参加で親子鑑賞会を開催。子ども向けの楽しい鑑賞会だった。3月15日にキャンセル待ちの方を対象に鑑賞講座を開催予定。2月6日の午前8時30分から受付を開始しましたが、その時点で並んでいる方だけで定員になった。キャンセル待ちが今日現在で43名いるので、再度キャンセル待ちの方だけを対象に3月20日に鑑賞講座を開催予定で、今日から案内を始めた。鑑賞券は2月6日に150枚追加したが、団体企画が定員一杯になるとまだ100枚不足する。ヤマザキマザックに偏った企画との批判もあるようだが、この事業を手掛ける時に確認したとおりヤマザキマザックに肩入れするための企画ではなく、素晴らしい美術館の鑑賞機会を作るための企画。批判を耳にしたら趣旨の説明をお願いします。 (8)ファイナル部会…1月28日に部会を開催。蒲郡から加藤煙火に来てもらい、手筒花火の説明を聞いた。度胸試しということもあり、危険が伴うということ、推進委員に迷惑もかけれないことから見送りとなった。2月8日に出展者説明会を開催。出展では15団体、パフォーマンスでは7団体予定。1部、2部ではなくまちの元気編と国際理解編とした。まちの元気編は午前11時から午後2時まで、町民会館第1駐車場の一角で、国際理解編は町民会館町民ホールで午後1時開場、午後3時30分終了予定。会場は分断されるがご理解を！前日の午後から準備を行うのでご協力を！当日は午前8時30分から準備予定。部会員は午前7時30分集合で。 (9)事務局 ①子ども議会…議事録がやっとできたので、DVDと共に子ども議員に配布予定。議事録は各課にも配布予定。また、子ども議員から指摘のあった図
--	--

	図書館の看板が1月に設置された。 ②会計・監査…1月下旬から2月上旬にかけ会計の中村委員、監査の佐竹義委員に通帳、帳簿、証書類の検査をしてもらった。 ・領収書と通帳を見比べながら調べた。適正に処理されていた。項目ごとに分け立派な報告書ができるよう努める。 ・全体的に良く整理できているが、2点ほど指摘した。1点は再確認をお願いし、適切でない場合は修正するよう指示、もう1点は領収書の取れない支出に1点1点仕出し書を作成するよう指示。 ③北名古屋市の地球のステージ公演に参加を！ ④冠事業について…2月2日、3日に憩いの四季まつりが開催された。憩いの四季のパソコンクラブの皆さんが撮ってくれた50周年記念事業のVTRの放映、大口町を題材とした福祉座公演があった。 2月3日に大口合唱祭があり、エンディングに50周年記念としてイメージソングを合唱してくれた。 ⑤50周年の記録について…冊子とVTRで考えているのでご協力を！ ⑥大口町プロモーションビデオについて…町費での制作で進めようとしたが、思わぬ支障が生じ推進委員会事業として進めさせてもらいたい。承認いただけるなら予算流用をする予定。…承認 4 議題 (1) ファイナルイベントについて ・丹羽青年会議所にも協力依頼があったが予算がないので、体で協力できることがあればする。 ・お米の量り売りをやってはどうか。 ・出展予定の15団体の内訳は？…矢戸川、耕作くらぶ、もやい、AGRIクラブ、備長、志響、やろ舞い、東海理化、まかせてネット、多肉植物愛好会、憩いの四季、朝市会、商工会青年部、ハートフル、ハートフル事務局。 パフォーマンスは8団体で、あさぎ、志響、歩、さくら連、太極拳協会、日本舞踊研究会、日本太鼓研究会、菜花。パフォーマンスの方はあさぎの田頭君に進行の相談を掛けている。 ・丹羽ラインオンズの協賛はすべて地球のステージ分か？…正確な数字は確認していないが、ほぼ全額が地球のステージに回る予定。 ・餅つきは？やるなら道具を一色貸すが。…飲食のブースがある中で無料で餅を配るのは？また、丹羽青年会議所に餅をついてもらっても売ることはいできない。 ・推進委員会でやれば。…慎重に討議する。 (2) 部会の完了に向けて。記録集の作成…資料があれば提出をお願いしたい。部会長の所管についても提出をお願いします。
--	---

	5 その他 ・ヤマザキマザック美術館から推進委員会の皆さんにお礼が言いたいとの申し出があったがお断りした。よろしくお伝えくださいとのことでした。また、今年のカレンダーをもらったので、希望者に差し上げます。3月15日と20日に鑑賞講座を開催するので添乗にご協力を！ ・次回は、平成25年3月12日（火） 午後7時から 大口町役場 2階第1会議室
--	---

第26回 大口町制施行50周年記念事業推進委員会

日 時	平成25年3月12日（火） 午後7時02分から午後8時20分				
場 所	大口町役場 2階 第1会議室				
出席委員	大竹 伸一	社本 良子	鈴木 義彦	松永 盈任	佐竹 義昇
	三輪 純一	長谷川 実	後藤 清子	土屋 千秋	佐竹 金政
	稲垣 紀子	田中 百百代	前田 恵理	中村 和枝	堀部 令子
	齊木 徹	兼松 昌史			
職務等の為出席した者	前田事務局長、木浪課長補佐				
欠席委員	宇野 省	埴田 実	水野 眞澄		
会議内容	1 委員長あいさつ（大竹委員長） 2 承認事項 ・第25回推進委員会議事録について…承認 3 報告事項 (1)防災訓練と地域防災部会…事務局と町民安全課で提言の最終調整中。 (2)集まれ！我が町の芸術家たち部会…明日実行委員会を開催し方向性を出す。 (3)母子の愛情のまち啓発部会…我が町の芸術家たちが継続するので、一緒にやってみようか模索する。 (4)桜・河川環境保護部会…クリーンアップ活動への参加お礼。 (5)企業見学部会…進展していないが継続できたらと思っている。 (6)ヤマザキマザック美術館部会…15日と20日に最後の鑑賞講座予定。 (7)事務局 ①子ども議会…子ども議会宣言文を5つ額装した。3月7日に小中学校へ配布、本日、町長、校長同席で子ども議員代表の中学生2名が大口町議会議				

	長に手渡した。議員控室に掲出されます。 ②50周年のまとめ…精査ができ次第部会長さんに見てもらい、まとめた。また、会計処理も4月以降にずれ込むが、締めができ次第監査をお願いし、報告書を委員に渡す予定。記念事業VTRも編集集中でDVDにして届ける予定。 ③2月16日のまちづくり協働フォーラムへの参加お礼。 ④2月24日に齊木委員が主催する劇団ワンダーズの公演があった。齊木委員の違った一面が見れた。 ⑤3月1日に4月異動の内示があった。前田は会計室、木浪は監査事務局、河原は政策推進課へ移動予定。 ⑥3月3日に地球のステージ北名古屋市公演があった。中村委員が参加。 ⑦3月7日に大口町プロモーションビデオの音撮りの2回目を開催。 ⑧3月12日の学校連絡会にて委員長からお礼を言ってもらった。 ⑨3月16日に町民活動センターの利用説明会があるので、集まれ！我が町の芸術家たちの継続のこともあるので出席の検討を！ ⑩冠事業としてGenki もりもりの植樹会が3月17日に予定。 ⑪3月19日に区長会があるので、委員長からお礼をする予定。 ⑫3月15日と20日にヤマザキマザック美術館鑑賞講座を開催。すべて定員一杯。15日は副委員長と田中委員、20日は土屋部会長、中村委員、前田委員の随行予定。 ⑬3月21日に丹羽ライオンズに協賛金をいただきに行く。 ⑭3月22日は、美術館鑑賞会最後で、読書クラブ、ヘルシーエイジング、中国語講座の皆さんの企画。堀部委員と後藤委員が同行。 ⑮3月24日にさくらメイト主催の寄席がある。チケットは200円。 ⑯3月24日に櫻組の発表会が犬山南部公民館である。無料。 ⑰推進委員の任期について…要綱上では3月31日までとなっているが、5月31日まででは延長できる規定になっているので、ご協力を！ ⑱推進委員会会計について…記念事業には事業収入がある事業があるので、予算を超えて執行していれば残金の精算は不要との話もあったが、結果的に精算しないといけないとなったのでご理解を！ただ、継続事業については「元気なまちづくり事業」なり「協働事業」にて継続する場合は実績を加味するとの約束あり。 4 議題 (1) ファイナルイベントについて…「まちの元気編」と「支え合い編」という構成で実施。まちの元気編は雨天中止。出展は15団体。50周年はあいちのかおりの量り売り、東日本の物産販売、記念事業のパネル展示を予定。パフ
--	--

	オーマンスは9団体。開会は11時で、町長、議長にあいさつをお願いする。お昼に最後の50周年記念事業ということで、委員長はじめ委員でのお礼のあいさつを予定。まちの元気編のステージは午後1時30分終了予定で、支え合い編の地球のステージ公演につながるかなと。夢撮り（メッセージ撮り）をのぼり旗にして掲出予定。委員長の協力で告知看板を2枚作製した。町民会館第1駐車場交差点角と町民会館入口横に掲出。役割分担について説明。班長の指示で動いてください。まちの元気編の進行役は齊木委員、パフォーマンスステージはあさぎの大森さんが司会役。音響は役場備品では対応できず、業者をお願いした。30日の集合時間は午前8時30分。車は大中の駐車場へ。29日は午後1時から準備予定。政策推進課では推進委員の皆さんに町長感謝状を贈呈予定。 東日本物産販売では、余った場合ご協力を！昼食は用意します。販売希望物産があれば教えて欲しい。 ・板のりなら良いのでは？ ・義援金箱を置いてはどうか？ ・サイダー、南部せんべい、カットわかめも良いのでは？ ・量り売りは1合樹で一人2合まで。1合100円の予定。60kgを用意。 ・町内量販店を借り地球のステージのパネルと東日本復興支援の取組みのパネルを巡回展示する。 5 その他 ・ヤマザキマザック美術館の4月から始まる企画展のチラシを配布。企画展中は鑑賞料金が200円アップとなる。現在斡旋中の特別鑑賞券で差額の支払いなしで入場できます。チケット購入枚数は現在500枚で、まだ不足するので追加購入予定。 ・推進委員会の打ち上げ懇親会を、4月27日午後6時から開催。声を掛けるべき方を早めに教えてください。 ・推進委員会の会議としては最後になる、お疲れ様でした。29日、30日は最後の全力投球でよろしくお願いします。
--	---

大口町制施行50周年記念事業推進委員会
収 支 決 算 書

事 業 名	収入	支出	差引
スマイルプロジェクト	146,640	166,536	▲ 19,896
田んぼアート	126,780	185,008	▲ 58,228
グラウンド・ゴルフ大会	64,200	134,056	▲ 69,856
健康麦茶「桜野」	690,684	682,163	8,521
企業見学	0	7,607	▲ 7,607
子ども議会	0	245,940	▲ 245,940
桜・河川環境保護	9,100	720,641	▲ 711,541
防災訓練と地域防災	0	29,687	▲ 29,687
集まれ！我が町の芸術家たちコンサート	316,500	855,526	▲ 539,026
ヤマザキマザック美術館鑑賞	797,620	793,685	3,935
ファイナルイベント	685,609	1,022,120	▲ 336,511
大口町表彰式	0	4,858	▲ 4,858
大口町プロモーションビデオ	0	1,834,980	▲ 1,834,980
その他(町負担金、寄附金、利息)	4,204,200	111,168	4,093,032
計	7,041,333	6,793,975	247,358

※ 参考 平成24年度一般会計における

大口町制施行50周年記念事業推進委員会負担金決算額 3, 926, 642円

大口町制施行50周年記念事業推進委員会委員名簿

役職	氏 名	部 会 構 成							数
				部会長		班長		部会員	
委員長	大竹 伸一	式典	田アート	アート	婚活	米粉	桜河川	G・G	6
		企業	子ども議会	防災	芸術	母子の愛	表彰	美術館	ファイナル
副委員長	社本 良子(よしこ)	式典	田アート	アート	婚活	米粉	桜河川	G・G	5
		企業	子ども議会	防災	芸術	母子の愛	表彰	美術館	ファイナル
会計	中村 和枝	式典	田アート	アート	婚活	米粉	桜河川	G・G	7
		企業	子ども議会	防災	芸術	母子の愛	表彰	美術館	ファイナル
監査	佐竹 義昇(よしのり)	式典	田アート	アート	婚活	米粉	桜河川	G・G	1
		企業	子ども議会	防災	芸術	母子の愛	表彰	美術館	ファイナル
委員	鈴木 義彦	式典	田アート	アート	婚活	米粉	桜河川	G・G	3
		企業	子ども議会	防災	芸術	母子の愛	表彰	美術館	ファイナル
"	松永 盈任(みつのり)	式典	田アート	アート	婚活	米粉	桜河川	G・G	2
		企業	子ども議会	防災	芸術	母子の愛	表彰	美術館	ファイナル
"	宇野 省(しょう)	式典	田アート	アート	婚活	米粉	桜河川	G・G	2
		企業	子ども議会	防災	芸術	母子の愛	表彰	美術館	ファイナル
"	三輪 純一	式典	田アート	アート	婚活	米粉	桜河川	G・G	4
		企業	子ども議会	防災	芸術	母子の愛	表彰	美術館	ファイナル
"	長谷川 実	式典	田アート	アート	婚活	米粉	桜河川	G・G	3
		企業	子ども議会	防災	芸術	母子の愛	表彰	美術館	ファイナル
"	後藤 清子	式典	田アート	アート	婚活	米粉	桜河川	G・G	4
		企業	子ども議会	防災	芸術	母子の愛	表彰	美術館	ファイナル
"	土屋 千秋	式典	田アート	アート	婚活	米粉	桜河川	G・G	5
		企業	子ども議会	防災	芸術	母子の愛	表彰	美術館	ファイナル
"	佐竹 金政(かねまさ)	式典	田アート	アート	婚活	米粉	桜河川	G・G	4
		企業	子ども議会	防災	芸術	母子の愛	表彰	美術館	ファイナル
"	稲垣 紀子(としこ)	式典	田アート	アート	婚活	米粉	桜河川	G・G	3
		企業	子ども議会	防災	芸術	母子の愛	表彰	美術館	ファイナル
"	田中 百百代(ももよ)	式典	田アート	アート	婚活	米粉	桜河川	G・G	4
		企業	子ども議会	防災	芸術	母子の愛	表彰	美術館	ファイナル
"	埴田(はにだ) 実	式典	田アート	アート	婚活	米粉	桜河川	G・G	1
		企業	子ども議会	防災	芸術	母子の愛	表彰	美術館	ファイナル
"	前田 恵理	式典	田アート	アート	婚活	米粉	桜河川	G・G	3
		企業	子ども議会	防災	芸術	母子の愛	表彰	美術館	ファイナル
"	堀部 令子	式典	田アート	アート	婚活	米粉	桜河川	G・G	6
		企業	子ども議会	防災	芸術	母子の愛	表彰	美術館	ファイナル
"	齊木 徹	式典	田アート	アート	婚活	米粉	桜河川	G・G	2
		企業	子ども議会	防災	芸術	母子の愛	表彰	美術館	ファイナル
"	水野 眞澄	式典	田アート	アート	婚活	米粉	桜河川	G・G	3
		企業	子ども議会	防災	芸術	母子の愛	表彰	美術館	ファイナル
"	兼松 昌史(まさし)	式典	田アート	アート	婚活	米粉	桜河川	G・G	3
		企業	子ども議会	防災	芸術	母子の愛	表彰	美術館	ファイナル

事務局

氏 名	所 属 等
小島 幹久	総務部長
前田 悦巳(よしみ)	50th記念事業事務局 事務局長
木浪(きなみ) 浩行	50th記念事業事務局 課長補佐
河原 良子	50th記念事業事務局 臨時職員

大口町制施行50周年記念事業推進委員会の設置に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、町制施行50周年という節目の年を、大口町のさらなる発展のスタートとして位置づけ、住民、まちづくり団体、企業及び行政のエネルギーを、尽きることのない「私たちのまちの宝」として結集し、本町を「夢を抱ける心豊かなまち」として、未来の世代に受け継いでいくために実施する町制50周年記念事業の企画、立案及び実施することを目的とする。

(設置)

第2条 前条の目的を達成するため、大口町制施行50周年記念事業推進委員会(以下「推進委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第3条 推進委員会の事務は、以下のとおりとする。

- (1) 町制施行50周年を啓発する事業
- (2) 町制施行50周年記念事業を、参加と協働のまちづくりの観点から企画立案し、実施に導く事業
- (3) 町制施行からの歴史を調査及び研究し記録する事業

(組織)

第4条 推進委員会の委員の数は、町長が定めるものとする。

- 2 推進委員会の委員は、大口町まちづくり基本条例(平成21年大口町条例第13号)第2条第1号に規定する住民で、かつ、第1条の目的に賛同し、前条の事業に志を持ってあたることができる者の中から町長が委嘱する。
- 3 推進委員会は、前項の委員のほかに専門的知識を有するアドバイザーの出席を求めることができる。
- 4 推進委員会は、第2項の委員及び前項のアドバイザーのほかに、記念事業の推進に寄与する提案等を希望する者の出席を認めるものとする。

(役員)

第5条 推進委員会に次の役員を置き、役員は委員の互選による。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 1名
- (3) 会計 1名
- (4) 監事 1名

2 役員の職務は次のとおりとする。

- (1) 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- (2) 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき及び委員長が欠けたときは、その職務を代理する。
- (3) 会計は、帳簿類の取りまとめをし、会の経理を行う。
- (4) 監事は、会計を監査する。

(任期)

第6条 推進委員会の委員の任期は、平成25年3月31日までとする。

2 前項の任期中に委員が欠けた場合の新たな委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 前2項の規定にかかわらず、第3条に規定する所掌事務についてその目的を達成した時点で、任期が満了するものとする。

(会議)

第7条 推進委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集する。

2 推進委員会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ開催することができない。

(庶務)

第8条 推進委員会の庶務は、50周年記念事業事務局において処理する。

(経理)

第9条 推進委員会の経費は、大口町からの負担金、その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第10条 推進委員会の会計年度は、平成24年4月1日に始まり、翌年3月31日又はそれ以前に推進委員会の事業の完了とともに終わる。

(その他必要事項)

第11条 この要綱に定めるもののほか、推進委員会の運営について必要な事項は、委員長が推進委員会に諮って定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 この要綱は、平成25年5月31日限り、その効力を失う。

附 則

この要綱は、平成23年8月31日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年3月26日から施行する。



大口町制50周年

～ 昔も^{いま}現在も未来もずっと 愛があふれる みんなの大口 ～